

医療機関における外国人患者の
受入に係る実態調査
結果報告書

令和2年3月
厚生労働省

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の背景目的	3
2. 調査の目的	3
3. 調査の対象及び調査時期	3
4. 調査実施方法	3
5. 回収結果	4
6. 報告書を見る際の注意事項	4
第2章 調査結果（病院）	5
I. 調査票 A 結果	7
1. 回答者属性	7
(1) 許可病床数 (FA)	7
(2) 総患者数 (外来) (FA)	7
(3) 総患者数 (入院) (FA)	8
(4) 医療機関の種別 (MA)	8
(5) 診療科目 (MA)	9
2. 外国人患者に対応する体制について	10
(1) 外国人患者受入のマニュアル認知度 (SA)	10
(1) - 1 マニュアル内容の確認 (SA)	10
(1) - 2 マニュアルの受入体制整備方針の確認 (SA)	11
(1) - 3 外国人患者の受診状況 (SA)	11
(1) - 4 受入体制の現状と課題抽出 (SA)	12
(1) - 5 受入体制整備方針策定 (SA)	12
(2) 外国人患者対応の専門部署の有無 (SA)	13
(2) - 1 専門職員の人数 (FA)	14
(2) - 2 外国人対応のマニュアル整備状況 (SA)	15
(2) - 3 外国人対応マニュアルを利用できる職員の範囲 (SA)	15
(2) - 4 外国人対応マニュアルを利用できる職員部門 (MA)	16
(3) 外国人向け医療コーディネーターの配置状況 (SA)	17
(3) - 1 コーディネーターの人数 (FA)	17
(3) - 2 コーディネーターの専任・兼任の別 (SA)	18
(3) - 3 コーディネーターの兼職 (MA)	18
(3) - 4 コーディネーターの専任・兼任別の人数 (FA)	19
(3) - 5 コーディネーターの常勤・非常勤の別 (SA)	19
(3) - 6 コーディネーターの常勤・非常勤別の人数 (FA)	20
(3) - 7 コーディネーターがカバーしている範囲 (平日、休日) (SA)	20

(3) - 8	コーディネーターがカバーしている時間帯 (SA)	21
(3) - 9	コーディネーターの役割 (MA)	21
(3) - 10	コーディネーターの対応言語 (MA)	22
(4)	医療通訳の配置状況 (SA)	23
(4) - 1	医療通訳の人数 (FA)	23
(4) - 2	医療通訳の専任・兼任の別 (SA)	24
(4) - 3	医療通訳の兼職 (MA)	24
(4) - 4	医療通訳の専任・兼任別の人数 (FA)	25
(4) - 5	医療通訳の常勤・非常勤の別 (SA)	25
(4) - 6	医療通訳の常勤・非常勤別の人数 (FA)	26
(4) - 7	医療通訳がカバーしている範囲(平日、休日) (SA)	26
(4) - 8	医療通訳がカバーしている時間帯 (SA)	27
(4) - 9	医療通訳の対応言語 (MA)	27
(5)	電話通訳(遠隔通訳)の利用状況 (SA)	28
(5) - 1	電話通訳がカバーしている範囲(平日、休日) (SA)	28
(5) - 2	電話通訳がカバーしている時間帯 (SA)	29
(5) - 3	電話通訳の対応言語 (MA)	29
(5) - 4	多言語に対応するためのその他の取組 (FA)	30
(6)	ビデオ通訳(遠隔通訳)の利用状況 (SA)	31
(6) - 1	ビデオ通訳がカバーしている範囲(平日、休日) (SA)	31
(6) - 2	ビデオ通訳がカバーしている時間帯 (SA)	32
(6) - 3	ビデオ通訳の対応言語 (MA)	32
(6) - 4	多言語に対応するためのその他の取組 (FA)	33
(7)	院内案内図、院内表示の多言語化状況 (SA)	34
(7) - 1	院内案内図、院内表示の対応言語 (MA)	34
(8)	タブレット端末等の利用状況 (SA)	35
(8) - 1	タブレット端末等を利用できる職員部門 (MA)	35
(8) - 2	タブレット端末等に備わっている機能 (MA)	36
(8) - 3	翻訳機能の対応言語 (MA)	36
3.	医療費等について	37
(1)	医療費の請求方法 (SA)	37
(1) - 1	診療報酬点数「1点」あたりの金額 (FA)	37
(1) - 2	追加的費用の請求の有無 (SA)	38
(1) - 3	追加的費用の内容 (MA)	39
(1) - 4	追加請求の金額 (FA)	40
4.	キャッシュレス決済について	41
(1)	カード(クレジットカード・デビットカード)を利用した決済の導入状況 (SA)	41
(1) - 1	導入している対応ブランド (MA)	41
(2)	非接触カードを利用した決済の導入状況 (SA)	42

(2) - 1 対応している電子マネー (MA)	42
(3) QRコードを利用した決済の導入状況 (SA)	43
(3) - 1 対応しているサービス (MA)	43
(4) その他の決済サービスの利用状況 (FA)	44
5. 未収金等への対策について	45
(1) 未収金対策の実施状況 (SA)	45
(2) 外国人患者に対して実施している取組 (MA)	46
(2) - 1 同意書の同意内容 (MA)	47
(3) 在留外国人への本人確認実施の有無 (SA)	47
(3) - 1 本人確認時に提示を求めているもの (MA)	48
II. 調査票 B 結果	49
1. 外国人患者の受入実績	49
(1) 在留外国人患者受入の有無 (SA)	49
(1) - 1 在留外国人患者の把握方法 (MA)	50
(1) - 2 受け入れた在留外国人患者の延べ人数 (FA)	51
(1) - 3 受け入れた在留外国人患者の国籍 (MA)	52
(1) - 4 未収金を生じた在留外国人患者 (FA)	53
(1) - 5 公的医療保険利用の有無 (在留外国人) (FA)	55
(1) - 6 民間医療保険利用の有無 (在留外国人) (SA)	55
(2) 訪日外国人患者 (医療渡航を除く) 受入の有無 (SA)	56
(2) - 1 受け入れた訪日外国人患者 (医療渡航を除く) の延べ人数 (FA)	57
(2) - 2 受け入れた訪日外国人患者 (医療渡航を除く) の国籍 (MA)	58
(2) - 3 未収金を生じた訪日外国人患者 (医療渡航を除く) (FA)	59
(2) - 4 公的医療保険利用の有無 (訪日外国人患者 (医療渡航を除く)) (FA)	61
(2) - 5 民間医療保険利用の有無 (訪日外国人患者 (医療渡航を除く)) (SA)	61
(3) 訪日外国人患者 (医療目的) 受入の有無 (SA)	62
(3) - 1 受け入れた訪日外国人患者 (医療目的) の延べ人数 (FA)	63
(3) - 2 受け入れた訪日外国人患者 (医療目的) の国籍 (MA)	64
(3) - 3 受け入れた訪日外国人患者 (医療目的) の ICD 分類 (FA)	65
(3) - 4 未収金を生じた訪日外国人患者 (医療目的) (FA)	66
(3) - 5 公的医療保険利用の有無 (訪日外国人患者 (医療目的)) (FA)	68
(3) - 6 民間医療保険利用の有無 (訪日外国人患者 (医療目的)) (SA)	68
2. 未収金を生じた患者について	69
(1) 未収金を生じた患者の有無 (FA)	69
第3章 調査結果 (診療所)	70
I. 調査票 A 結果	72
1. 回答者属性	72
(1) 許可病床数 (FA)	72
(2) 総患者数 (外来) (FA)	72

(3) 総患者数（入院）（FA）	73
(4) 医療機関の種別（MA）	73
(5) 診療科目（MA）	74
2. 外国人患者に対応する体制について	75
(1) 外国人患者受入のマニュアルの認知度（SA）	75
(1) - 1 マニュアル内容の確認（SA）	75
(1) - 2 マニュアルの受入体制整備方針の確認（SA）	76
(1) - 3 外国人患者の受診状況（SA）	76
(1) - 4 受入体制の現状と課題抽出（SA）	77
(1) - 5 受入体制整備方針策定（SA）	77
(2) 外国人患者対応の専門部署の有無（SA）	78
(2) - 1 専門職員の人数（FA）	78
(2) - 2 外国人対応マニュアルの整備状況（SA）	78
(2) - 3 外国人対応マニュアルを利用できる職員の範囲（SA）	79
(2) - 4 外国人対応マニュアルを利用できる職員部門（MA）	79
(3) 外国人向け医療コーディネーターの配置状況（SA）	80
(3) - 1 コーディネーターの人数（FA）	80
(3) - 2 コーディネーターの専任・兼任の別（SA）	81
(3) - 3 コーディネーターの兼職（MA）	81
(3) - 4 コーディネーターの専任・兼任別の人数（FA）	82
(3) - 5 コーディネーターの常勤・非常勤の別（SA）	82
(3) - 6 コーディネーターの常勤・非常勤別の人数（FA）	83
(3) - 7 コーディネーターがカバーしている範囲（平日、休日）（SA）	83
(3) - 8 コーディネーターがカバーしている時間帯（SA）	84
(3) - 9 コーディネーターの役割（MA）	84
(3) - 10 コーディネーターの対応言語（MA）	85
(4) 医療通訳の配置状況（SA）	86
(4) - 1 医療通訳の人数（FA）	86
(4) - 2 医療通訳の専任・兼任の別（SA）	87
(4) - 3 医療通訳の兼職（MA）	87
(4) - 4 医療通訳の専任・兼任別の人数（FA）	88
(4) - 5 医療通訳の常勤・非常勤の別（SA）	88
(4) - 6 医療通訳の常勤・非常勤別の人数（FA）	89
(4) - 7 医療通訳がカバーしている範囲（平日、休日）（SA）	89
(4) - 8 医療通訳がカバーしている時間帯（SA）	90
(4) - 9 医療通訳の対応言語（MA）	90
(5) 電話通訳（遠隔通訳）の利用状況（SA）	91
(5) - 1 電話通訳がカバーしている範囲（平日、休日）（SA）	91
(5) - 2 電話通訳がカバーしている時間帯（SA）	92

(5) - 3	電話通訳の対応言語 (MA)	92
(5) - 4	多言語に対応するためのその他の取組 (FA)	93
(6)	ビデオ通訳 (遠隔通訳) の利用状況 (SA)	94
(6) - 1	ビデオ通訳がカバーしている範囲 (平日、休日) (SA)	94
(6) - 2	ビデオ通訳がカバーしている時間帯 (SA)	95
(6) - 3	ビデオ通訳の対応言語 (MA)	95
(6) - 4	多言語に対応するためのその他の取組 (FA)	96
(7)	院内案内図、院内表示の多言語化状況 (SA)	97
(7) - 1	院内案内図、院内表示の対応言語 (MA)	97
(8)	タブレット端末等の利用状況 (SA)	98
(8) - 1	タブレット端末等を利用できる職員部門 (MA)	98
(8) - 2	タブレット端末等に備わっている機能 (MA)	98
(8) - 3	翻訳機能の対応言語 (MA)	99
3.	医療費等について	100
(1)	医療費の請求方法 (SA)	100
(1) - 1	診療報酬点数「1点」あたりの金額 (FA)	100
(1) - 2	追加的費用の請求の有無 (SA)	101
(1) - 3	追加的費用の内容 (MA)	101
(1) - 4	追加請求の金額 (FA)	101
4.	キャッシュレス決済について	102
(1)	カード (クレジットカード・デビットカード) を利用した決済の導入状況 (SA)	102
(1) - 1	導入している対応ブランド (MA)	102
(2)	非接触カードを利用した決済の導入状況 (SA)	103
(2) - 1	対応している電子マネー (MA)	103
(3)	QR コードを利用した決済の導入状況 (SA)	104
(3) - 1	対応しているサービス (MA)	104
(4)	その他の決済サービスの利用状況 (FA)	105
5.	未収金等への対策について	106
(1)	未収金対策の実施有無 (SA)	106
(2)	外国人患者に対して実施している未収金対策 (MA)	106
(2) - 1	同意書の同意内容 (MA)	107
(3)	在留外国人への本人確認実施の有無 (SA)	107
(3) - 1	本人確認時に提示を求めているもの (MA)	108
II.	調査票 B 結果	109
1.	外国人患者の受入実績	109
(1)	在留外国人患者受入の有無 (SA)	109
(1) - 1	在留外国人患者の把握方法 (MA)	109
(1) - 2	受け入れた在留外国人患者の延べ人数 (FA)	110
(1) - 3	受け入れた在留外国人患者の国籍 (MA)	111

(1) - 4 未収金を生じた在留外国人患者 (FA)	112
(1) - 5 公的医療保険利用の有無 (在留外国人) (FA)	113
(1) - 6 民間医療保険利用の有無 (在留外国人) (SA)	113
(2) 訪日外国人患者 (医療渡航を除く) 受入の有無 (SA)	114
(2) - 1 受け入れた訪日外国人患者 (医療渡航を除く) の延べ人数 (FA)	114
(2) - 2 受け入れた訪日外国人患者 (医療渡航を除く) の国籍 (MA)	115
(2) - 3 未収金を生じた訪日外国人患者 (医療渡航を除く) (FA)	116
(2) - 4 公的医療保険利用の有無 (訪日外国人患者 (医療渡航を除く)) (FA)	117
(2) - 5 民間医療保険利用の有無 (訪日外国人患者 (医療渡航を除く)) (SA)	117
(3) 訪日外国人患者 (医療目的) 受入の有無 (SA)	118
(3) - 1 受け入れた訪日外国人患者 (医療目的) の延べ人数 (FA)	118
(3) - 2 受け入れた訪日外国人患者 (医療目的) の国籍 (MA)	119
(3) - 3 受け入れた訪日外国人患者 (医療目的) の ICD 分類 (FA)	120
(3) - 4 未収金を生じた訪日外国人患者 (医療目的) (FA)	121
(3) - 5 公的医療保険利用の有無 (訪日外国人患者 (医療目的)) (FA)	122
(3) - 6 民間医療保険利用の有無 (訪日外国人患者 (医療目的)) (SA)	122
2. 未収金を生じた患者について	123
(1) 未収金を生じた患者の有無 (FA)	123
< 巻末資料 >	124
調査票	126

第 1 章 調査の概要

1. 調査の背景目的

我が国の訪日外国人旅行者は年間約 3,119 万人（2018 年）、在留外国人は約 263 万人（2018 年 6 月）と、近年著しい増加傾向にある。

政府においては、内閣官房健康・医療推進本部（本部長：内閣総理大臣）が「訪日外国人に対する適切な医療等の確保に関するワーキンググループ」を開催し、2018 年（平成 30 年）6 月に「訪日外国人に対する適切な医療等の確保に向けた総合対策」を取りまとめた。

本総合対策に基づき、各都道府県の衛生主管部（局）と観光部（局）が連携し、地域の関係者の協力を得つつ、課題の解決に向け積極的に取り組む事が重要と考えられる。この際、外国人に対する医療提供体制の現状を把握する必要があることから、厚生労働省において全国の病院と一部の診療所を対象とし、医療機関の外国人患者受入能力向上のための基礎資料を得ることを目的として、実態調査を行うこととした。

2. 調査の目的

本調査は、その目的によって調査票を調査票 A、調査票 B の 2 つに分けて行った。

それぞれの調査票は以下の様な目的で調査した。

- ・調査票 A：医療機関における外国人患者受入体制に関する調査
- ・調査票 B：医療機関における外国人患者受入に関する調査

調査票 B では、受診された患者を一ヶ月間追跡調査している。

また、本調査では未収金について、診療の対価を請求したにも関わらず、請求日より 1 ヶ月を経ても診療費の全額を支払っていない場合としている。

3. 調査の対象及び調査時期

調査の対象とした医療機関は、調査対象者は全国の病院及び京都府及び沖縄県に所在する診療所である。

調査時期は以下のとおりである。

(ア) 病院

- ・調査票 A 令和元年 9 月 1 日時点
- ・調査票 B 令和元年 10 月 1 日～令和元年 10 月 31 日

(イ) 京都府及び沖縄県に所在する診療所

- ・調査票 A 令和元年 11 月 1 日時点
- ・調査票 B 令和元年 11 月 1 日～令和元年 11 月 30 日

4. 調査実施方法

アンケート協力依頼を郵送、調査票を厚生労働省ホームページからダウンロード、メールにより電子的に回収

5. 回収結果

本調査での回収結果は下表に示すとおりである。

表1 回収結果

調査票種類	対象数	回収数	回収率
病院を調査対象とした調査票 A	8,372 件	5,673 件	67.8%
病院を調査対象とした調査票 B	8,372 件	4,806 件	57.4%
京都府及び沖縄県の診療所を調査対象とした調査票 A	5,100 件	770 件	15.1%
京都府及び沖縄県の診療所を調査対象とした調査票 B	5,100 件	678 件	13.3%

6. 報告書を見る際の注意事項

- (1) 図表中の n は設問に対する回答者数で、比率計算の基数を示している。
- (2) 回答比率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出している。なお、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100% を上下する場合がある。
- (3) グラフ内の数値は「割合 (施設数)」で表している。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) クロス集計の合計は、当該質問に対する全ての内訳ではないので、全体の合計とは合わない場合がある。
- (6) 回答数が少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- (7) 本報告書で「救急医療機関」は、第 2 次救急医療機関及び救命救急センターを指す。

「JMIP もしくは JIH 登録医療機関」は、「ジャパンインターナショナルホスピタルズ (※1)」および「JMIP 認証病院 (※2)」を指す。

また、「拠点的な医療機関」は「外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関」の選出及び受診体制に係る情報の取りまとめについて (依頼) (平成 31 年 3 月 26 日付け医政総発 0326 第 3 号、観参発 800 号) に基づき都道府県によって選出された医療機関を指す。

※1 一般社団法人 Medical Excellence JAPAN により推奨されている医療機関。

※2 一般財団法人日本医療教育財団により認証された医療機関。

- (8) 報告書中の略語は以下を指す。

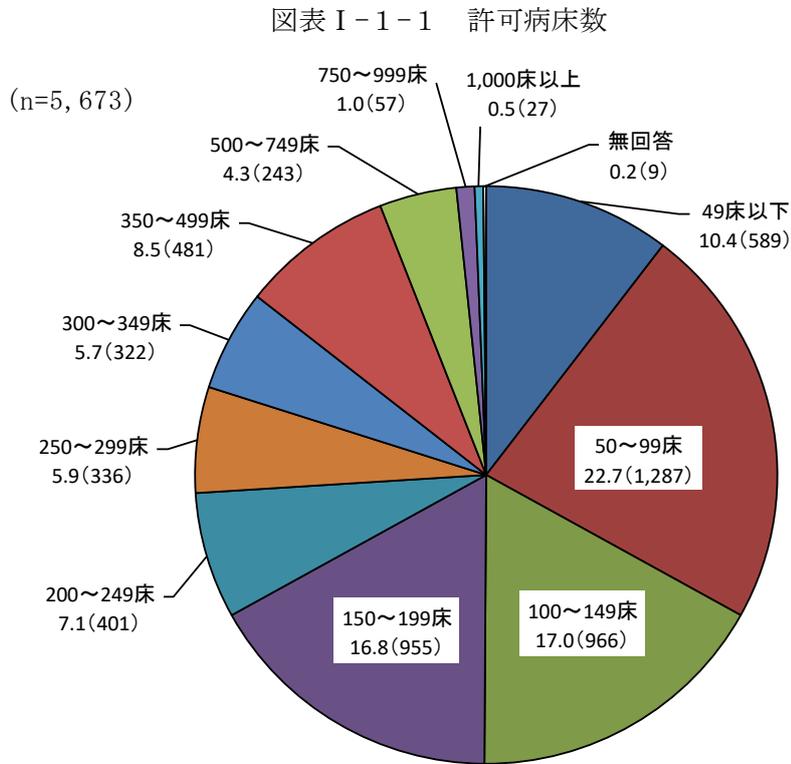
- * FA 自由回答
- * MA 複数回答
- * SA 単一回答

第2章 調査結果（病院）

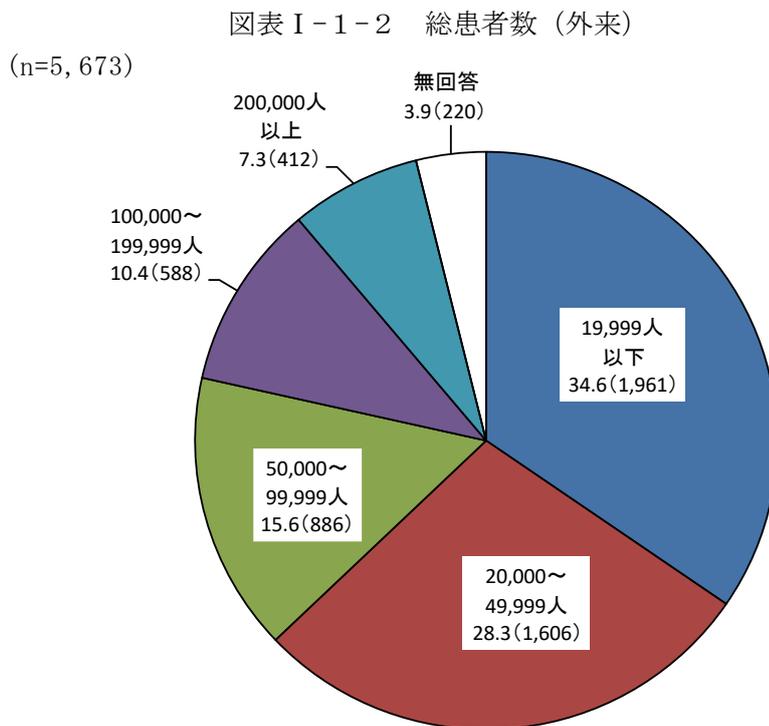
I. 調査票 A 結果

1. 回答者属性

(1) 許可病床数 (FA)

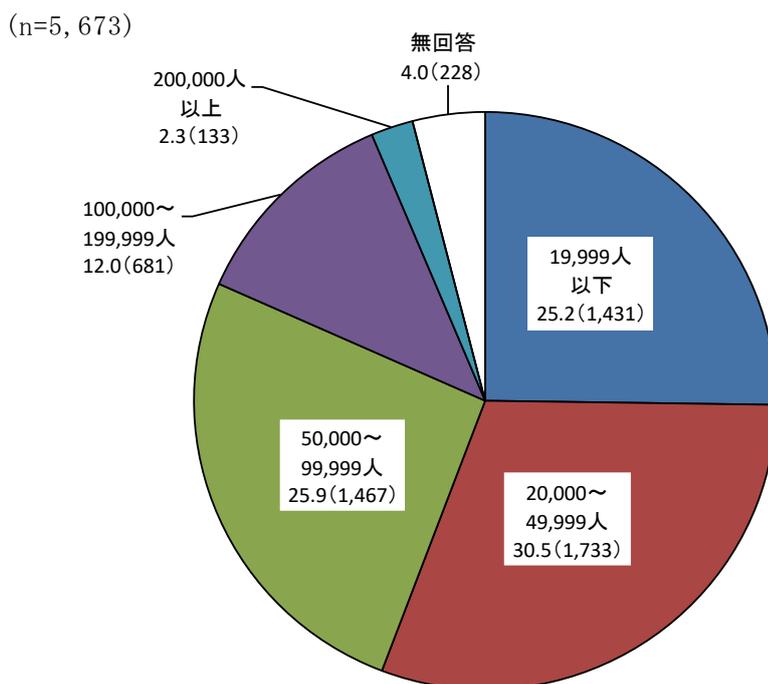


(2) 総患者数 (外来) (FA)



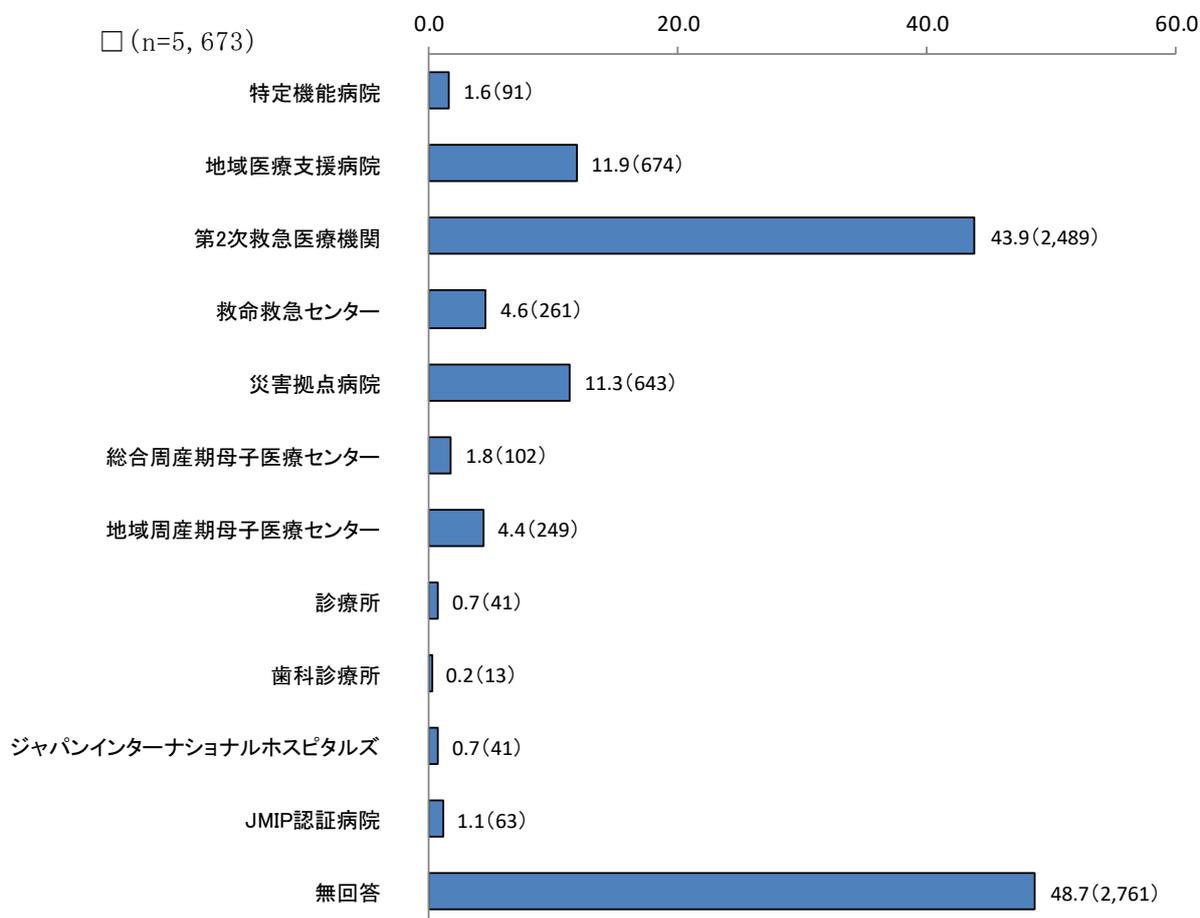
(3) 総患者数（入院）(FA)

図表 I-1-3 総患者数（入院）



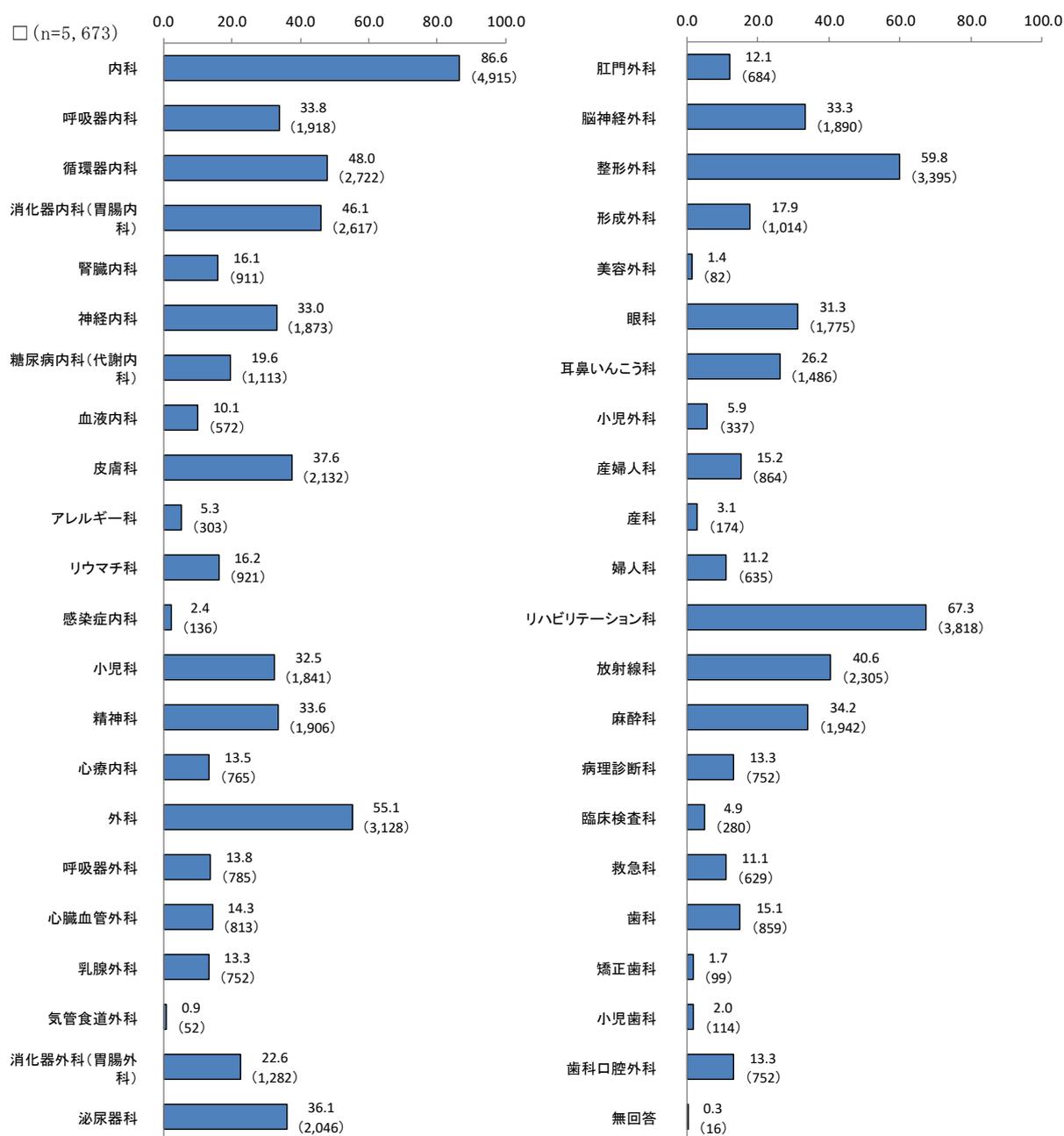
(4) 医療機関の種別 (MA)

図表 I-1-4 医療機関の種別



(5) 診療科目 (MA)

図表 I-1-5 診療科目

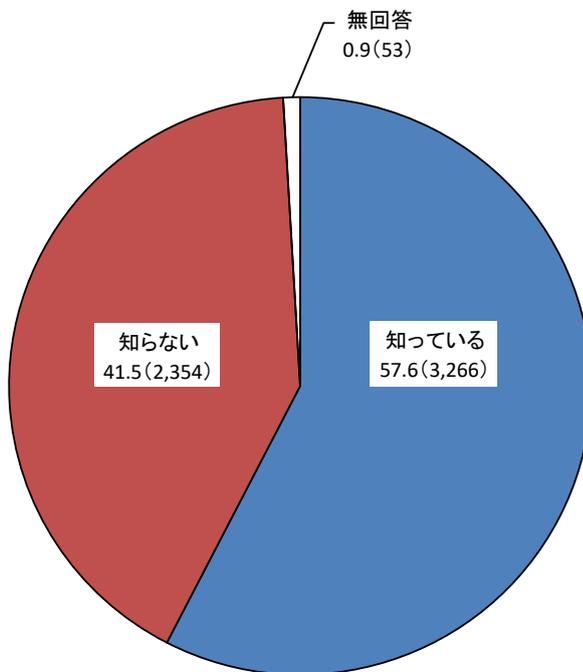


2. 外国人患者に対応する体制について

(1) 外国人患者受入のマニュアル認知度 (SA)

外国人患者受入のためのマニュアルについてその認知度を聞いたところ、「知ってる」が 57.6%、「知らない」が 41.5%、「無回答」が 0.9%となっている。

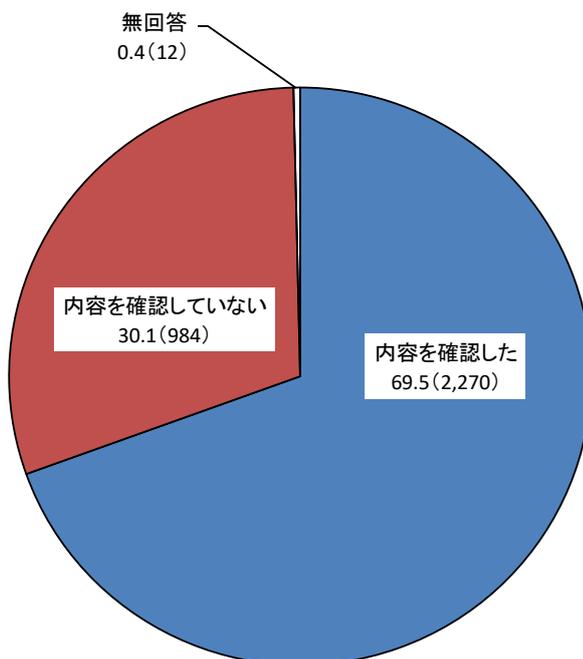
図表 I-2-1 外国人患者受入のマニュアル認知度
(n=5,673)



(1) - 1 マニュアル内容の確認 (SA)

外国人患者受入のためのマニュアルについてその内容確認を聞いたところ、「内容を確認した」が 69.5%、「内容を確認していない」が 30.1%、「無回答」が 0.4%となっている。

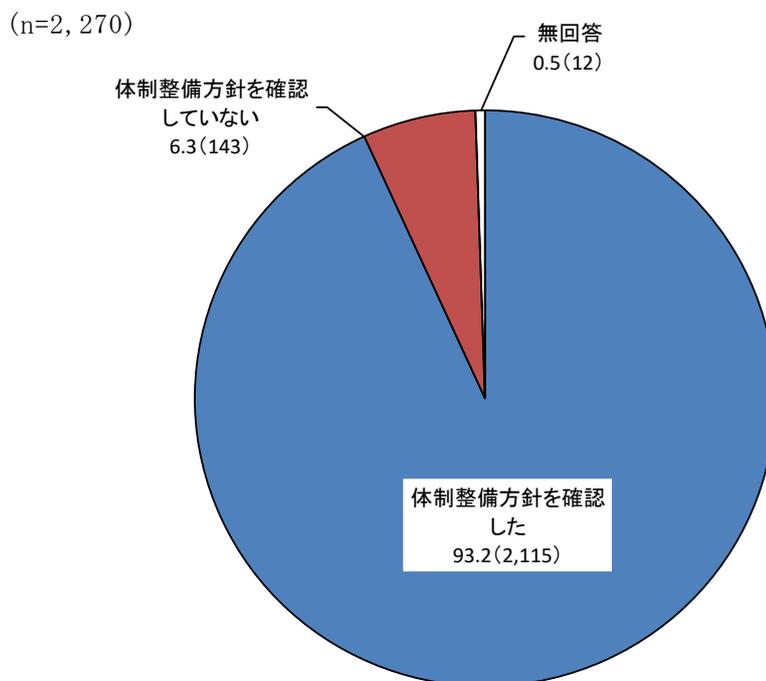
図表 I-2-1-1 マニュアル内容の確認
(n=3,266)



(1) - 2 マニュアルの受入体制整備方針の確認 (SA)

マニュアルの内容を確認した医療機関に外国人対応マニュアルの受入体制整備方針の確認状況について聞いたところ、「体制整備方針を確認した」が93.2%、「体制整備方針を確認していない」が6.3%、「無回答」が0.5%となっている。

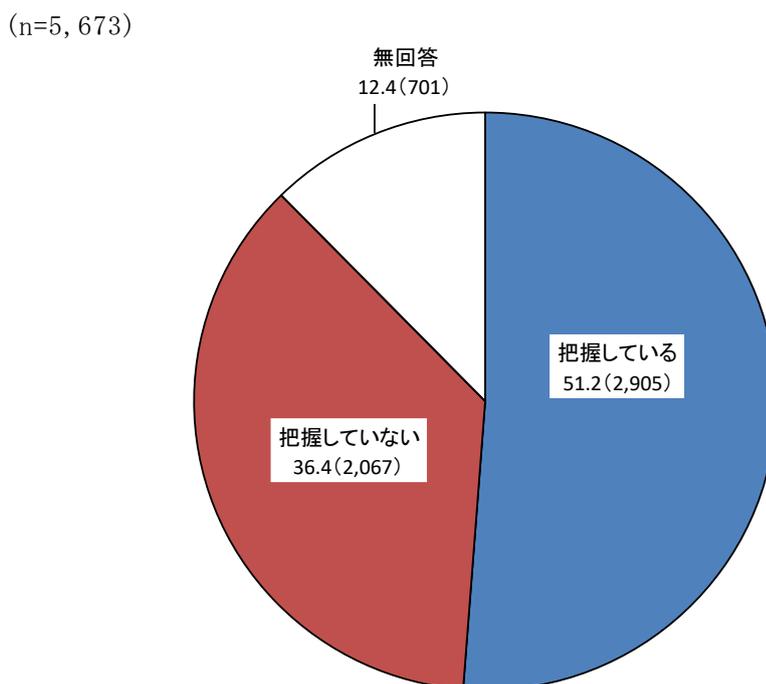
図表 I-2-1-2 マニュアルの受入体制整備方針の確認



(1) - 3 外国人患者の受診状況 (SA)

外国人患者の受診状況を把握しているか聞いたところ、「把握している」が51.2%、「把握していない」が36.4%、「無回答」が12.4%となっている。

図表 I-2-1-3 外国人患者の受診状況

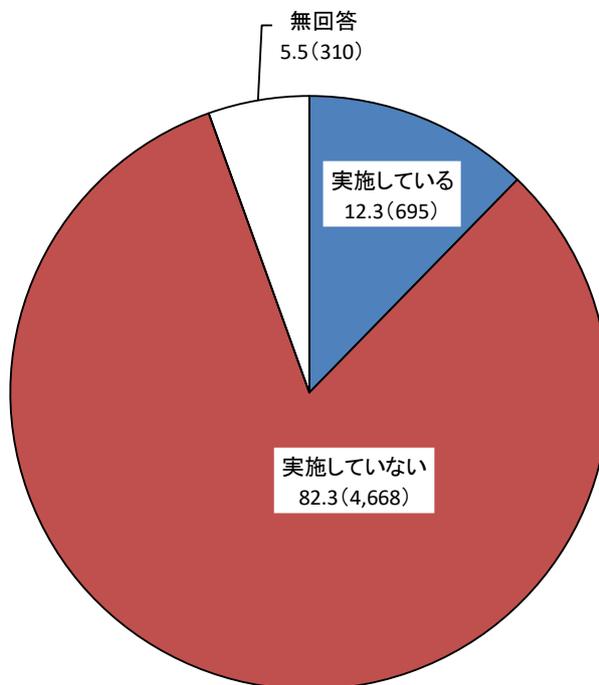


(1) - 4 受入体制の現状と課題抽出 (SA)

外国人患者の受入体制の現状と課題抽出について聞いたところ、「実施している」が12.3%、「実施していない」が82.3%、「無回答」が5.5%となっている。

図表 I-2-1-4 受入体制の現状と課題抽出

(n=5,673)

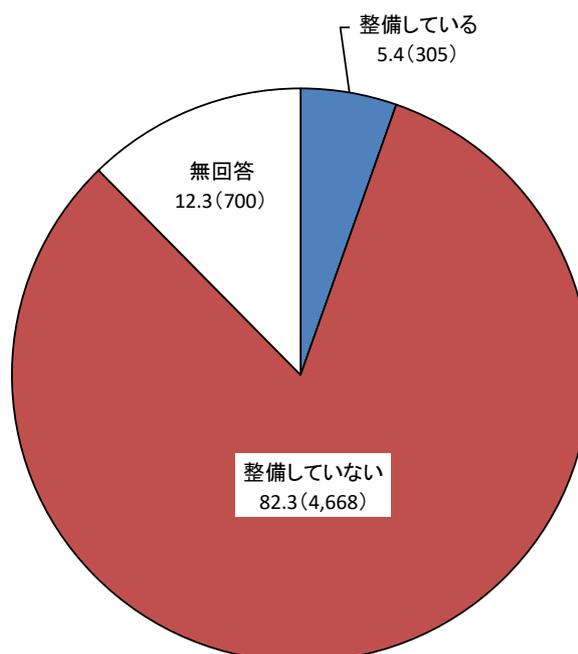


(1) - 5 受入体制整備方針策定 (SA)

外国人患者の受入体制整備方針策定について聞いたところ、「整備している」が5.4%、「整備していない」が82.3%、「無回答」が12.3%となっている。

図表 I-2-1-5 受入体制整備方針策定

(n=5,673)

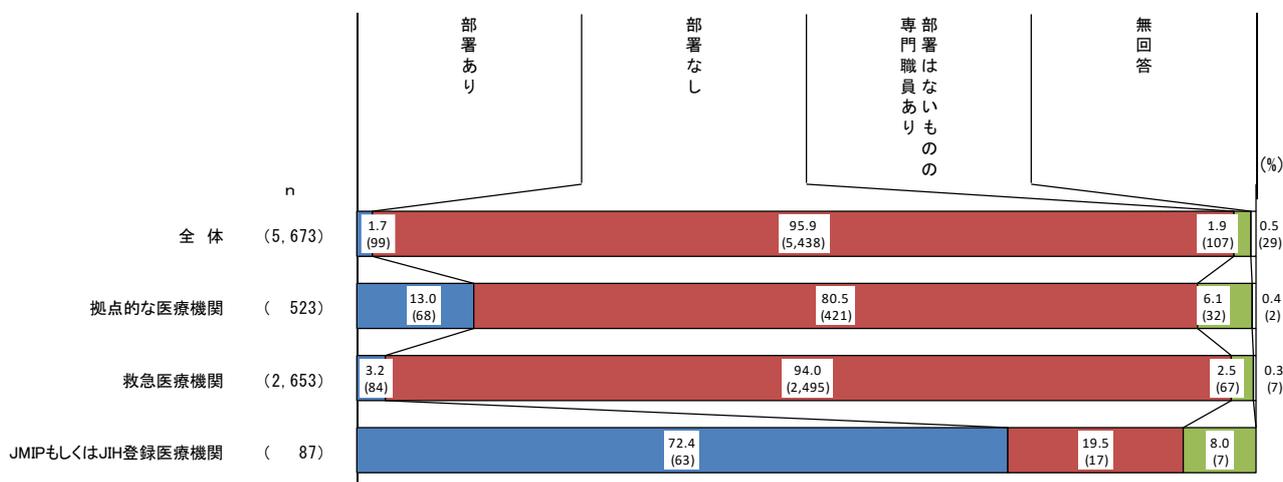


(2) 外国人患者対応の専門部署の有無 (SA)

外国人患者対応専門部署の有無について聞いたところ、「部署あり」が1.7%、「部署なし」が95.9%、「部署はないものの専門職員あり」が1.9%となっている。

医療機関の種別でみると、「部署あり」が拠点的な医療機関では13.0%、救急医療機関では3.2%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では72.4%となっている。

図表 I-2-2 外国人患者対応の専門部署の有無

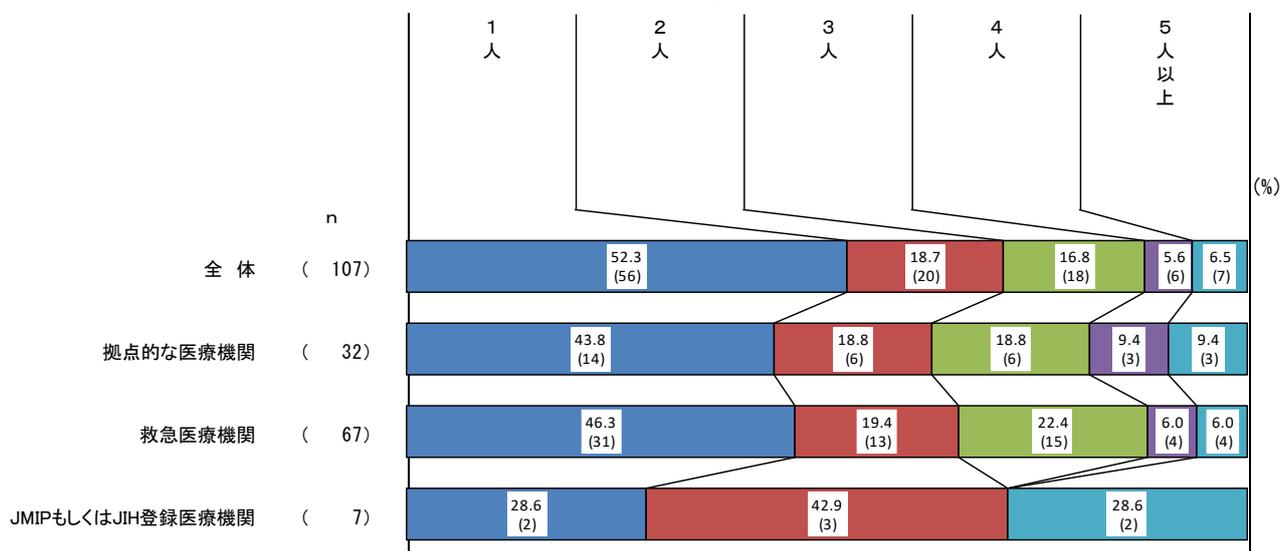


(2) - 1 専門職員の人数 (FA)

専門職員の人数について聞いたところ、「1人」が52.3%で最も高く、次いで「2人」が18.7%、「3人」が16.8%と続いている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では「1人」が43.8%で最も高く、次いで「2人」と「3人」が18.8%と続いている。救急医療機関では「1人」が46.3%で最も高く、次いで「3人」が22.4%と続いている。

図表 I-2-2-1 専門職員の人数(参考)

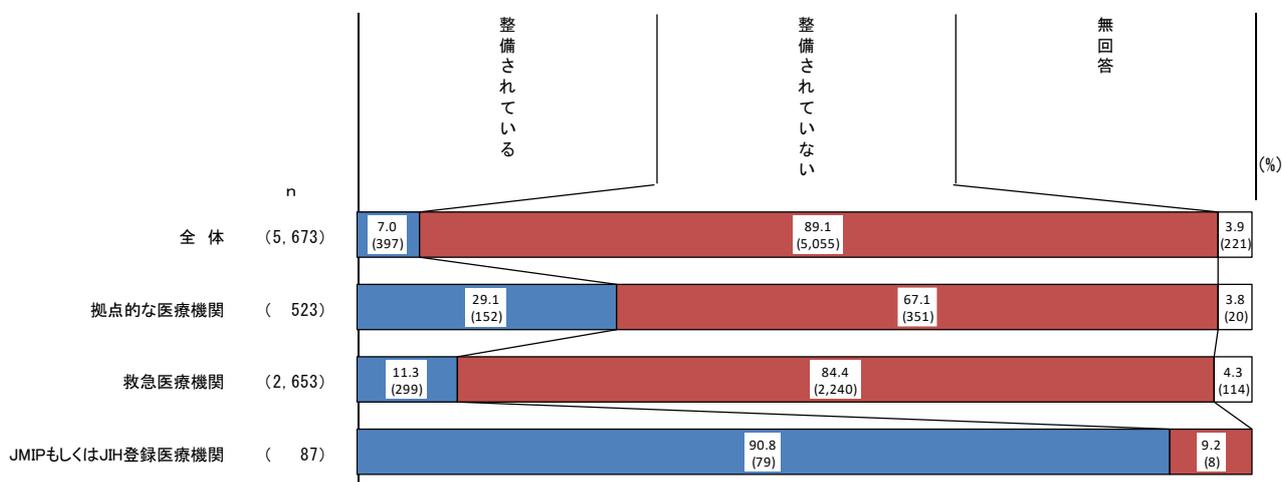


(2) - 2 外国人対応のマニュアル整備状況 (SA)

外国人対応のマニュアル整備状況について聞いたところ、「整備されている」が7.0%、「整備されていない」が89.1%、「無回答」が3.9%となっている。

医療機関の種別で見ると、「整備されている」は拠点的な医療機関では29.1%、救急医療機関では11.3%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では90.8%となっている。

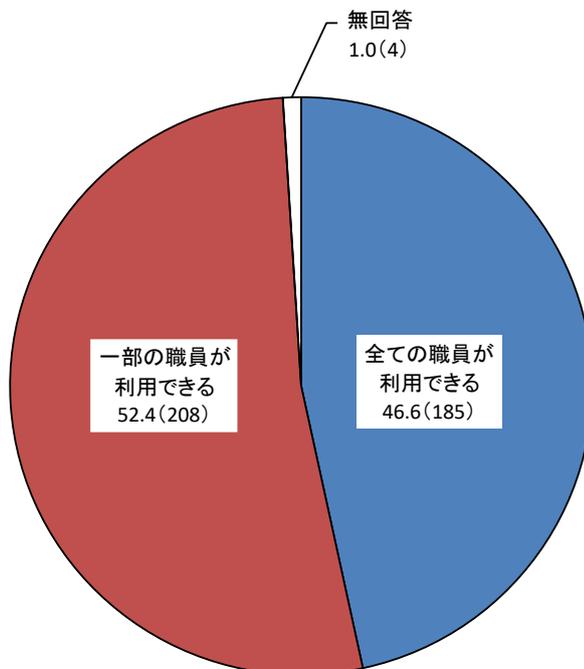
図表 I-2-2-2 外国人対応のマニュアル整備状況



(2) - 3 外国人対応マニュアルを利用できる職員の範囲 (SA)

外国人対応マニュアルを利用できる職員の範囲について聞いたところ、「一部の職員が利用できる」が52.4%、「全ての職員が利用できる」が46.6%となっている。

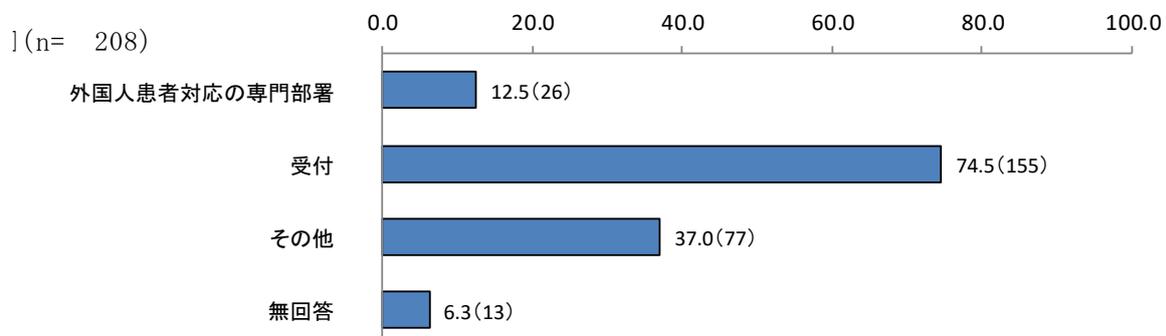
図表 I-2-2-3 外国人対応マニュアルを利用できる職員の範囲 (n= 397)



(2) - 4 外国人対応マニュアルを利用できる職員部門 (MA)

外国人対応マニュアルを利用できる職員部門について聞いたところ、「受付」が74.5%で最も高く、次いで「外国人患者対応の専門部署」が12.5%と続いている。

図表 I-2-2-4 外国人対応マニュアルを利用できる職員部門

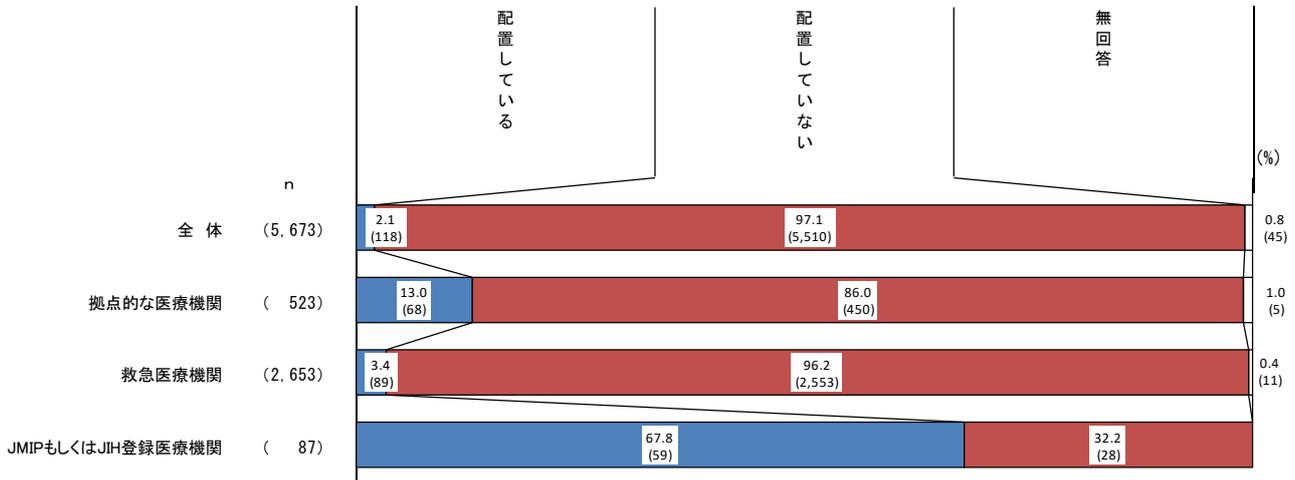


(3) 外国人向け医療コーディネーターの配置状況 (SA)

外国人向け医療コーディネーターの配置状況について聞いたところ、「配置している」が2.1%、「配置していない」が97.1%となっている。

医療機関の種別でみると、「配置している」は拠点的な医療機関では13.0%、救急医療機関では3.4%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では67.8%となっている。

図表 I-2-3 外国人向け医療コーディネーターの配置状況

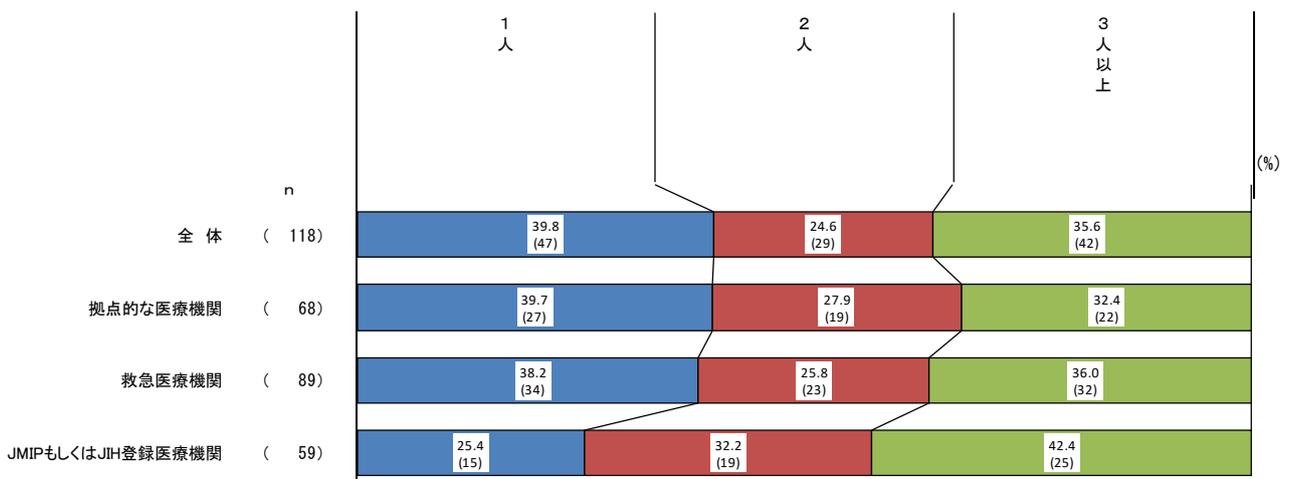


(3) - 1 コーディネーターの人数 (FA)

コーディネーターの人数について聞いたところ、「1人」が39.8%で最も高く、次いで「3人以上」が35.6%、「2人」が24.6%と続いている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では「1人」が39.7%で最も高く、次いで「3人以上」が32.4%と続いている。救急医療機関では「1人」が38.2%で最も高く、次いで「3人以上」が36.0%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「3人以上」が42.4%で最も高く、次いで「2人」が32.2%と続いている。

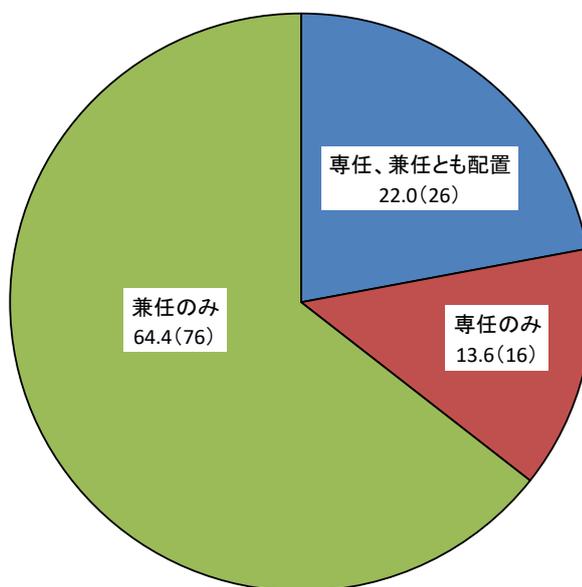
図表 I-2-3-1 コーディネーターの人数



(3) - 2 コーディネーターの専任・兼任の別 (SA)

コーディネーターの専任・兼任の別について聞いたところ、「兼任のみ」が64.4%で最も高く、次いで「専任、兼任とも配置」が22.0%、「専任のみ」が13.6%と続いている。

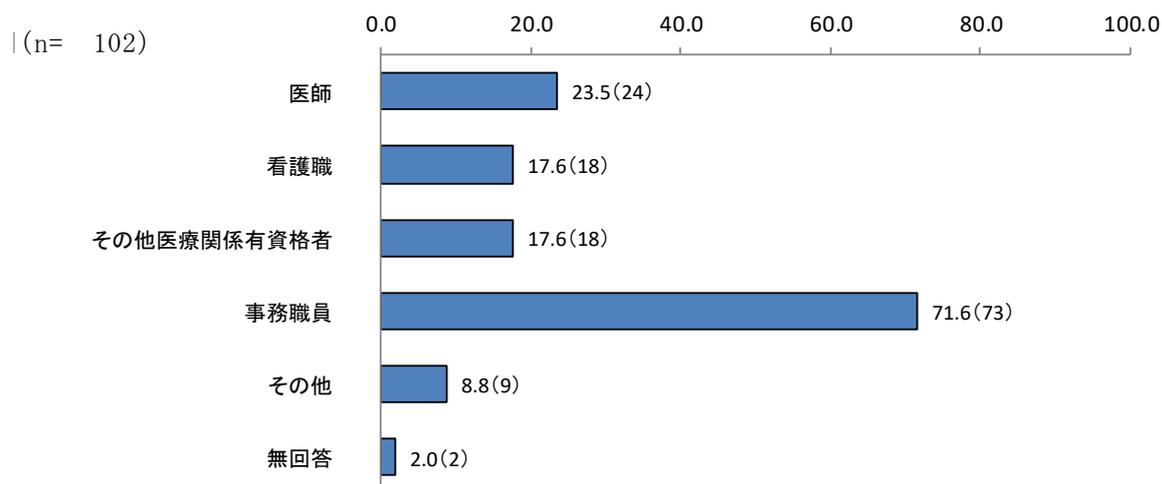
図表 I-2-3-2 コーディネーターの専任・兼任の別
(n= 118)



(3) - 3 コーディネーターの兼職 (MA)

コーディネーターの兼職について聞いたところ、「事務職員」が71.6%で最も高く、次いで「医師」が23.5%と続いている。

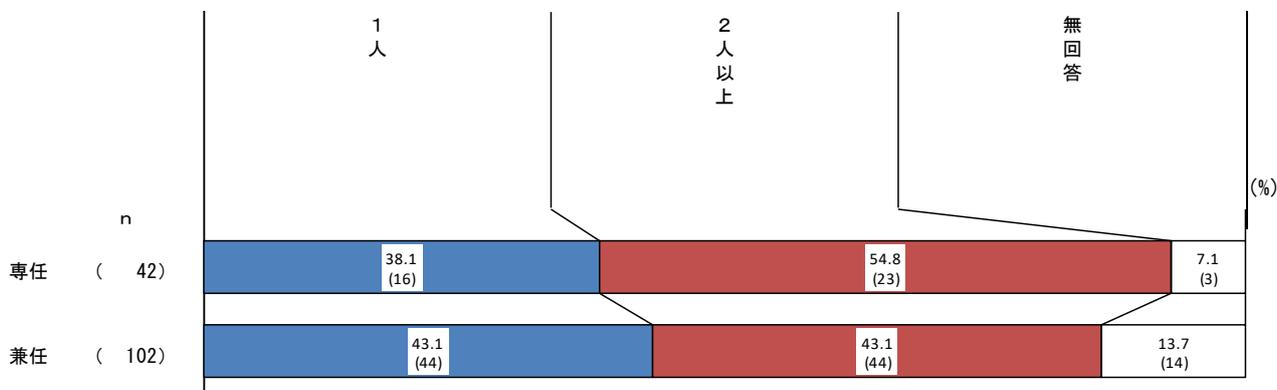
図表 I-2-3-3 コーディネーターの兼職



(3) - 4 コーディネーターの専任・兼任別の人数 (FA)

コーディネーターの人数について専任・兼任それぞれで聞いたところ、専任では「2人以上」が54.8%で最も高く、次いで「1人」が38.1%と続いている。兼任では「1人」と「2人以上」がともに43.1%で拮抗している。

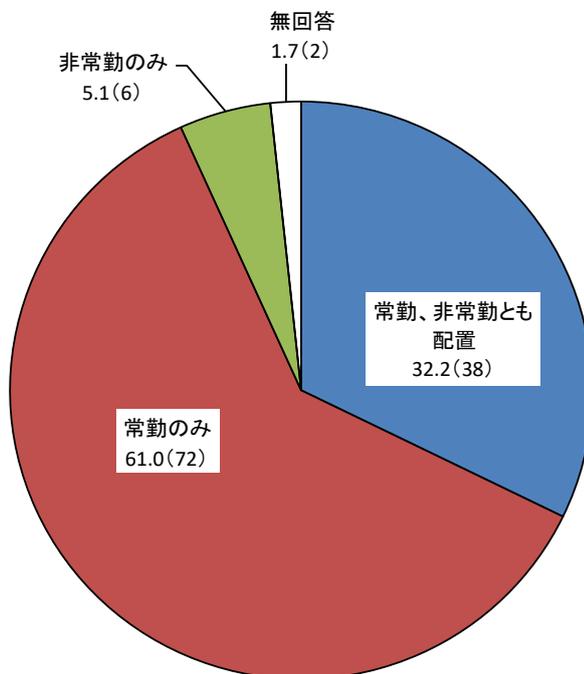
図表 I-2-3-4 コーディネーターの専任・兼任別の人数



(3) - 5 コーディネーターの常勤・非常勤の別 (SA)

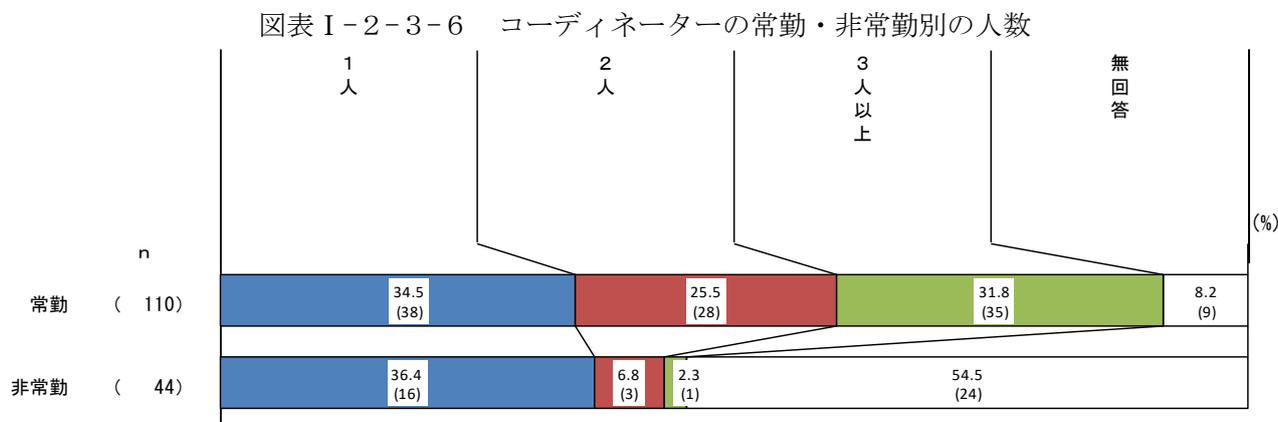
コーディネーターの常勤・非常勤の別について聞いたところ、「常勤のみ」が61.0%で最も高く、次いで「常勤、非常勤とも配置」が32.2%と続いている。

図表 I-2-3-5 コーディネーターの常勤・非常勤の別 (n= 118)



(3) - 6 コーディネーターの常勤・非常勤別の人数 (FA)

コーディネーターの人数について常勤・非常勤それぞれ聞いたところ、常勤では「1人」が34.5%で最も高く、次いで「3人以上」が31.8%と続いている。非常勤では「1人」が36.4%で最も高く、次いで「2人」が6.8%と続いている。



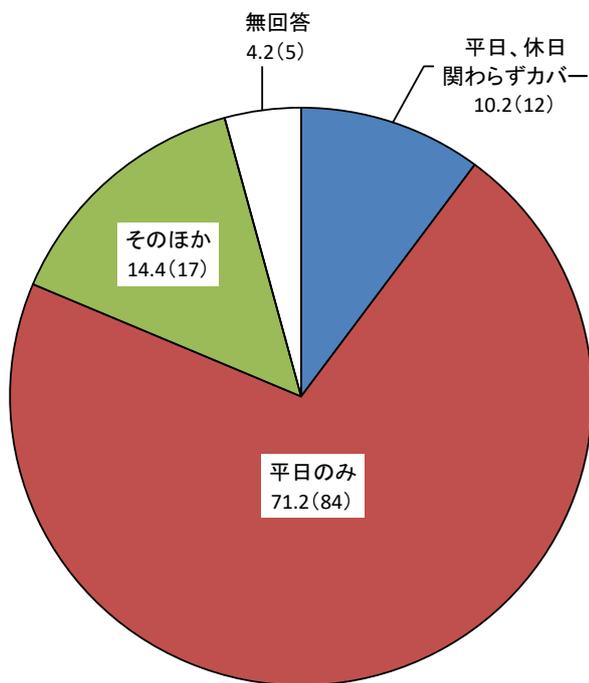
※グラフ内の割合と件数は、回答した施設数を表している。

(3) - 7 コーディネーターがカバーしている範囲 (平日、休日) (SA)

コーディネーターがカバーしている範囲 (平日、休日) について聞いたところ、「平日のみ」が71.2%で最も高く、次いで「平日、休日関わらずカバー」が10.2%と続いている。

図表 I-2-3-7 コーディネーターがカバーしている範囲 (平日、休日)

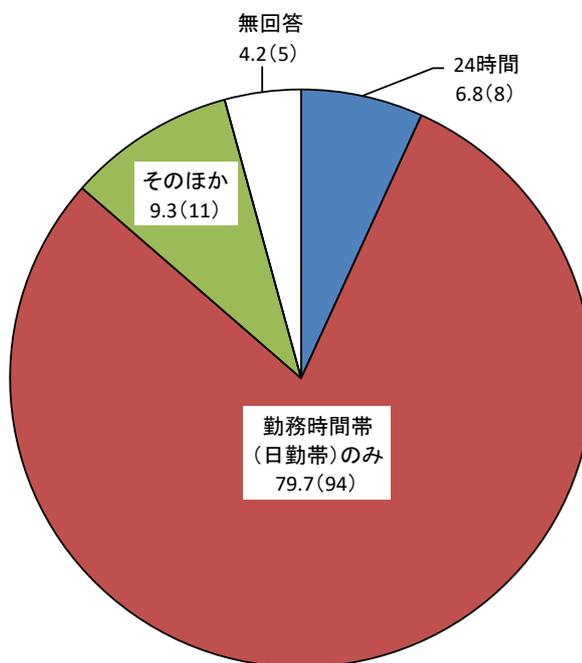
(n= 118)



(3) - 8 コーディネーターがカバーしている時間帯 (SA)

コーディネーターがカバーしている時間帯について聞いたところ、「勤務時間帯（日勤帯）のみ」が79.7%で最も高く、次いで「24時間」が6.8%と続いている。

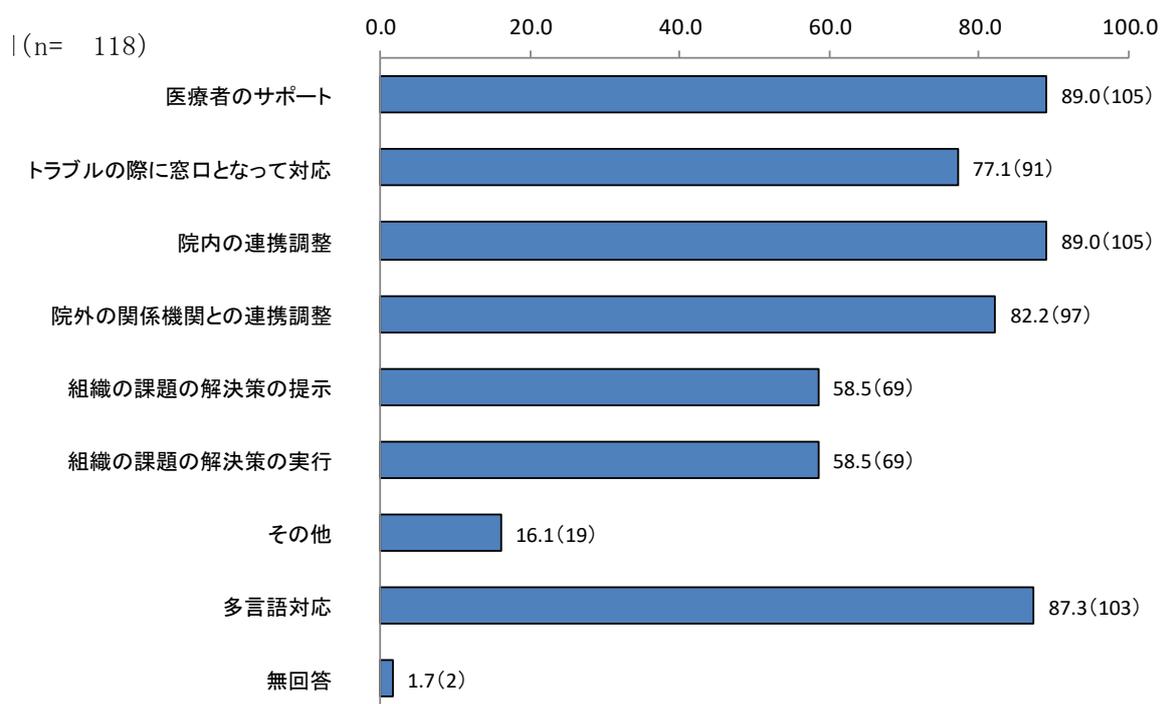
図表 I-2-3-8 コーディネーターがカバーしている時間帯
(n= 118)



(3) - 9 コーディネーターの役割 (MA)

コーディネーターの役割について聞いたところ、「医療者のサポート」と「院内の連絡調整」が89.0%で最も高く、次いで「多言語対応」が87.3%と続いている。

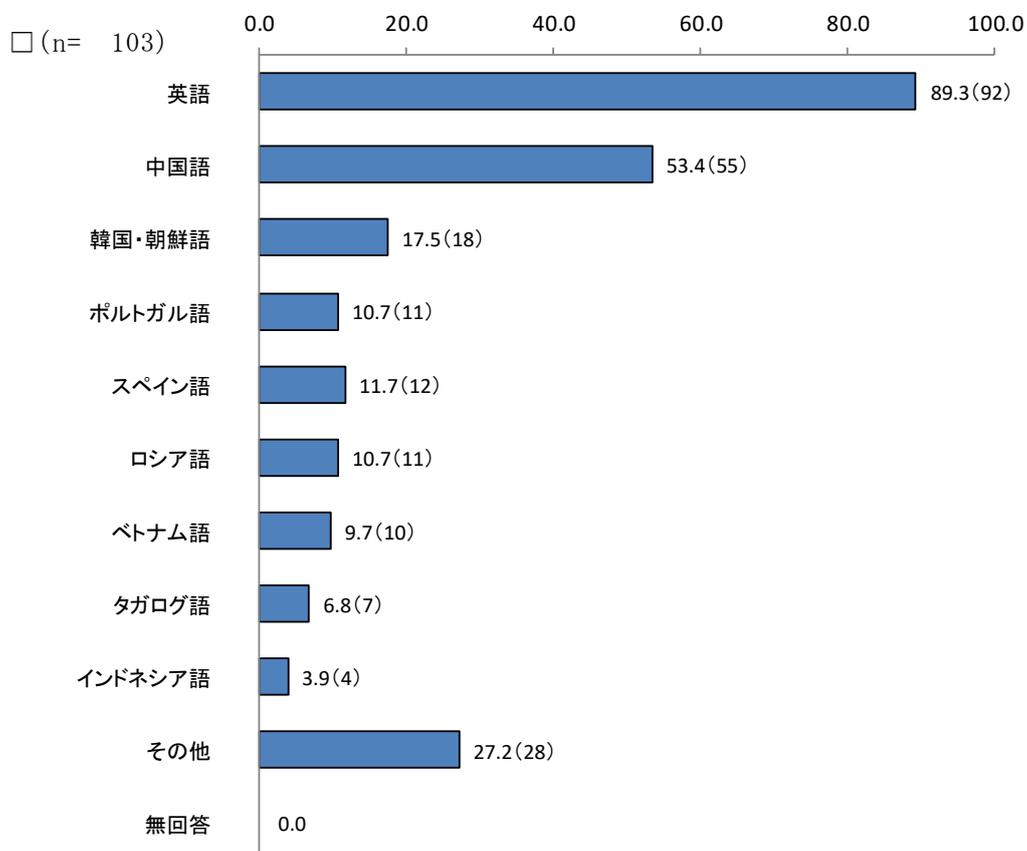
図表 I-2-3-9 コーディネーターの役割



(3) -10 コーディネーターの対応言語 (MA)

コーディネーターの役割で『多言語対応』と回答した施設にコーディネーターの対応言語について聞いたところ、「英語」が89.3%で最も高く、次いで「中国語」が53.4%と続いている。

図表 I-2-3-10 コーディネーターの対応言語

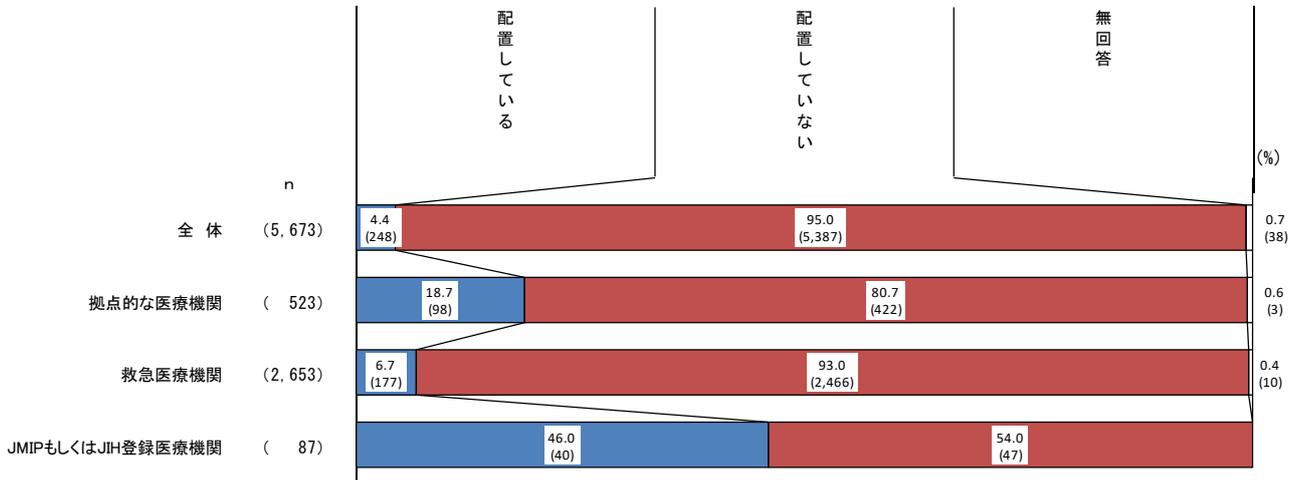


(4) 医療通訳の配置状況 (SA)

医療通訳の配置状況について聞いたところ、「配置している」が4.4%、「配置していない」が95.0%となっている。

医療機関の種別でみると、「配置している」は拠点的な医療機関では18.7%、救急医療機関では6.7%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では46.0%となっている。

図表 I-2-4 医療通訳の配置状況

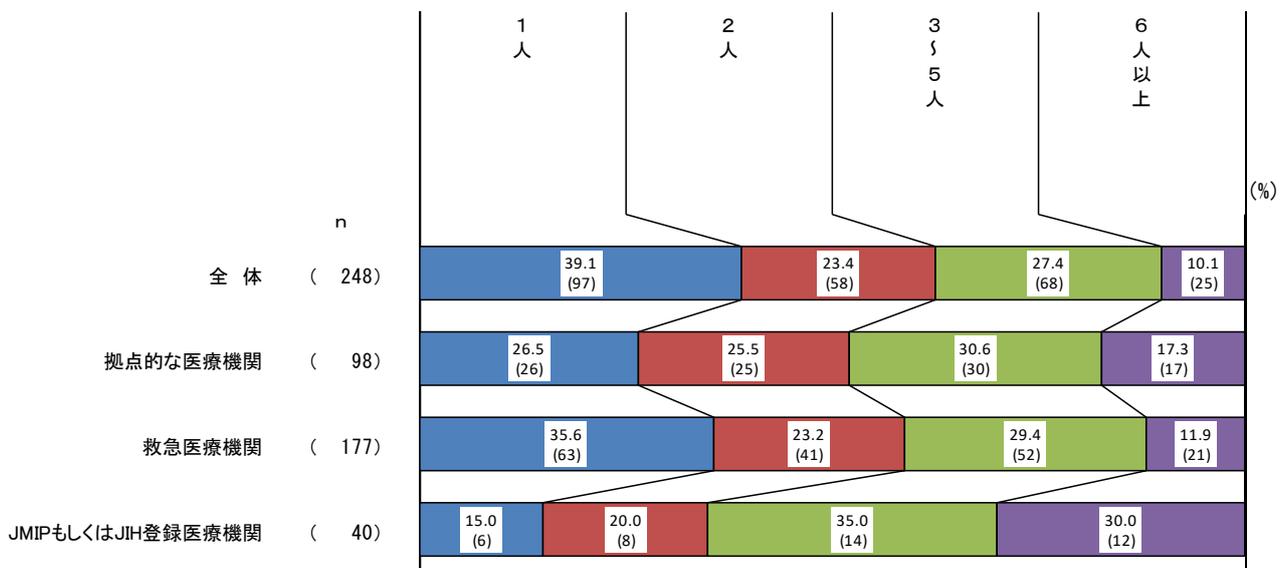


(4) - 1 医療通訳の人数 (FA)

医療通訳の人数について聞いたところ、「1人」が39.1%で最も高く、次いで「3~5人」が27.4%と続いている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では「3~5人」が30.6%で最も高く、次いで「1人」が26.5%と続いている。救急医療機関では「1人」が35.6%で最も高く、次いで「3~5人」が29.4%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「3~5人」が35.0%で最も高く、次いで「6人以上」が30.0%と続いている。

図表 I-2-4-1 医療通訳の人数

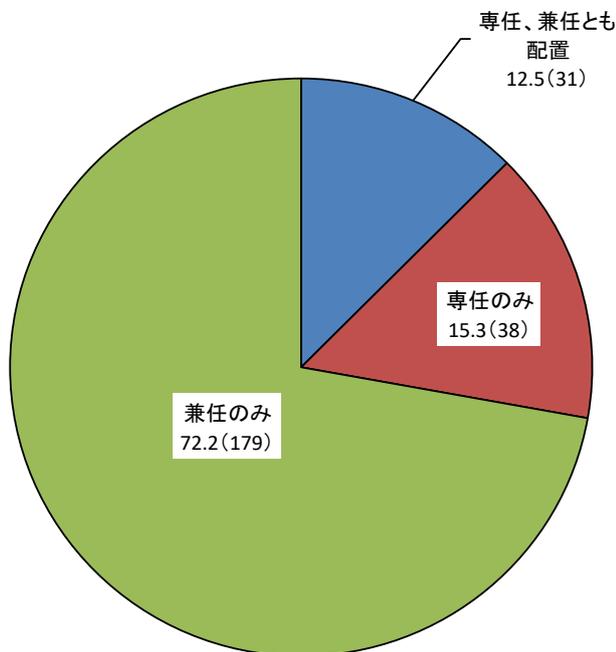


(4) - 2 医療通訳の専任・兼任の別 (SA)

医療通訳の専任・兼任の別について聞いたところ、「兼任のみ」が72.2%で最も高く、次いで「専任のみ」が15.3%と続いている。

図表 I-2-4-2 医療通訳の専任・兼任の別

(n= 248)

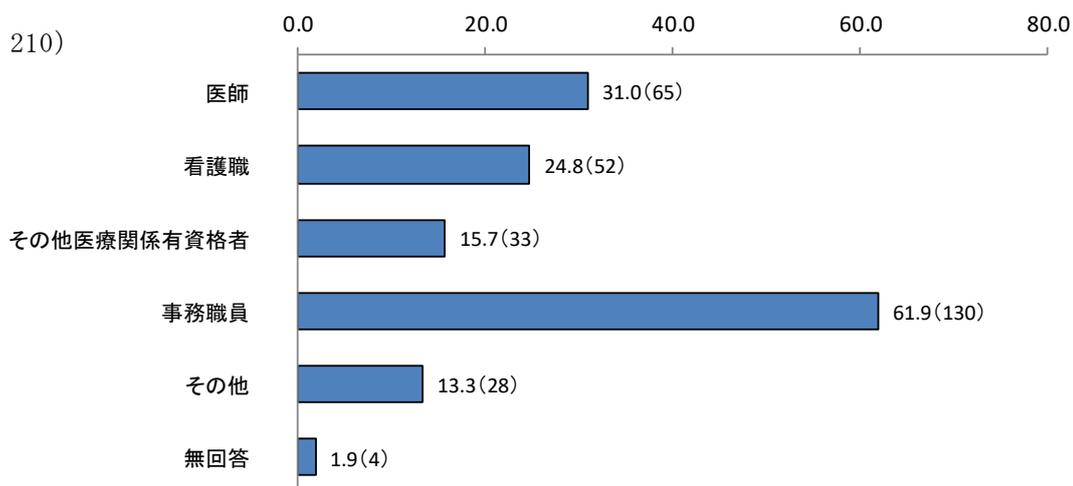


(4) - 3 医療通訳の兼職 (MA)

医療通訳の兼職について聞いたところ、「事務職員」が61.9%で最も高く、次いで「医師」が31.0%と続いている。

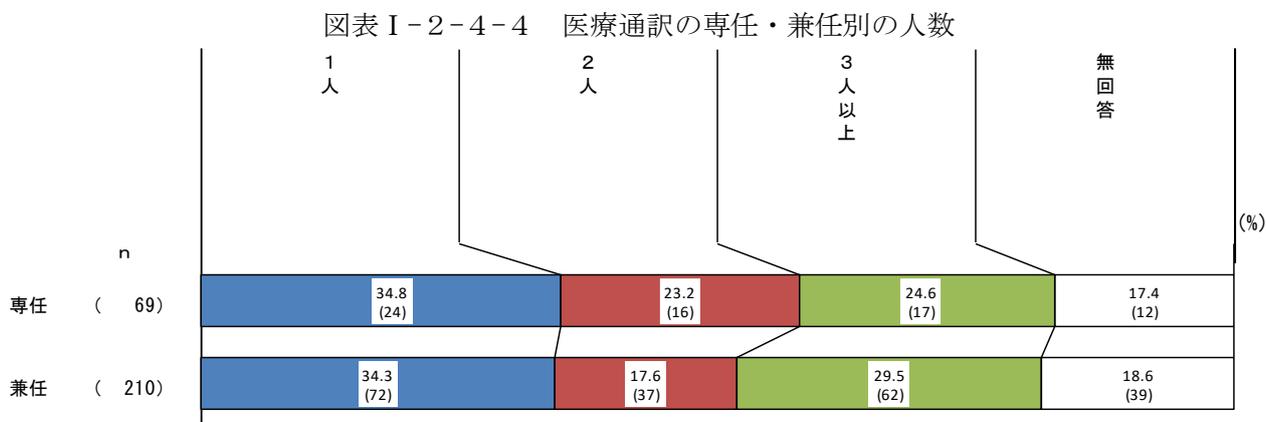
図表 I-2-4-3 医療通訳の兼職

(n= 210)



(4) - 4 医療通訳の専任・兼任別の人数 (FA)

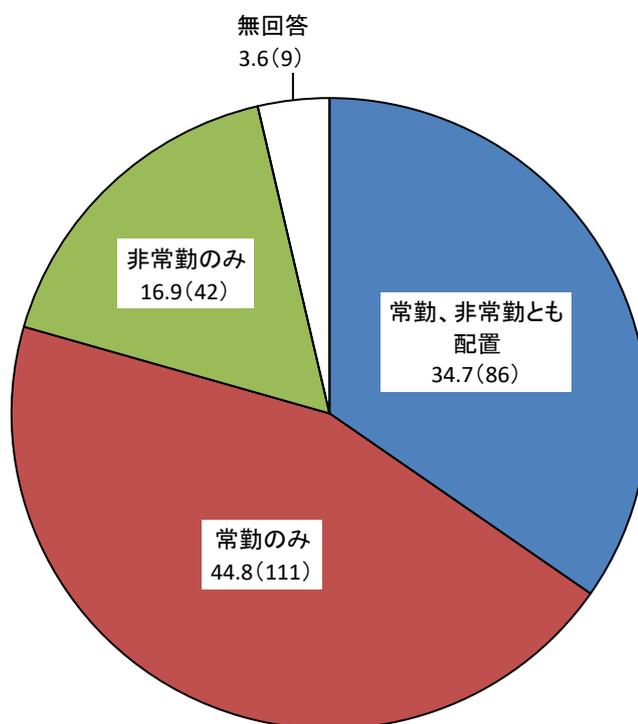
医療通訳の人数について専任・兼任それぞれで聞いたところ、専任では「1人」が34.8%で最も高く、次いで「3人以上」が24.6%と続いている。兼任では「1人」が34.3%で最も高く、次いで「3人以上」が29.5%と続いている。



(4) - 5 医療通訳の常勤・非常勤の別 (SA)

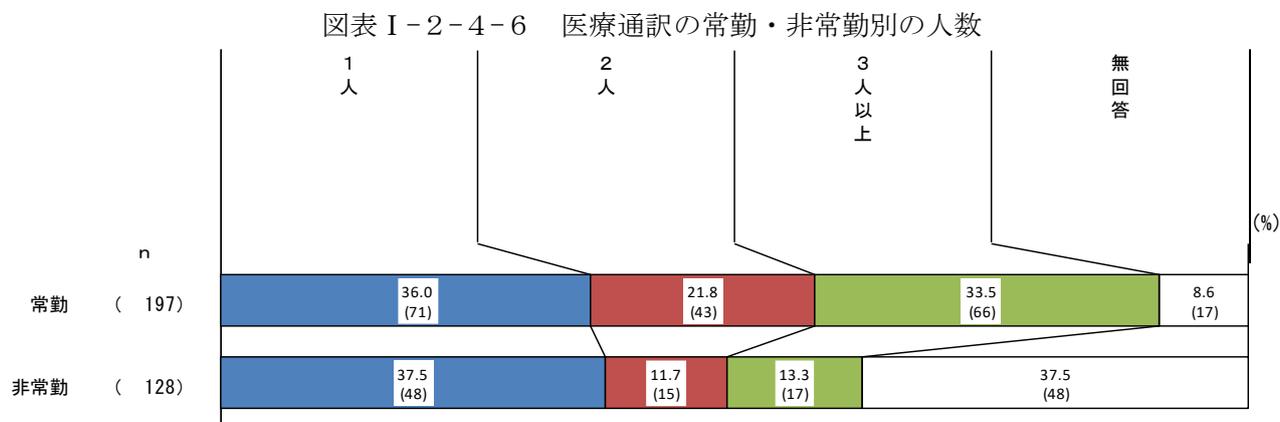
医療通訳の常勤・非常勤の別について聞いたところ、「常勤のみ」が44.8%で最も高く、次いで「常勤、非常勤とも配置」が34.7%と続いている。

図表 I-2-4-5 医療通訳の常勤・非常勤の別
(n= 248)



(4) - 6 医療通訳の常勤・非常勤別の人数 (FA)

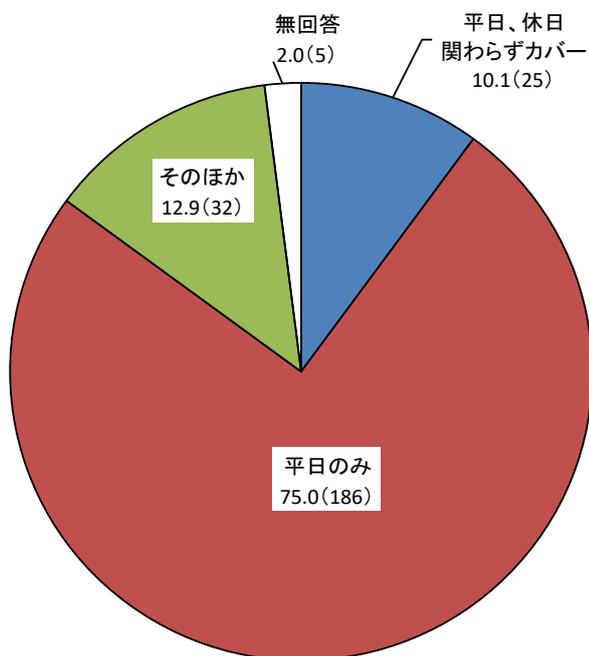
医療通訳の人数について常勤・非常勤それぞれ聞いたところ、常勤では「1人」が36.0%で最も高く、次いで「3人以上」が33.5%と続いている。非常勤では「1人」が37.5%で最も高く、次いで「3人以上」が13.3%と続いている。



(4) - 7 医療通訳がカバーしている範囲(平日、休日) (SA)

医療通訳がカバーしている範囲について聞いたところ、「平日のみ」が75.0%で最も高く、次いで「平日、休日関わらずカバー」が10.1%と続いている。

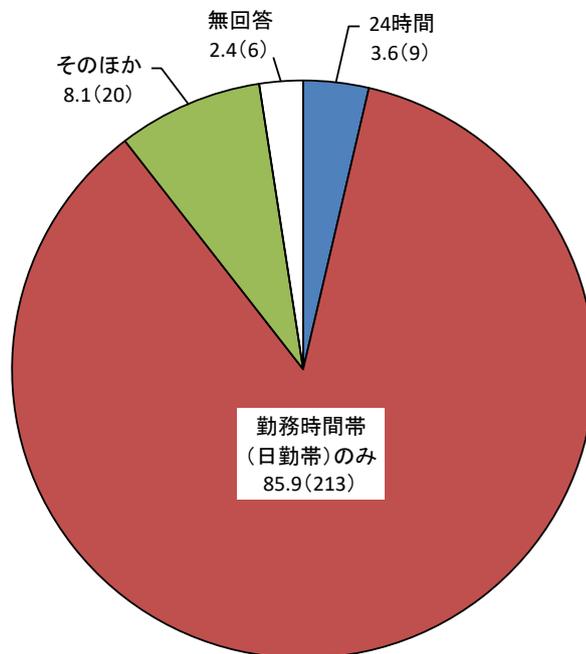
図表 I-2-4-7 医療通訳がカバーしている範囲(平日、休日)
(n= 248)



(4) - 8 医療通訳がカバーしている時間帯 (SA)

医療通訳がカバーしている時間帯について聞いたところ、「勤務時間帯（日勤帯）のみ」が85.9%で最も高く、次いで「24時間」が3.6%と続いている。

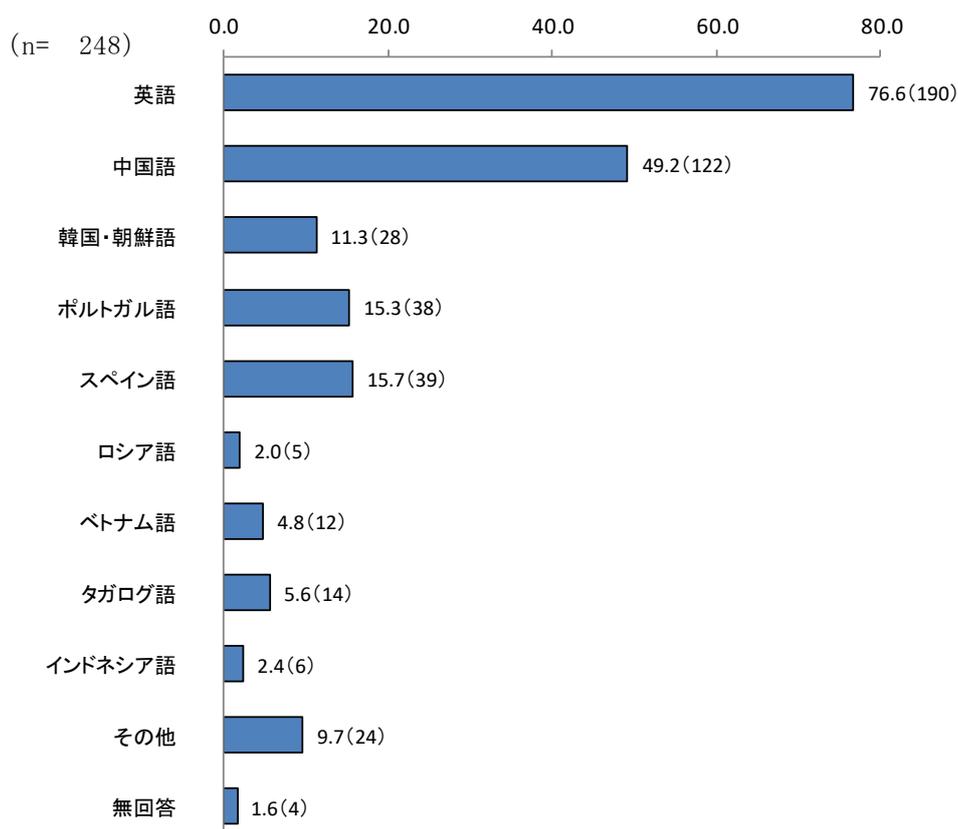
図表 I-2-4-8 医療通訳がカバーしている時間帯
(n= 248)



(4) - 9 医療通訳の対応言語 (MA)

医療通訳の対応言語について聞いたところ、「英語」が76.6%で最も高く、次いで「中国語」が49.2%と続いている。

図表 I-2-4-9 医療通訳の対応言語

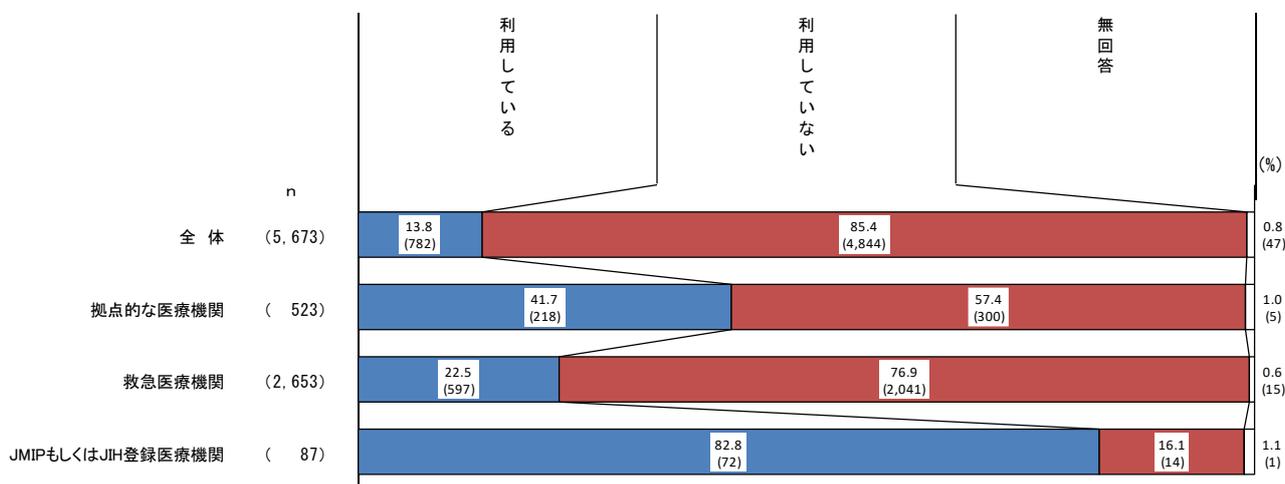


(5) 電話通訳（遠隔通訳）の利用状況（SA）

電話通訳（遠隔通訳）の利用状況について聞いたところ、「利用している」が13.8%、「利用していない」が85.4%となっている。

医療機関の種別で見ると、「利用している」が拠点的な医療機関では41.7%、救急医療機関では22.5%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では82.8%となっている。

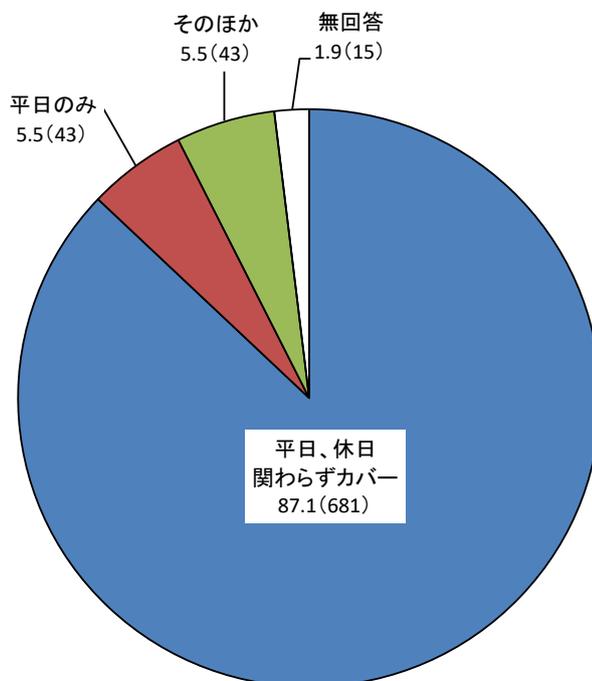
図表 I-2-5 電話通訳の利用状況



(5) - 1 電話通訳がカバーしている範囲（平日、休日）（SA）

電話通訳がカバーしている範囲について聞いたところ、「平日、休日問わずカバー」が87.1%で最も高く、次いで「平日のみ」が5.5%と続いている。

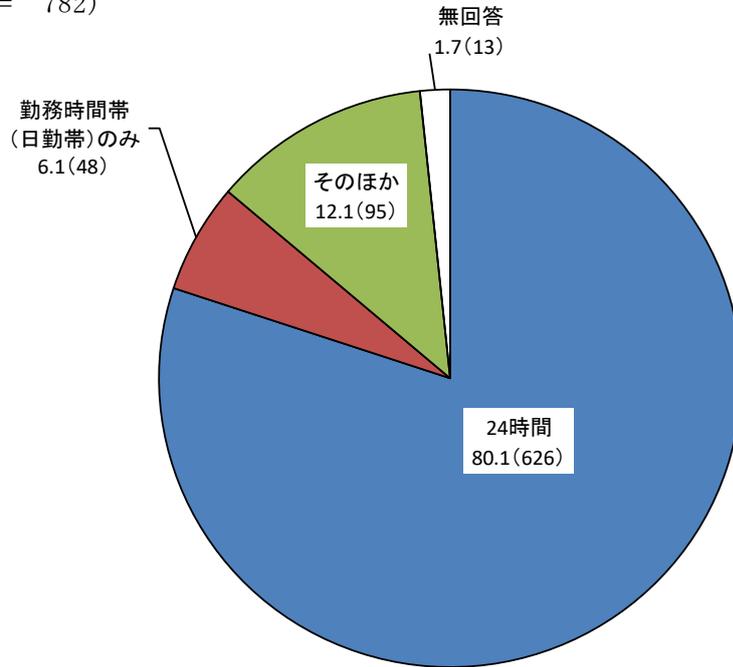
図表 I-2-5-1 電話通訳がカバーしている範囲（平日、休日）
(n= 782)



(5) - 2 電話通訳がカバーしている時間帯 (SA)

電話通訳がカバーしている時間帯について聞いたところ、「24時間」が80.1%で最も高く、次いで「勤務時間帯（日勤帯）のみ」が6.1%と続いている。

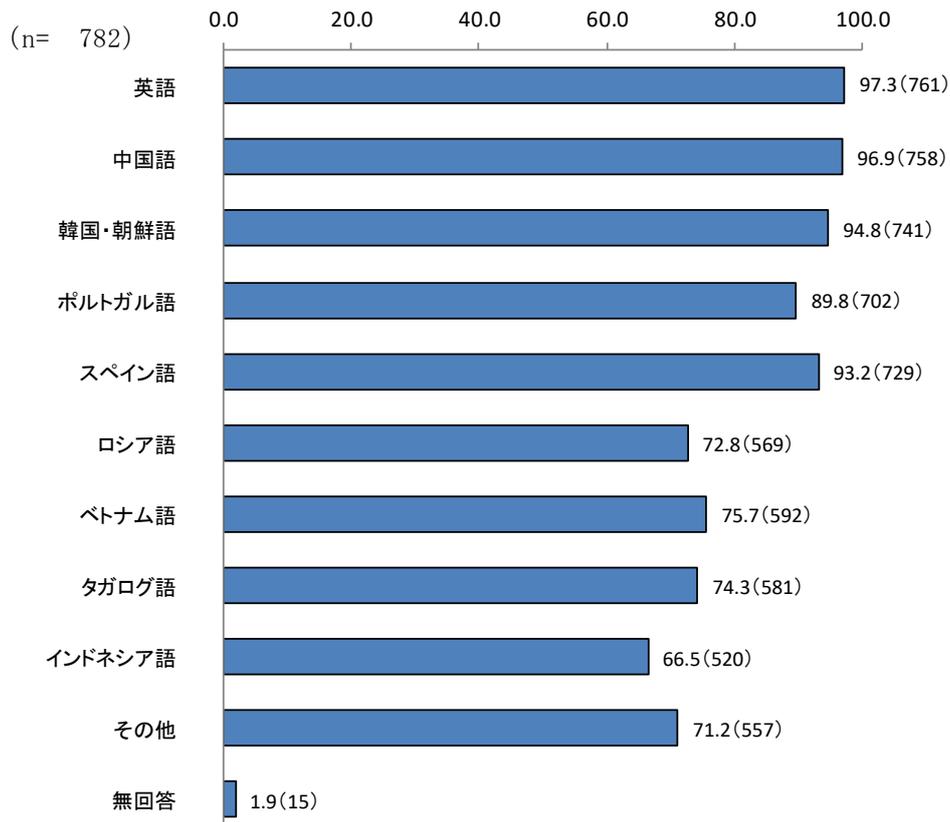
図表 I-2-5-2 電話通訳がカバーしている時間帯
(n= 782)



(5) - 3 電話通訳の対応言語 (MA)

電話通訳の対応言語について聞いたところ、「英語」が97.3%で最も高く、次いで「中国語」が96.9%と続いている。

図表 I-2-5-3 電話通訳の対応言語

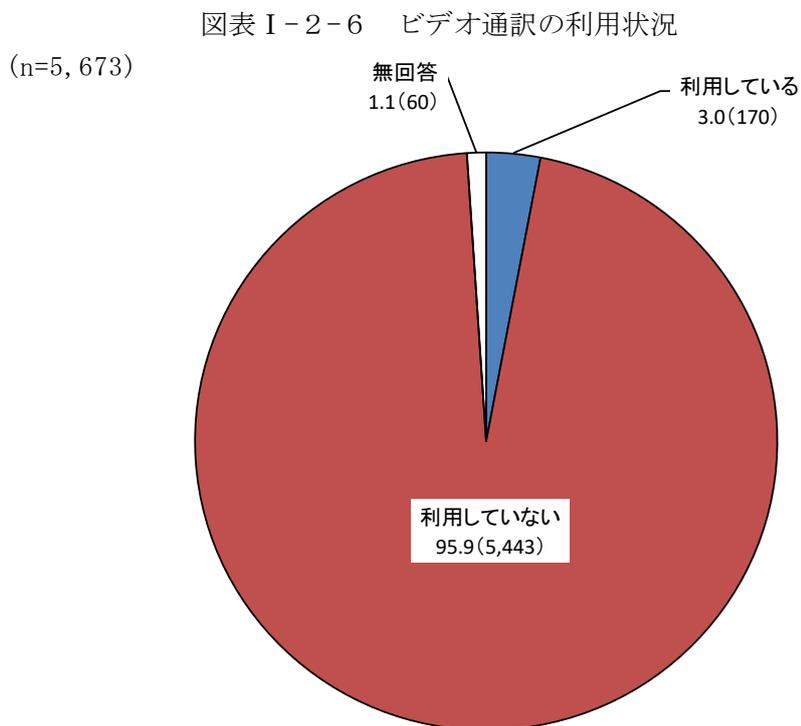


(5) - 4 多言語に対応するためのその他の取組 (FA)

多言語に対応するためのその他の取組について聞いたところ、「GoogleTranslate の翻訳アプリをダウンロードしての対応」、「ポクトーク (翻訳機)」、「スマホアプリ」、「外国人用診療ガイド (財団法人 政策医療振興財団)」等の回答が得られた。

(6) ビデオ通訳（遠隔通訳）の利用状況（SA）

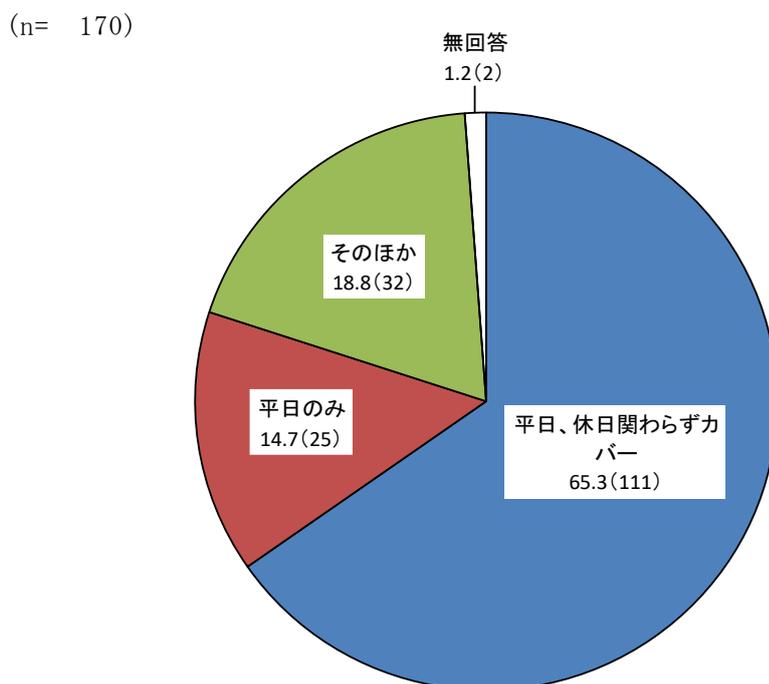
ビデオ通訳（遠隔通訳）の利用状況について聞いたところ、「利用している」が3.0%、「利用していない」が95.9%となっている。



(6) - 1 ビデオ通訳がカバーしている範囲（平日、休日）（SA）

ビデオ通訳がカバーしている範囲について聞いたところ、「平日、休日関わらずカバー」が65.3%で最も高く、次いで「平日のみ」が14.7%と続いている。

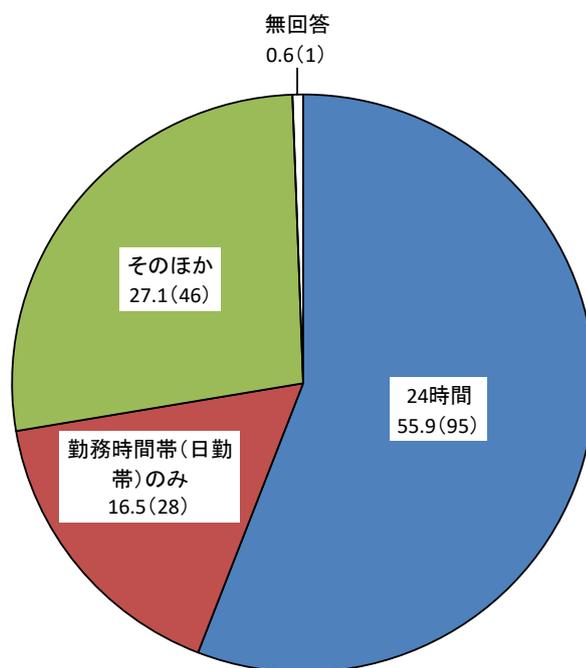
図表 I-2-6-1 ビデオ通訳がカバーしている範囲（平日、休日）



(6) - 2 ビデオ通訳がカバーしている時間帯 (SA)

ビデオ通訳がカバーしている時間帯について聞いたところ、「24時間」が55.9%で最も高く、次いで「勤務時間帯(日勤帯)のみ」が16.5%と続いている。

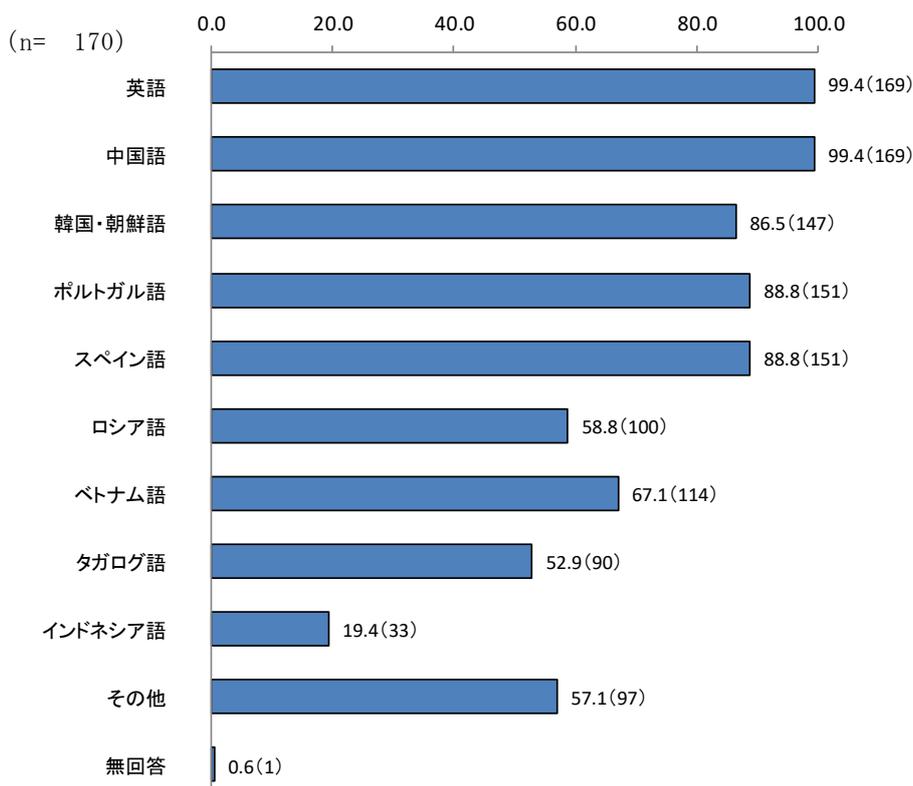
図表 I-2-6-2 ビデオ通訳がカバーしている時間帯
(n= 170)



(6) - 3 ビデオ通訳の対応言語 (MA)

ビデオ通訳の対応言語について聞いたところ、「英語」と「中国語」が99.4%で最も高く、次いで「ポルトガル語」と「スペイン語」が88.8%と続いている。

図表 I-2-6-3 ビデオ通訳の対応言語



(6) - 4 多言語に対応するためのその他の取組 (FA)

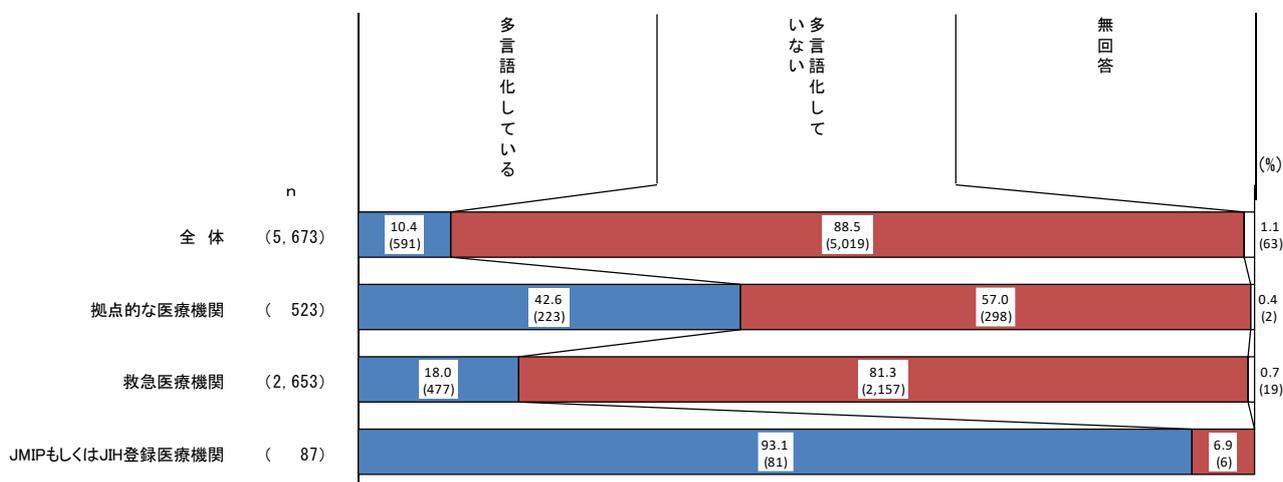
多言語に対応するためのその他の取組について聞いたところ、「Google 翻訳アプリ」、「ポケトークによる対応」、「ジェスチャー、イラスト等」、「医療通訳派遣システム」等の回答が得られた。

(7) 院内案内図、院内表示の多言語化状況 (SA)

院内案内図、院内表示の多言語化状況について聞いたところ、「多言語化している」が10.4%、「多言語化していない」が88.5%となっている。

医療機関の種別でみると、「多言語化している」は拠点的な医療機関では42.6%、救急医療機関では18.0%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では93.1%となっている。

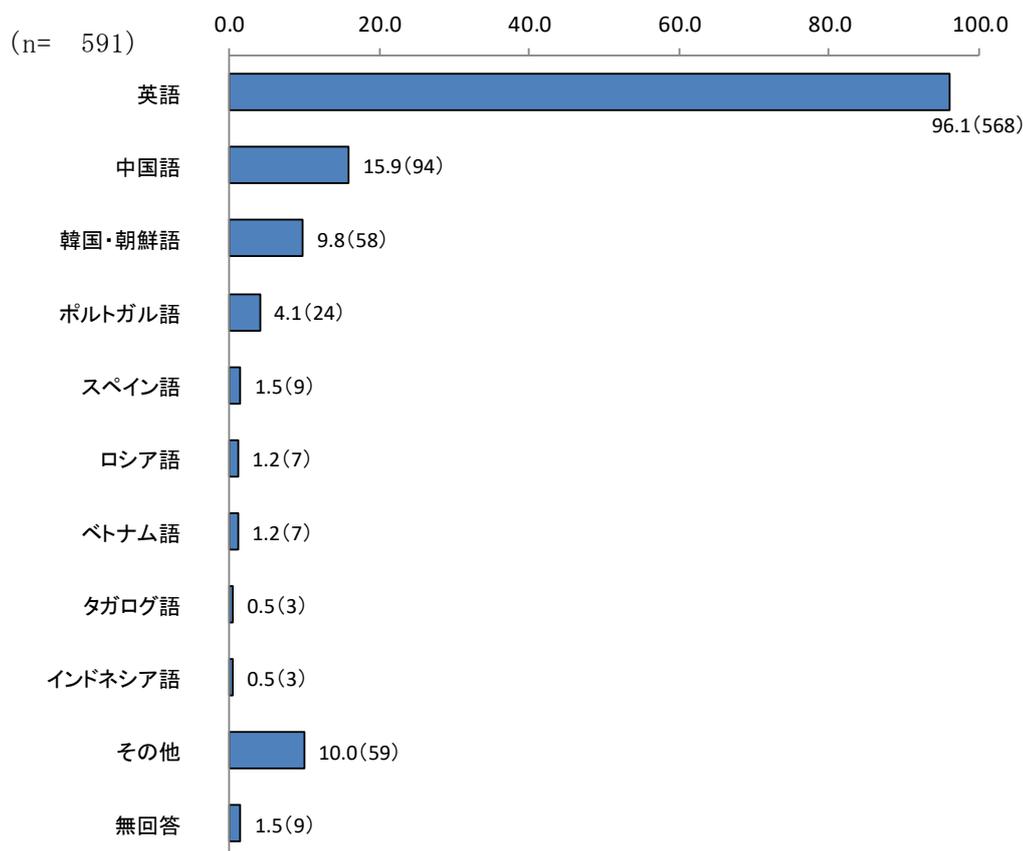
図表 I-2-7 院内案内図、院内表示の多言語化状況



(7) - 1 院内案内図、院内表示の対応言語 (MA)

院内案内図、院内表示の対応言語について聞いたところ、「英語」が96.1%で最も高く、次いで「中国語」が15.9%と続いている。

図表 I-2-7-1 院内案内図、院内表示の対応言語

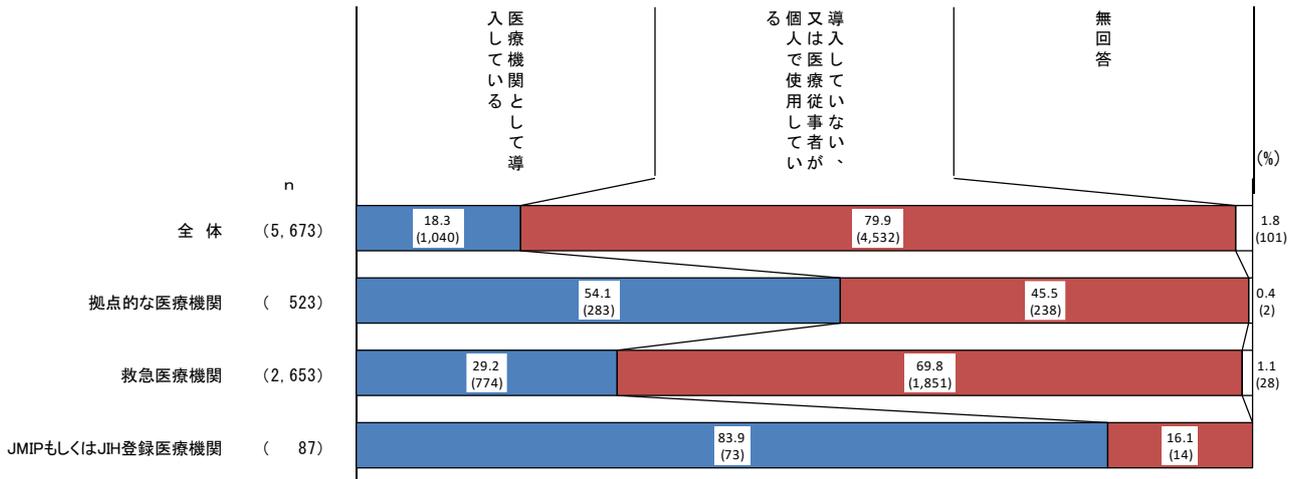


(8) タブレット端末等の利用状況 (SA)

タブレット端末等の利用状況について聞いたところ、「医療機関として導入している」が18.3%、「導入していない、又は医療従事者が個人で使用している」が79.9%となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では「医療機関として導入している」が54.1%、「導入していない、又は医療従事者が個人で使用している」が45.5%、救急医療機関では「医療機関として導入している」が29.2%、「導入していない、又は医療従事者が個人で使用している」とともに69.8%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では「医療機関として導入している」が83.9%、「導入していない、又は医療従事者が個人で使用している」とともに16.1%となっている。

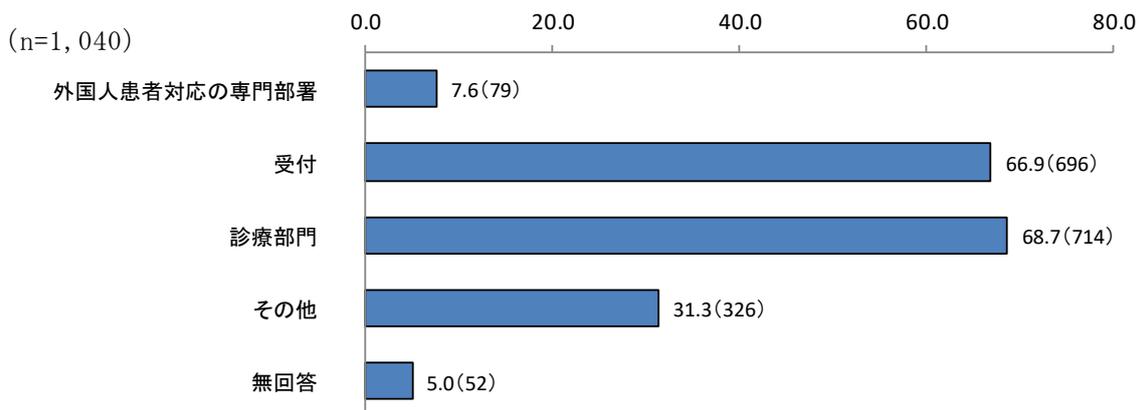
図表 I-2-8 タブレット端末等の利用状況



(8) - 1 タブレット端末等を利用できる職員部門 (MA)

タブレット端末等を利用できる職員部門について聞いたところ、「診療部門」が68.7%で最も高く、次いで「受付」が66.9%と続いている。

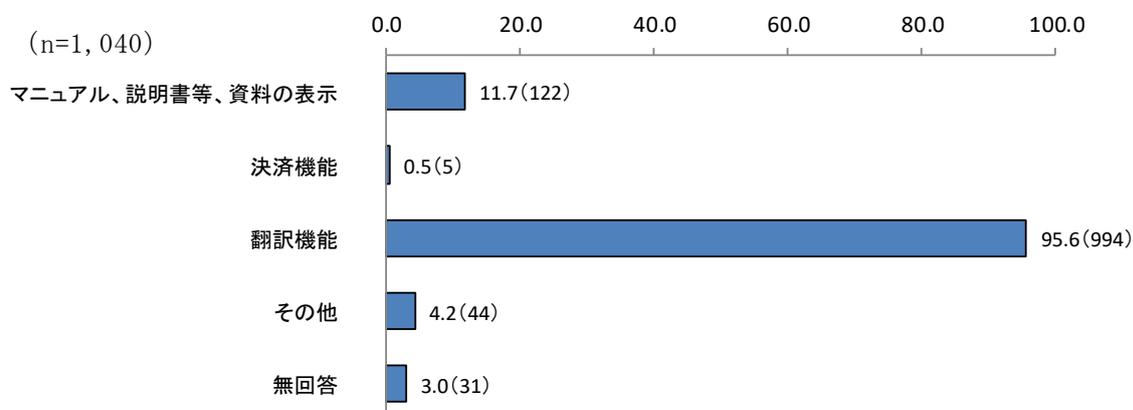
図表 I-2-8-1 タブレット端末等を利用できる職員部門



(8) - 2 タブレット端末等に備わっている機能 (MA)

タブレット端末等に備わっている機能について聞いたところ、「翻訳機能」が95.6%で最も高く、次いで「マニュアル、説明書等、資料の表示」が11.7%と続いている。

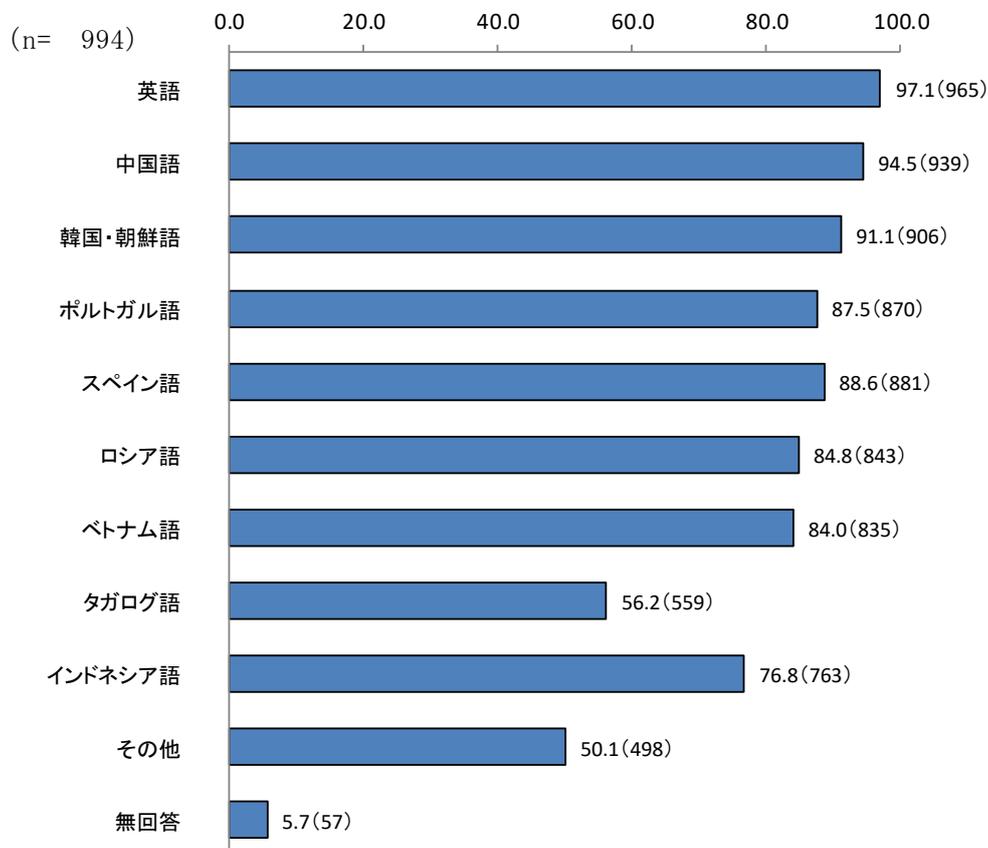
図表 I-2-8-2 タブレット端末等に備わっている機能



(8) - 3 翻訳機能の対応言語 (MA)

翻訳機能の対応言語について聞いたところ、「英語」が97.1%で最も高く、次いで「中国語」が94.5%と続いている。

図表 I-2-8-3 翻訳機能の対応言語



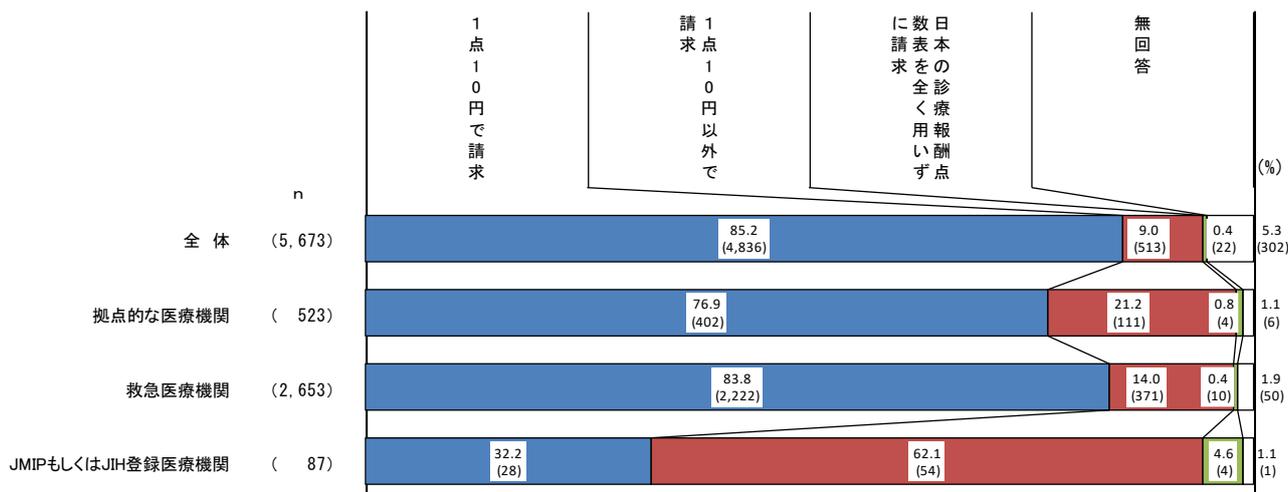
3. 医療費等について

(1) 医療費の請求方法 (SA)

医療費の請求方法について聞いたところ、「1点10円で請求」が85.2%で最も高く、次いで「1点10円以外で請求」が高くなっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では「1点10円で請求」が76.9%で最も高く、救急医療機関では「1点10円で請求」が83.8%で最も高く、JMIPもしくはJIH登録医療機関では「1点10円以外で請求」が62.1%で最も高くなっている。

図表 I-3-1 医療費の請求方法

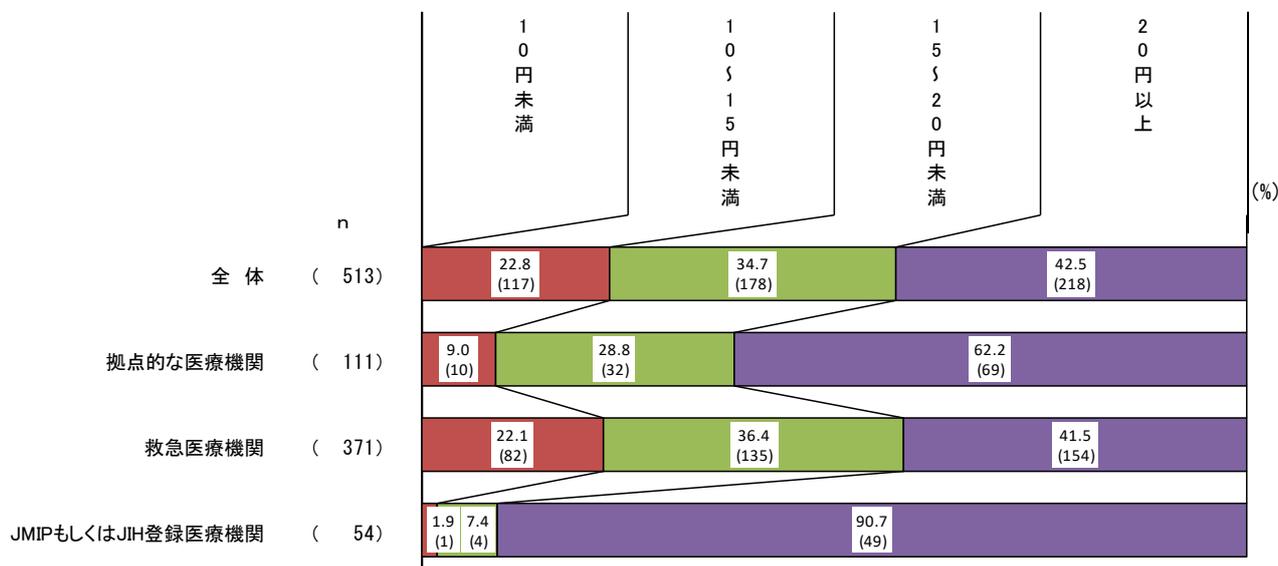


(1) - 1 診療報酬点数「1点」あたりの金額 (FA)

『1点10円以外で請求』と回答した施設に診療報酬点数「1点」あたりの金額について聞いたところ、「20円以上」が42.5%で最も高く、次いで「15～20円未満」が34.7%と続いている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では「20円以上」が62.2%で最も高く、救急医療機関では「20円以上」が41.5%で最も高く、次いで「15～20円未満」が36.4%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「20円以上」が90.7%で最も高くなっている。

図表 I-3-1-1 診療報酬点数「1点」あたりの金額

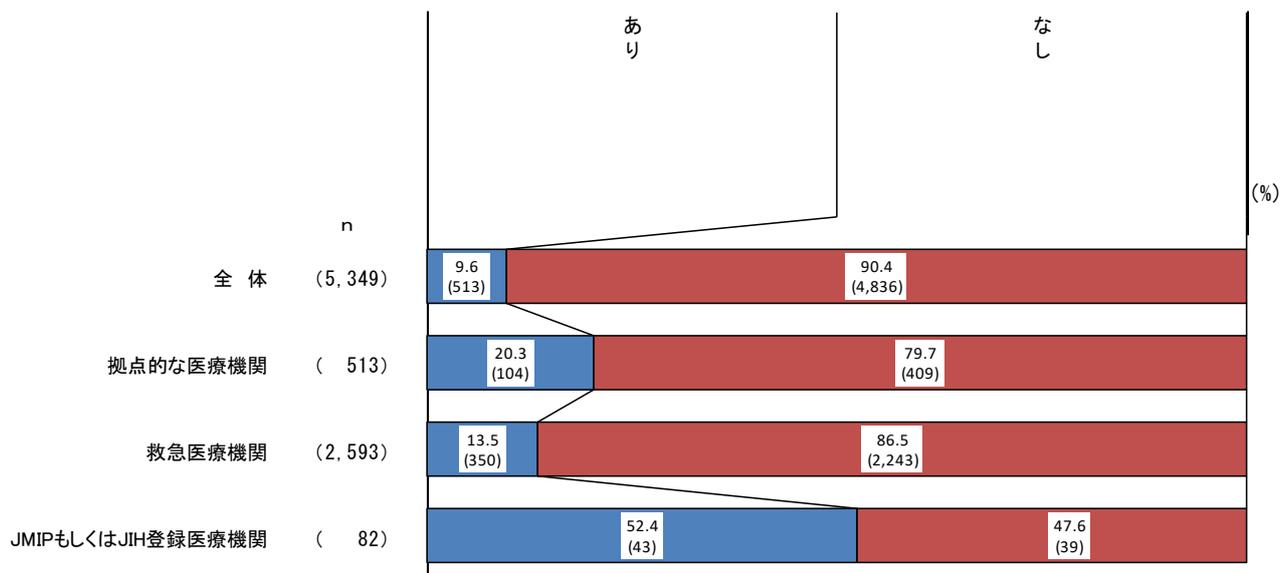


(1) - 2 追加的費用の請求の有無 (SA)

追加的費用の請求の有無について聞いたところ、「あり」が9.6%、「なし」が90.4%となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では「あり」が20.3%、「なし」が79.7%、救急医療機関では「あり」が13.5%、「なし」が86.5%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では「あり」が52.4%、「なし」が47.6%となっている。

図表 I-3-1-2 追加的費用の請求の有無

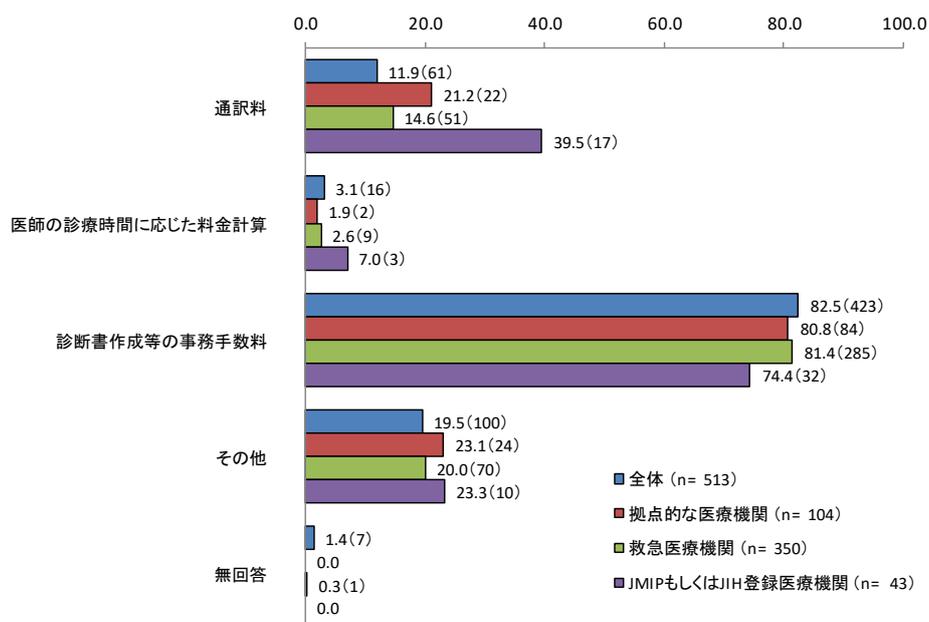


(1) - 3 追加的費用の内容 (MA)

追加的費用の内容について聞いたところ、「診断書作成等の事務手数料」が82.5%で最も高く、次いで「通訳料」が11.9%と続いている。

医療機関の種別でみると、いずれの医療機関でも「診断書作成等の事務手数料」が最も高く、拠点的な医療機関では80.8%、救急医療機関では81.4%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では74.4%となっている。「通訳料」はJMIPもしくはJIH登録医療機関が比較的高く39.5%で、拠点的な医療機関では21.2%、救急医療機関では14.6%となっている。

図表 I-3-1-3 追加的費用の内容



(1) - 4 追加請求の金額 (FA)

通訳料の具体的な金額について回答があったのは、1回あたりの通訳料で12件(19.7%)、10分あたりの通訳料で5件(8.2%)となっており、その平均請求金額はそれぞれ2,376.67円(1回あたり)、990.00円(10分あたり)となっている。

医療機関の種別で見ると、拠点的な医療機関では通訳料の具体的な金額について回答があったのは、1回あたりの通訳料で5件(22.7%)となっており、その平均請求金額は3,236.00円となっている。救急医療機関では通訳料の具体的な金額について回答があったのは、1回あたりの通訳料で12件(23.5%)となっており、その平均請求金額は2,376.67円となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では通訳料の具体的な金額について回答があったのは、1回あたりの通訳料で2件(11.8%)となっており、その平均請求金額は4,250.00円となっている。

図表 I-3-1-4 追加請求の金額(参考)

1回あたりの通訳料			
	通訳料を 追加請求して いる病院数	金額の 回答有	1回あたりの通 訳料の平均 (円)
全体	61	12	2376.67
	100.0	19.7	
拠点的な 医療機関	22	5	3236.00
	100.0	22.7	
救急医療機関	51	12	2376.67
	100.0	23.5	
JMIPもしくは JIH登録医療機関	17	2	4250.00
	100.0	11.8	
10分あたりの通訳料			
	通訳料を 追加請求して いる病院数	金額の 回答有	1回あたりの通 訳料の平均 (円)
全体	61	5	990.00
	100.0	8.2	

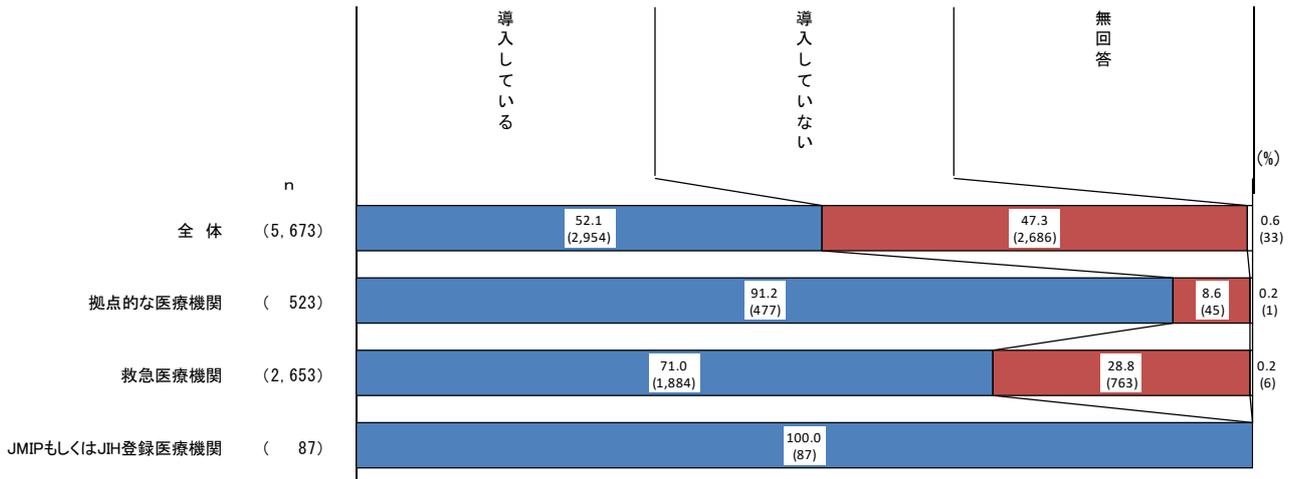
4. キャッシュレス決済について

(1) カード（クレジットカード・デビットカード）を利用した決済の導入状況（SA）

カードを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が52.1%、「導入していない」が47.3%となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では「導入している」が91.2%、「導入していない」が8.6%、救急医療機関では「導入している」が71.0%、「導入していない」が28.8%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では「導入している」が100.0%となっている。

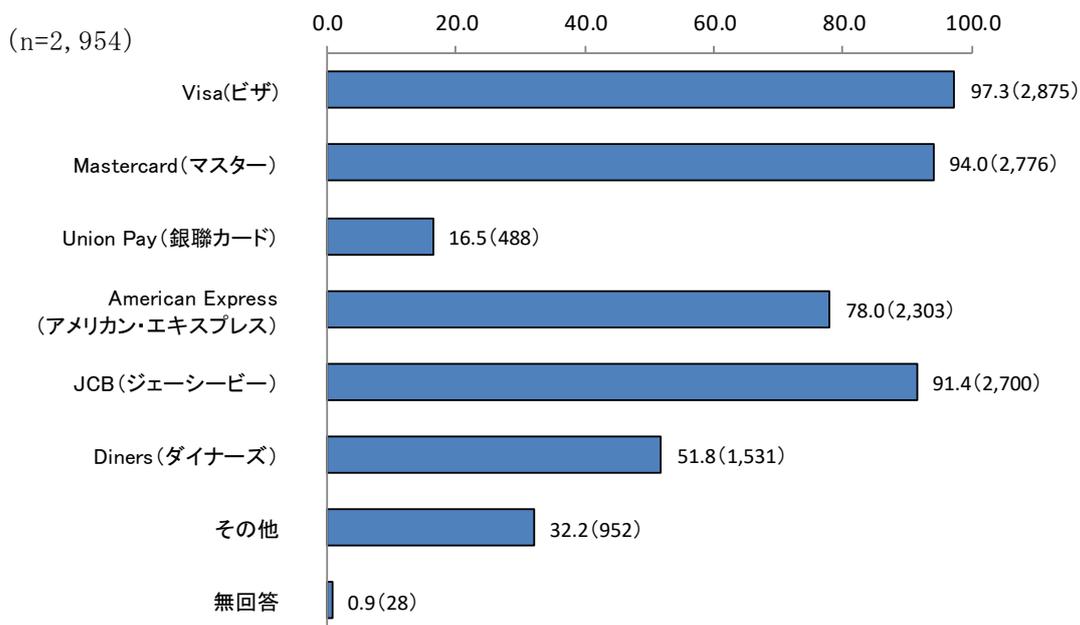
図表 I-4-1 カード（クレジットカード・デビットカード）を利用した決済の導入状況



(1) - 1 導入している対応ブランド（MA）

導入している対応ブランドについて聞いたところ、「Visa（ビザ）」が97.3%で最も高く、次いで「Mastercard（マスター）」が94.0%と続いている。

図表 I-4-1-1 導入している対応ブランド

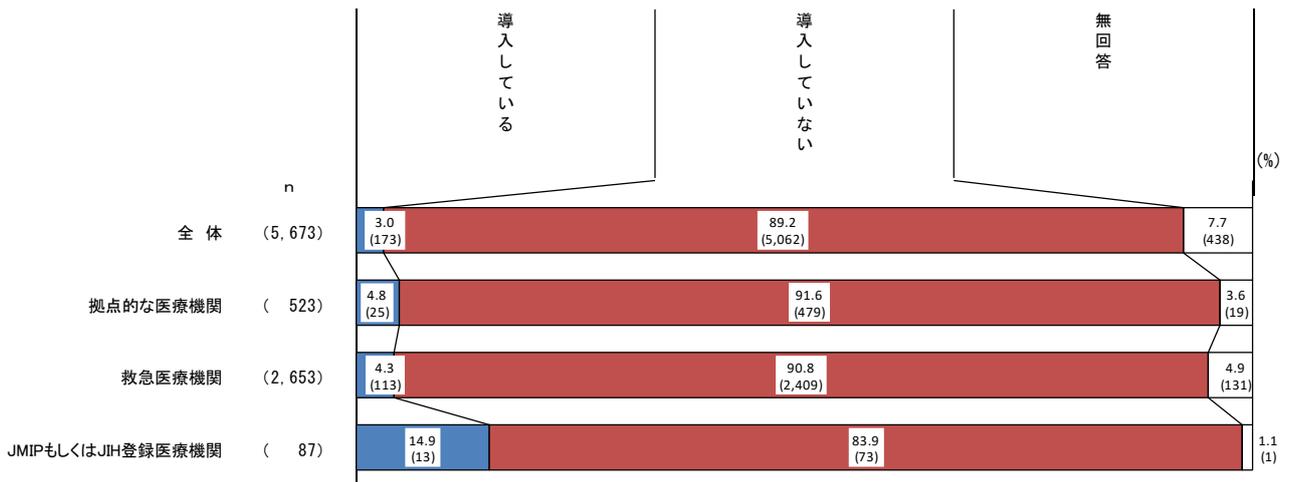


(2) 非接触カードを利用した決済の導入状況 (SA)

非接触カードを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が3.0%、「導入していない」が89.2%となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では「導入している」が4.8%、「導入していない」が91.6%、救急医療機関では「導入している」が4.3%、「導入していない」が90.8%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では「導入している」が14.9%、「導入していない」が83.9%となっている。

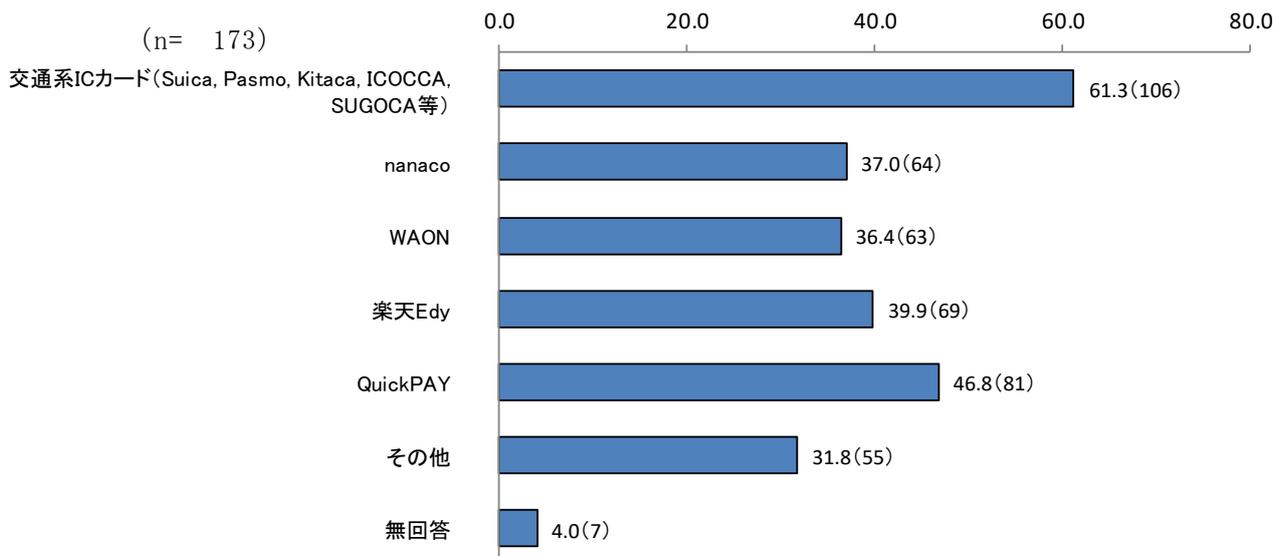
図表 I-4-2 非接触カードを利用した決済の導入状況



(2) - 1 対応している電子マネー (MA)

対応している電子マネーについて聞いたところ、「交通系 IC カード」が61.3%で最も高く、次いで「QuickPAY」が46.8%と続いている。

図表 I-4-2-1 対応している電子マネー

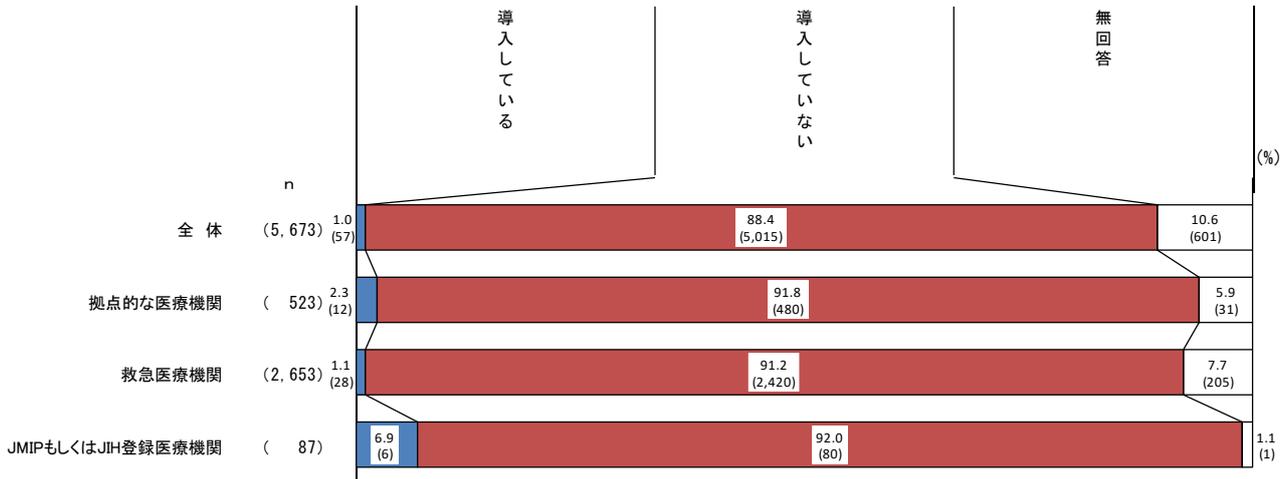


(3) QRコードを利用した決済の導入状況 (SA)

QRコードを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が1.0%、「導入していない」が88.4%となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では「導入している」が2.3%「導入していない」が91.8%、救急医療機関では「導入している」が1.1%「導入していない」が91.2%、外国人患者受入医療機関では「導入している」が6.9%「導入していない」が92.0%となっている。

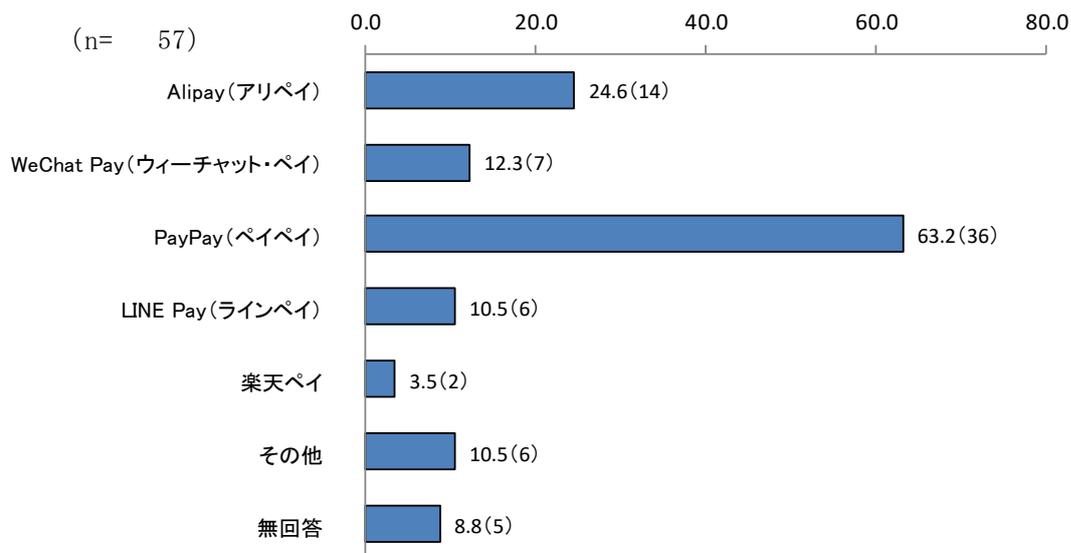
図表 I-4-3 QRコードを利用した決済の導入状況



(3) - 1 対応しているサービス (MA)

対応しているサービスについて聞いたところ、「PayPay(ペイペイ)」が63.2%で最も高く、次いで「Alipay (アリペイ)」が24.6%、「WeChat Pay (ウィーチャット・ペイ)」が12.3%となっている。

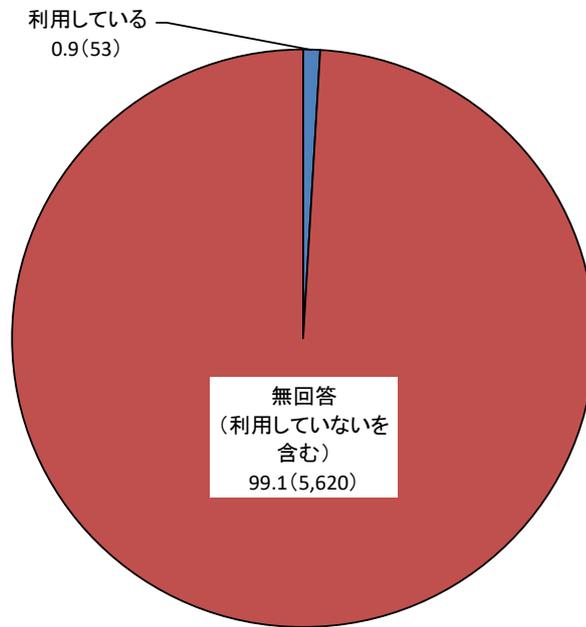
図表 I-4-3-1 対応しているサービス



(4) その他の決済サービスの利用状況 (FA)

その他の決済サービスの利用状況について聞いたところ、「利用している」が0.9%、「無回答（利用していないを含む）」が99.1%となっている。

図表 I-4-4 その他の決済サービスの導入状況
(n=5,673)



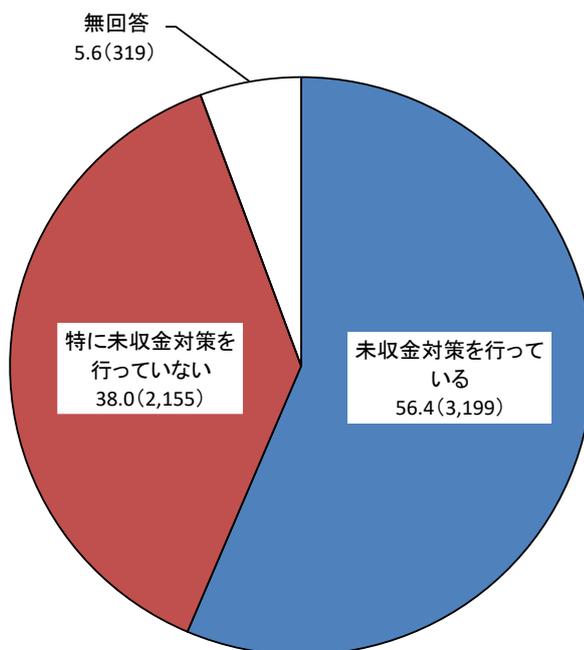
5. 未収金等への対策について

(1) 未収金対策の実施状況 (SA)

外国人患者の受入に関し、未収金対策の実施について聞いたところ、「未収金対策を行っている」が56.4%、「未収金対策を行っていない」が38.0%となっている。

図表 I-5-1 未収金対策の実施状況

(n=5,673)

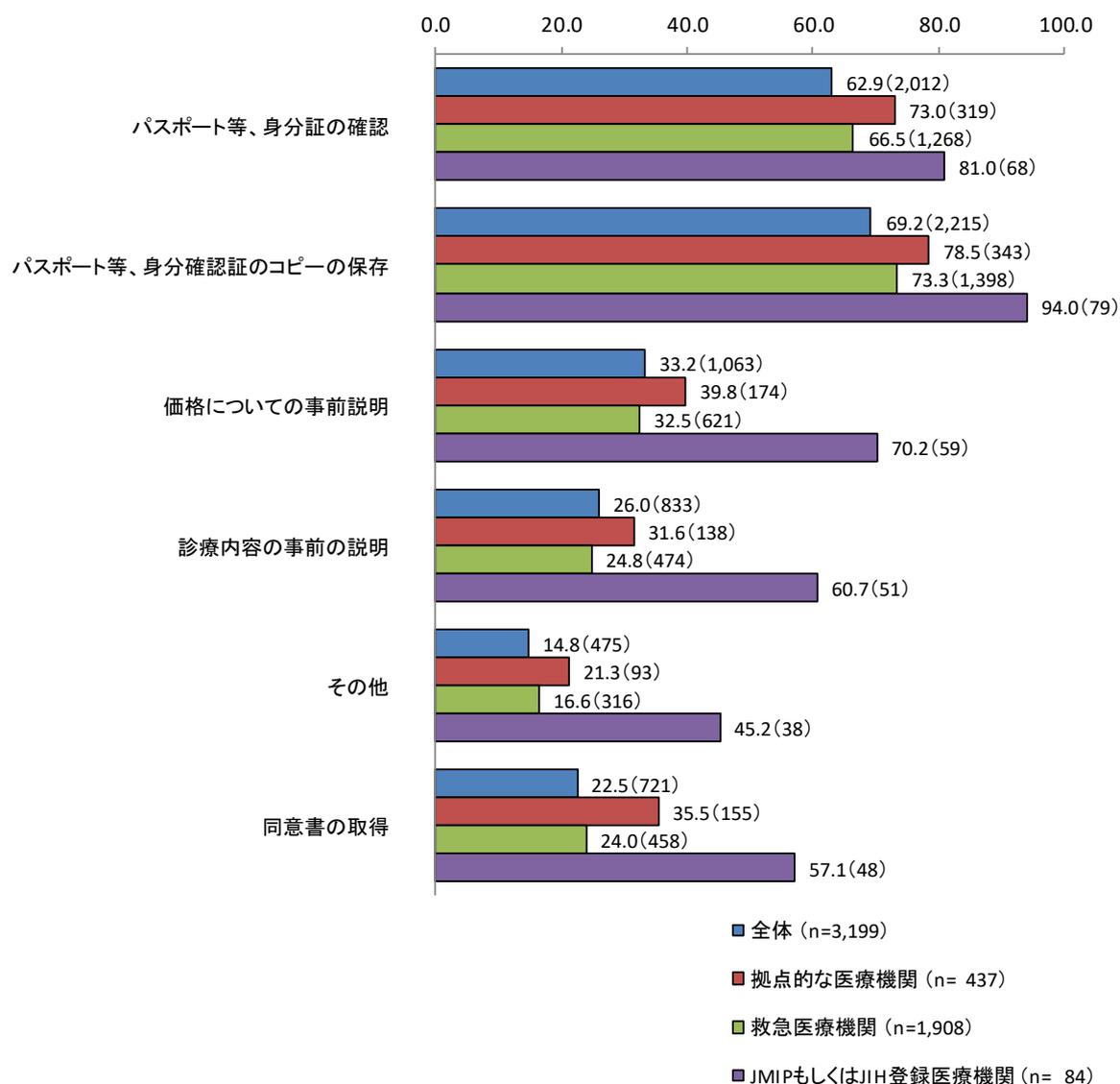


(2) 外国人患者に対して実施している取組 (MA)

外国人患者に対して実施している取組について聞いたところ、「パスポート等、身分確認証のコピーの保存」が69.2%で最も高く、次いで「パスポート等、身分証の確認」が62.9%と続いている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では「パスポート等、身分確認証のコピーの保存」が78.5%で最も高く、次いで「パスポート等、身分証の確認」が73.0%と続いている。救急医療機関では「パスポート等、身分確認証のコピーの保存」が73.3%で最も高く、次いで「パスポート等、身分証の確認」が66.5%と続いている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では「パスポート等、身分確認証のコピーの保存」が94.0%で最も高く、次いで「パスポート等、身分証の確認」が81.0%と続いている。

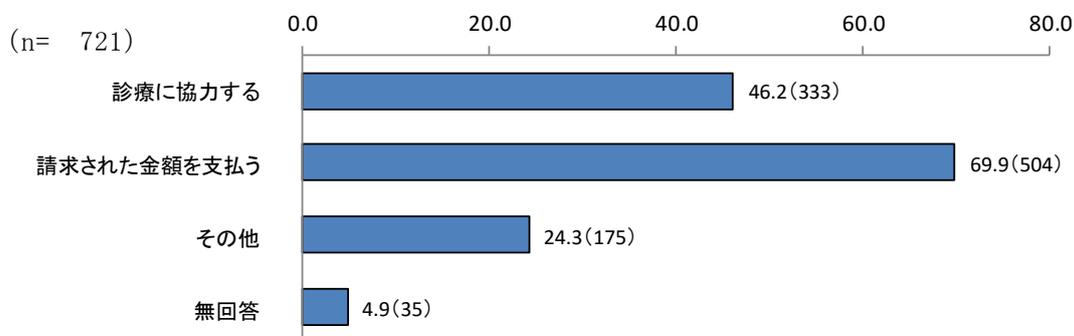
図表 I-5-2 外国人患者に対して実施している取組



(2) - 1 同意書の同意内容 (MA)

外国人患者に『同意書の取得』を実施している施設（721 施設、22.5%）に同意書の同意内容について聞いたところ、「請求された金額を支払う」が 69.9%で最も高く、次いで「診療に協力する」が 46.2%と続いている。

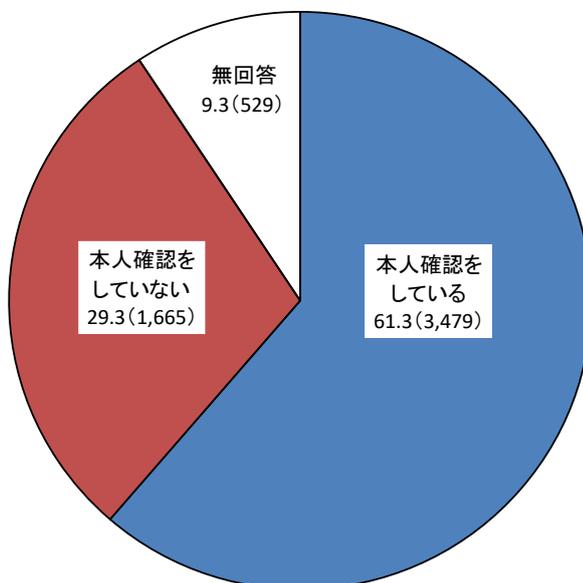
図表 I-5-2-1 同意書の同意内容



(3) 在留外国人への本人確認実施の有無 (SA)

在留外国人への本人確認実施の有無について聞いたところ、「本人確認をしている」が 61.3%、「本人確認をしていない」が 29.3%となっている。

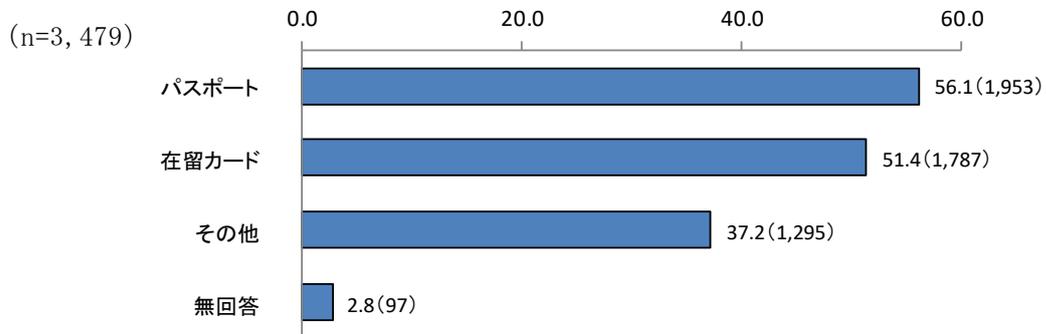
図表 I-5-3 在留外国人への本人確認実施の有無
(n=5, 673)



(3) - 1 本人確認時に提示を求めているもの (MA)

本人確認時に提示を求めているものについて聞いたところ、「パスポート」が56.1%で最も高く、次いで「在留カード」が51.4%と続いている。

図表 I-5-3-1 本人確認時に提示を求めているもの



II. 調査票 B 結果

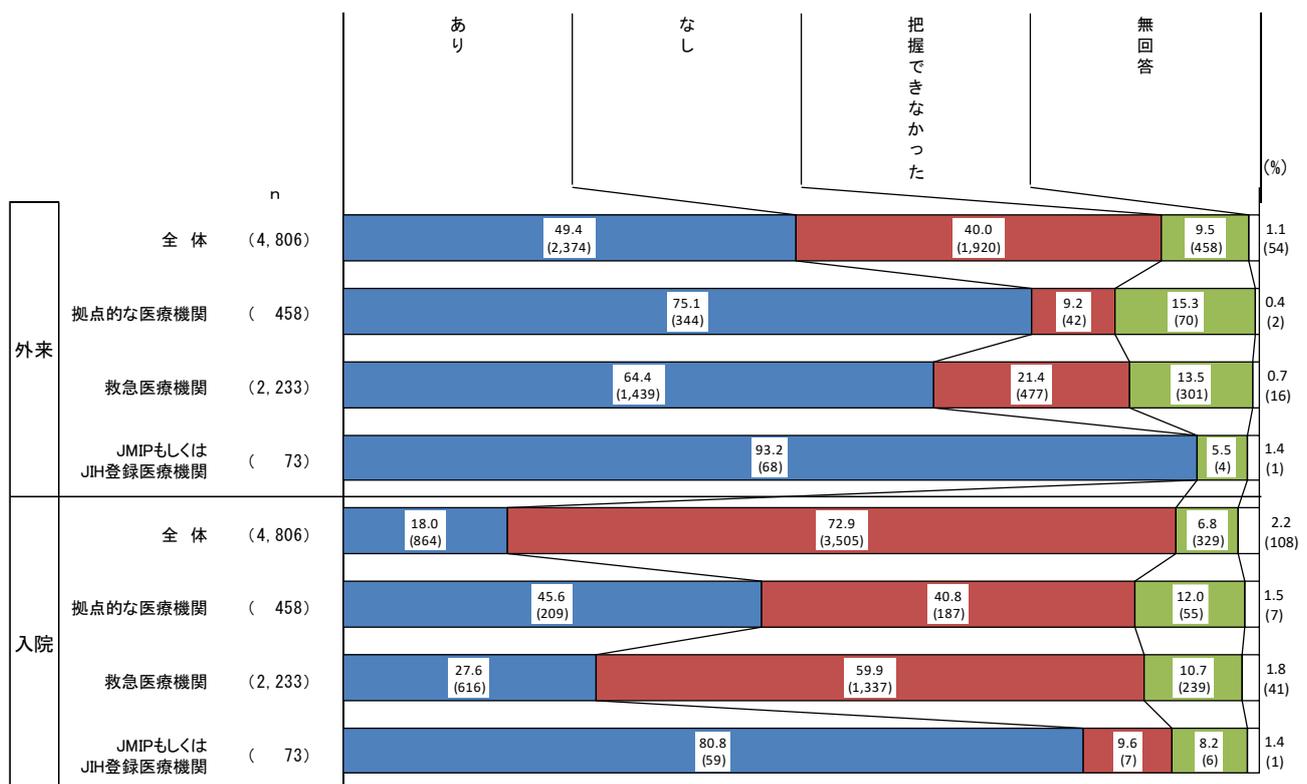
1. 外国人患者の受入実績

(1) 在留外国人患者受入の有無 (SA)

在留外国人患者受入の有無について聞いたところ、外来では「あり」が49.4%、「なし」が40.0%、「把握できなかった」が9.5%となっており、入院では「あり」が18.0%、「なし」が72.9%、「把握できなかった」が6.8%となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関は外来では「あり」が75.1%、「なし」が9.2%、「把握できなかった」が15.3%となっており、入院では「あり」が45.6%、「なし」が40.8%、「把握できなかった」が12.0%となっている。救急医療機関は外来では「あり」が64.4%、「なし」が21.4%、「把握できなかった」が13.5%となっており、入院では「あり」が27.6%、「なし」が59.9%、「把握できなかった」が10.7%となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関は外来では「あり」が93.2%、「把握できなかった」が5.5%となっており、入院では「あり」が80.8%、「なし」が9.6%、「把握できなかった」が8.2%となっている。

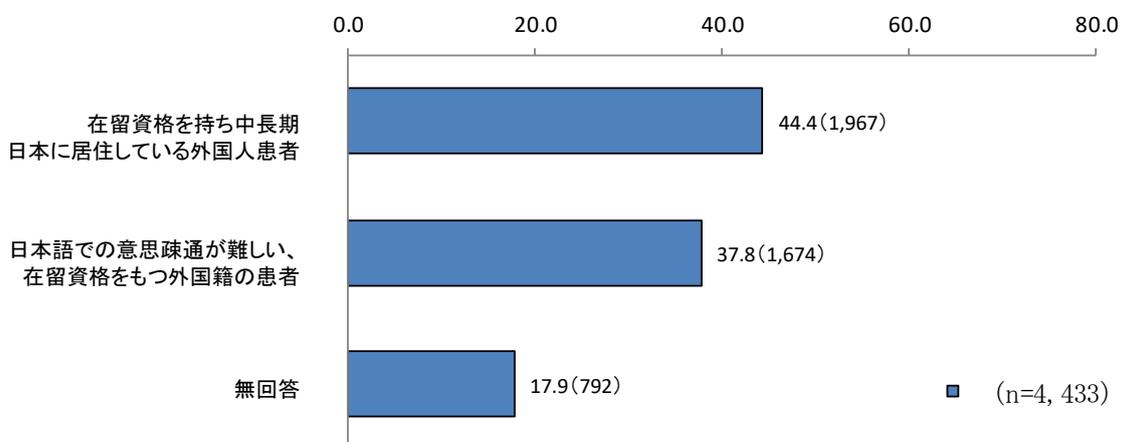
図表 II-1-1 在留外国人患者受入の有無



(1) - 1 在留外国人患者の把握方法 (MA)

在留外国人患者の把握方法について聞いたところ、「在留資格を持ち中長期日本に居住している外国人患者」が44.4%、「日本語での意思疎通が難しい、在留資格を持つ外国籍の患者」が37.8%となっている。

図表Ⅱ-1-1-1 把握している在留外国人患者



(1) - 2 受け入れた在留外国人患者の延べ人数 (FA)

受け入れた在留外国人患者の延べ人数について回答があったのは、外来で2,195件(92.5%)、入院で793件(91.8%)となっており、延べ人数の総数はそれぞれ66,445人(外来)、9,967人(入院)、1医療機関あたりの患者数はそれぞれ30.27人(外来)、12.57人(入院)となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では受け入れた在留外国人患者の延べ人数について回答があったのは、外来で322件(93.6%)、入院で192件(91.9%)となっており、延べ人数の総数はそれぞれ22,135人(外来)、3,347人(入院)、平均人数はそれぞれ68.74人(外来)、17.43人(入院)となっている。救急医療機関では受け入れた在留外国人患者の延べ人数について回答があったのは、外来で1,332件(92.6%)、入院で570件(92.5%)となっており、延べ人数はそれぞれ54,039人(外来)、7,923人(入院)、1医療機関あたりの患者数はそれぞれ40.57人(外来)、13.90人(入院)となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では受け入れた在留外国人患者の延べ人数について回答があったのは、外来で64件(94.1%)、入院で55件(93.2%)となっており、延べ人数はそれぞれ12,153人(外来)、1,566人(入院)、1医療機関あたりの患者数はそれぞれ189.89人(外来)、28.47人(入院)となっている。

図表Ⅱ-1-1-2 受け入れた在留外国人患者の延べ人数

外来					
	回答者全体	有効回答 機関数	無回答	受入患者総数 (人)	1医療機関 あたりの 患者数(人)
全体	2,374	2,195	179	66,445	30.27
	100.0	92.5	7.5		
拠点的な 医療機関	344	322	22	22,135	68.74
	100.0	93.6	6.4		
救急医療機関	1439	1332	107	54,039	40.57
	100.0	92.6	7.4		
JMIPもしくは JIH登録医療機関	68	64	4	12,153	189.89
	100.0	94.1	5.9		
入院					
	回答者全体	有効回答 機関数	無回答	受入患者総数 (人)	1医療機関 あたりの 患者数(人)
全体	864	793	71	9,967	12.57
	100.0	91.8	8.2		
拠点的な 医療機関	209	192	17	3,347	17.43
	100.0	91.9	8.1		
救急医療機関	616	570	46	7,923	13.90
	100.0	92.5	7.5		
JMIPもしくは JIH登録医療機関	59	55	4	1,566	28.47
	100.0	93.2	6.8		

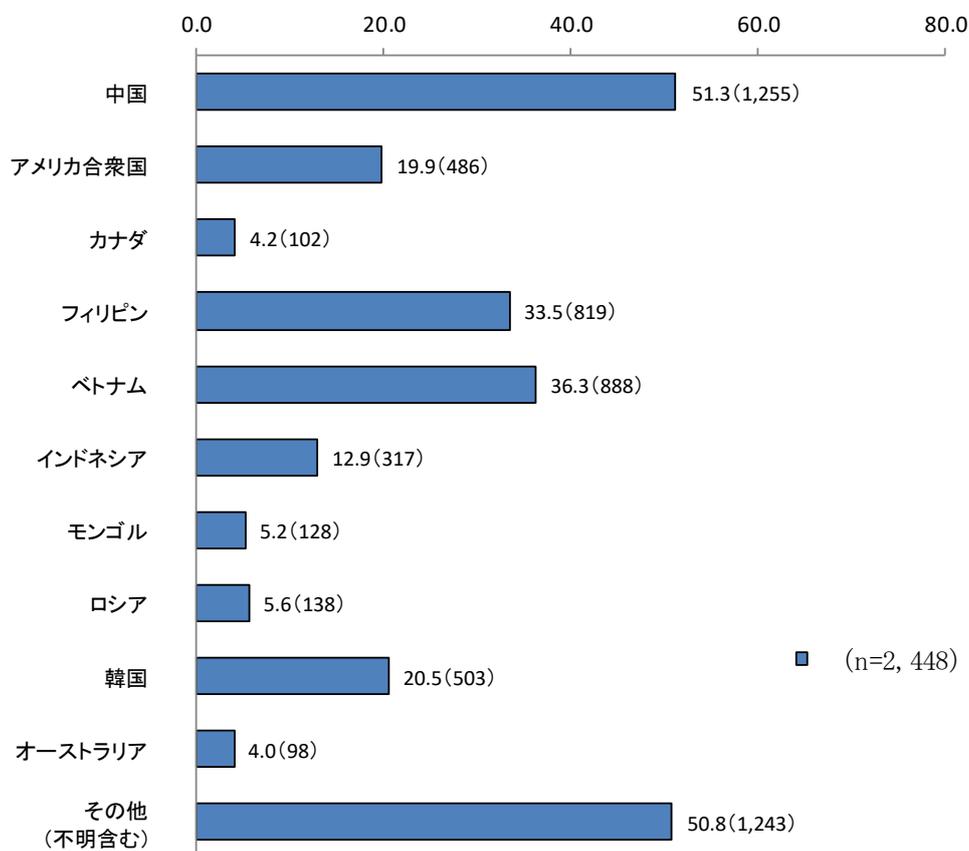
※表中の「1医療機関あたりの患者数」は、「受入患者総数」を「有効回答期間数」割って算出している。

(1) - 3 受け入れた在留外国人患者の国籍 (MA)

受け入れた在留外国人患者の国籍について聞いたところ、「中国」が51.3%で最も高く、次いで「ベトナム」が36.3%と続いている。

また、国籍別在留外国人患者の総数については、下表の通りとなっている。

図表Ⅱ-1-1-3 受け入れた在留外国人患者の国籍



図表Ⅱ-1-1-3-1 国籍別在留外国人患者の総数

	中国	アメリカ合衆国	カナダ	フィリピン	ベトナム	インドネシア	モンゴル	ロシア	韓国	オーストラリア	その他 (不明含む)
病院数 (件)	1,255	486	102	819	888	317	128	138	503	98	1,243
総数 (人)	12,585	2,074	166	4,612	4,106	681	241	296	2,696	178	28,358
平均 (人)	10.02	4.22	1.33	5.61	4.60	2.05	1.59	1.89	5.34	1.55	22.81

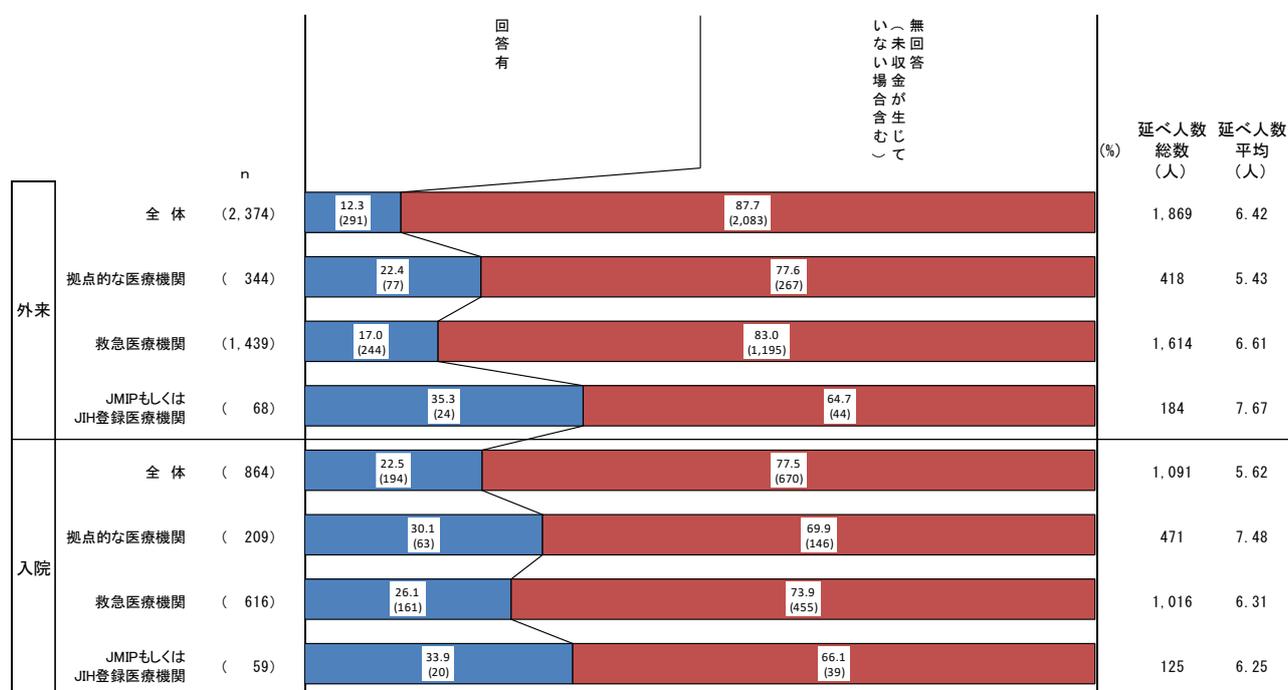
※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した施設数で割って算出している。

(1) - 4 未収金を生じた在留外国人患者 (FA)

未収金を生じた在留外国人患者数について回答があったのは、外来で 12.3%、入院で 22.5%となっており、延べ人数はそれぞれ 1,869 人 (外来)、1,091 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 6.42 人 (外来)、5.62 人 (入院) となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では未収金を生じた在留外国人患者数について回答があったのは、外来で 22.4%、入院で 30.1%となっており、延べ人数はそれぞれ 418 人 (外来)、471 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 5.43 人 (外来)、7.48 人 (入院) となっている。救急医療機関では未収金を生じた在留外国人患者数について回答があったのは、外来で 17.0%、入院で 26.1%となっており、延べ人数はそれぞれ 1,614 人 (外来)、1,016 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 6.61 人 (外来)、6.31 人 (入院) となっている。JMIP もしくは JIH 登録医療機関では未収金を生じた在留外国人患者数について回答があったのは、外来で 35.3%、入院で 33.9%となっており、延べ人数はそれぞれ 184 人 (外来)、125 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 7.67 人 (外来)、6.25 人 (入院) となっている。

図表 II-1-1-4-1 未収金を生じた在留外国人患者 (人数)

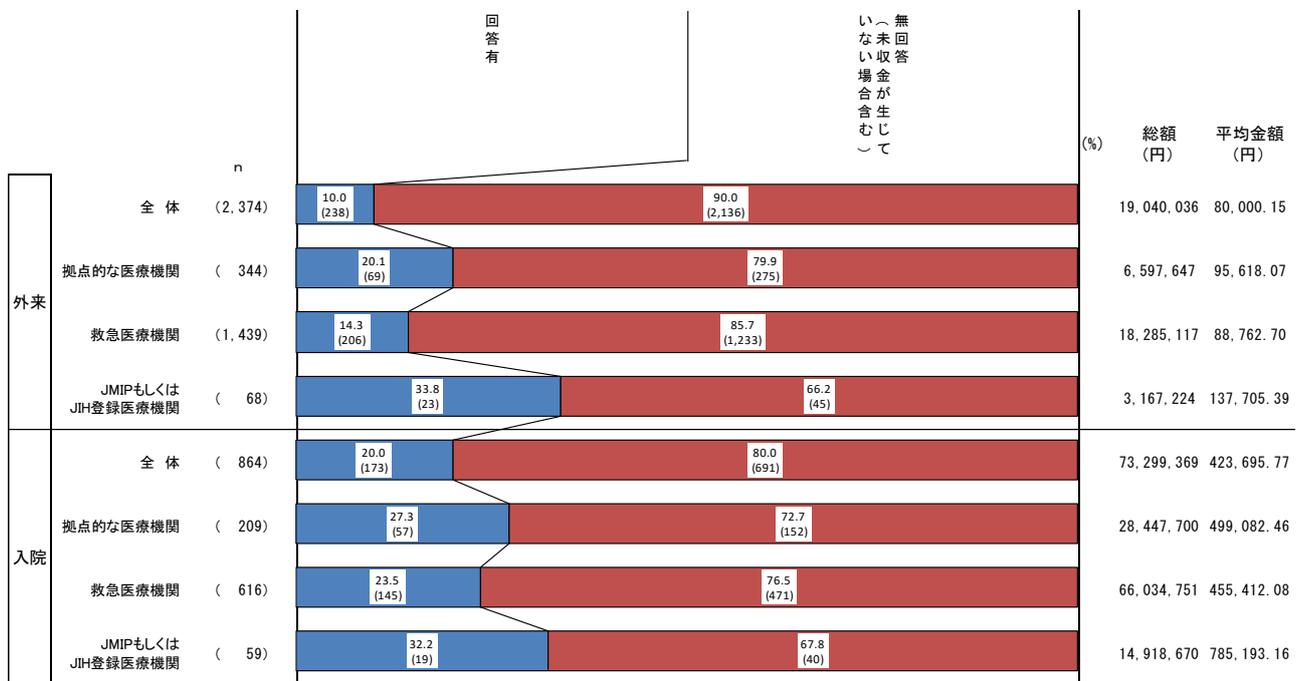


※表中の「延べ人数平均」は、「延べ人数総数」を「回答有」の機関数で割って算出している。

未収金の合計金額について回答があったのは、外来で10.0%、入院で20.0%となっており、総額はそれぞれ19,040,036円（外来）、73,299,369円（入院）、平均金額はそれぞれ80,000.15円（外来）、423,695.77円（入院）となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では未収金の合計金額について回答があったのは、外来で20.1%、入院で27.3%となっており、総額はそれぞれ6,597,647円（外来）、28,447,700円（入院）、平均金額はそれぞれ95,618.07円（外来）、499,082.46円（入院）となっている。救急医療機関では未収金の合計金額について回答があったのは、外来で14.3%、入院で23.5%となっており、総額はそれぞれ18,285,117円（外来）、66,034,751円（入院）、平均金額はそれぞれ88,762.70円（外来）、455,412.08円（入院）となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では未収金の合計金額について回答があったのは、外来で33.8%、入院で32.2%となっており、総額はそれぞれ3,167,224円（外来）、14,918,670円（入院）、平均金額はそれぞれ137,705.39円（外来）、785,193.16円（入院）となっている。

図表Ⅱ-1-1-4-2 未収金を生じた在留外国人患者（金額）



※表中の「平均金額」は、機関数で割って算出している。

(1) - 5 公的医療保険利用の有無（在留外国人）(FA)

在留外国人患者の公的医療保険利用の有無について聞いたところ、外来では「あり」と回答があった施設数は2,039件で、人数の総数が40,525人、平均が19.87人、「なし」と回答があった施設数は732件で、人数の総数が4,452人、平均が6.08人となっている。

また、入院では「あり」と回答があった施設数は665件で、人数の総数が3,451人、平均が5.19人、「なし」と回答があった施設数は153件で、人数の総数が500人、平均が3.27人となっている。

図表Ⅱ-1-1-5 公的医療保険利用の有無（在留外国人）

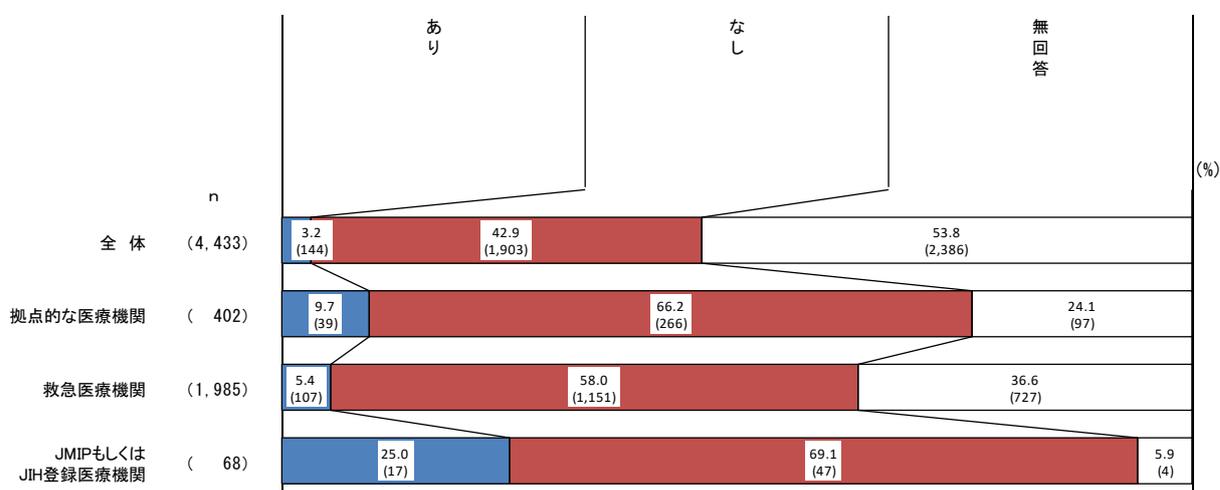
	外来			入院			
	施設数 (件)	総数 (人)	平均 (人)		施設数 (件)	総数 (人)	平均 (人)
あり	2,039	40,525	19.87	あり	665	3,451	5.19
なし	732	4,452	6.08	なし	153	500	3.27

(1) - 6 民間医療保険利用の有無（在留外国人）(SA)

在留外国人患者の民間医療保険利用の有無について聞いたところ、「あり」が3.2%、「なし」が42.9%となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では「あり」が9.7%、「なし」が66.2%となっている。また、救急医療機関では「あり」が5.4%、「なし」が58.0%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では「あり」が25.0%、「なし」が69.1%となっている。

図表Ⅱ-1-1-6 民間医療保険利用の有無（在留外国人）

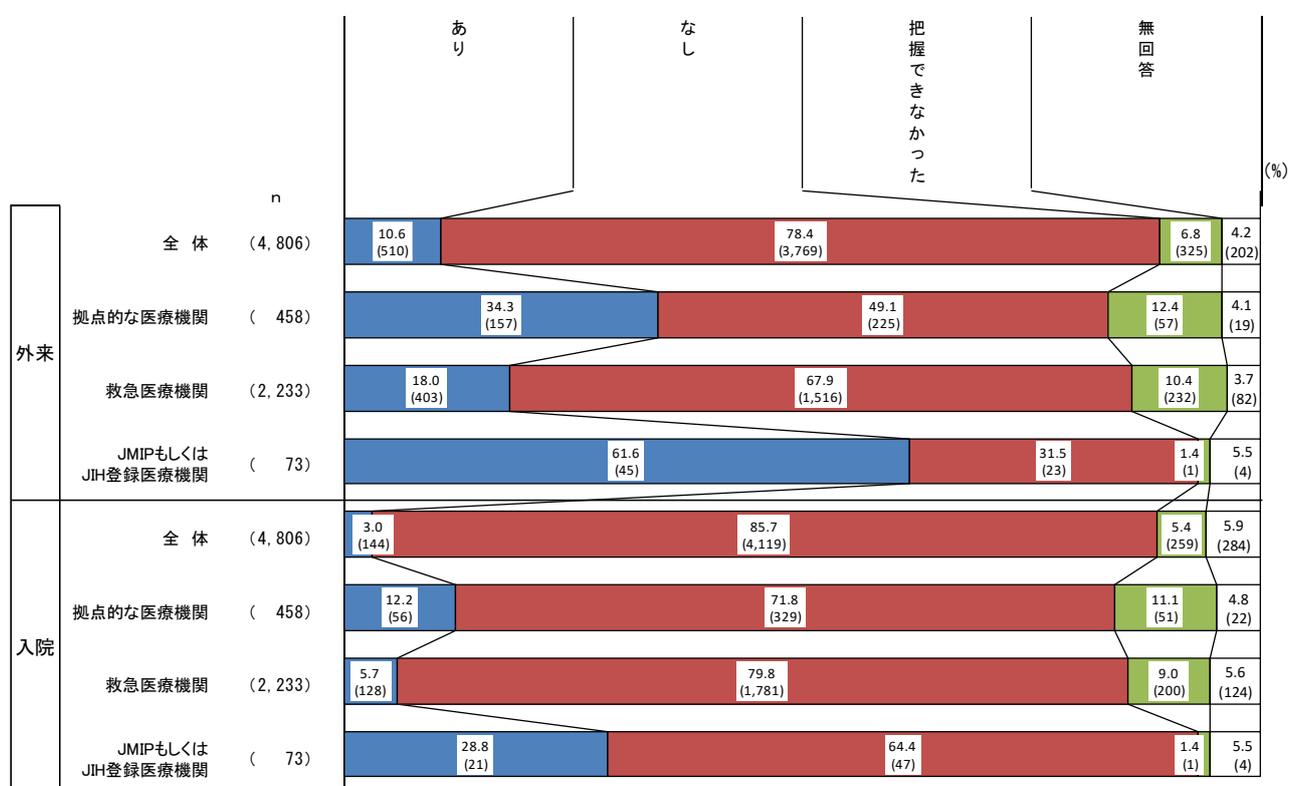


(2) 訪日外国人患者（医療渡航を除く）受入の有無（SA）

訪日外国人患者（医療渡航を除く）受入の有無について聞いたところ、外来では「あり」が10.6%、「なし」が78.4%、「把握できなかった」が6.8%となっており、入院では「あり」が3.0%、「なし」が85.7%、「把握できなかった」が5.4%となっている。

医療機関の種別で見ると、拠点的な医療機関は外来では「あり」が34.3%、「なし」が49.1%、「把握できなかった」が12.4%となっており、入院では「あり」が12.2%、「なし」が71.8%、「把握できなかった」が11.1%となっている。救急医療機関は外来では「あり」が18.0%、「なし」が67.9%、「把握できなかった」が10.4%となっており、入院では「あり」が5.7%、「なし」が79.8%、「把握できなかった」が9.0%となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関は外来では「あり」が61.6%、「なし」が31.5%、「把握できなかった」が1.4%となっており、入院では「あり」が28.8%、「なし」が64.4%、「把握できなかった」が1.4%となっている。

図表Ⅱ-1-2 訪日外国人患者（医療渡航を除く）受入の有無



(2) - 1 受け入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の延べ人数（FA）

受け入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の延べ人数について回答があったのは、外来で473件（92.7%）、入院で125件（86.8%）となっており、延べ人数の総数はそれぞれ3,038人（外来）、478人（入院）、1医療機関あたりの患者数はそれぞれ6.42人（外来）、3.82人（入院）となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では受け入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の延べ人数について回答があったのは、外来で150件（95.5%）、入院で50件（89.3%）となっており、延べ人数の総数それぞれ1,518人（外来）、278人（入院）、1医療機関あたりの患者数はそれぞれ10.12人（外来）、5.56人（入院）となっている。救急医療機関では受け入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の延べ人数について回答があったのは、外来で375件（93.1%）、入院で113件（88.3%）となっており、延べ人数の総数それぞれ2,647人（外来）、421人（入院）、1医療機関あたりの患者数はそれぞれ7.06人（外来）、3.73人（入院）となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では受け入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）について回答があったのは、外来で42件（93.3%）、入院で18件（85.7%）となっており、延べ人数の総数それぞれ869人（外来）、147人（入院）、1医療機関あたりの患者数はそれぞれ20.69人（外来）、8.17人（入院）となっている。

図表Ⅱ-1-2-1 受け入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の延べ人数(参考)

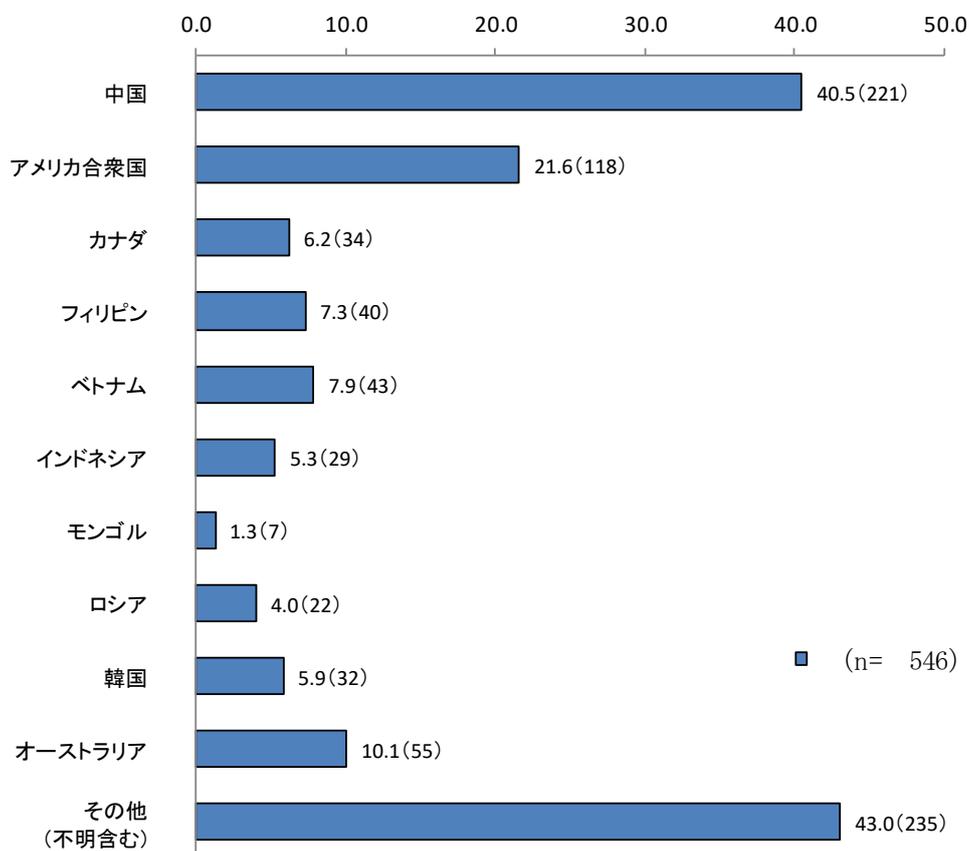
外来					
	回答者全体	有効回答 機関数	無回答	受入患者総数 (人)	1医療機関 あたりの 患者数(人)
全体	510	473	37	3,038	6.42
	100.0	92.7	7.3		
拠点的な 医療機関	157	150	7	1,518	10.12
	100.0	95.5	4.5		
救急医療機関	403	375	28	2,647	7.06
	100.0	93.1	6.9		
JMIPもしくは JIH登録医療機関	45	42	3	869	20.69
	100.0	93.3	6.7		
入院					
	回答者全体	有効回答 機関数	無回答	受入患者総数 (人)	1医療機関 あたりの 患者数(人)
全体	144	125	19	478	3.82
	100.0	86.8	13.2		
拠点的な 医療機関	56	50	6	278	5.56
	100.0	89.3	10.7		
救急医療機関	128	113	15	421	3.73
	100.0	88.3	11.7		
JMIPもしくは JIH登録医療機関	21	18	3	147	8.17
	100.0	85.7	14.3		

(2) - 2 受け入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の国籍（MA）

受け入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の国籍について聞いたところ、「中国」が40.5%で最も高く、次いで「アメリカ合衆国」が21.6%と続いている。

また、国籍別訪日外国人患者（医療渡航を除く）の総数については、下表の通りとなっている。

図表Ⅱ-1-2-2 受け入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の国籍



図表Ⅱ-1-1-3-1 国籍別訪日外国人患者の総数

	中国	アメリカ合衆国	カナダ	フィリピン	ベトナム	インドネシア	モンゴル	ロシア	韓国	オーストラリア	その他 (不明含む)
病院数 (件)	221	118	34	40	43	29	7	22	32	55	235
総数 (人)	835	358	46	69	77	44	17	29	41	103	1,069
平均 (人)	3.78	3.03	1.35	1.73	1.79	1.52	2.43	1.32	1.28	1.87	4.55

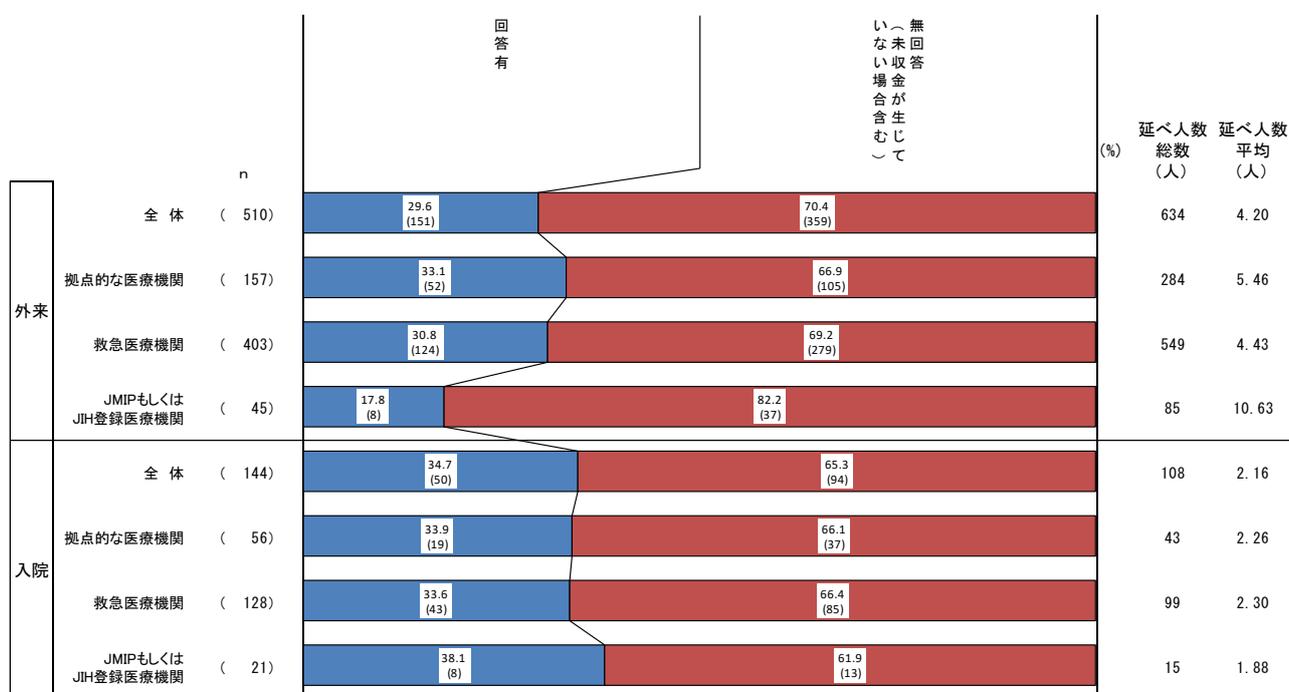
※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した施設数で割って算出している。

(2) - 3 未収金を生じた訪日外国人患者（医療渡航を除く）(FA)

未収金を生じた訪日外国人患者（医療渡航を除く）数について回答があったのは、外来で29.6%、入院で34.7%となっており、延べ人数はそれぞれ634人（外来）、108人（入院）、平均人数はそれぞれ4.20人（外来）、2.16人（入院）となっている。

医療機関の種別で見ると、拠点的な医療機関では未収金を生じた訪日外国人患者（医療渡航を除く）数について回答があったのは、外来で33.1%、入院で33.9%となっており、延べ人数はそれぞれ284人（外来）、43人（入院）、平均人数はそれぞれ5.46人（外来）、2.26人（入院）となっている。救急医療機関では未収金を生じた訪日外国人患者（医療渡航を除く）数について回答があったのは、外来で30.8%、入院で33.6%となっており、延べ人数はそれぞれ549人（外来）、99人（入院）、平均人数はそれぞれ4.43人（外来）、2.30人（入院）となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では未収金を生じた訪日外国人患者（医療渡航を除く）数について回答があったのは、外来で17.8%、入院で38.1%となっており、延べ人数はそれぞれ85人（外来）、15人（入院）、平均人数はそれぞれ10.63人（外来）、1.88人（入院）となっている。

図表Ⅱ-1-2-3-1 未収金を生じた訪日外国人患者（医療渡航を除く）（人数）（参考）

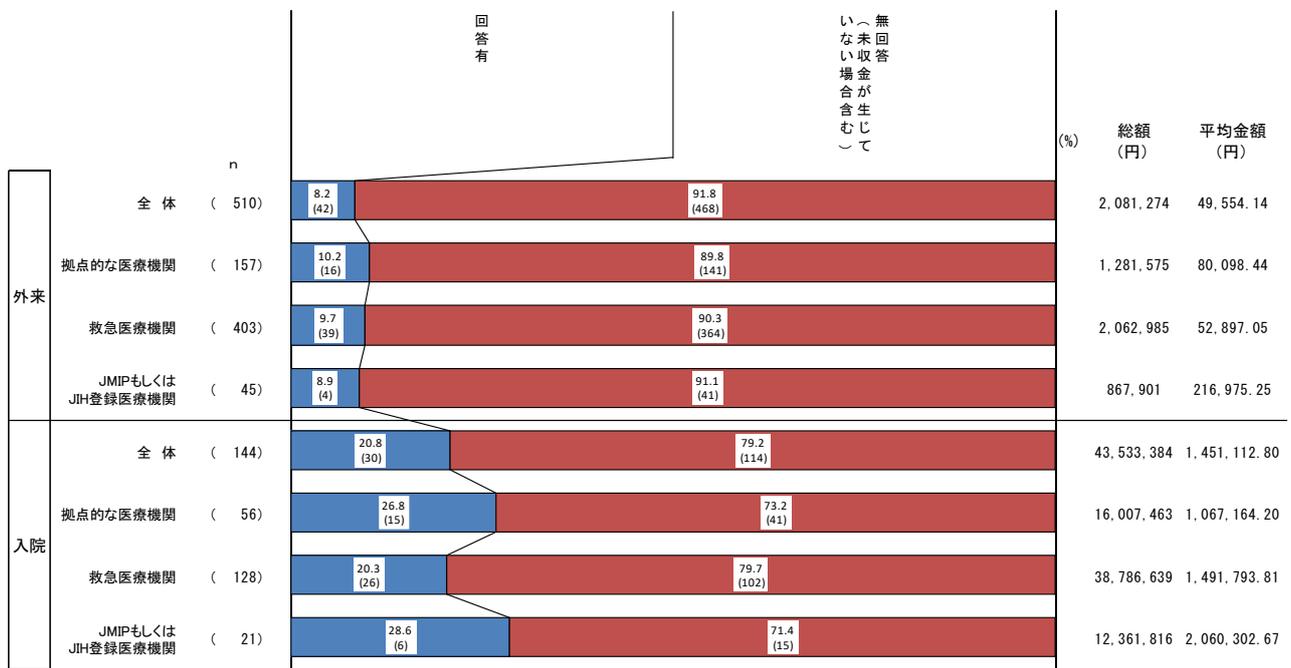


※表中の「延べ人数平均」は、「延べ人数総数」を「回答有」の機関数で割って算出している。

未収金の合計金額について回答があったのは、外来で8.2%、入院で20.8%となっており、総額はそれぞれ2,081,274円（外来）、43,533,384円（入院）、平均金額はそれぞれ49,554.14円（外来）、1,451,112.80円（入院）となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では未収金の合計金額について回答があったのは、外来で10.2%、入院で26.8%となっており、総額はそれぞれ1,281,575円（外来）、16,007,463円（入院）、平均金額はそれぞれ80,098.44円（外来）、1,067,164.20円（入院）となっている。救急医療機関では未収金の合計金額について回答があったのは、外来で9.7%、入院で20.3%となっており、総額はそれぞれ2,062,985円（外来）、38,786,639円（入院）、平均金額はそれぞれ52,897.05円（外来）、1,491,793.81円（入院）となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では未収金の合計金額について回答があったのは、外来で8.9%、入院で28.6%となっており、総額はそれぞれ867,901円（外来）、12,361,816円（入院）、平均金額はそれぞれ216,975.25円（外来）、2,060,302.67円（入院）となっている。

図表Ⅱ-1-2-3-2 未収金を生じた訪日外国人患者（医療渡航を除く）（金額）（参考）



※表中の「平均金額」は、機関数で割って算出している。

(2) - 4 公的医療保険利用の有無（訪日外国人患者（医療渡航を除く））(FA)

訪日外国人患者（医療渡航を除く）の公的医療保険利用の有無について聞いたところ、外来では「あり」と回答があった施設数は30件で、人数の総数が187人、平均が6.23人、「なし」と回答があった施設数は413件で、人数の総数が2,166人、平均が5.24人となっている。

また、入院では「あり」と回答があった施設数は7件で、人数の総数が8人、平均が1.14人、「なし」と回答があった施設数は106件で、人数の総数が203人、平均が1.92人となっている。

図表Ⅱ-1-2-4 公的医療保険利用の有無（訪日外国人患者（医療渡航を除く））（参考）

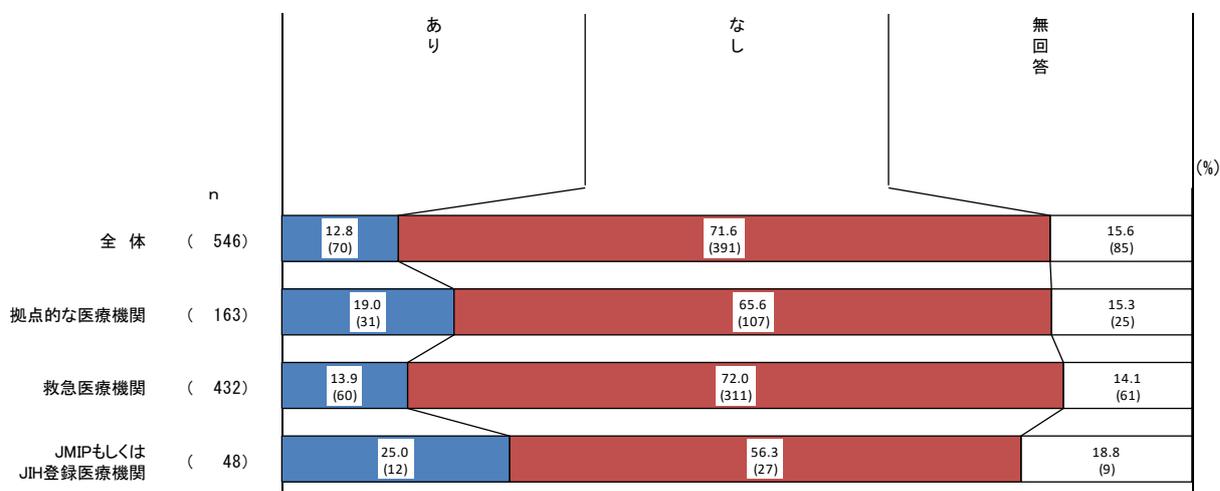
	外来			入院			
	施設数 (件)	総数 (人)	平均 (人)	施設数 (件)	総数 (人)	平均 (人)	
あり	30	187	6.23	あり	7	8	1.14
なし	413	2,166	5.24	なし	106	203	1.92

(2) - 5 民間医療保険利用の有無（訪日外国人患者（医療渡航を除く））(SA)

訪日外国人患者（医療渡航を除く）の民間医療保険利用の有無について聞いたところ、「あり」が12.8%、「なし」が71.6%となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では「あり」が19.0%、「なし」が65.6%となっている。また、救急医療機関では「あり」が13.9%、「なし」が72.0%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では「あり」が25.0%、「なし」が56.3%となっている。

図表Ⅱ-1-2-5 民間医療保険利用の有無（訪日外国人患者（医療渡航を除く））

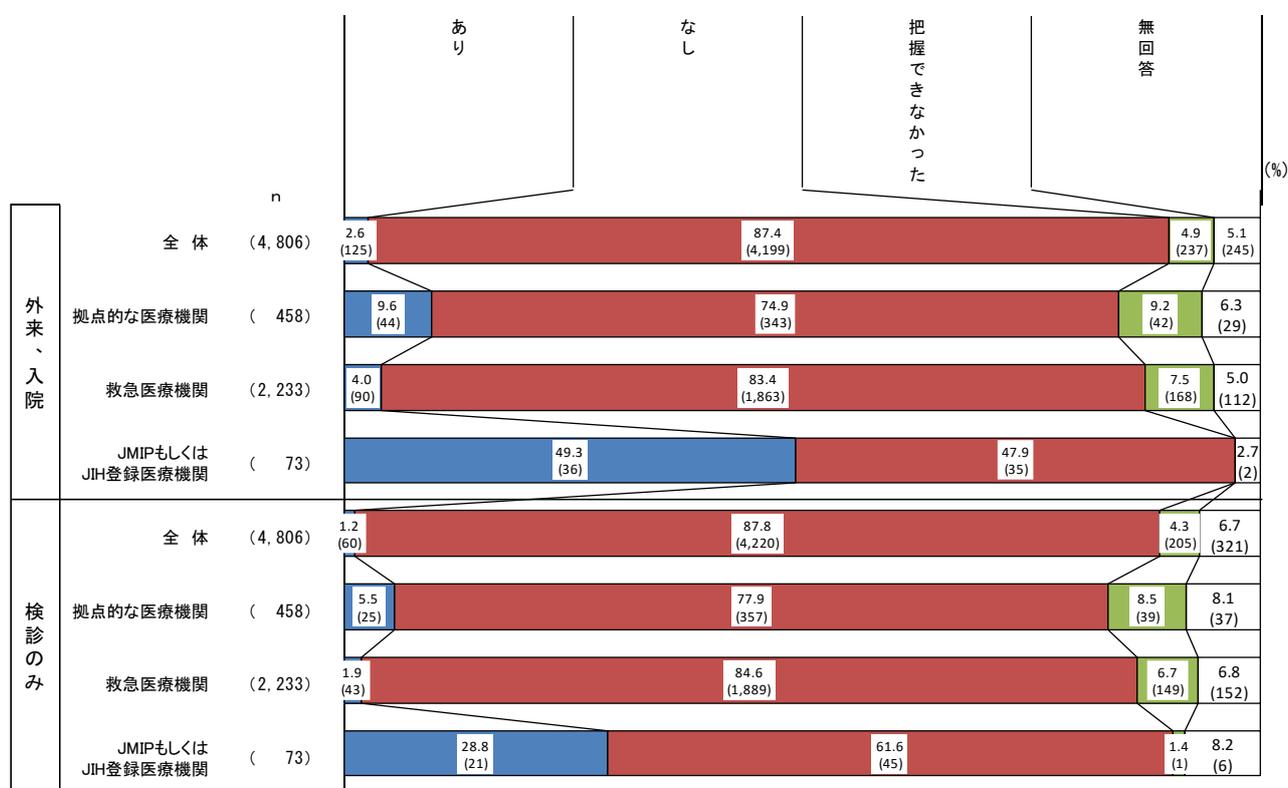


(3) 訪日外国人患者（医療目的）受入の有無（SA）

訪日外国人患者（医療目的）受入の有無について聞いたところ、外来、入院では「あり」が2.6%、「なし」が87.4%、「把握できなかった」が4.9%となっており、検診のみでは「あり」が1.2%、「なし」が87.8%、「把握できなかった」が4.3%となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関は外来、入院では「あり」が9.6%、「なし」が74.9%、「把握できなかった」が9.2%となっており、検診のみでは「あり」が5.5%、「なし」が77.9%、「把握できなかった」が8.5%となっている。救急医療機関は外来、入院では「あり」が4.0%、「なし」が83.4%、「把握できなかった」が7.5%となっており、検診のみでは「あり」が1.9%、「なし」が84.6%、「把握できなかった」が6.7%となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関は外来、入院では「あり」が49.3%、「なし」が47.9%となっており、検診のみでは「あり」が28.8%、「なし」が61.6%、「把握できなかった」が1.4%となっている。

図表Ⅱ-1-3 訪日外国人患者（医療目的）受入の有無



(3) - 1 受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の延べ人数（FA）

受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の延べ人数について回答があったのは、外来、入院で116件（92.8%）、検診のみで52件（86.7%）となっており、延べ人数の総数はそれぞれ1,332人（外来、入院）、573人（検診のみ）、1医療機関あたりの患者数はそれぞれ11.48人（外来、入院）、11.02人（検診のみ）となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の延べ人数について回答があったのは、外来、入院で40件（90.9%）、検診のみで22件（88.0%）となっており、延べ人数の総数はそれぞれ483人（外来、入院）、177人（検診のみ）、1医療機関あたりの患者数はそれぞれ12.08人（外来、入院）、8.05人（検診のみ）となっている。救急医療機関では受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の延べ人数について回答があったのは、外来、入院で83件（92.2%）、検診のみで37件（86.0%）となっており、延べ人数の総数はそれぞれ916人（外来、入院）、361人（検診のみ）、1医療機関あたりの患者数はそれぞれ11.04人（外来、入院）、9.76人（検診のみ）となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の延べ人数について回答があったのは、外来、入院で32件（88.9%）、検診のみで18件（85.7%）となっており、延べ人数の総数はそれぞれ694人（外来、入院）、291人（検診のみ）、1医療機関あたりの患者数はそれぞれ21.69人（外来、入院）、16.17人（検診のみ）となっている。

図表Ⅱ-1-3-1 受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の延べ人数(参考)

外来、入院					
	回答者全体	有効回答 機関数	無回答	受入患者総数 (人)	1医療機関 あたりの 患者数(人)
全体	125	116	9	1,332	11.48
	100.0	92.8	7.2		
拠点的な 医療機関	44	40	4	483	12.08
	100.0	90.9	9.1		
救急医療機関	90	83	7	916	11.04
	100.0	92.2	7.8		
JMIPもしくは JIH登録医療機関	36	32	4	694	21.69
	100.0	88.9	11.1		
検診のみ					
	回答者全体	有効回答 機関数	無回答	受入患者総数 (人)	1医療機関 あたりの 患者数(人)
全体	60	52	8	573	11.02
	100.0	86.7	13.3		
拠点的な 医療機関	25	22	3	177	8.05
	100.0	88.0	12.0		
救急医療機関	43	37	6	361	9.76
	100.0	86.0	14.0		
JMIPもしくは JIH登録医療機関	21	18	3	291	16.17
	100.0	85.7	14.3		

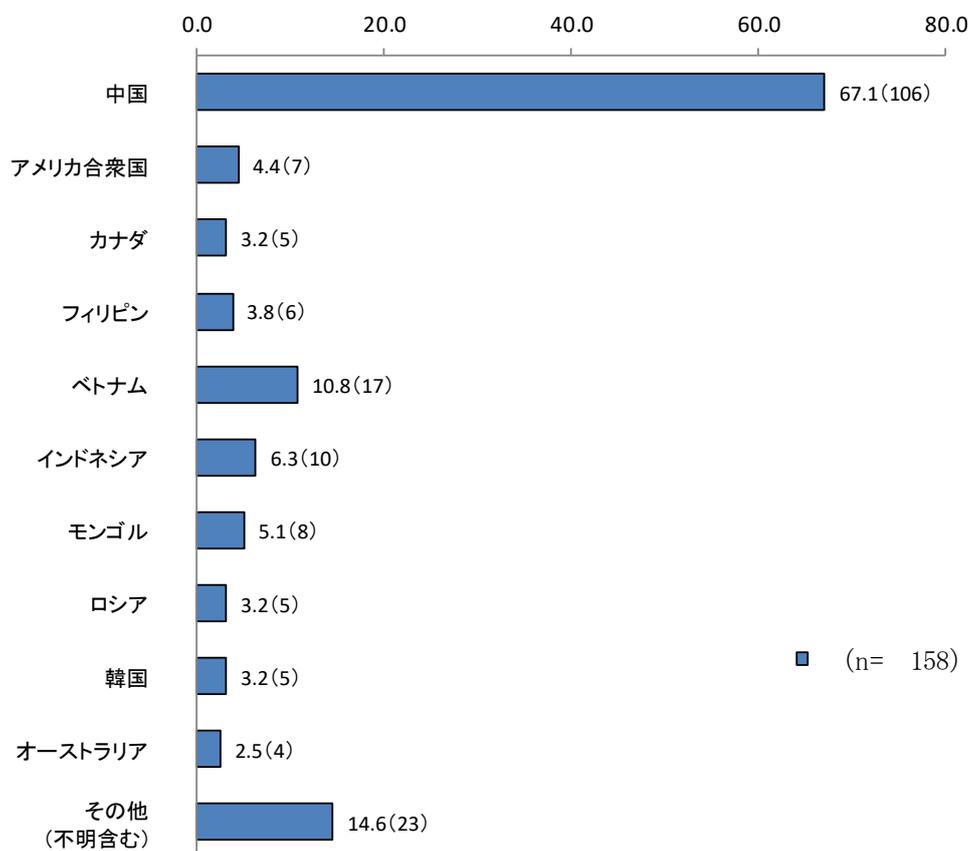
※表中の「1医療機関あたりの患者数」は、「受入患者総数」を「有効回答期間数」割って算出している。

(3) - 2 受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の国籍（MA）

受け入れた在留外国人患者の国籍について聞いたところ、「中国」が67.1%で最も高く、次いで「ベトナム」が10.8%と続いている。

また、国籍別在留外国人患者の総数については、下表の通りとなっている。

図表Ⅱ-1-3-2 受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の国籍



図表Ⅱ-1-1-3-1 国籍別訪日外国人患者の総数

	中国	アメリカ合衆国	カナダ	フィリピン	ベトナム	インドネシア	モンゴル	ロシア	韓国	オーストラリア	その他 (不明含む)
病院数 (件)	106	7	5	6	17	10	8	5	5	4	23
総数 (人)	759	14	5	8	136	14	8	14	24	5	112
平均 (人)	7.16	2.00	1.00	1.33	8.00	1.40	1.00	2.80	4.80	1.25	4.87

※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した施設数で割って算出している。

(3) - 3 受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の ICD 分類（FA）

受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の ICD 分類の総数及び平均については、下表の通りとなっている。

図表 II-1-3-3 受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の ICD 分類

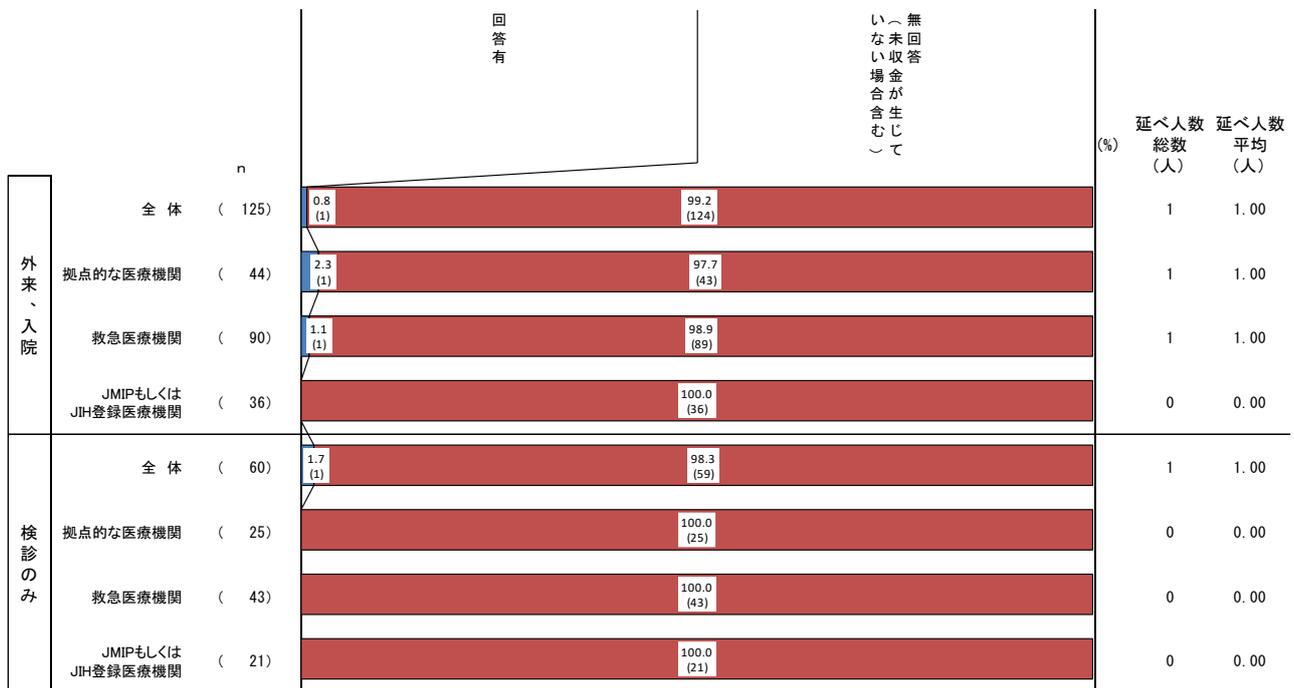
	回答 機関数 (件)	総数 (人)	平均 (人)
悪性新生物 (C00-C97)	51	242	4.75
呼吸器系疾患(J00-J99)	16	19	1.19
筋骨格系及び 結合組織疾患(M00-M94)	31	62	2.00
循環器系疾患(I00-I99)	34	74	2.18
妊娠、分娩及び産褥(O00- O99)	1	1	1.00
消化器系疾患(K00-K94)	22	49	2.23
眼及び付属器の疾患、耳 及び乳用突起の疾患(H00- H95)	18	30	1.67
腎尿路生殖器系疾患(N00- N99)	18	48	2.67
損傷、中毒及びその他の外 因の影響(S00-T98)	8	31	3.88
血液及び造血器の疾患並 びに免疫機構の障害(D50- D89)	8	41	5.13
その他 (不明含む)	24	80	3.33

(3) - 4 未収金を生じた訪日外国人患者（医療目的）（FA）

未収金を生じた訪日外国人患者（医療目的）数について回答があったのは、外来、入院で0.8%、検診のみで1.7%となっており、延べ人数はそれぞれ1人（外来、入院）、1人（検診のみ）となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では未収金を生じた訪日外国人患者（医療目的）数について回答があったのは、外来、入院で2.3%、検診のみで0.0%となっており、延べ人数は1人（外来、入院）となっている。救急医療機関では未収金を生じた訪日外国人患者（医療目的）数について回答があったのは、外来、入院で1.1%、検診のみで0.0%となっており、延べ人数は1人（外来、入院）となっている。JMIPもしくはJIH登録医療機関では未収金を生じた訪日外国人患者（医療目的）数について回答があった医療機関はなかった。

図表Ⅱ-1-3-4 未収金を生じた訪日外国人患者（医療目的）（人数）（参考）

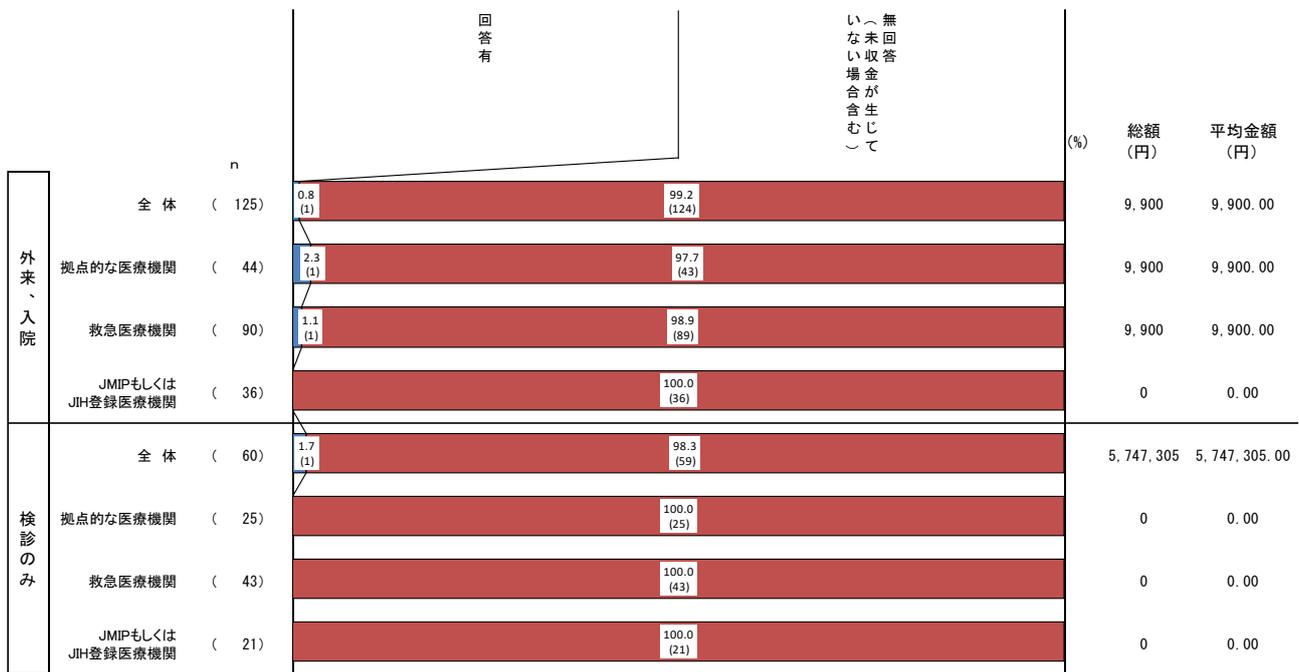


※表中の「延べ人数平均」は、「延べ人数総数」を「回答有」の機関数で割って算出している。

未収金の合計金額について回答があったのは、外来、入院で0.8%、検診のみで1.7%となっており、総額はそれぞれ9,900円（外来、入院）、5,747,305円（検診のみ）、平均金額はそれぞれ9,900.00円（外来、入院）、5,747,305.00円（検診のみ）となっている。

医療機関の種別でみると、拠点医療機関では未収金の合計金額について回答があったのは、外来、入院で2.3%、検診のみで0.0%となっており、総額は9,900円（外来、入院）、平均金額は9,900.00円（外来、入院）となっている。救急医療機関では未収金の合計金額について回答があったのは、外来、入院で1.1%、検診のみで0.0%となっており、総額は9,900円（外来、入院）、平均金額は9,900.00円（外来、入院）となっている。JMIPもしくはJH登録医療機関では未収金の合計金額について回答があった医療機関はなかった。

図表Ⅱ-1-3-4 未収金を生じた訪日外国人患者（医療目的）（金額）（参考）



※表中の「平均金額」は、機関数で割って算出している。

(3) - 5 公的医療保険利用の有無（訪日外国人患者（医療目的））(FA)

訪日外国人患者（医療目的）の公的医療保険利用の有無について聞いたところ、外来、入院では「あり」と回答があった施設数は13件で、人数の総数が32人、平均が2.46人、「なし」と回答があった施設数は86件で、人数の総数が525人、平均が6.10人となっている。

また、検診のみでは「あり」と回答があった施設数は2件で、人数の総数が4人、平均が2.00人、「なし」と回答があった施設数は33件で、人数の総数が191人、平均が5.79人となっている。

図表Ⅱ-1-3-5 公的医療保険利用の有無（訪日外国人患者（医療目的））(参考)

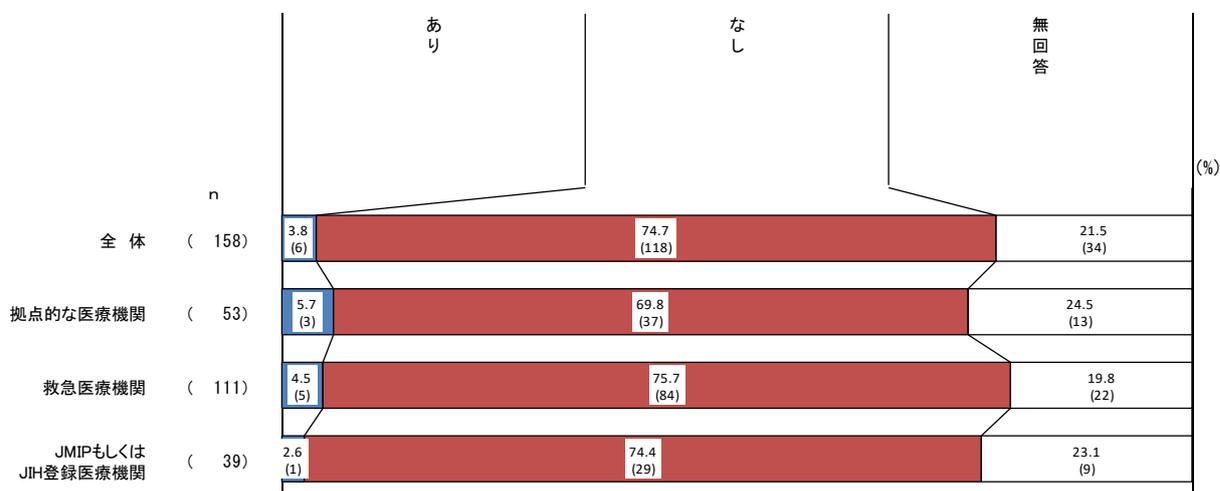
	外来、入院			検診のみ			
	施設数 (件)	総数 (人)	平均 (人)	施設数 (件)	総数 (人)	平均 (人)	
あり	13	32	2.46	あり	2	4	2.00
なし	86	525	6.10	なし	33	191	5.79

(3) - 6 民間医療保険利用の有無（訪日外国人患者（医療目的））(SA)

訪日外国人患者（医療目的）の民間医療保険利用の有無について聞いたところ、「あり」が3.8%、「なし」が74.7%となっている。

医療機関の種別でみると、拠点的な医療機関では「あり」が5.7%、「なし」が69.8%となっている。また、救急医療機関では「あり」が4.5%、「なし」が75.7%、JMIPもしくはJIH登録医療機関では「あり」が2.6%、「なし」が74.4%となっている。

図表Ⅱ-1-3-6 民間医療保険利用の有無（訪日外国人患者（医療目的））

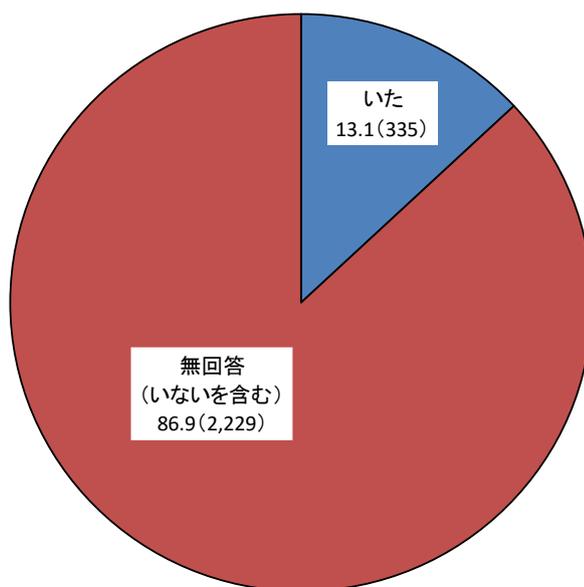


2. 未収金を生じた患者について

(1) 未収金を生じた患者の有無 (FA)

いずれかの外国人患者を受け入れた病院に未収金を生じた患者の有無について聞いたところ、「いた」が13.1%、「無回答 (いないを含む)」が86.9%となっている。

図表Ⅱ-2-1 未収金を生じた患者の有無
(n=2,564)



第3章 調査結果（診療所）

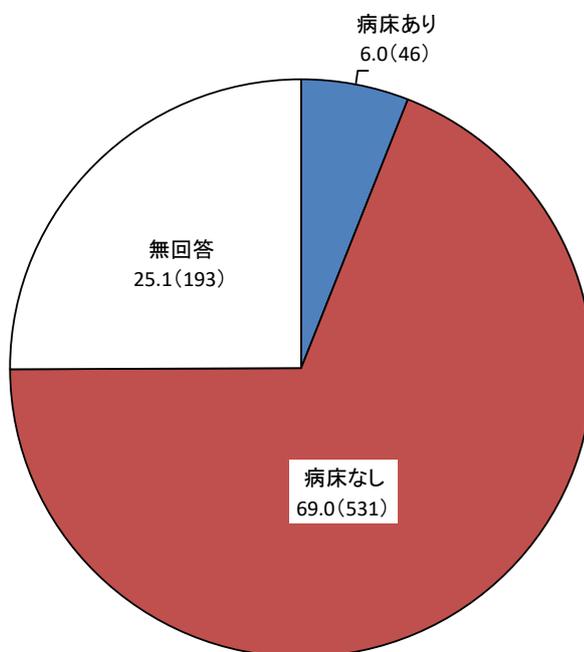
I. 調査票 A 結果

1. 回答者属性

(1) 許可病床数 (FA)

(n= 770)

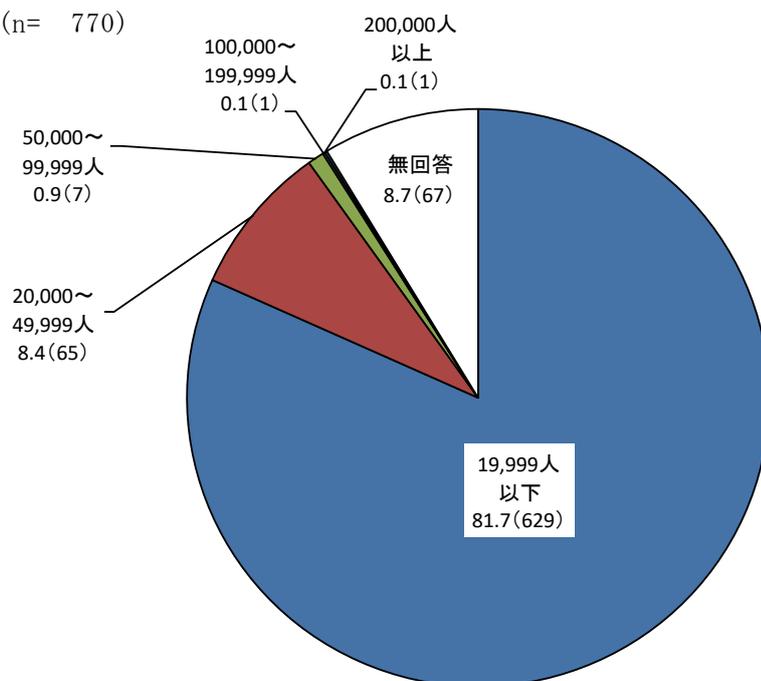
図表 I-1-1 許可病床数



(2) 総患者数 (外来) (FA)

(n= 770)

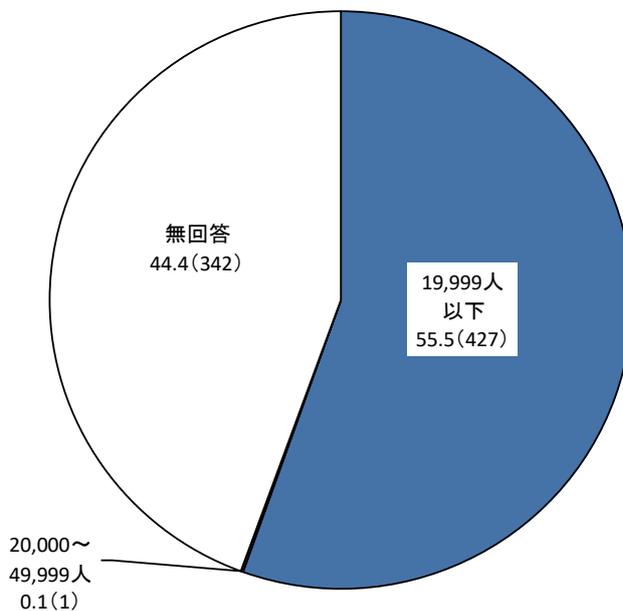
図表 I-1-2 総患者数 (外来)



(3) 総患者数（入院）(FA)

図表 I-1-3 総患者数（入院）

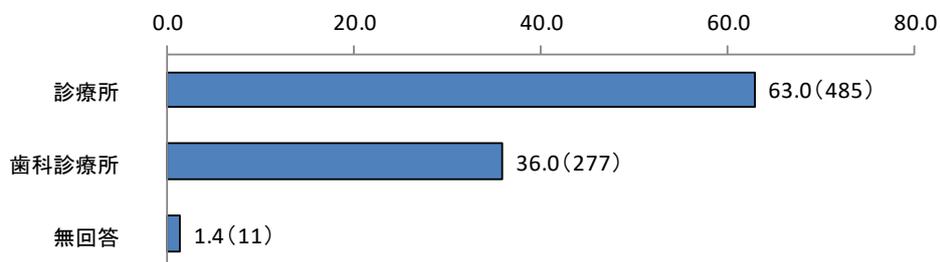
(n= 770)



(4) 医療機関の種別 (MA)

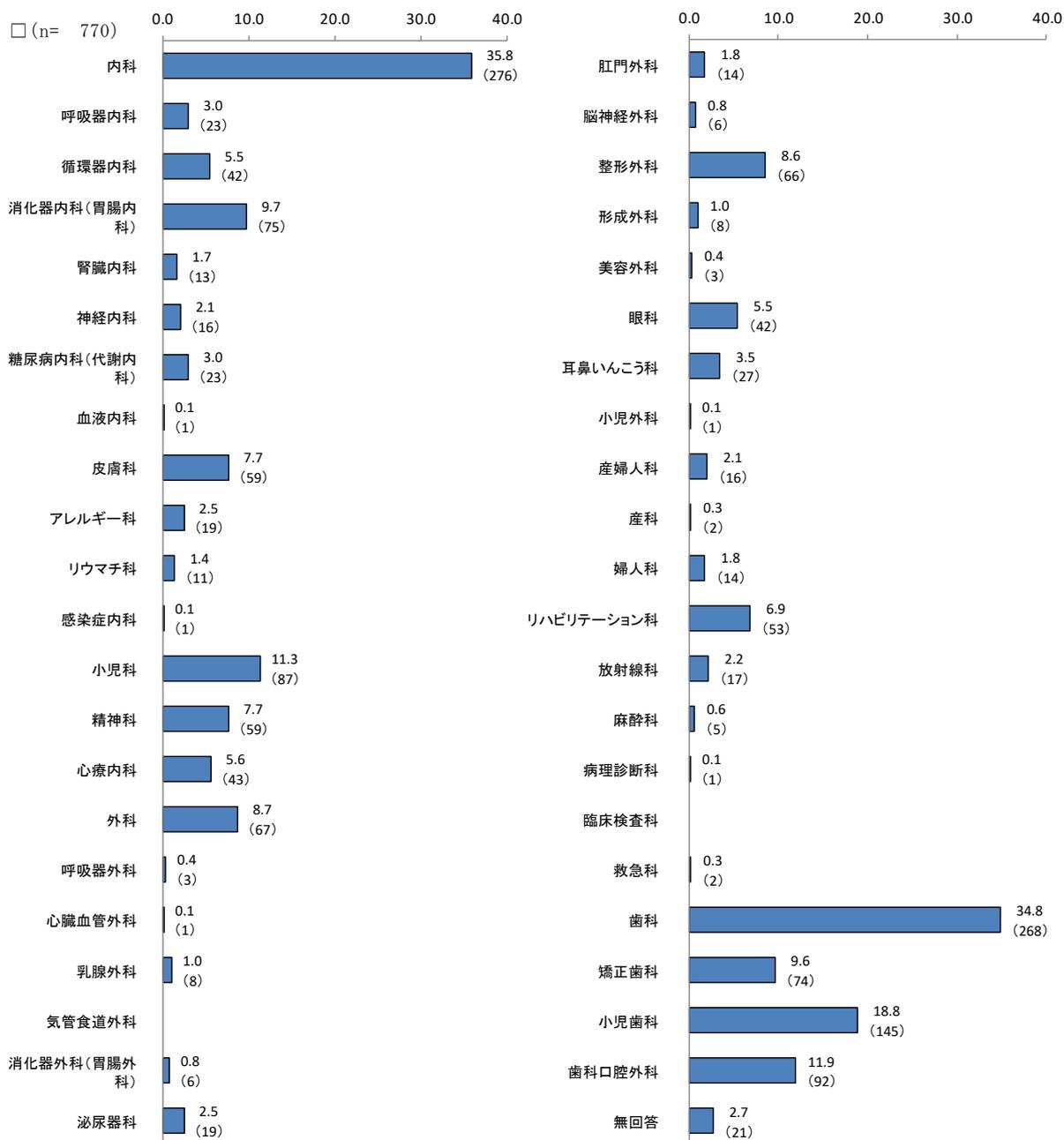
図表 I-1-4 医療機関の種別

(n= 770)



(5) 診療科目 (MA)

図表 I-1-5 診療科目

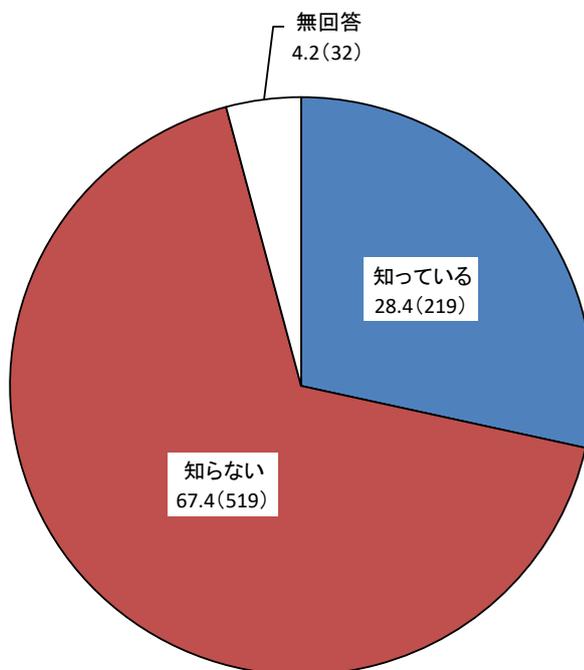


2. 外国人患者に対応する体制について

(1) 外国人患者受入のマニュアルの認知度 (SA)

外国人患者受入のマニュアルの認知度について聞いたところ、「知っている」が28.4%、「知らない」が67.4%となっている。

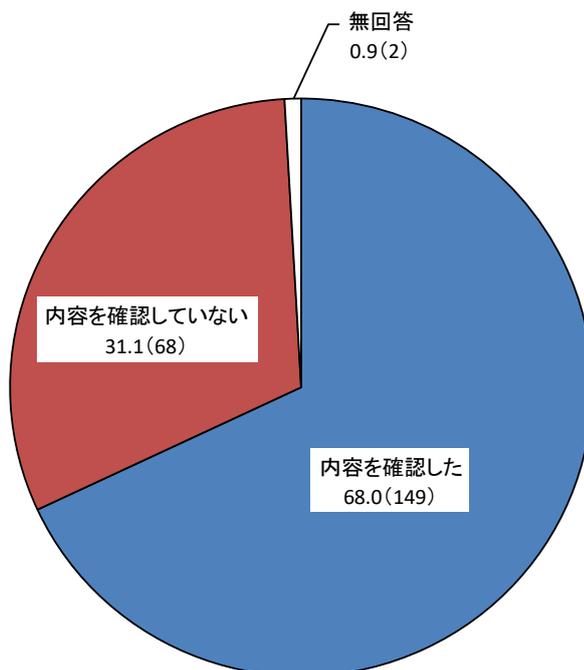
図表 I-2-1 外国人患者受入のマニュアルの認知度
(n= 770)



(1) - 1 マニュアル内容の確認 (SA)

外国人患者受入のためのマニュアルについてその内容確認を聞いたところ、「内容を確認した」が68.0%、「内容を確認していない」が31.1%となっている。

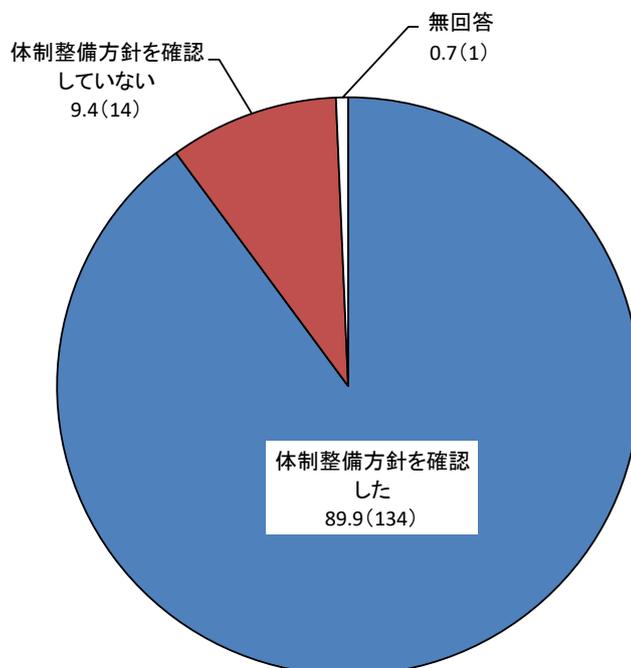
図表 I-2-1-1 マニュアル内容の確認
(n= 219)



(1) - 2 マニュアルの受入体制整備方針の確認 (SA)

マニュアルの内容を確認した医療機関に外国人対応マニュアルの受入体制整備方針の確認状況について聞いたところ、「体制整備方針を確認した」が89.9%、「体制整備方針を確認していない」が9.4%となっている。

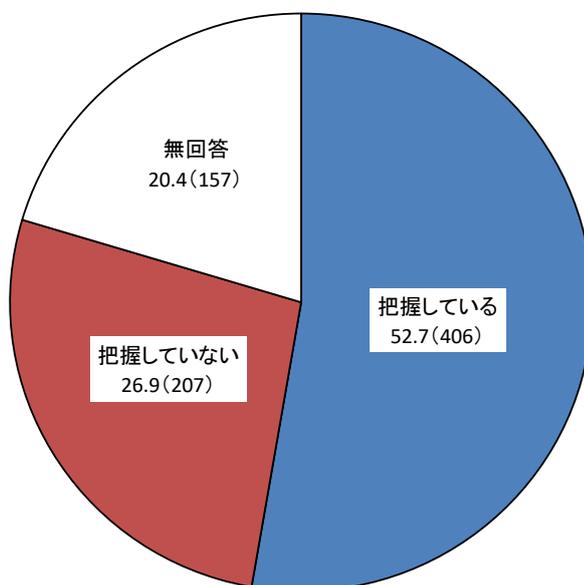
図表 I-2-1-2 マニュアルの「体制整備方針」の確認
(n= 149)



(1) - 3 外国人患者の受診状況を把握しているか (SA)

外国人患者の受診状況を把握しているか聞いたところ、「把握している」が52.7%、「把握していない」が26.9%となっている。

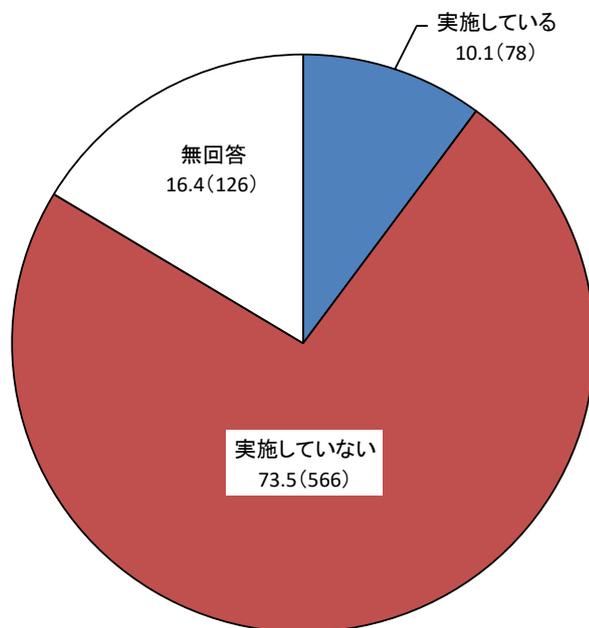
図表 I-2-1-3 自院の外国人患者受診状況の把握
(n= 770)



(1) - 4 受入体制の現状と課題抽出 (SA)

外国人患者の受入体制の現状と課題抽出について聞いたところ、「実施している」が10.1%、「実施していない」が73.5%となっている。

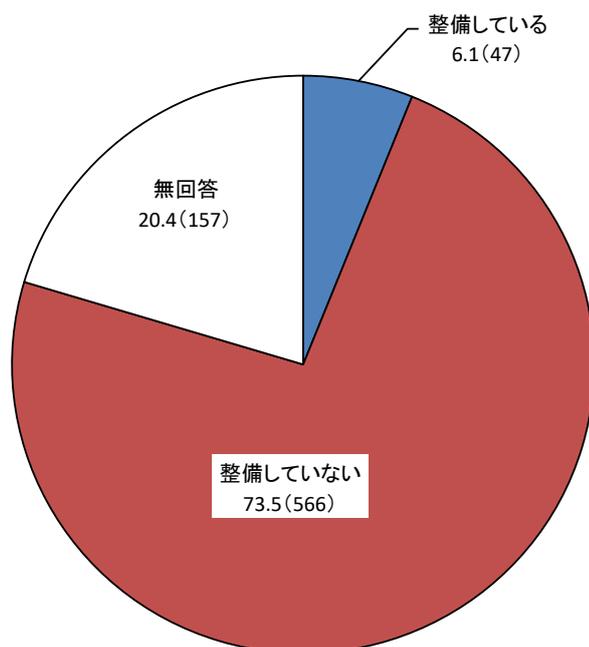
図表 I-2-1-4 自院の受入体制の現状・課題の抽出
(n= 770)



(1) - 5 受入体制整備方針策定 (SA)

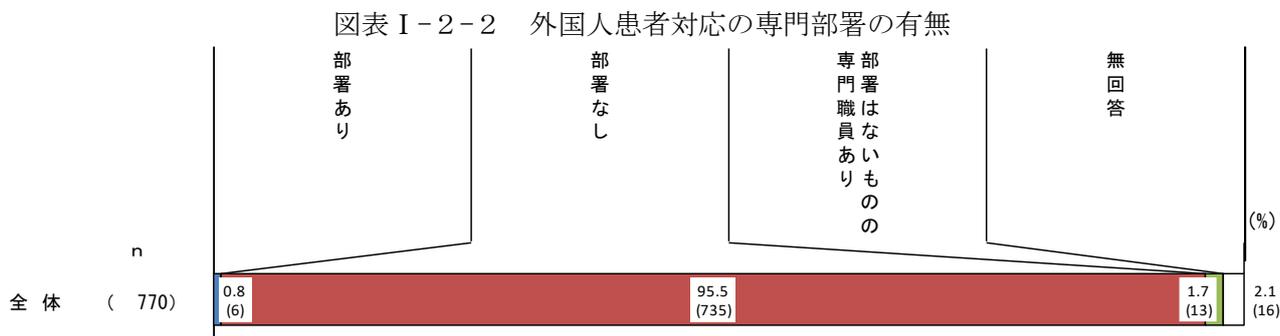
外国人患者の受入体制整備方針策定について聞いたところ、「整備している」が6.1%、「整備していない」が73.5%となっている。

図表 I-2-1-5 自院の受入体制整備の実施
(n= 770)



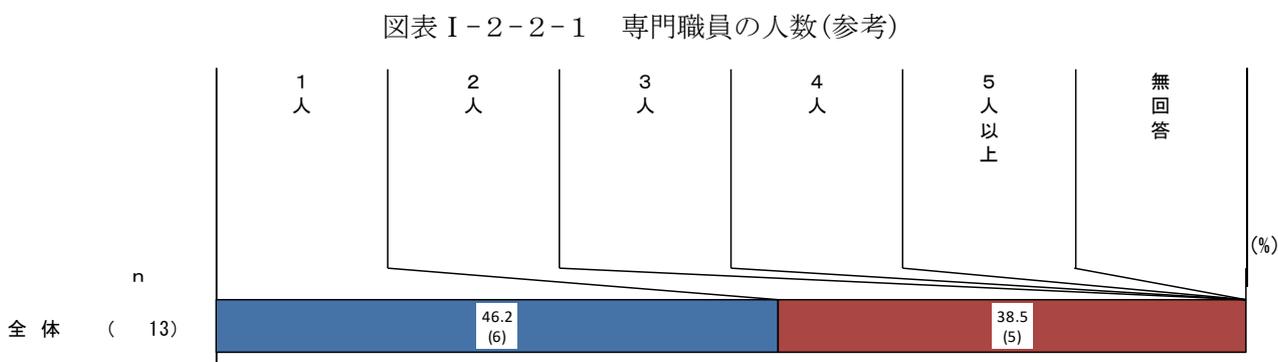
(2) 外国人患者対応の専門部署の有無 (SA)

外国人患者対応の専門部署の有無について聞いたところ、「部署あり」が0.8%、「部署なし」が95.5%、「部署はないものの専門職員あり」が1.7%となっている。



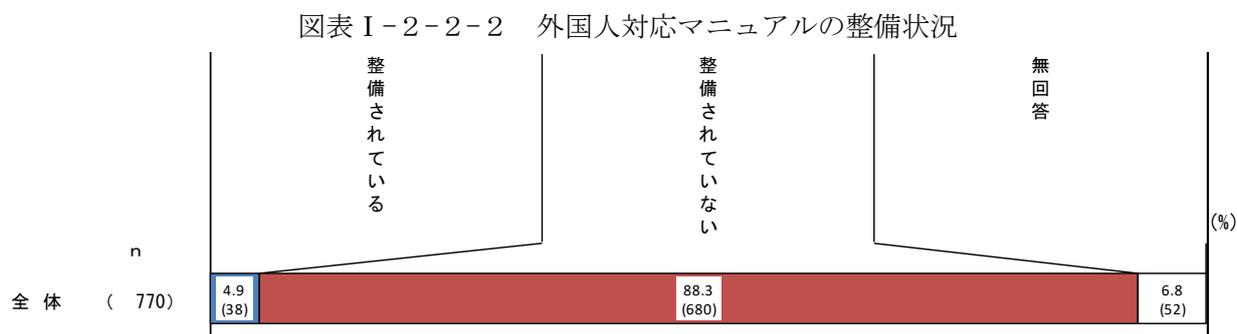
(2) - 1 専門職員の人数 (FA)

専門職員の人数について聞いたところ、「1人」が46.2%で最も高く、次いで「2人」が38.5%と続いている。



(2) - 2 外国人対応マニュアルの整備状況 (SA)

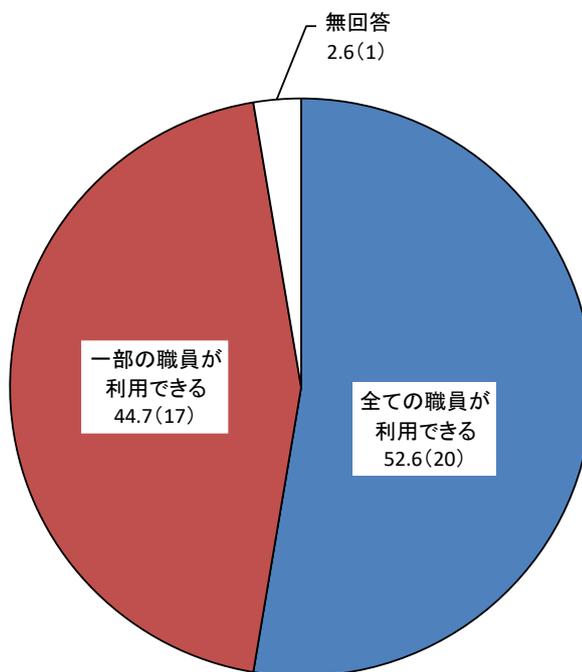
外国人対応マニュアルの整備状況について聞いたところ、「整備されている」が4.9%、「整備されていない」が88.3%となっている。



(2) - 3 外国人対応マニュアルを利用できる職員の範囲 (SA)

外国人対応マニュアルを利用できる職員の範囲について聞いたところ、「すべての職員が利用できる」が52.6%、「一部の職員が利用できる」が44.7%となっている。

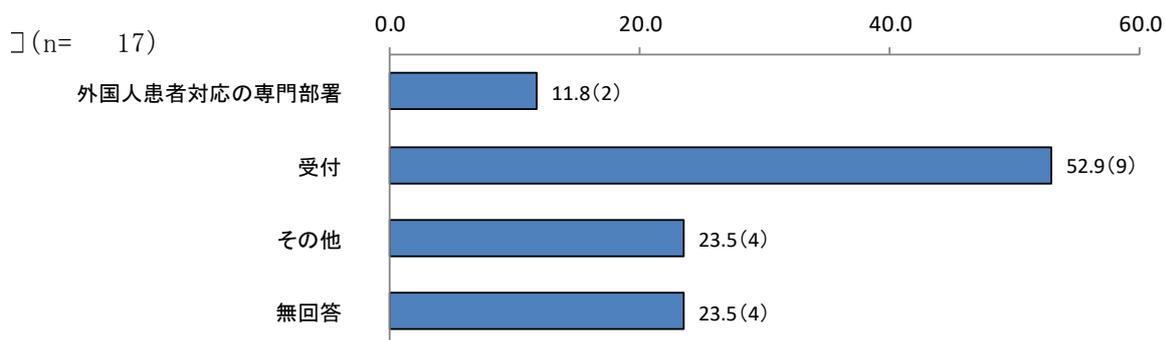
図表 I-2-2-3 外国人対応マニュアルを利用できる職員の範囲
(n= 38)



(2) - 4 外国人対応マニュアルを利用できる職員部門 (MA)

外国人対応マニュアルを利用できる職員部門について聞いたところ、「受付」が52.9%で最も高く、次いで「外国人患者対応の専門部署」が11.8%と続いている。

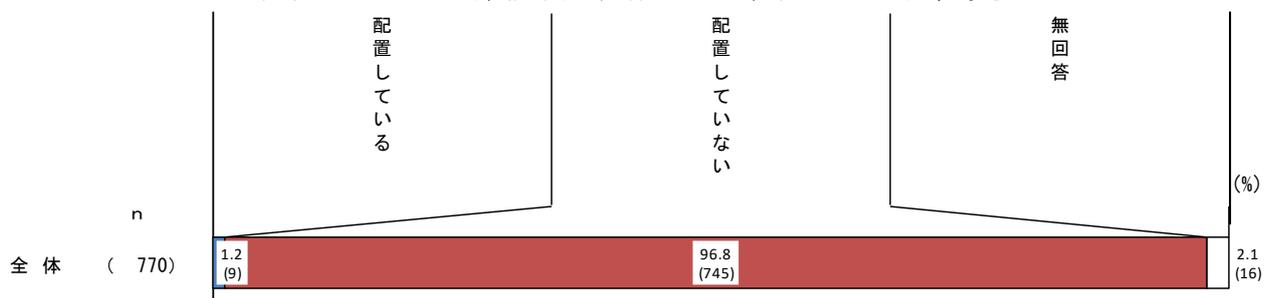
図表 I-2-2-4 外国人対応マニュアルを利用できる職員部門(参考)



(3) 外国人向け医療コーディネーターの配置状況 (SA)

外国人向け医療コーディネーターの配置状況について聞いたところ、「配置している」が1.2%、「配置していない」が96.8%となっている。

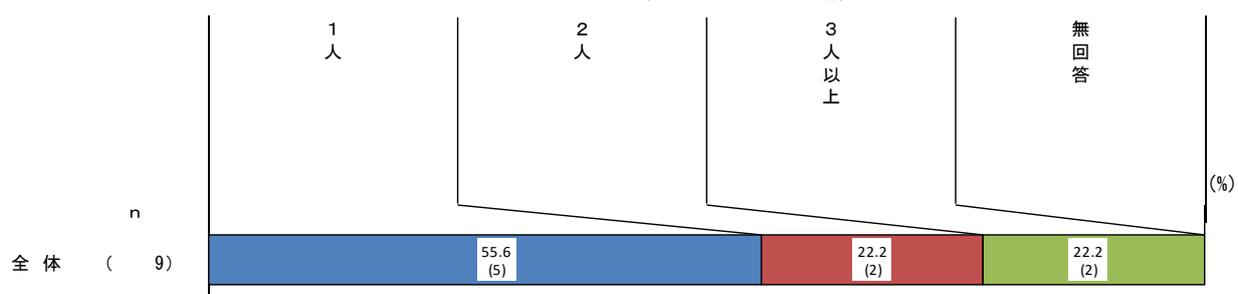
図表 I-2-3 外国人向け医療コーディネーターの配置状況



(3) - 1 コーディネーターの人数 (FA)

コーディネーターの人数について聞いたところ、「1人」が55.6%で最も高く、次いで「2人」と「3人以上」がそれぞれ22.2%と続いている。

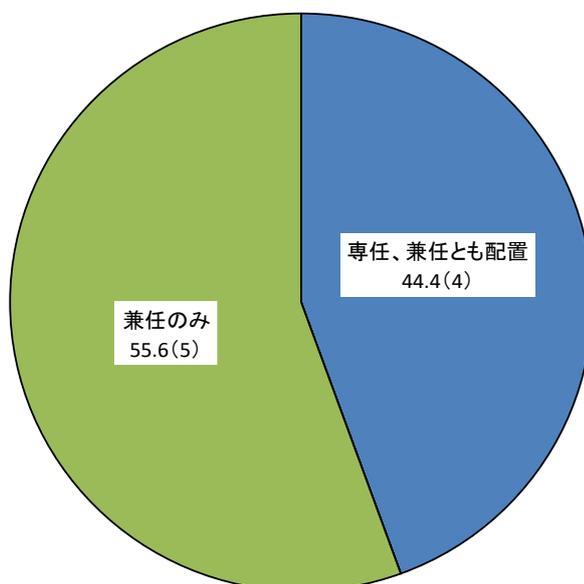
図表 I-2-3-1 コーディネーターの人数(参考)



(3) - 2 コーディネーターの専任・兼任の別 (SA)

コーディネーターの専任・兼任の別について聞いたところ、「兼任のみ」が55.6%で最も高く、次いで「専任、兼任とも配置」が44.4%と続いている。

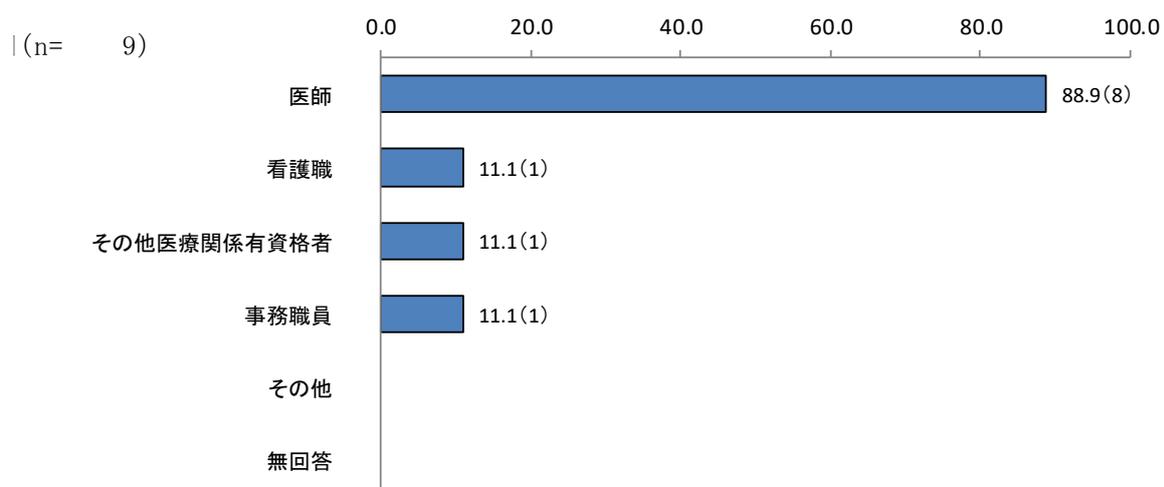
図表 I-2-3-2 コーディネーターの専任・兼任の別(参考)
(n= 9)



(3) - 3 コーディネーターの兼職 (MA)

コーディネーターの兼職について聞いたところ、「医師」が88.9%で最も高く、次いで「看護職」と「その他医療関係有資格者」と「事務職員」がそれぞれ11.1%で続いている。

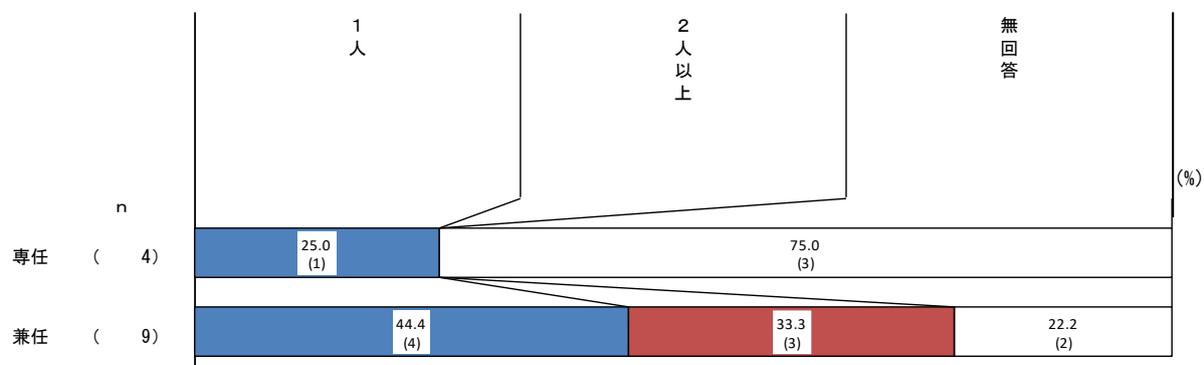
図表 I-2-3-3 コーディネーターの兼職(参考)



(3) - 4 コーディネーターの専任・兼任別の人数 (FA)

コーディネーターの人数について専任・兼任それぞれで聞いたところ、専任では「1人」が25.0%となっている。兼任では「1人」が44.4%で最も高く、次いで「2人以上」が33.3%と続いている。

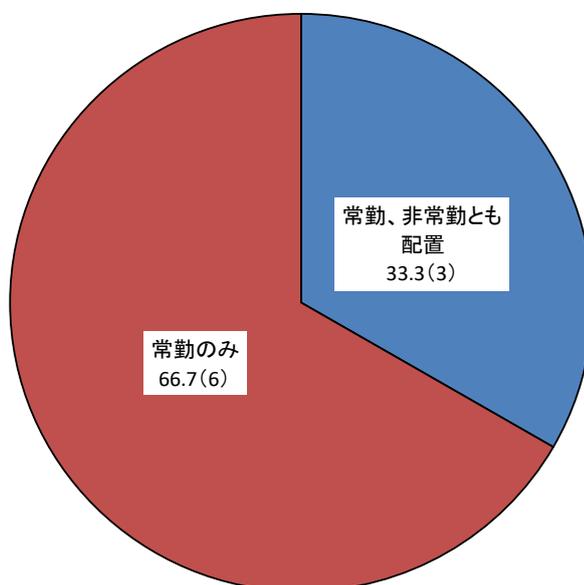
図表 I-2-3-4 コーディネーターの専任・兼任別の人数(参考)



(3) - 5 コーディネーターの常勤・非常勤の別 (SA)

コーディネーターの常勤・非常勤の別について聞いたところ、「常勤のみ」が66.7%で最も高く、次いで「常勤、非常勤とも配置」が33.3%と続いている。

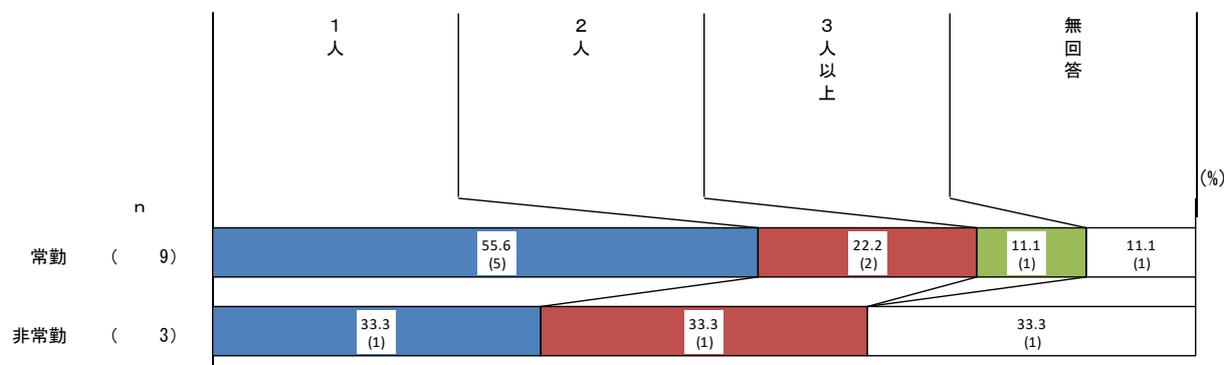
図表 I-2-3-5 コーディネーターの常勤・非常勤の別(参考)
(n= 9)



(3) - 6 コーディネーターの常勤・非常勤別の人数 (FA)

コーディネーターの人数について常勤・非常勤それぞれ聞いたところ、常勤では「1人」が55.6%で最も高く、次いで「2人」が22.2%と続いている。非常勤では「1人」と「2人」が33.3%となっている。

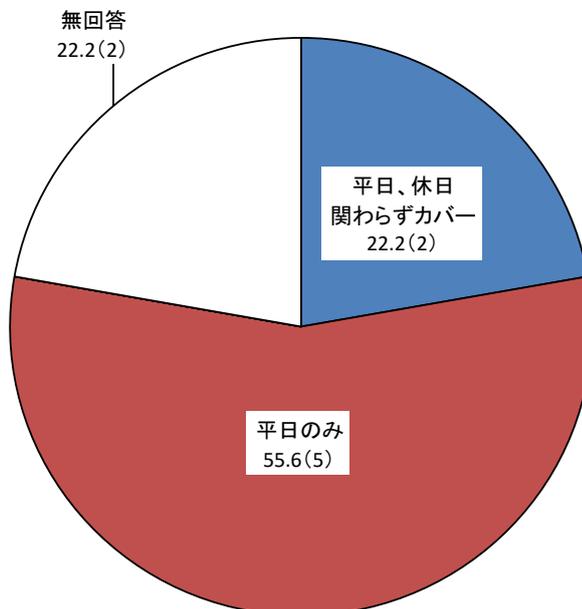
図表 I-2-3-6 コーディネーターの常勤・非常勤別の人数(参考)



(3) - 7 コーディネーターがカバーしている範囲 (平日、休日) (SA)

コーディネーターがカバーしている範囲について聞いたところ、「平日のみ」が55.6%で最も高く、次いで「平日、休日関わらずカバー」が22.2%と続いている。

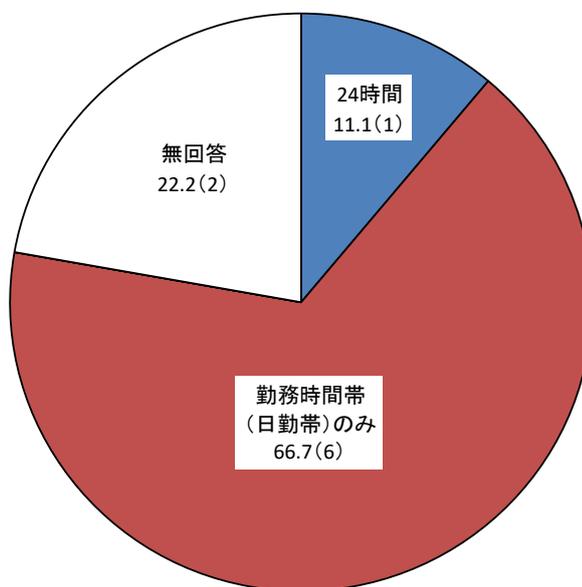
図表 I-2-3-7 コーディネーターがカバーしている範囲 (平日、休日) (参考)
(n= 9)



(3) - 8 コーディネーターがカバーしている時間帯 (SA)

コーディネーターがカバーしている時間帯について聞いたところ、「勤務時間帯（日勤帯）のみ」が66.7%で最も高く、次いで「24時間」が11.1%と続いている。

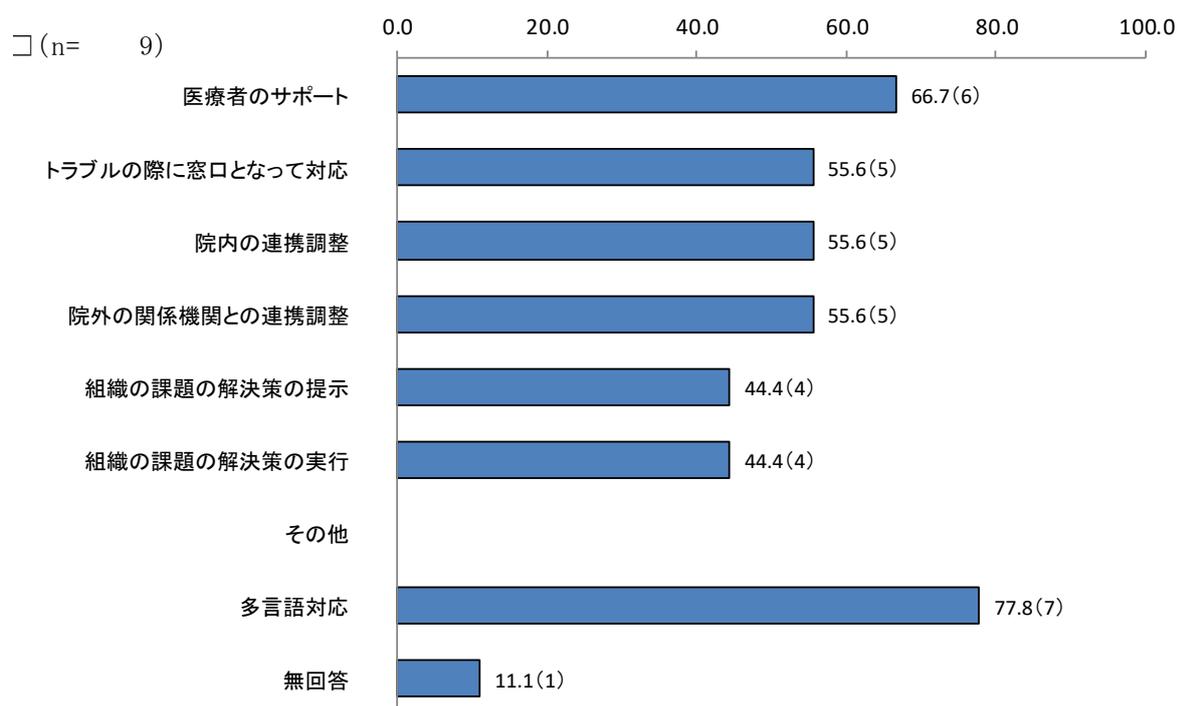
図表 I-2-3-8 コーディネーターがカバーしている時間帯(参考)
(n= 9)



(3) - 9 コーディネーターの役割 (MA)

コーディネーターの役割について聞いたところ、「多言語対応」が77.8%で最も高く、次いで「医療者のサポート」が66.7%と続いている。

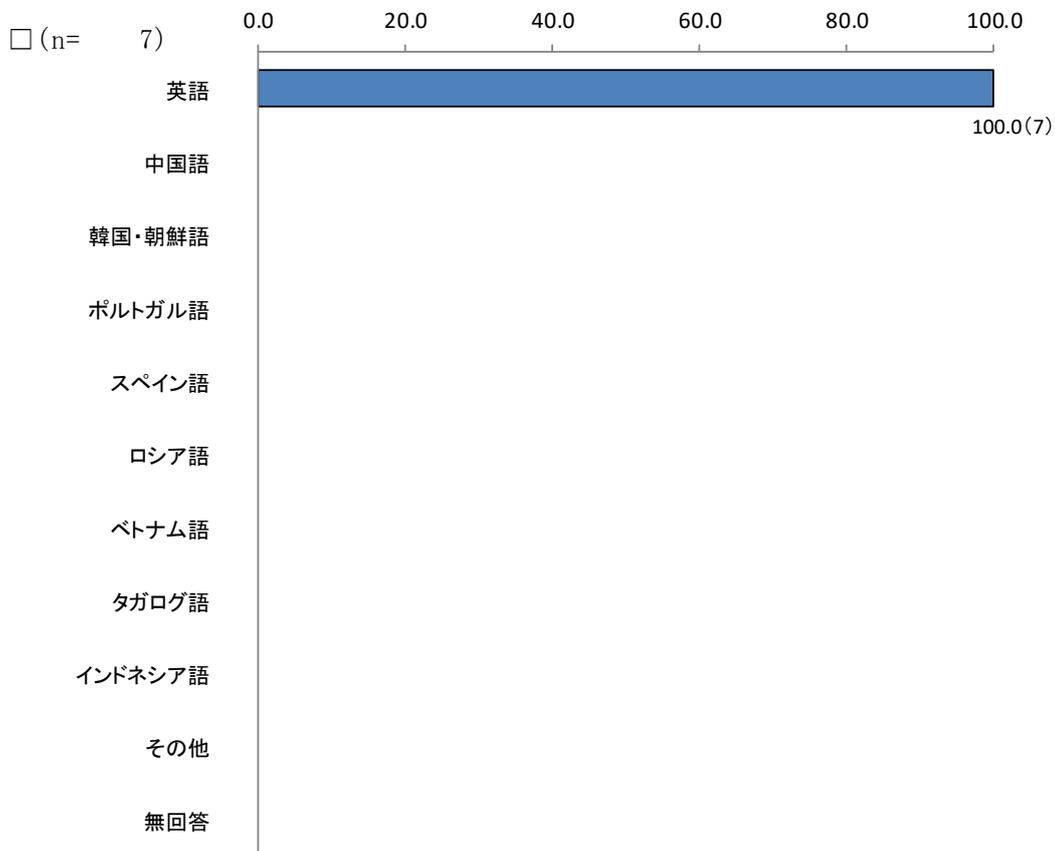
図表 I-2-3-9 コーディネーターの役割(参考)



(3) -10 コーディネーターの対応言語 (MA)

コーディネーターの役割で『多言語対応』と回答した施設にコーディネーターの対応言語について聞いたところ、「英語」が100.0%になっている。

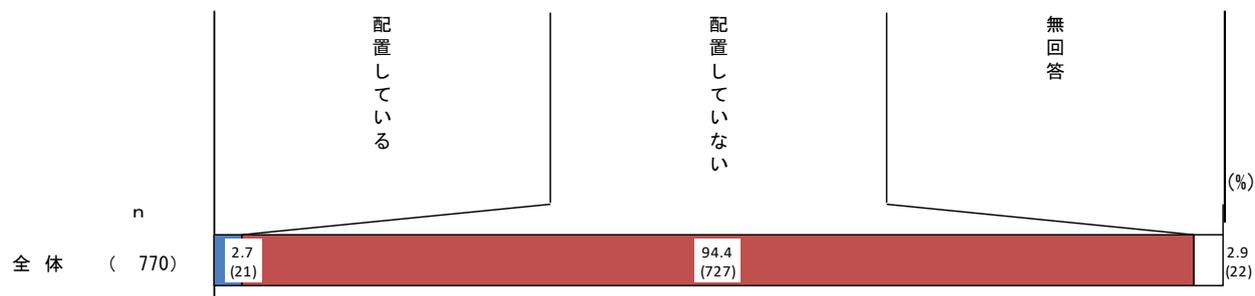
図表 I-2-3-10 コーディネーターの対応言語(参考)



(4) 医療通訳の配置状況 (SA)

医療通訳の配置状況について聞いたところ、「配置している」が2.7%、「配置していない」が94.4%となっている。

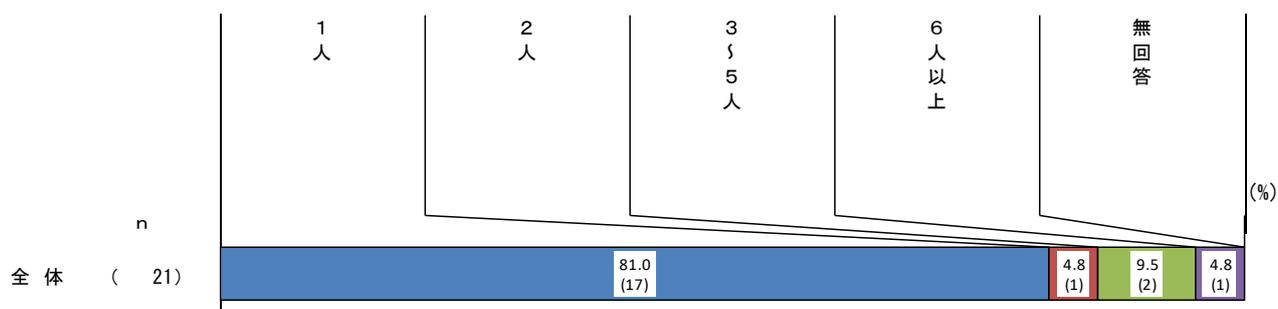
図表 I-2-4 医療通訳の配置状況



(4) - 1 医療通訳の人数 (FA)

医療通訳の人数について聞いたところ、「1人」が81.0%で最も高く、次いで「3～5人」が9.5%と続いている。

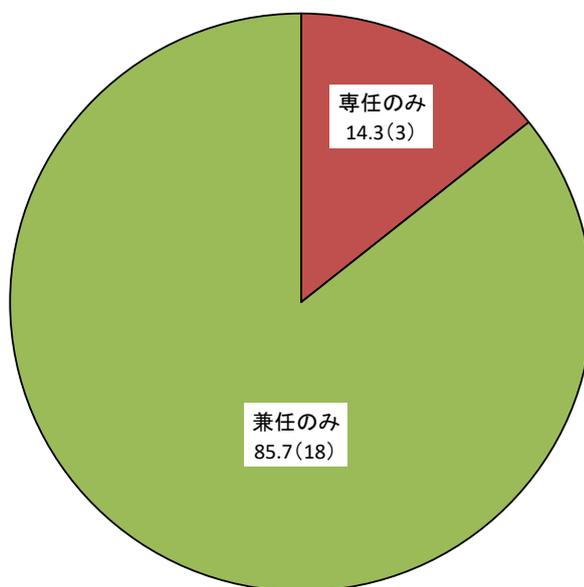
図表 I-2-4-1 医療通訳の人数(参考)



(4) - 2 医療通訳の専任・兼任の別 (SA)

医療通訳の専任・兼任の別について聞いたところ、「兼任のみ」が85.7%で最も高く、次いで「専任のみ」が14.3%と続いている。

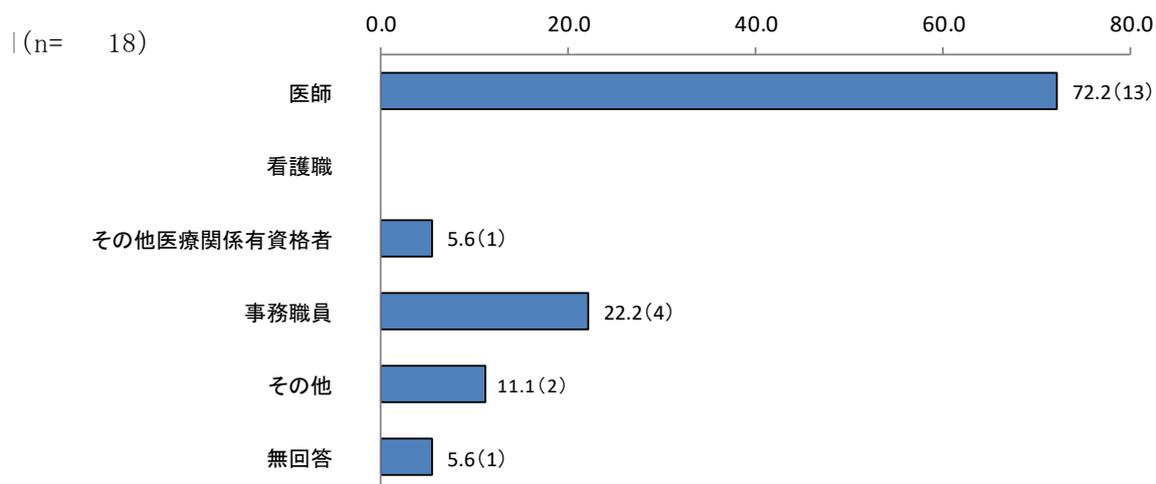
図表 I-2-4-2 医療通訳の専任・兼任の別(参考)
(n= 21)



(4) - 3 医療通訳の兼職 (MA)

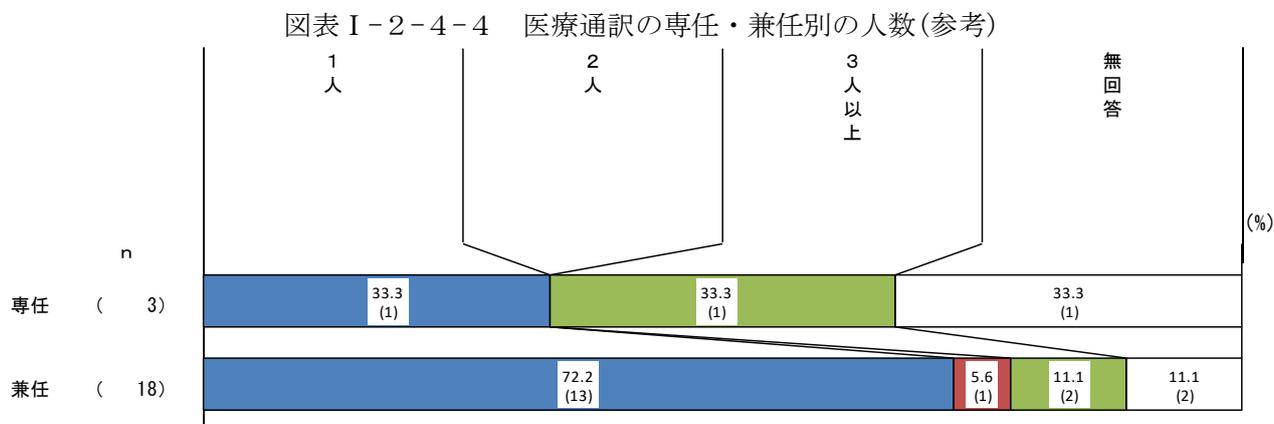
医療通訳の兼職について聞いたところ、「医師」が72.2%で最も高く、次いで「事務職員」が22.2%と続いている。

図表 I-2-4-3 医療通訳の兼職(参考)



(4) - 4 医療通訳の専任・兼任別の人数 (FA)

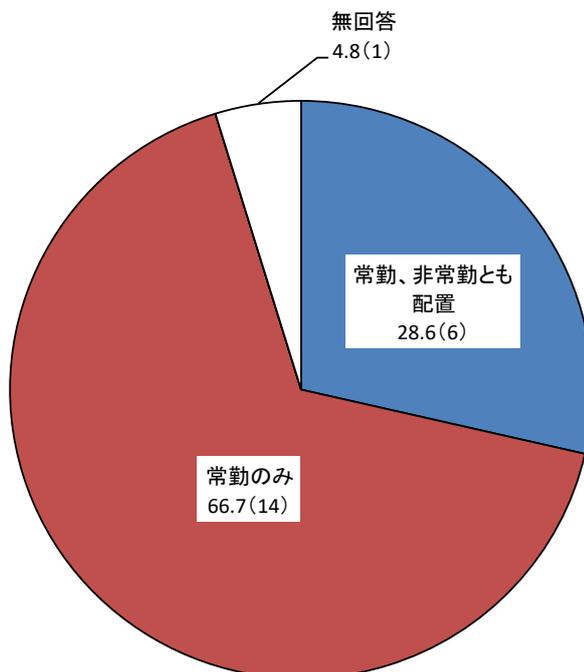
医療通訳の人数について専任・兼任それぞれで聞いたところ、専任(サンプル数僅少)では「1人」と「3人以上」がそれぞれ33.3%となっている。兼任では「1人」が72.2%で最も高く、次いで「3人以上」が11.1%と続いている。



(4) - 5 医療通訳の常勤・非常勤の別 (SA)

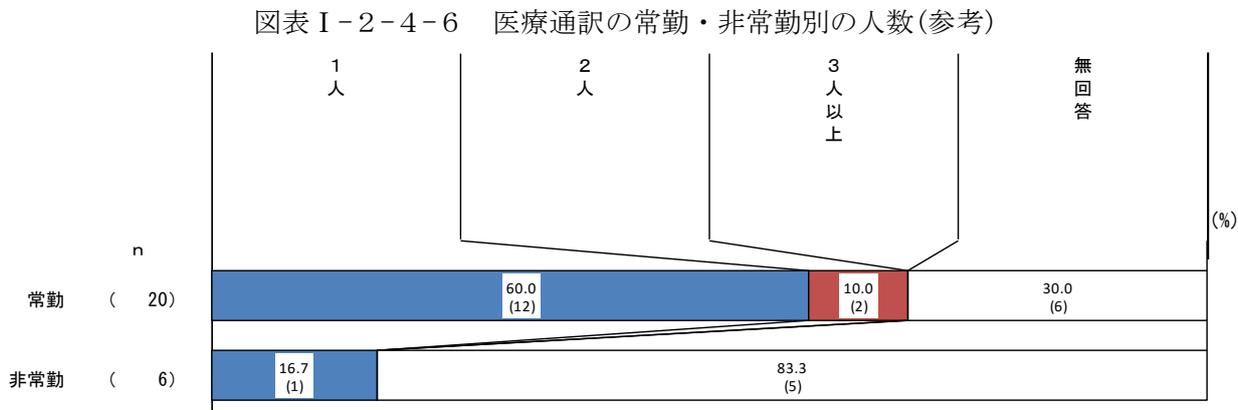
医療通訳の常勤・非常勤の別について聞いたところ、「常勤のみ」が66.7%で最も高く、次いで「常勤、非常勤とも配置」が28.6%と続いている。

図表 I-2-4-5 医療通訳の常勤・非常勤の別(参考)
(n= 21)



(4) - 6 医療通訳の常勤・非常勤別の人数 (FA)

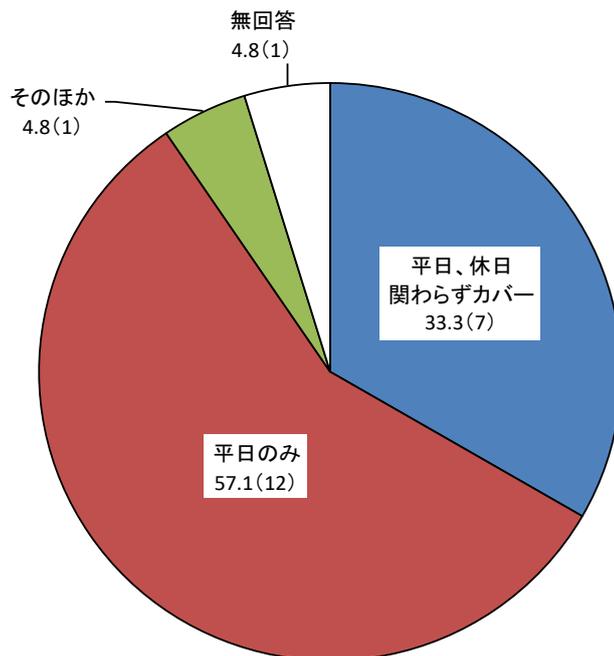
医療通訳の人数について常勤・非常勤それぞれ聞いたところ、常勤では「1人」が60.0%で最も高く、次いで「2人」が10.0%と続いている。非常勤では「1人」が16.7%となっている。



(4) - 7 医療通訳がカバーしている範囲(平日、休日) (SA)

医療通訳がカバーしている範囲について聞いたところ、「平日のみ」が57.1%で最も高く、次いで「平日、休日関わらずカバー」が33.3%と続いている。

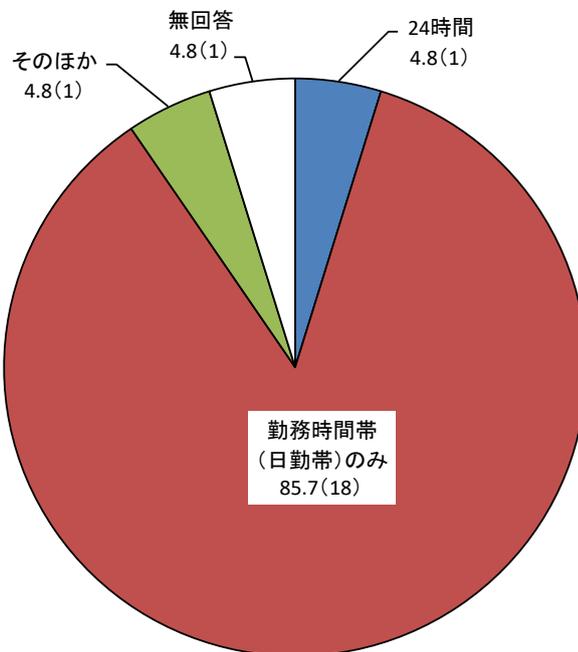
図表 I-2-4-7 医療通訳がカバーしている範囲(平日、休日) (参考)
(n= 21)



(4) - 8 医療通訳がカバーしている時間帯 (SA)

医療通訳がカバーしている時間帯について聞いたところ、「勤務時間帯（日勤帯）のみ」が85.7%で最も高く、次いで「24時間」が4.8%と続いている。

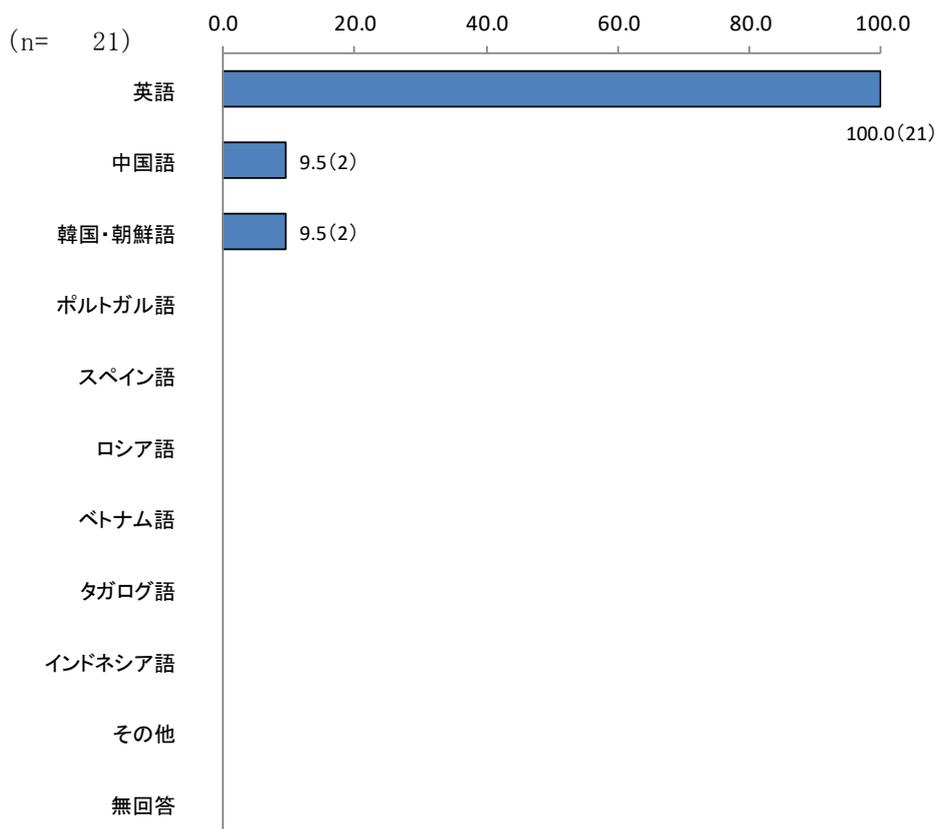
図表 I-2-4-8 医療通訳がカバーしている時間帯(参考)
(n= 21)



(4) - 9 医療通訳の対応言語 (MA)

医療通訳の対応言語について聞いたところ、「英語」が100.0%で最も高く、次いで「中国語」と「韓国・朝鮮語」が9.5%で続いている。

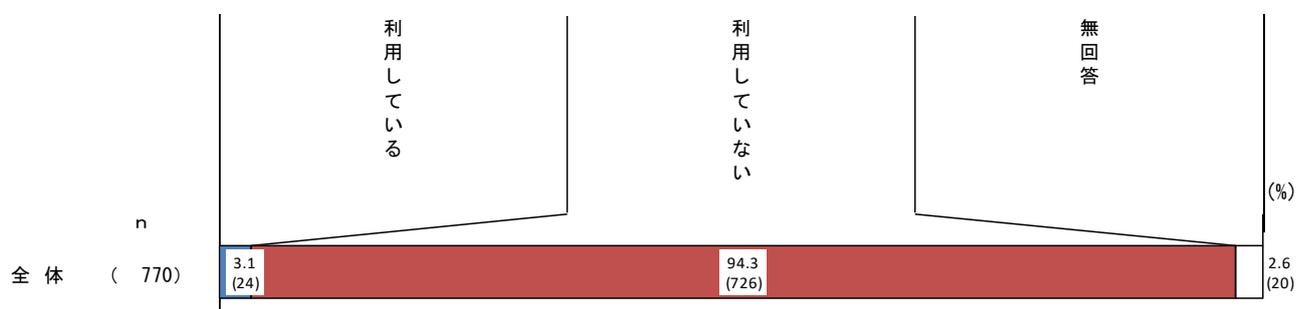
図表 I-2-4-9 医療通訳の対応言語(参考)



(5) 電話通訳（遠隔通訳）の利用状況（SA）

電話通訳（遠隔通訳）の利用状況の配置状況について聞いたところ、「利用している」が3.1%、「利用していない」が94.3%となっている。

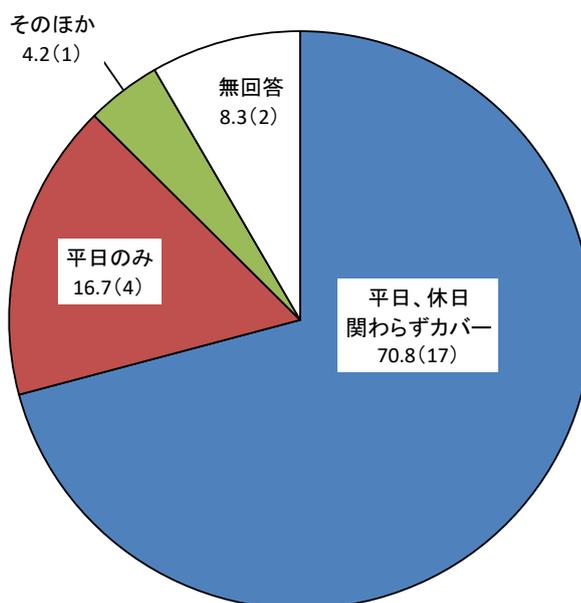
図表 I-2-5 電話通訳の利用状況



(5) - 1 電話通訳がカバーしている範囲（平日、休日）（SA）

電話通訳がカバーしている範囲について聞いたところ、「平日、休日問わずカバー」が70.8%で最も高く、次いで「平日のみ」が16.7%となっている。

図表 I-2-5-1 電話通訳がカバーしている範囲（平日、休日）（参考）
(n= 24)

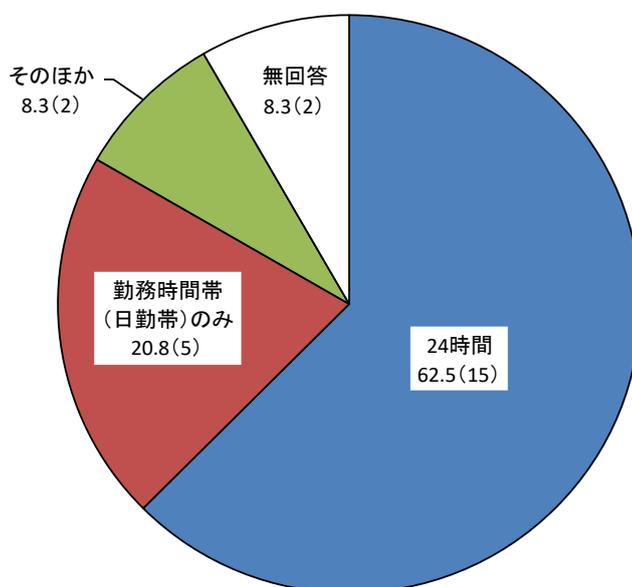


(5) - 2 電話通訳がカバーしている時間帯 (SA)

電話通訳がカバーしている時間帯について聞いたところ、「24時間」が62.5%で最も高く、次いで「勤務時間帯（日勤帯）のみ」が20.8%と続いている。

図表 I-2-5-2 電話通訳がカバーしている時間帯(参考)

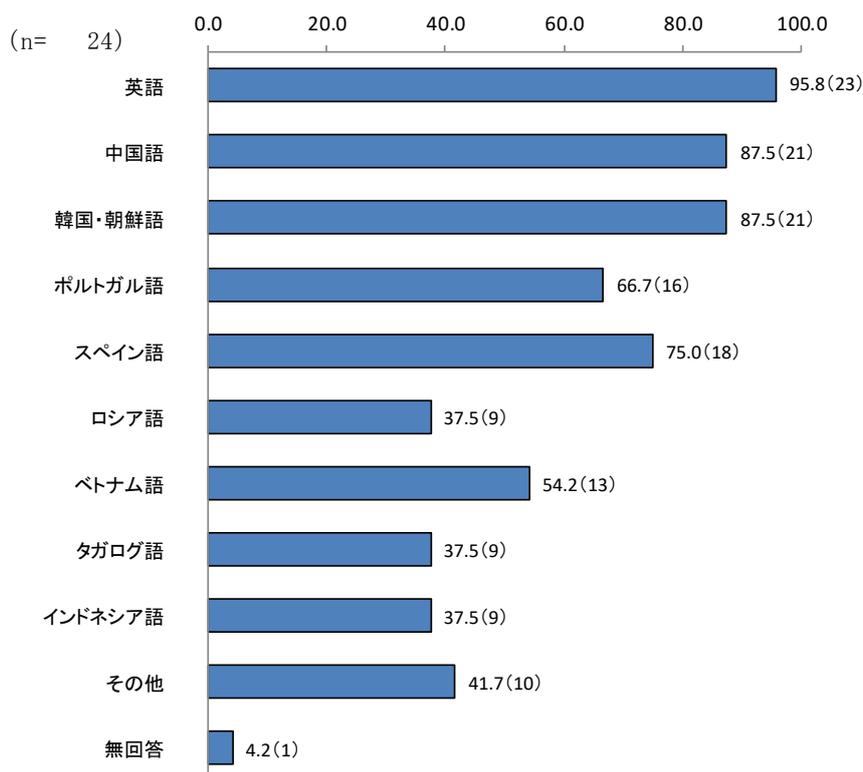
(n= 24)



(5) - 3 電話通訳の対応言語 (MA)

電話通訳の対応言語について聞いたところ、「英語」が95.8%で最も高く、次いで「中国語」と「韓国・朝鮮語」がそれぞれ87.5%で続いている。

図表 I-2-5-3 電話通訳の対応言語(参考)

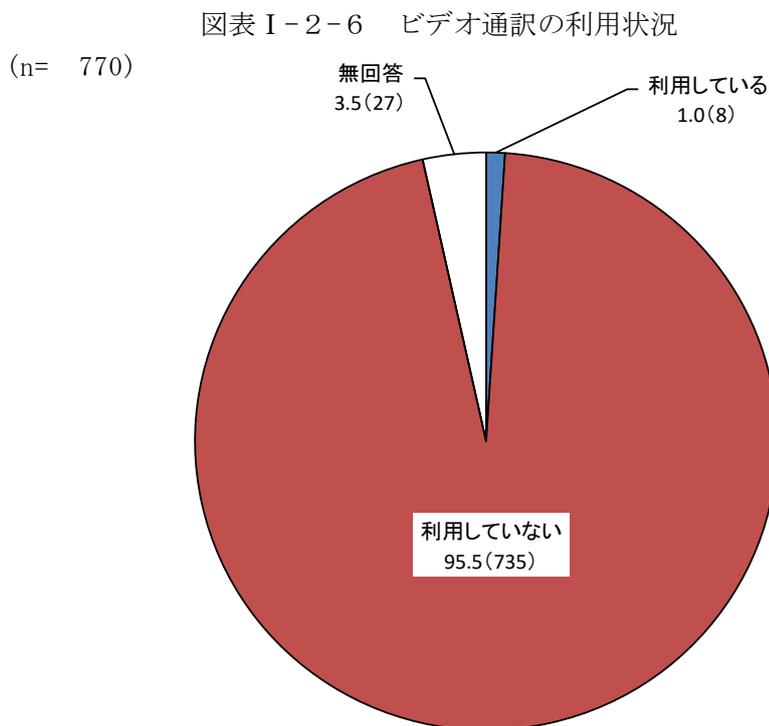


(5) - 4 多言語に対応するためのその他の取組 (FA)

多言語に対応するためのその他の取組について聞いたところ、「Be.Okinawa インバウンド医療通訳コールセンター、ヘルプライン、24時間365日当院医療者が電話を受け英語で対応するサービス」、「携帯電話アプリなどの活用」、「Google 翻訳」等の回答が得られた。

(6) ビデオ通訳（遠隔通訳）の利用状況（SA）

ビデオ通訳（遠隔通訳）の利用状況の配置状況について聞いたところ、「利用している」が1.0%、「利用していない」が95.5%となっている。

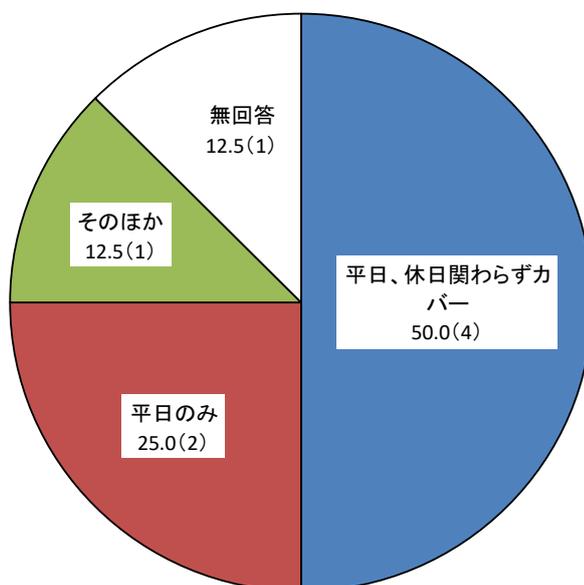


(6) - 1 ビデオ通訳がカバーしている範囲（平日、休日）（SA）

ビデオ通訳がカバーしている範囲について聞いたところ、「平日、休日問わずカバー」が50.0%で最も高く、次いで「平日のみ」が25.0%となっている。

図表 I-2-6-1 ビデオ通訳がカバーしている範囲（平日、休日）（参考）

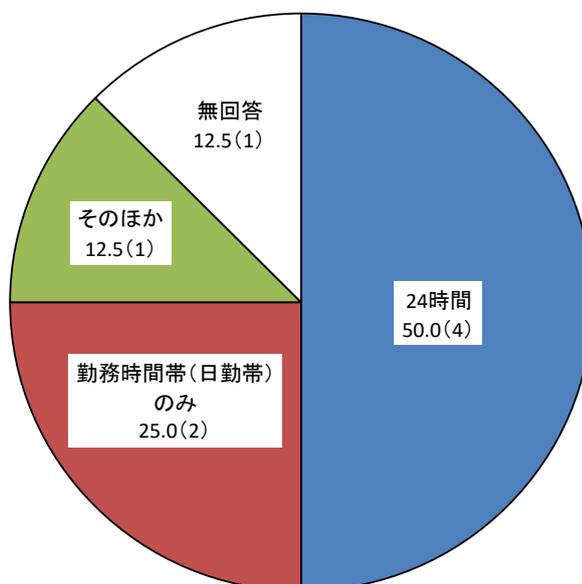
(n= 8)



(6) - 2 ビデオ通訳がカバーしている時間帯 (SA)

ビデオ通訳がカバーしている時間帯について聞いたところ、「24時間」が50.0%で最も高く、次いで「勤務時間帯(日勤帯)のみ」が25.0%と続いている。

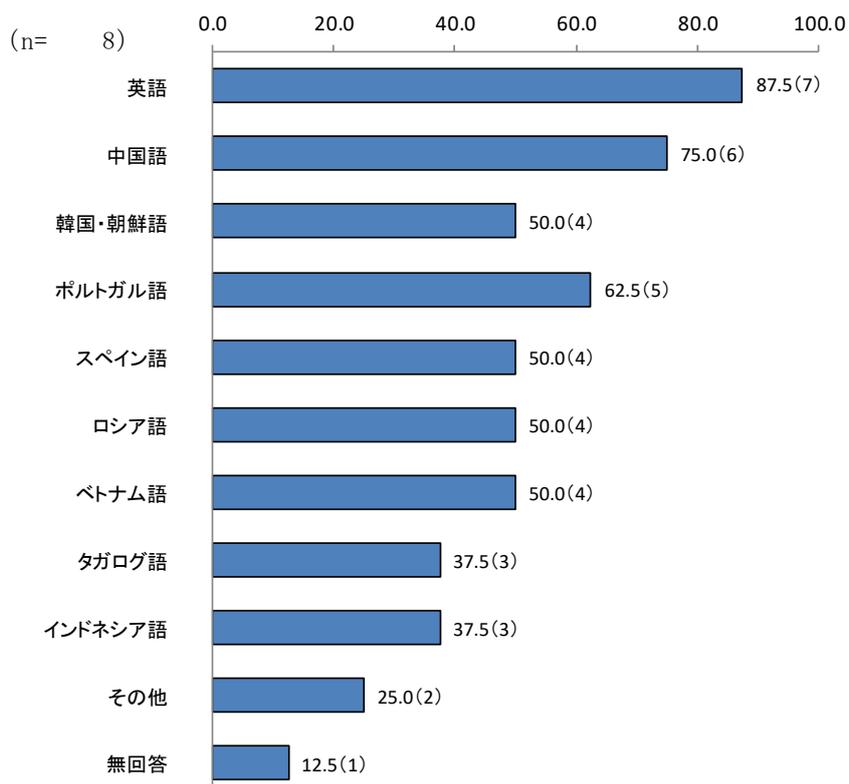
図表 I-2-6-2 ビデオ通訳がカバーしている時間帯(参考)
(n= 8)



(6) - 3 ビデオ通訳の対応言語 (MA)

ビデオ通訳の対応言語について聞いたところ、「英語」が87.5%で最も高く、次いで「中国語」が75.0%で続いている。

図表 I-2-6-3 ビデオ通訳の対応言語(参考)

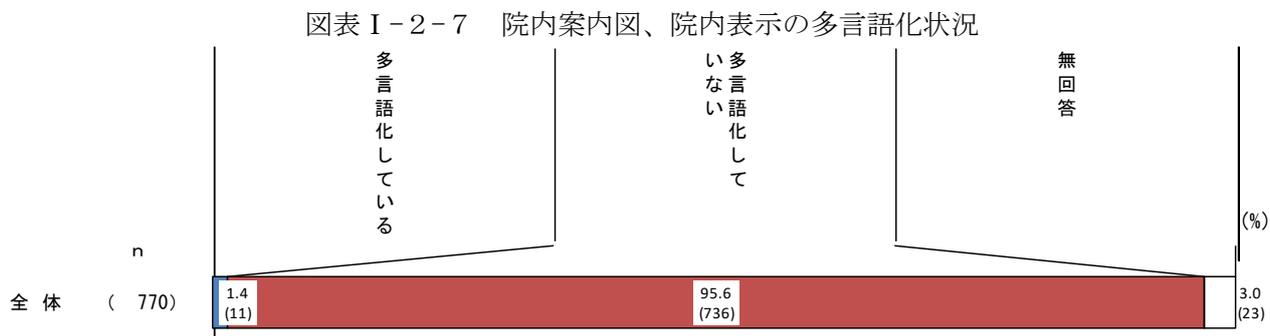


(6) - 4 多言語に対応するためのその他の取組 (FA)

多言語に対応するためのその他の取組について聞いたところ、「通訳機の導入」、「ポケットークの購入」、「ipad より通訳アプリをダウンロード使用してます。」等の回答が得られた。

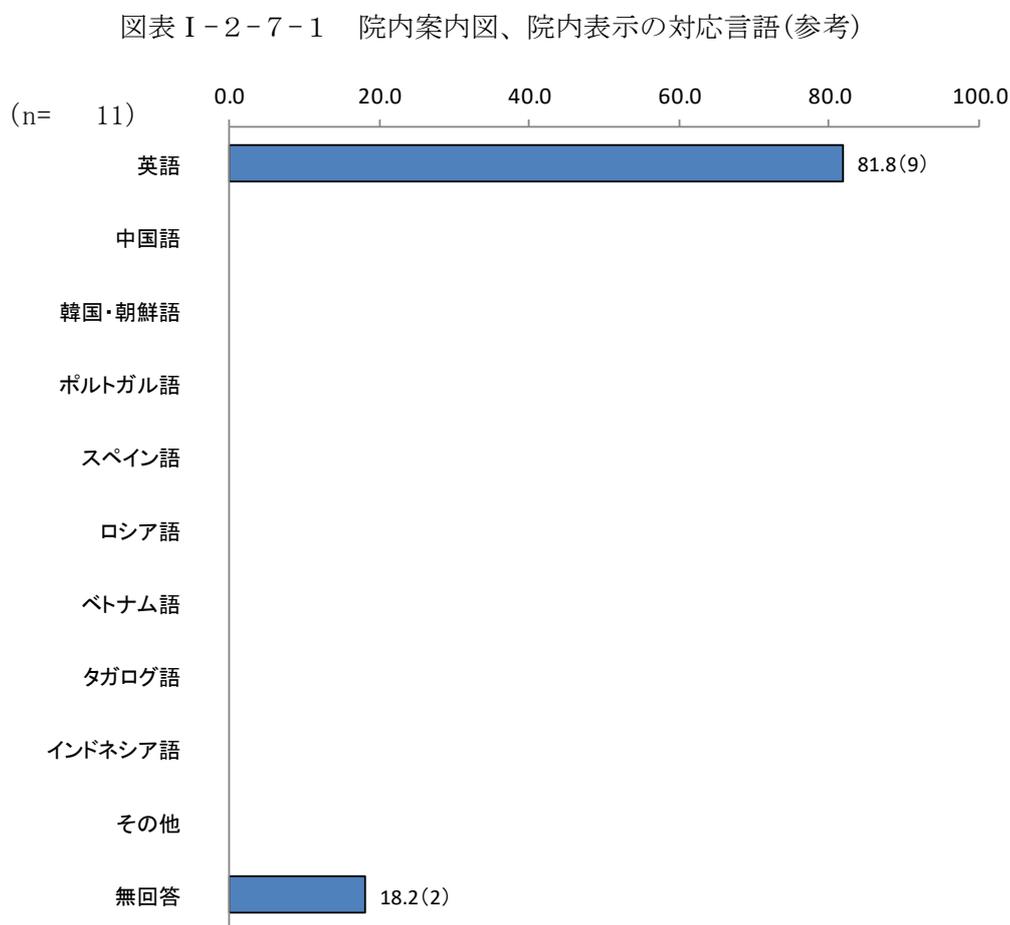
(7) 院内案内図、院内表示の多言語化状況 (SA)

院内案内図、院内表示の多言語化状況について聞いたところ、「多言語化している」が1.4%、「多言語化していない」が95.6%となっている。



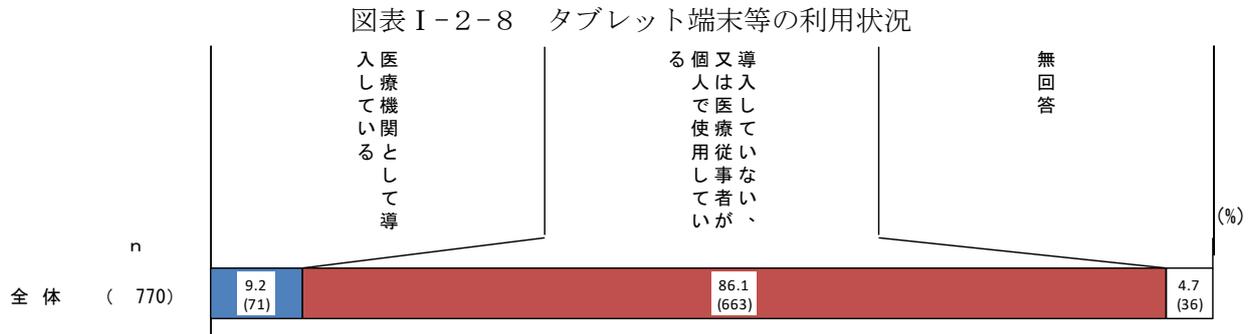
(7) - 1 院内案内図、院内表示の対応言語 (MA)

院内案内図、院内表示の対応言語について聞いたところ、「英語」が81.8%となっている。



(8) タブレット端末等の利用状況 (SA)

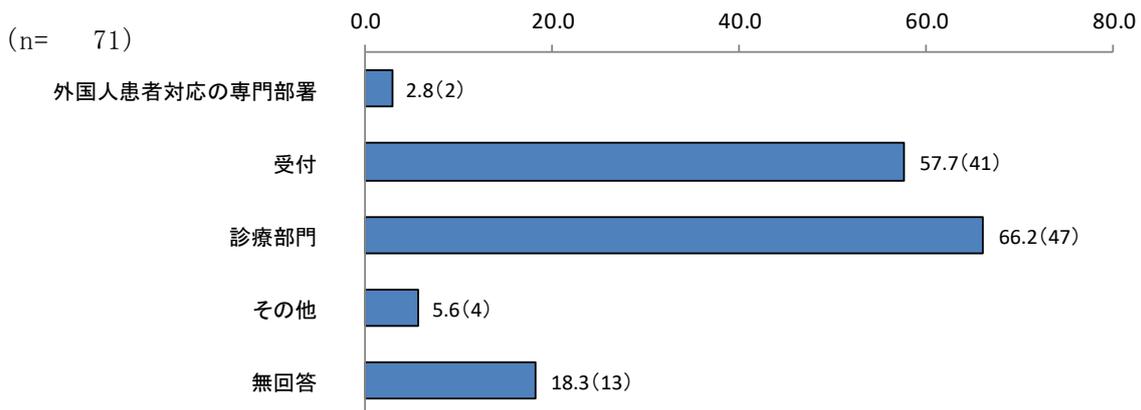
タブレット端末等の利用状況について聞いたところ、「医療機関として導入している」が9.2%、「導入していない、又は医療従事者が個人で使用している」が86.1%となっている。



(8) - 1 タブレット端末等を利用できる職員部門 (MA)

タブレット端末等を利用できる職員部門について聞いたところ、「診療部門」が66.2%で最も高く、次いで「受付」が57.7%と続いている。

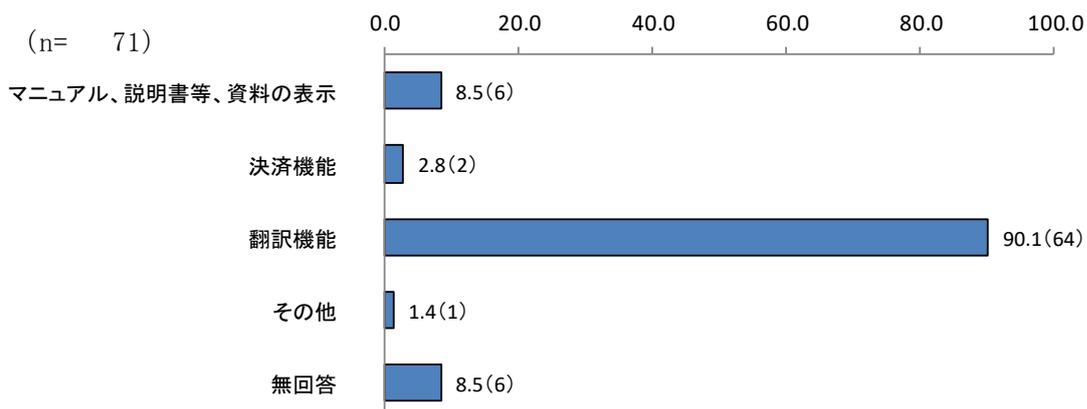
図表 I-2-8-1 タブレット端末等を利用できる職員部門



(8) - 2 タブレット端末等に備わっている機能 (MA)

タブレット端末等に備わっている機能について聞いたところ、「翻訳機能」が90.1%で最も高く、次いで「マニュアル、説明書等、資料の表示」が8.5%と続いている。

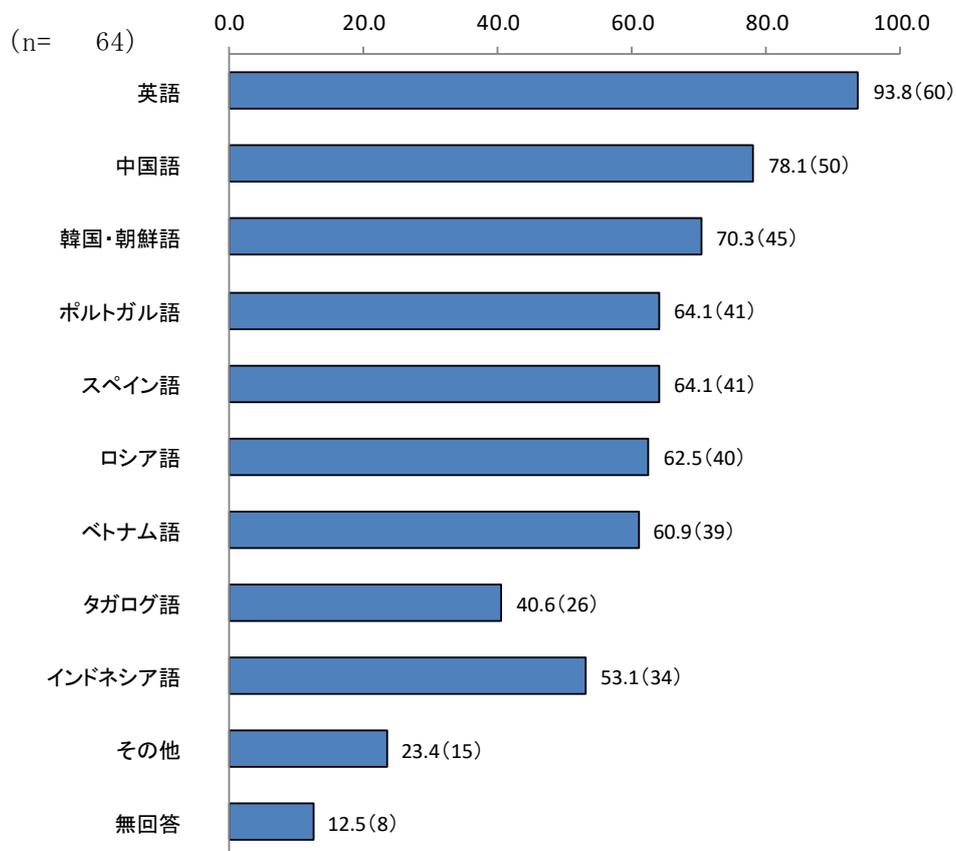
図表 I-2-8-2 タブレット端末等に備わっている機能



(8) - 3 翻訳機能の対応言語 (MA)

翻訳機能の対応言語について聞いたところ、「英語」が93.8%で最も高く、次いで「中国語」が78.1%と続いている。

図表 I-2-6-3 翻訳機能の対応言語

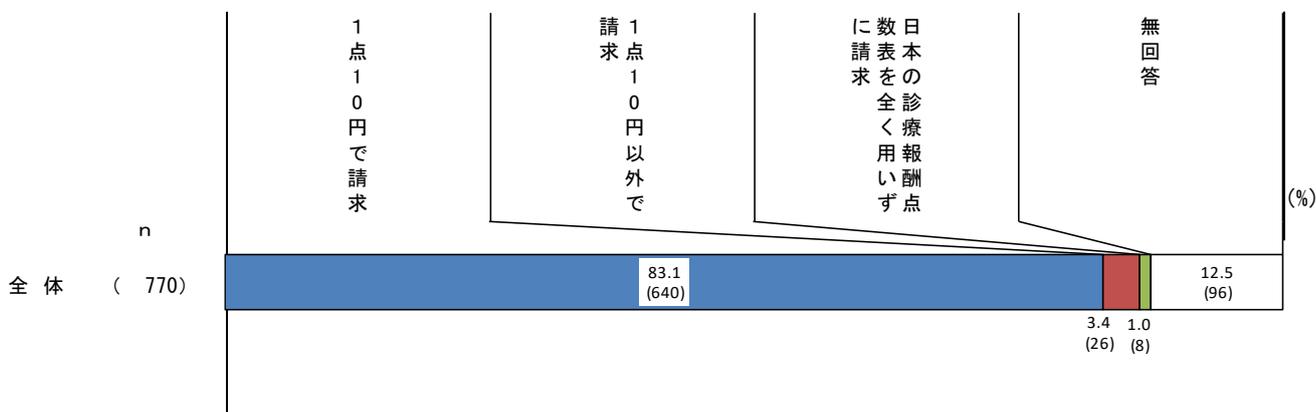


3. 医療費等について

(1) 医療費の請求方法 (SA)

医療費の請求方法について聞いたところ、「1点10円で請求」が83.1%で最も高く、次いで「1点10円以外で請求」が3.4%と続いている。

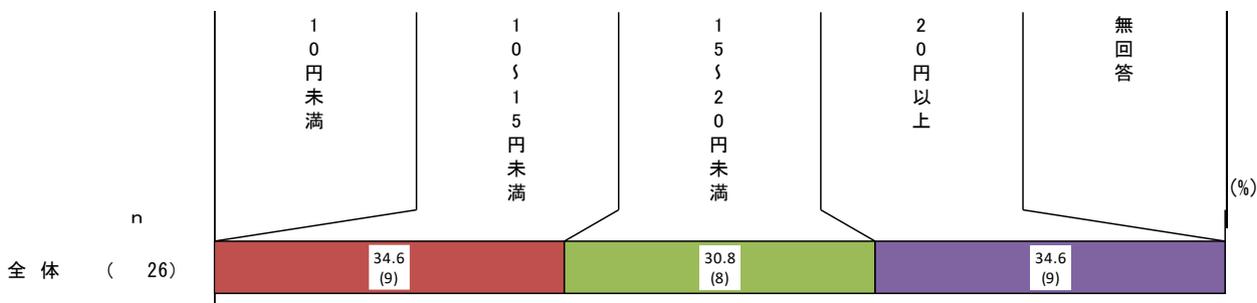
図表 I-3-1 医療費の請求方法



(1) - 1 診療報酬点数「1点」あたりの金額 (FA)

『1点10円以外で請求』と回答した施設に診療報酬点数「1点」あたりの金額について聞いたところ、「10～15円未満」と「20円以上」がそれぞれ34.6%で最も高くなっている。

図表 I-3-1-1 診療報酬点数「1点」あたりの金額(参考)

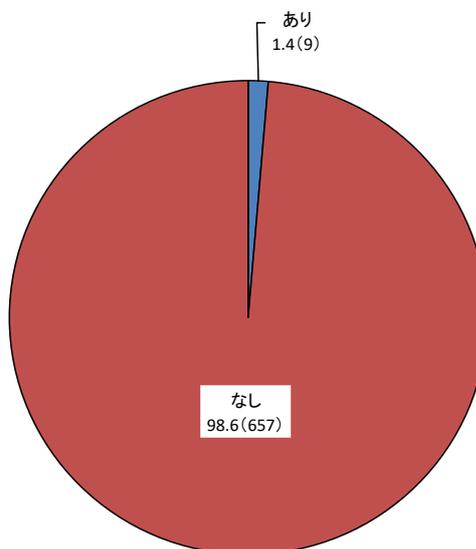


(1) - 2 追加的費用の請求の有無 (SA)

追加的費用の請求の有無について聞いたところ、「あり」が1.4%、「なし」が98.6%となっている。

図表 I-3-1-2 追加的費用の請求の有無

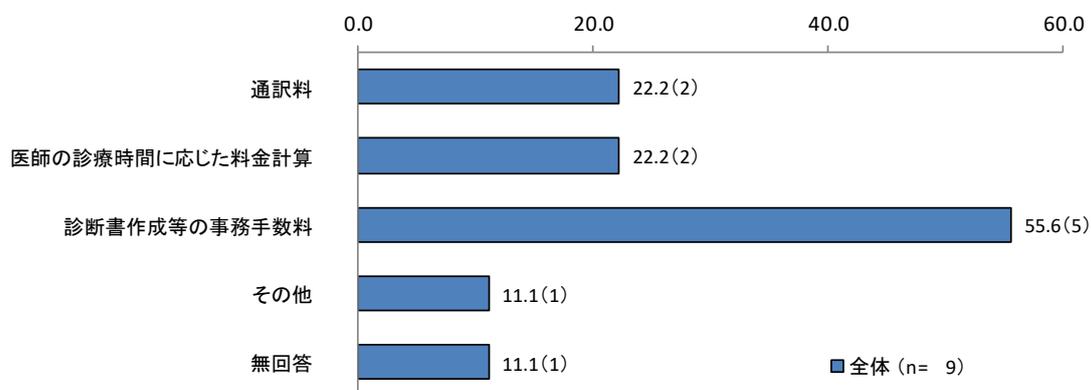
(n= 666)



(1) - 3 追加的費用の内容 (MA)

追加的費用の内容について聞いたところ、「診断書作成等の事務手数料」が55.6%で最も高く、次いで「通訳料」と「医師の診療時間に応じた料金計算」がそれぞれ22.2%と続いている。

図表 I-3-1-3 追加的費用の内容(参考)



(1) - 4 追加請求の金額 (FA)

通訳料の具体的な金額について回答があったのは、1回あたりの通訳料で1件(50.0%)となっており、その請求金額は10,000.00円(1回あたり)となっている。10分あたりの通訳料について、回答のあった病院は1件もなかった。

図表 I-3-1-4 追加請求の金額(参考)

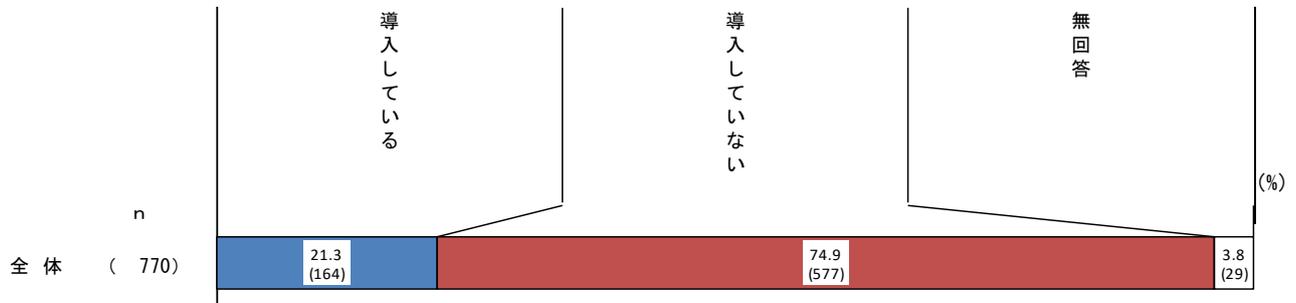
1回あたりの通訳料			
	通訳料を追加請求している病院数	金額の回答有	1回あたりの通訳料の平均(円)
全体	2	1	10,000.00
	100.0	50.0	

4. キャッシュレス決済について

(1) カード（クレジットカード・デビットカード）を利用した決済の導入状況（SA）

カードを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が21.3%、「導入していない」が74.9%となっている。

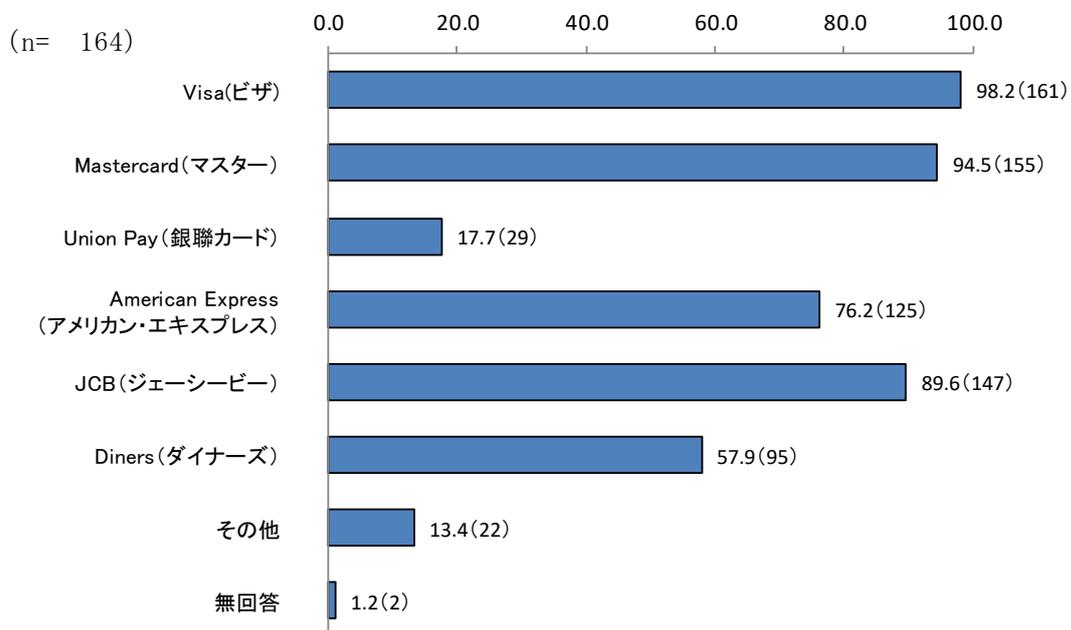
図表 I-4-1 カード（クレジットカード・デビットカード）を利用した決済の導入状況



(1) - 1 導入している対応ブランド（MA）

導入している対応ブランドについて聞いたところ、「Visa（ビザ）」が98.2%で最も高く、次いで「Mastercard（マスター）」が94.5%と続いている。

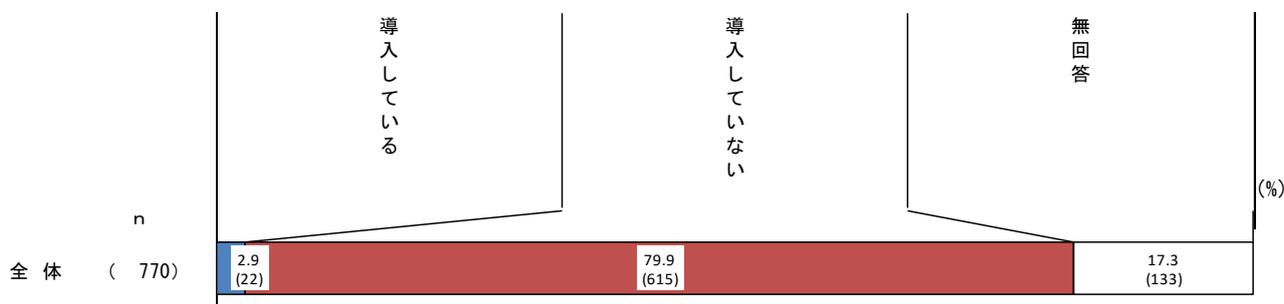
図表 I-4-1-1 導入している対応ブランド



(2) 非接触カードを利用した決済の導入状況 (SA)

非接触カードを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が2.9%、「導入していない」が79.9%となっている。

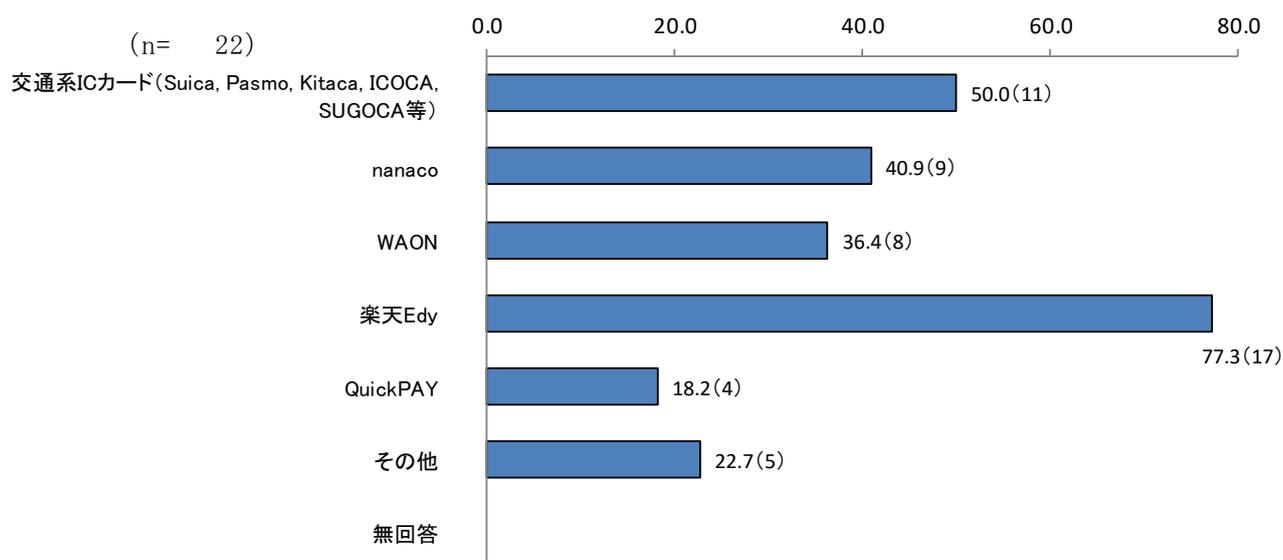
図表 I-4-2 非接触カードを利用した決済の導入状況



(2) - 1 対応している電子マネー (MA)

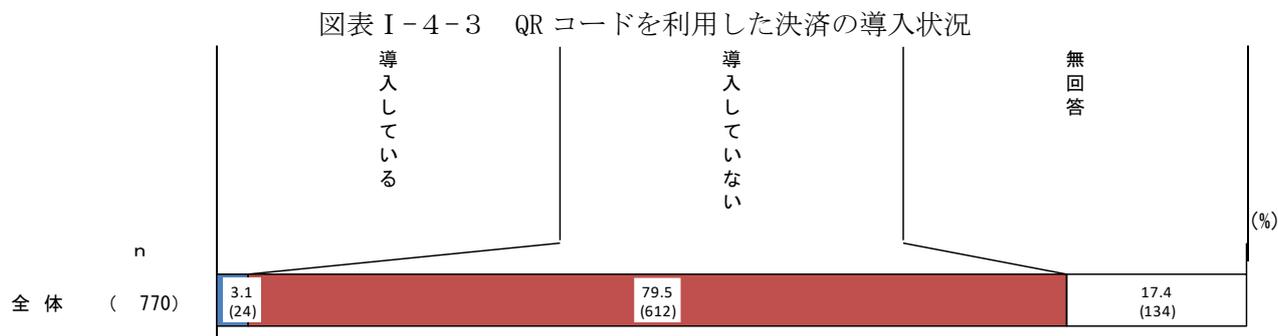
対応している電子マネーについて聞いたところ、「楽天Edy」が77.3%で最も高く、次いで「交通系ICカード」が50.0%と続いている。

図表 I-4-2-1 対応している電子マネー(参考)



(3) QRコードを利用した決済の導入状況 (SA)

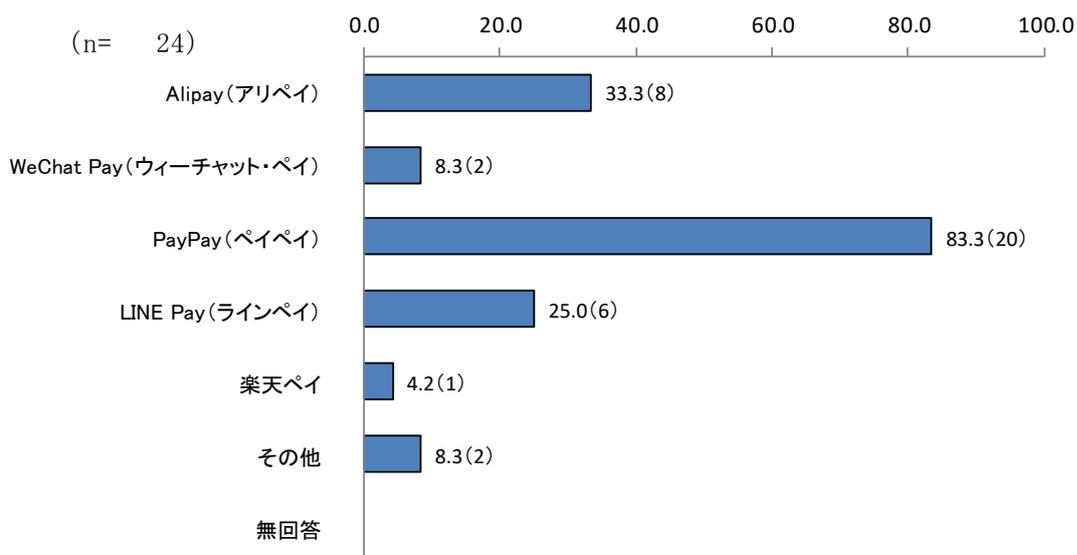
QRコードを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が3.1%、「導入していない」が79.5%となっている。



(3) - 1 対応しているサービス (MA)

対応しているサービスについて聞いたところ、「PayPay(ペイペイ)」が83.3%で最も高く、次いで「Alipay(アリペイ)」が33.3%と続いている。

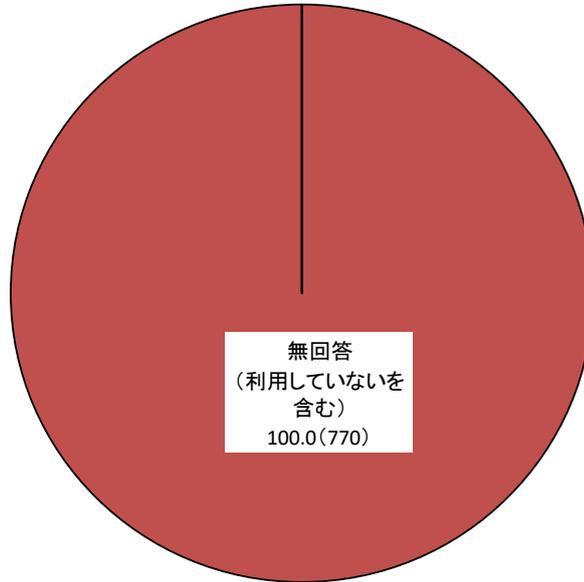
図表 I-4-3-1 対応しているサービス(参考)



(4) その他の決済サービスの利用状況 (FA)

その他の決済サービスの利用状況について聞いたところ、「利用している」はなく、「無回答 (利用していないを含む)」が 100.0%となっている。

図表 I-4-4 その他の決済サービスの導入状況
(n= 770)



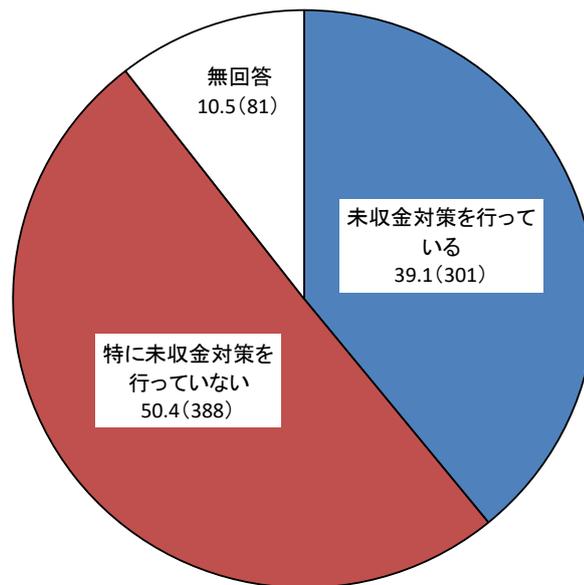
5. 未収金等への対策について

(1) 未収金対策の実施有無 (SA)

外国人患者受入に関して未収金対策の実施をしているか聞いたところ、「未収金対策を行っている」が39.1%、「特に未収金対策を行っていない」が50.4%となっている。

図表 I-5-1 未収金対策の実施有無

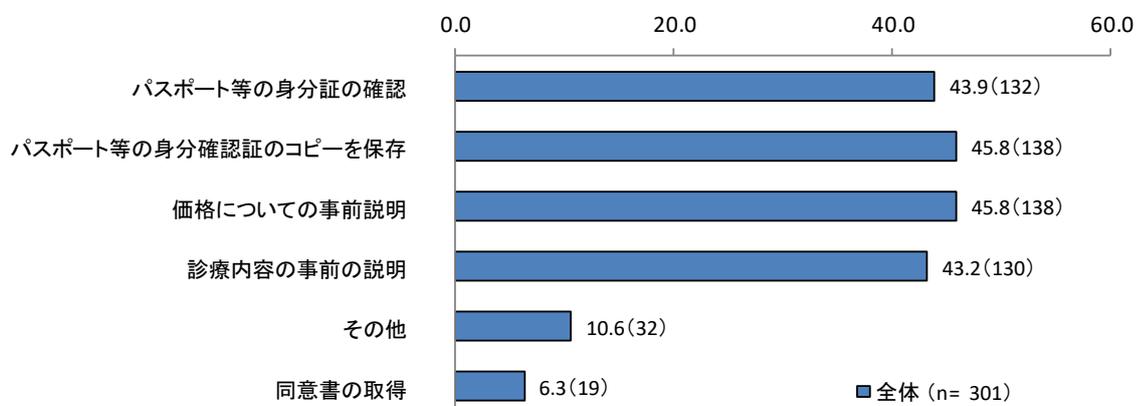
(n= 770)



(2) 外国人患者に対して実施している未収金対策 (MA)

外国人患者に対して実施している未収金対策について聞いたところ、「パスポート等の身分確認証のコピーを保存」と「価格についての事前説明」がそれぞれ45.8%で最も高く、次いで「パスポート等の身分証の確認」が43.9%と続いている。

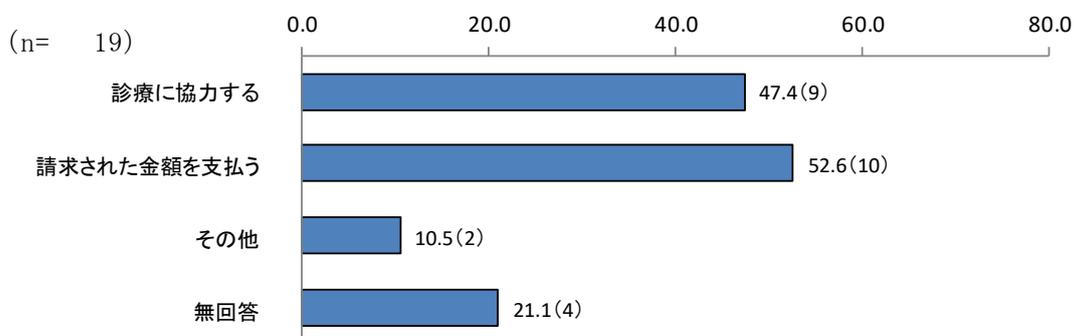
図表 I-5-2 外国人患者に対して実施している未収金対策



(2) - 1 同意書の同意内容 (MA)

外国人患者に『同意書の取得』を実施している施設（19施設、6.3%）に同意書の同意内容について聞いたところ、「請求された金額を支払う」が52.6%で最も高く、次いで「診療に協力する」が47.4%と続いている。

図表 I-5-2-1 同意書の同意内容(参考)

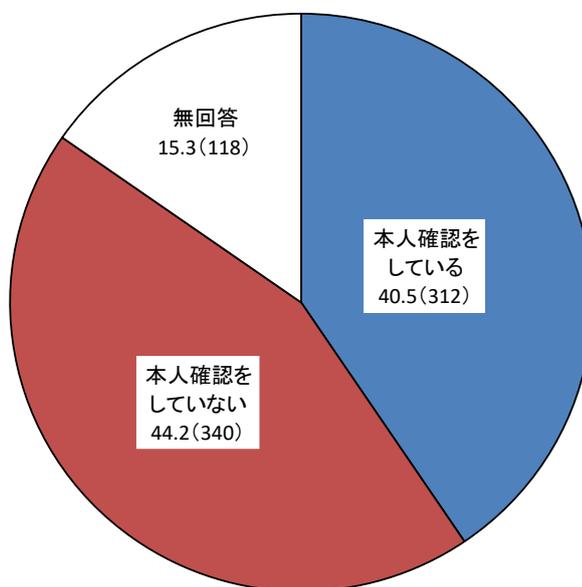


(3) 在留外国人への本人確認実施の有無 (SA)

在留外国人への本人確認実施の有無について聞いたところ、「本人確認をしている」が40.5%、「本人確認をしていない」が44.2%となっている。

図表 I-5-3 在留外国人への本人確認実施の有無

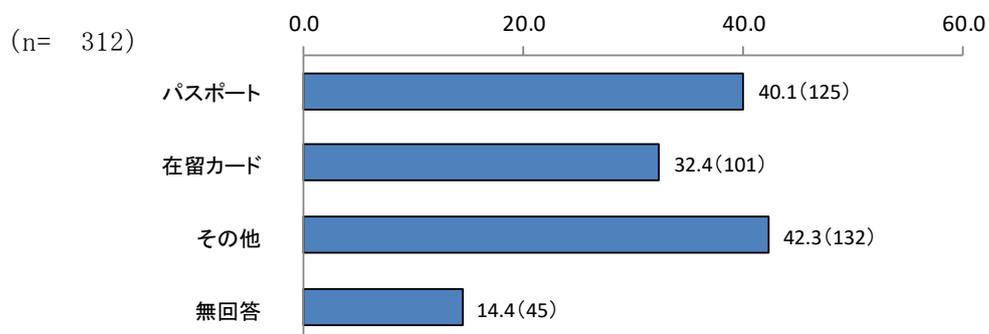
(n= 770)



(3) - 1 本人確認時に提示を求めているもの (MA)

本人確認時に提示を求めているものについて聞いたところ、「パスポート」が40.1%で最も高く、次いで「在留カード」が32.4%と続いている。

図表 I-5-3-1 本人確認時に提示を求めているもの



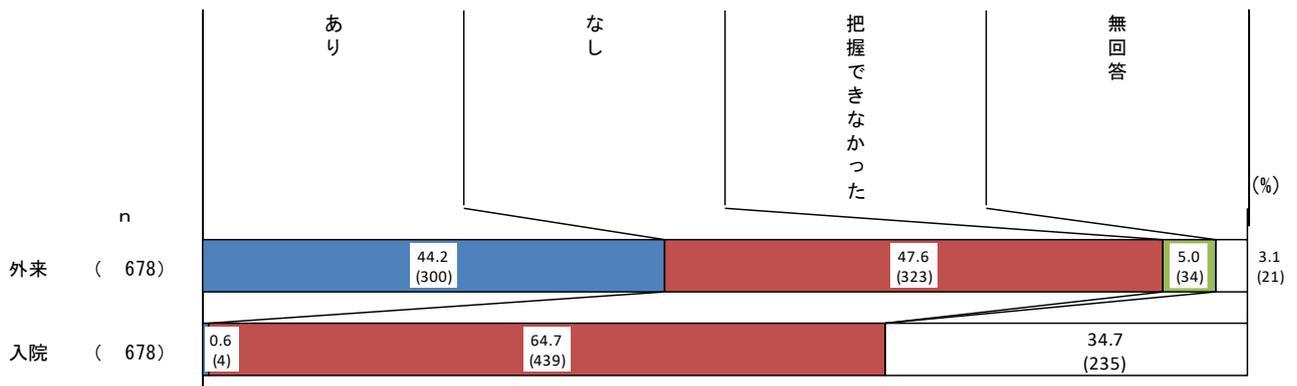
II. 調査票 B 結果

1. 外国人患者の受入実績

(1) 在留外国人患者受入の有無 (SA)

在留外国人患者受入の有無について聞いたところ、外来では「あり」が44.2%、「なし」が47.6%、「把握できなかった」が5.0%となっており、入院では「あり」が0.6%、「なし」が64.7%となっている。

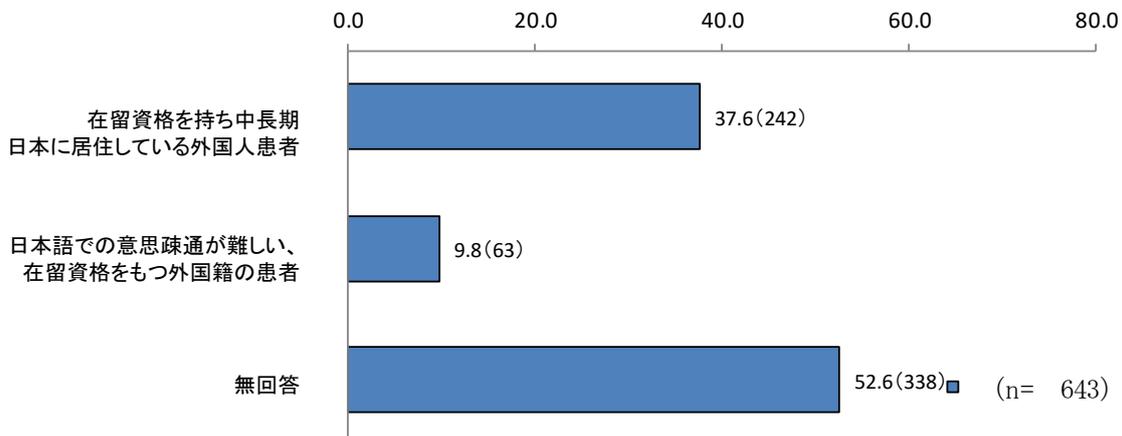
図表 II-1-1-1 在留外国人患者受入の有無



(1) - 1 在留外国人患者の把握方法 (MA)

在留外国人患者の把握方法について聞いたところ、「在留資格を持ち中長期日本に居住している外国人患者」が37.6%、「日本語での意思疎通が難しい、在留資格を持つ外国籍の患者」が9.8%となっている。

図表 II-1-1-1-1 把握している在留外国人患者



(1) - 2 受け入れた在留外国人患者の延べ人数 (FA)

受け入れた在留外国人患者の延べ人数について回答があったのは、外来で 255 件 (85.0%)、入院で 3 件 (75.0%) となっており、延べ人数はそれぞれ 2,185 人 (外来)、38 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 8.57 人 (外来)、12.67 人 (入院) となっている。

図表Ⅱ-1-1-2 受け入れた在留外国人患者の延べ人数

外来					
	回答者全体	有効回答 機関数	無回答	受入患者総数 (人)	1医療機関 あたりの 患者数(人)
全体	300	255	45	2,185	8.57
	100.0	85.0	15.0		
入院					
	回答者全体	有効回答 機関数	無回答	受入患者総数 (人)	1医療機関 あたりの 患者数(人)
全体	4	3	1	38	12.67
	100.0	75.0	25.0		

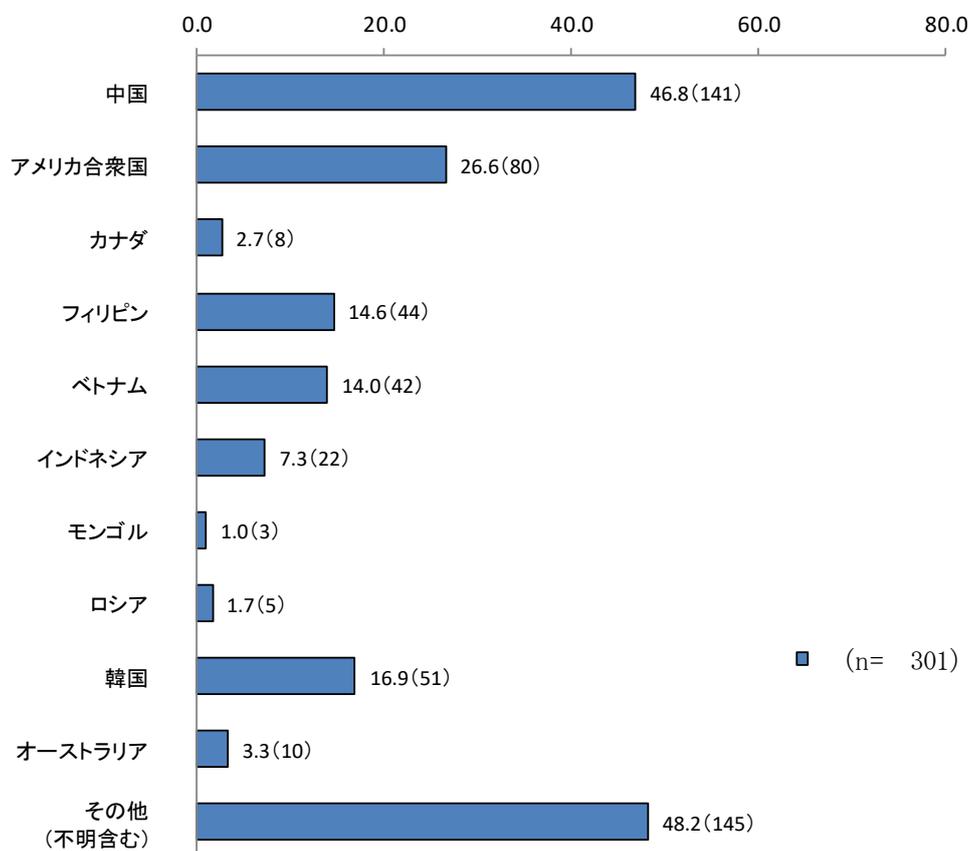
※表中の「1医療機関あたりの患者数」は、「受入患者総数」を「有効回答期間数」割って算出している。

(1) - 3 受け入れた在留外国人患者の国籍 (MA)

受け入れた在留外国人患者の国籍について聞いたところ、「中国」が46.8%で最も高く、次いで「アメリカ合衆国」が26.6%と続いている。

また、国籍別在留外国人患者の総数については、下表の通りとなっている。

図表Ⅱ-1-1-3 受け入れた在留外国人患者の国籍



図表Ⅱ-1-1-3-1 国籍別在留外国人患者の総数

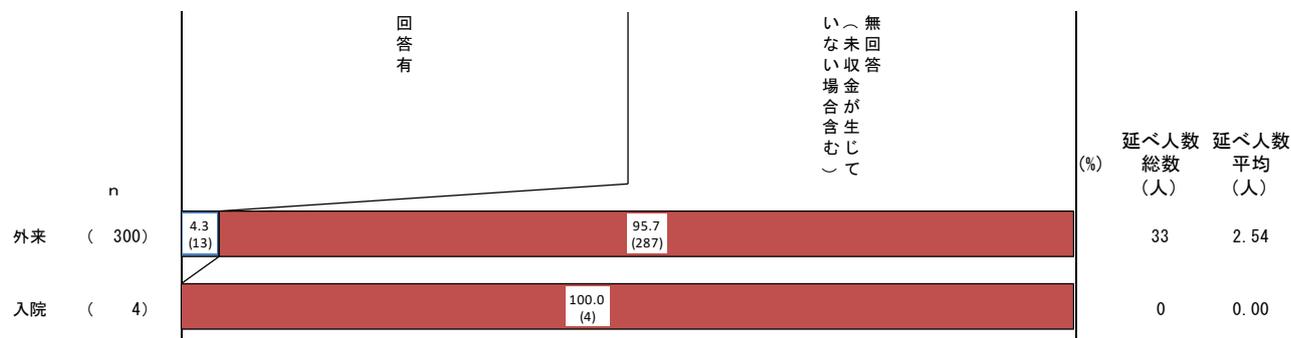
	中国	アメリカ合衆国	カナダ	フィリピン	ベトナム	インドネシア	モンゴル	ロシア	韓国	オーストラリア	その他 (不明含む)
病院数 (件)	141	80	8	44	42	22	3	5	51	10	145
総数 (人)	554	192	10	80	73	45	4	7	116	14	762
平均 (人)	3.85	2.29	0.63	1.60	1.49	1.67	0.44	0.54	2.04	0.82	5.26

※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した施設数で割って算出している。

(1) - 4 未収金を生じた在留外国人患者 (FA)

未収金を生じた在留外国人患者数について回答があったのは、外来で4.3%、入院で0.0%となっており、外来の延べ人数は33人、平均人数は2.54人となっている。

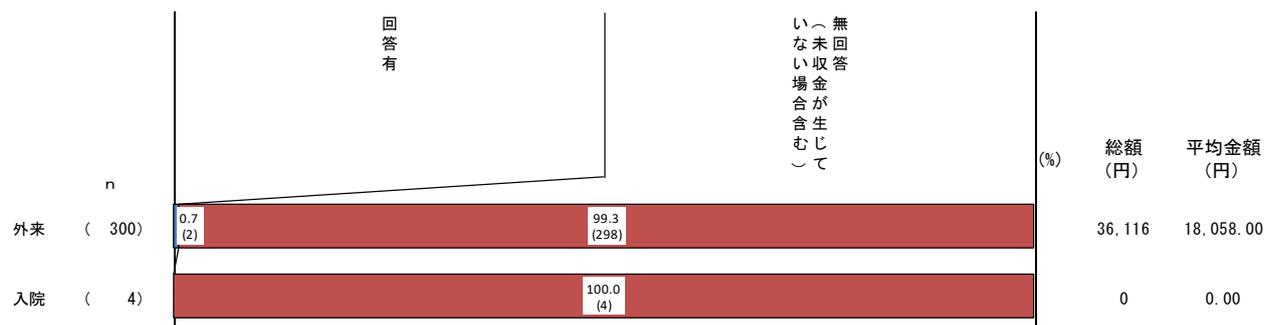
図表Ⅱ-1-1-4-1 未収金を生じた在留外国人患者 (人数) (参考)



※表中の「延べ人数平均」は、「延べ人数総数」を「回答有」の機関数で割って算出している。

未収金の合計金額について回答があったのは、外来で0.7%、入院で0.0%となっており、外来の総額は36,116円、平均金額は18,058.00円となっている。

図表Ⅱ-1-1-4-2 未収金を生じた在留外国人患者 (金額) (参考)



※表中の「平均金額」は、機関数で割って算出している。

(1) - 5 公的医療保険利用の有無（在留外国人）(FA)

在留外国人患者の公的医療保険利用の有無について聞いたところ、外来では「あり」と回答があった施設数は224件で、人数の総数が1,182人、平均が5.28人、「なし」と回答があった施設数は54件で、人数の総数が159人、平均が2.94人となっている。

また、入院では「あり」と回答があった施設数は2件で、人数の総数が3人、平均が1.50人、「なし」と回答があった施設数は0件となっている。

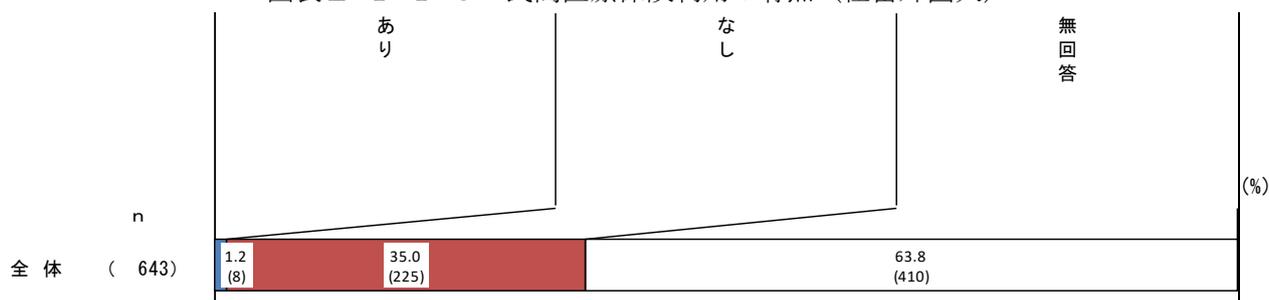
図表Ⅱ-1-1-5 公的医療保険利用の有無（在留外国人）

	外来			入院			
	施設数 (件)	総数 (人)	平均 (人)	施設数 (件)	総数 (人)	平均 (人)	
あり	224	1,182	5.28	あり	2	3	1.50
なし	54	159	2.94	なし	0	0	0.00

(1) - 6 民間医療保険利用の有無（在留外国人）(SA)

在留外国人患者の民間医療保険利用の有無について聞いたところ、「あり」が1.2%、「なし」が22.5%となっている。

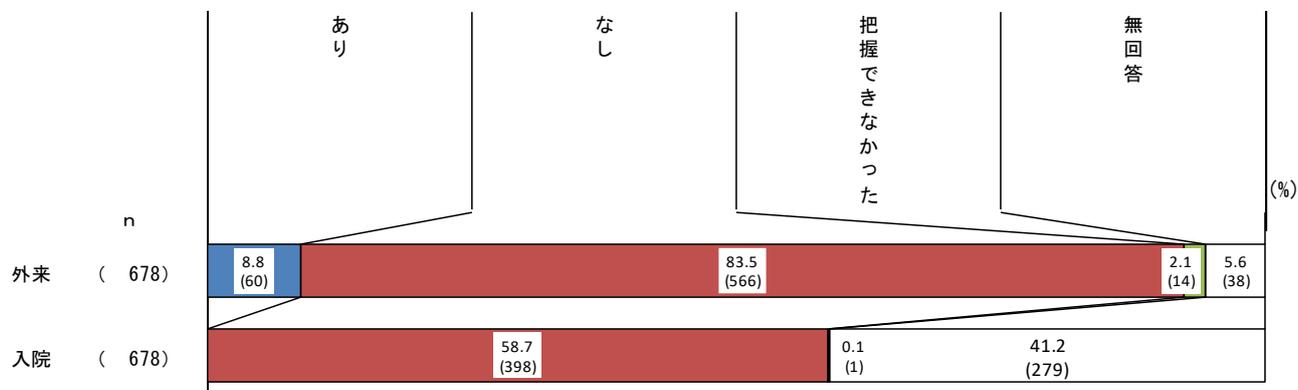
図表Ⅱ-1-1-6 民間医療保険利用の有無（在留外国人）



(2) 訪日外国人患者（医療渡航を除く）受入の有無（SA）

訪日外国人患者（医療渡航を除く）受入の有無について聞いたところ、外来では「あり」が8.8%、「なし」が83.5%、「把握できなかった」が2.1%となっており、入院では「あり」が0.0%、「なし」が58.7%、「把握できなかった」が0.1%となっている。

図表Ⅱ-1-2 訪日外国人患者（医療渡航を除く）受入の有無



(2) - 1 受け入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の延べ人数（FA）

受け入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の延べ人数について回答があったのは、外来で49件（81.7%）となっており、外来の延べ人数は142人、平均人数は2.90人となっている。入院について、延べ人数の回答があった病院は1件もなかった。

図表Ⅱ-1-2-1 受け入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の延べ人数

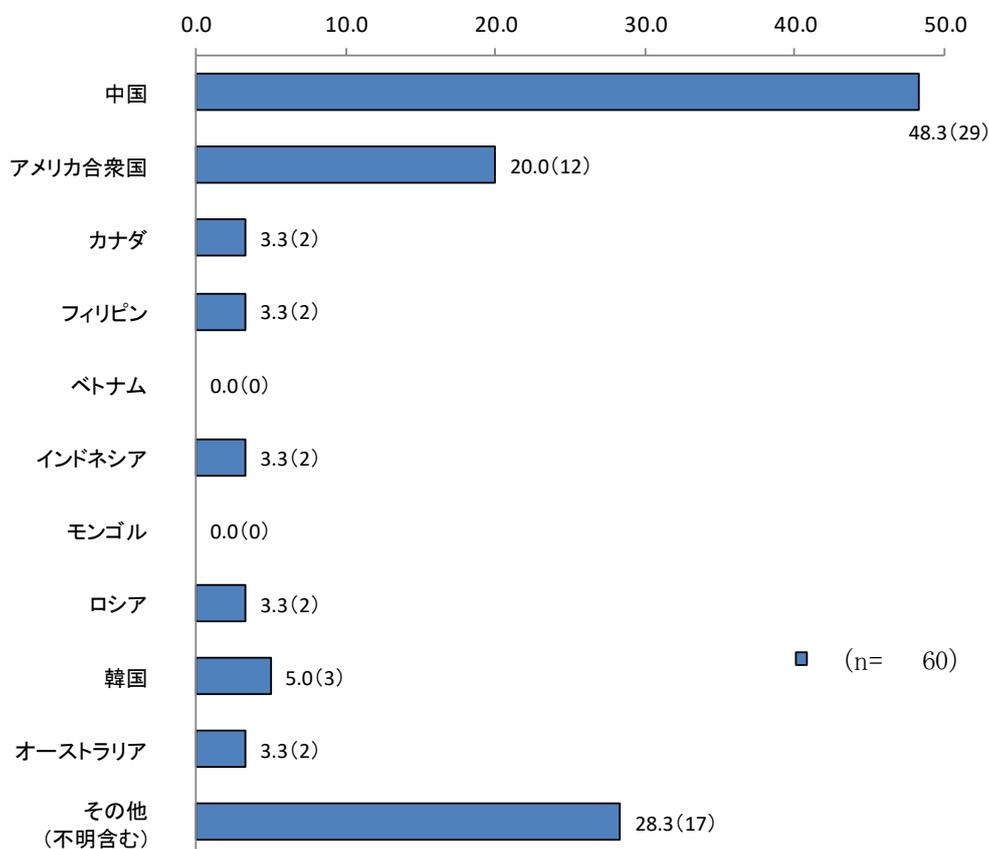
外来					
	回答者全体	有効回答 機関数	無回答	受入患者総数 (人)	1医療機関 あたりの 患者数(人)
全体	60	49	11	142	2.90
	100.0	81.7	18.3		

(2) - 2 受け入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の国籍（MA）

受け入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の国籍について聞いたところ、「中国」が48.3%で最も高く、次いで「アメリカ合衆国」が20.0%と続いている。

また、国籍別訪日外国人患者（医療渡航を除く）の総数については、下表の通りとなっている。

図表Ⅱ-1-2-2 受け入れた訪日外国人患者（医療渡航を除く）の国籍



図表Ⅱ-1-1-3-1 国籍別訪日外国人患者の総数

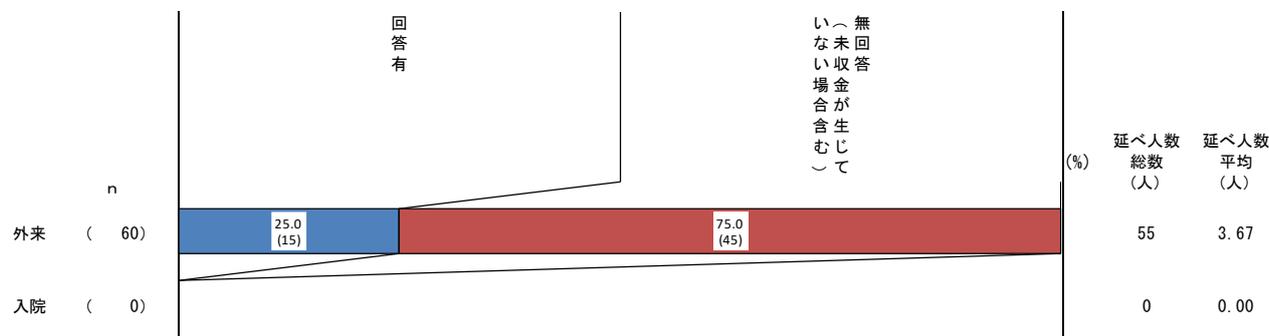
	中国	アメリカ合衆国	カナダ	フィリピン	ベトナム	インドネシア	モンゴル	ロシア	韓国	オーストラリア	その他 (不明含む)
病院数 (件)	29	12	2	2	0	2	0	2	3	2	17
総数 (人)	44	23	6	6	0	2	0	2	3	6	73
平均 (人)	1.47	1.53	1.20	1.50	0.00	0.40	0.00	0.40	0.50	1.20	4.06

※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した施設数で割って算出している。

(2) - 3 未収金を生じた訪日外国人患者（医療渡航を除く）(FA)

未収金を生じた訪日外国人患者（医療渡航を除く）数について回答があったのは、外来で 25.0%、入院は 0.0% となっており、外来の延べ人数は 55 人、平均人数は 3.67 人となっている。

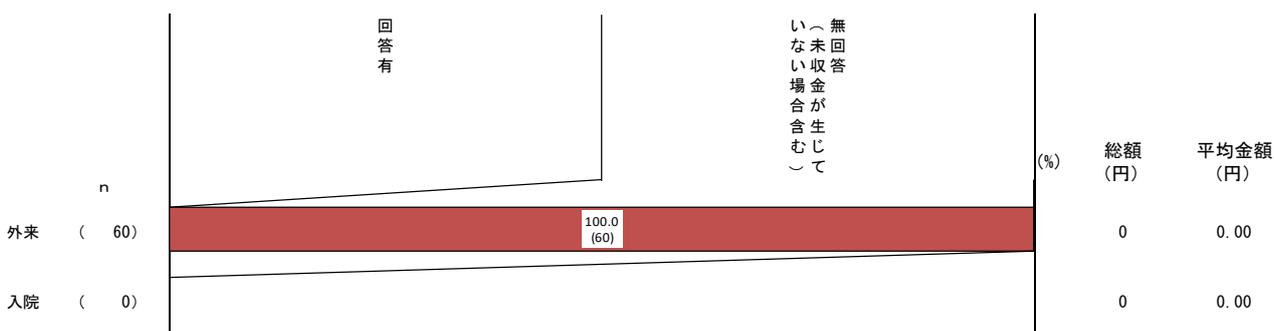
図表 II-1-2-3-1 未収金を生じた訪日外国人患者（医療渡航を除く）(人数) (参考)



※表中の「延べ人数平均」は、「延べ人数総数」を「回答有」の機関数で割って算出している。

未収金の合計金額について回答があったのは、外来、入院ともに 1 件もなかった。

図表 II-1-2-3-2 未収金を生じた訪日外国人患者（医療渡航を除く）(金額) (参考)



※表中の「平均金額」は、機関数で割って算出している。

(2) - 4 公的医療保険利用の有無（訪日外国人患者（医療渡航を除く））(FA)

訪日外国人患者（医療渡航を除く）の公的医療保険利用の有無について聞いたところ、外来では「あり」と回答があった施設数は6件で、人数の総数が40人、平均が6.67人、「なし」と回答があった施設数は40件で、人数の総数が73人、平均が1.83人となっている。

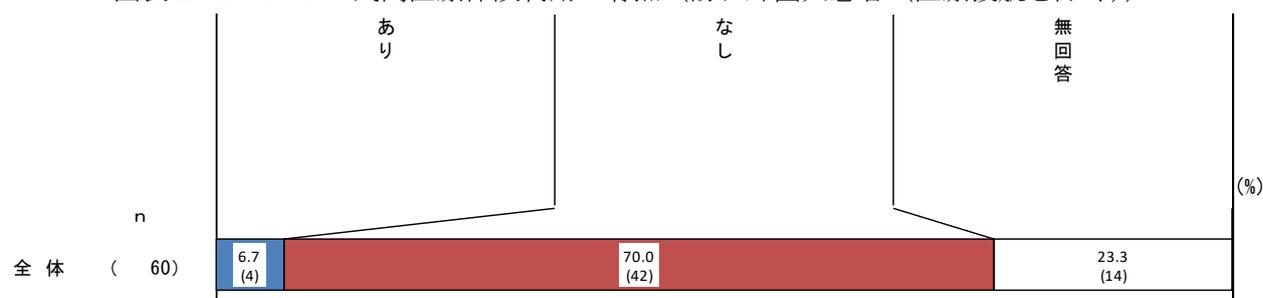
図表Ⅱ-1-2-4 公的医療保険利用の有無（訪日外国人患者（医療渡航を除く））（参考）

	外来			入院		
	施設数 (件)	総数 (人)	平均 (人)	施設数 (件)	総数 (人)	平均 (人)
あり	6	40	6.67	あり	0	0.00
なし	40	73	1.83	なし	0	0.00

(2) - 5 民間医療保険利用の有無（訪日外国人患者（医療渡航を除く））(SA)

訪日外国人患者（医療渡航を除く）の民間医療保険利用の有無について聞いたところ、「あり」が6.7%、「なし」が70.0%となっている。

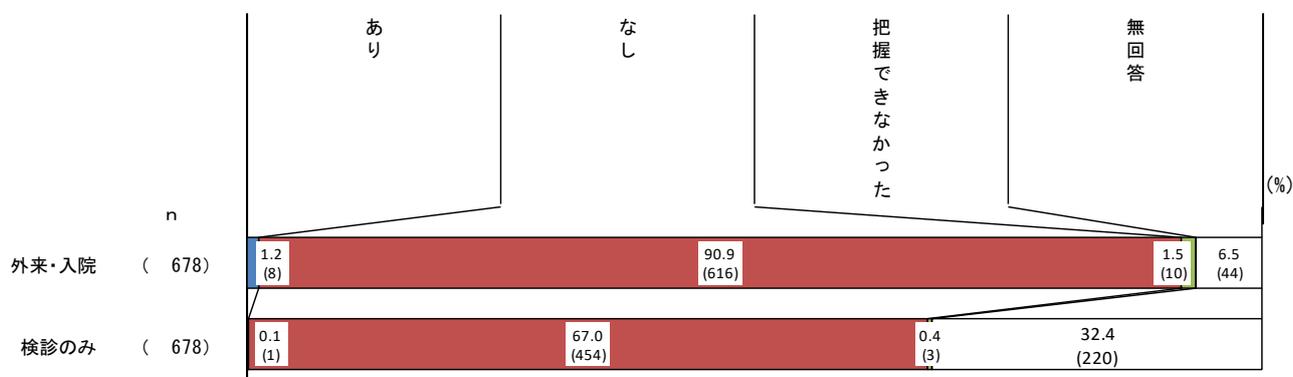
図表Ⅱ-1-2-5 民間医療保険利用の有無（訪日外国人患者（医療渡航を除く））



(3) 訪日外国人患者（医療目的）受入の有無（SA）

訪日外国人患者（医療目的）受入の有無について聞いたところ、外来、入院では「あり」が1.2%、「なし」が90.9%、「把握できなかった」が1.5%となっており、検診のみでは「あり」が0.1%、「なし」が67.0%、「把握できなかった」が0.4%となっている。

図表Ⅱ-1-3 訪日外国人患者（医療目的）受入の有無



(3) - 1 受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の延べ人数（FA）

受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の延べ人数について回答があったのは、外来、入院で6件（75.0%）、検診のみで1件（100.0%）となっており、延べ人数はそれぞれ12人（外来、入院）、8人（検診のみ）、平均人数はそれぞれ2.00人（外来、入院）、8.00人（検診のみ）となっている。

図表Ⅱ-1-3-1 受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の延べ人数

外来、入院					
	回答者全体	有効回答 機関数	無回答	受入患者総数 (人)	1医療機関 あたりの 患者数(人)
全体	8	6	2	12	2.00
	100.0	75.0	25.0		
検診のみ					
	回答者全体	有効回答 機関数	無回答	受入患者総数 (人)	1医療機関 あたりの 患者数(人)
全体	1	1	0	8	8.00
	100.0	100.0	0.0		

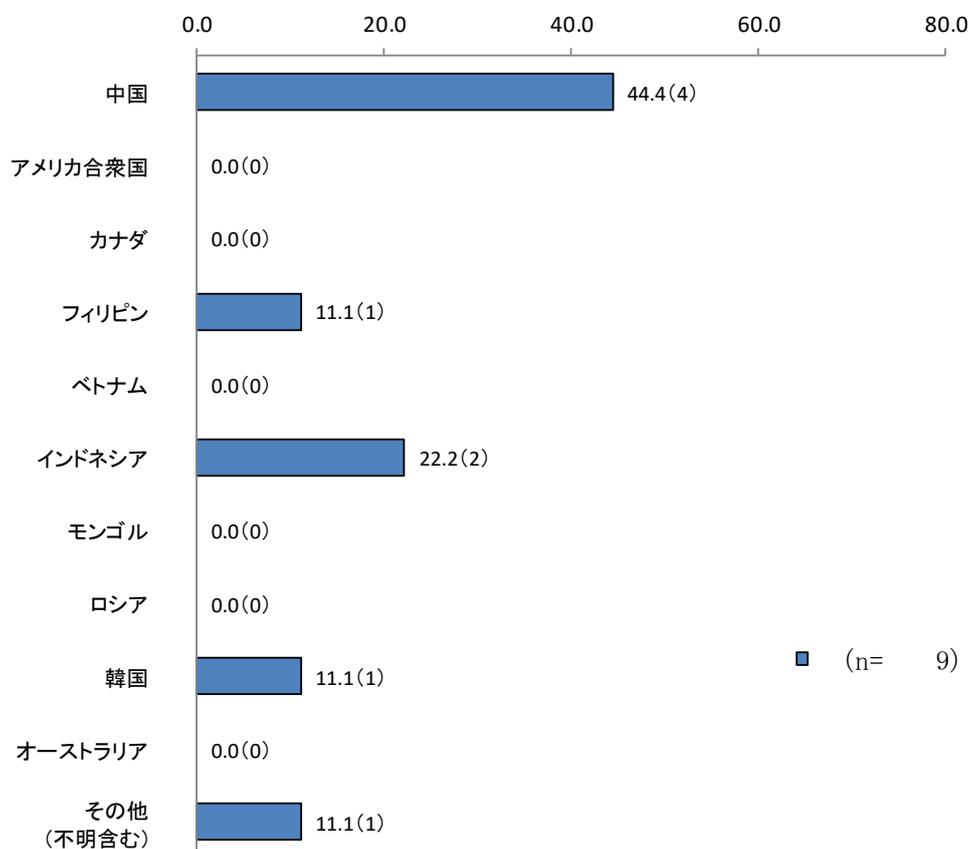
※表中の「1医療機関あたりの患者数」は、「受入患者総数」を「有効回答期間数」割って算出している。

(3) - 2 受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の国籍（MA）

受け入れた在留外国人患者の国籍について聞いたところ、「中国」が44.4%で最も高く、次いで「インドネシア」が22.2%と続いている。

また、国籍別在留外国人患者の総数については、下表の通りとなっている。

図表Ⅱ-1-3-2 受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の国籍（参考）



図表Ⅱ-1-1-3-1 国籍別訪日外国人患者の総数

	中国	アメリカ合衆国	カナダ	フィリピン	ベトナム	インドネシア	モンゴル	ロシア	韓国	オーストラリア	その他 (不明含む)
病院数 (件)	4	0	0	1	0	2	0	0	1	0	1
総数 (人)	13	0	0	2	0	2	0	0	1	0	1
平均 (人)	3.25	0.00	0.00	2.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00

※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した施設数で割って算出している。

(3) - 3 受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の ICD 分類（FA）

受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の ICD 分類の総数及び平均については、下表の通りとなっている。

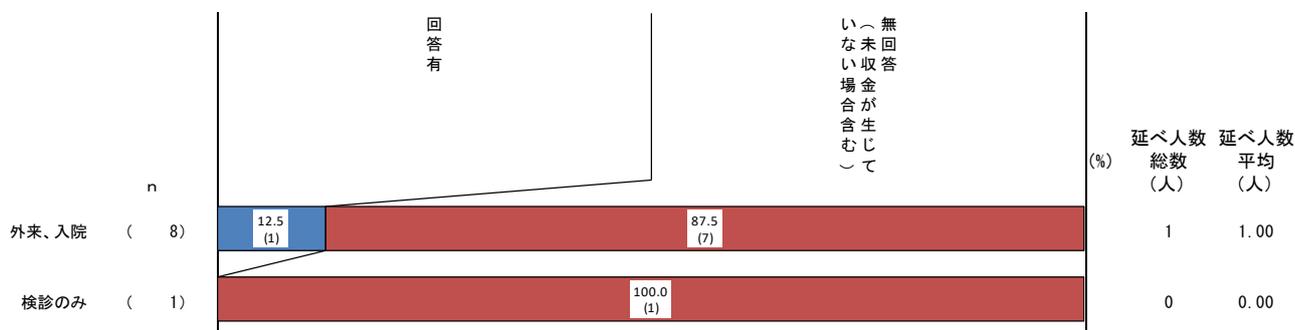
図表 II-1-3-3 受け入れた訪日外国人患者（医療目的）の ICD 分類

	回答 機関数 (件)	総数 (人)	平均 (人)
悪性新生物 (C00-C97)	0	0	0.00
呼吸器系疾患(J00-J99)	0	0	0.00
筋骨格系及び 結合組織疾患(M00-M94)	0	0	0.00
循環器系疾患(I00-I99)	2	10	5.00
妊娠、分娩及び産褥(O00- O99)	0	0	0.00
消化器系疾患(K00-K94)	0	0	0.00
眼及び付属器の疾患、耳 及び乳用突起の疾患(H00- H95)	1	1	1.00
腎尿路生殖器系疾患(N00- N99)	0	0	0.00
損傷、中毒及びその他の外 因の影響(S00-T98)	0	0	0.00
血液及び造血器の疾患並 びに免疫機構の障害(D50- D89)	0	0	0.00
その他 (不明含む)	0	0	0.00

(3) - 4 未収金を生じた訪日外国人患者（医療目的）（FA）

未収金を生じた訪日外国人患者（医療目的）数について回答があった病院は、外来、入院では12.5%、検診のみでは0.0%となっている。

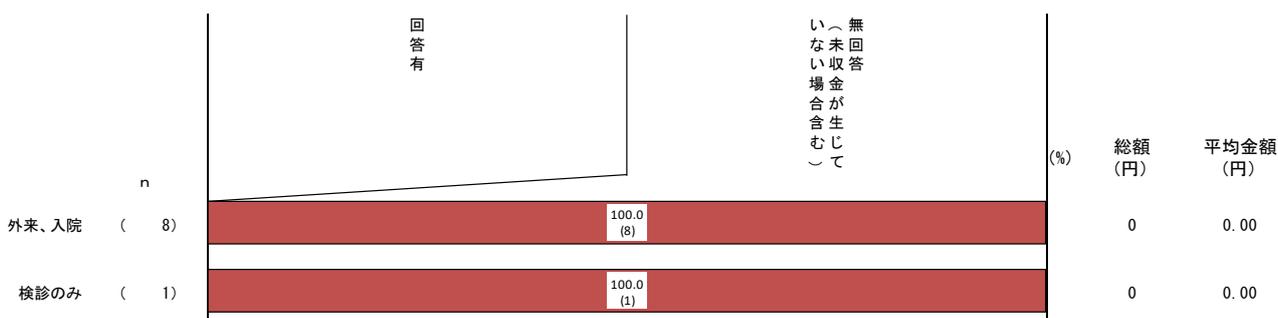
図表Ⅱ-1-3-4-1 未収金を生じた訪日外国人患者（医療目的）（参考）



※表中の「延べ人数平均」は、「延べ人数総数」を「回答有」の機関数で割って算出している。

未収金の合計金額について回答は、外来、入院、検診のみともに1件もなかった。

図表Ⅱ-1-3-4-2 未収金を生じた訪日外国人患者（医療目的）（参考）



※表中の「平均金額」は、機関数で割って算出している。

(3) - 5 公的医療保険利用の有無（訪日外国人患者（医療目的））（FA）

訪日外国人患者（医療目的）の公的医療保険利用の有無について聞いたところ、外来、入院では「あり」と回答があった施設数は1件で、人数の総数が1人、平均が1.00人、「なし」と回答があった施設数は2件で、人数の総数が3人、平均が1.50人となっている。

また、検診のみでは「あり」と回答があった施設数は0件、「なし」と回答があった施設数は1件で、人数の総数が8人、平均が8.00人となっている。

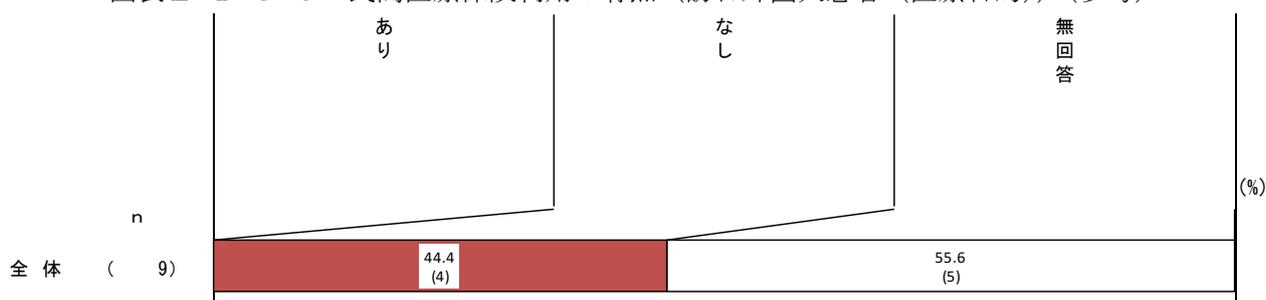
図表Ⅱ-1-3-5 公的医療保険利用の有無（訪日外国人患者（医療目的））（参考）

	外来、入院			検診のみ		
	施設数 (件)	総数 (人)	平均 (人)	施設数 (件)	総数 (人)	平均 (人)
あり	1	1	1.00	あり	0	0.00
なし	2	3	1.50	なし	1	8.00

(3) - 6 民間医療保険利用の有無（訪日外国人患者（医療目的））（SA）

訪日外国人患者（医療目的）の民間医療保険利用の有無について聞いたところ、「あり」は0.0%、「なし」は44.4%となっている。

図表Ⅱ-1-3-6 民間医療保険利用の有無（訪日外国人患者（医療目的））（参考）



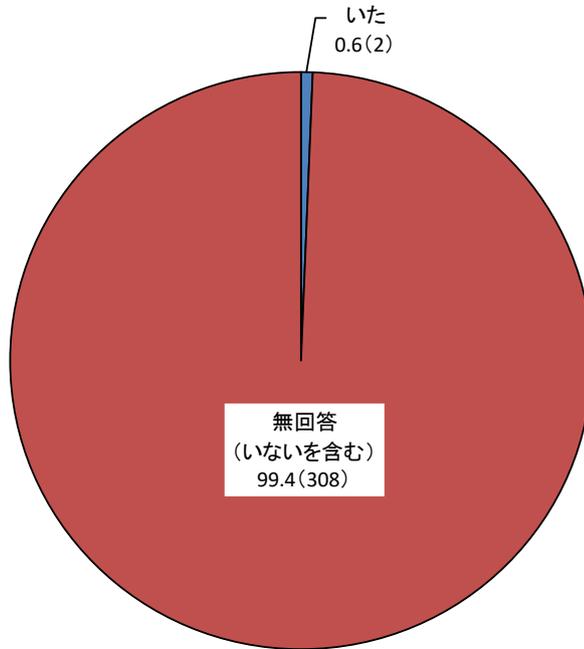
2. 未収金を生じた患者について

(1) 未収金を生じた患者の有無 (FA)

いずれかの外国人患者を受け入れた病院に未収金を生じた患者の有無について聞いたところ、「いた」が0.6%、「無回答 (いないを含む)」が99.4%となっている。

図表Ⅱ-2-1 未収金を生じた患者の有無

(n= 310)



<卷末資料>

調查票

医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査
調査票 A 医療機関における受入体制に関する調査票（病院向け）

- ・本調査は、外国人患者受入れ体制の状況等について実態を把握し、今後の体制整備のための基礎資料を得る目的で行うものです。
- ・本調査の調査票は、全国の病院を対象とした調査票 A 及び B から構成されています。
- ・この調査票は、貴院における外国人患者受入れ体制の状況等についてお尋ねするもの（調査票 A）です。
- ・本調査票においては、特に別の記載がある場合を除き令和元年9月1日時点の状況をお答えください。

1. 基本情報

1-1. 貴院の基本情報を太枠内にご記入ください。

フリガナ					電話(代表)				
医療機関名					ファクシミリ				
所在地	〒		-						
許可病床数		床		医療機関コード					
総患者数	平成30年度(2018年4月1日~2019年3月31日)の患者数を外来・入院別に「延べ数」でご記入下さい。(日本人・外国人を問わず)				外来				名
					入院				名

1-2. 医療機関の種別について、以下から貴院に該当するもの全てにレ点をご記入ください。

<input type="checkbox"/>	特定機能病院
<input type="checkbox"/>	地域医療支援病院
<input type="checkbox"/>	第2次救急医療機関
<input type="checkbox"/>	救命救急センター
<input type="checkbox"/>	災害拠点病院
<input type="checkbox"/>	総合周産期母子医療センター
<input type="checkbox"/>	地域周産期母子医療センター
<input type="checkbox"/>	診療所
<input type="checkbox"/>	歯科診療所
<input type="checkbox"/>	ジャパンインターナショナルホスピタルズ(※1)
<input type="checkbox"/>	J M I P 認証病院(※2)

※1 一般社団法人Medical Excellence JAPANにより推奨されている医療機関。

※2 一般財団法人日本医療教育財団により認証された医療機関。

1-3. 貴院が標榜している診療科目を以下の中から全て選びし点をご記入ください。

内科	外科	産婦人科
呼吸器内科	呼吸器外科	産科
循環器内科	心臓血管外科	婦人科
消化器内科（胃腸内科）	乳腺外科	リハビリテーション科
腎臓内科	気管食道外科	放射線科
神経内科	消化器外科（胃腸外科）	麻酔科
糖尿病内科（代謝内科）	泌尿器科	病理診断科
血液内科	肛門外科	臨床検査科
皮膚科	脳神経外科	救急科
アレルギー科	整形外科	歯科
リウマチ科	形成外科	矯正歯科
感染症内科	美容外科	小児歯科
小児科	眼科	歯科口腔外科
精神科	耳鼻いんこう科	
心療内科	小児外科	

2. 外国人患者に対応する体制について

2-1. 外国人患者の受入のための医療機関向けマニュアル（平成30年度厚生労働省政策科学推進研究事業「外国人患者の受入環境整備に関する研究」研究班）について伺います。

1 外国人患者の受入のための医療機関向けマニュアルについて	1 知っている ・ 2 知らない
a. マニュアルの内容について	1 内容を確認した ・ 2 内容を確認していない
2 マニュアルに記載されている「外国人患者の受入れに関する体制整備方針」について	1 内容を確認した ・ 2 内容を確認していない
a. 自院における外国人患者の受診状況	1 把握している ・ 2 把握していない
b. 受入体制の現状および課題の抽出	1 実施している ・ 2 実施していない
c. 自院における「外国人患者受け入れ体制整備方針」について	1 整備している ・ 2 整備していない

2-2. 外国人を受け入れる体制の整備状況について伺います。担当部署、マニュアルについて以下の質問にお答えください。

1 外国人患者対応の専門部署	<input type="checkbox"/>	1 部署あり ・ 2 部署なし ・ 3 部署はないものの専門職員あり
a. 所属職員（上で3を選択した場合は担当職員）の人数（※）	<input type="checkbox"/>	人
2 外国人対応マニュアルの整備状況	<input type="checkbox"/>	1 整備されている ・ 2 整備されていない
(1の場合) 利用できる職員の範囲	<input type="checkbox"/>	1 全ての職員が利用できる ・ 2 一部の職員が利用できる
(2の場合) 利用できる職員部門（該当するもの全てにレ点）	<input type="checkbox"/>	外国人患者対応の専門部署 <input type="checkbox"/> 受付
	<input type="checkbox"/>	その他（右欄に具体的に記入）

※ 所属職員については、2-2における外国人向け医療コーディネーターの役割を果たしている場合でも、専門部署に所属している場合はこちらに記載ください。

2-3. 外国人向け医療コーディネーターについて以下の質問にお答えください。

※ 「外国人向け医療コーディネーター」とは「外国人患者を受け入れるための院内や院外関係者との調整を中心となってコーディネートする役割を担う職員」をさします。

※ ここでは、多言語対応のみの役割を担う職員は「外国人向け医療コーディネーター」には該当いたしません。「2-3. 医療通訳」の項目に記載ください。

外国人向け医療コーディネーター	<input type="checkbox"/>	1 配置している ・ 2 配置していない
a. コーディネーターの人数	<input type="checkbox"/>	人
b. 専任・兼任の別	<input type="checkbox"/>	1 専任、兼任とも配置 ・ 2 専任のみ ・ 3 兼任のみ
(1または3の場合) 兼職（該当すべてにレ点）	<input type="checkbox"/>	医師 <input type="checkbox"/> 看護職 <input type="checkbox"/> その他医療関係有資格者 <input type="checkbox"/> 事務職員 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
専任・兼任それぞれの職員の人数	専任 <input type="checkbox"/> 名	兼任 <input type="checkbox"/> 名
c. 常勤・非常勤の別	<input type="checkbox"/>	1 常勤、非常勤とも配置 ・ 2 常勤のみ ・ 3 非常勤のみ
常勤・非常勤それぞれの職員の人数	常勤 <input type="checkbox"/> 名	非常勤 <input type="checkbox"/> 名
d. 週の中でコーディネーターがカバーしている範囲（平日、休日）	<input type="checkbox"/>	1 平日、休日関わらずカバー ・ 2 平日のみ 3 そのほか（下欄に具体的に記入）
e. コーディネーターがカバーしている時間帯	<input type="checkbox"/>	1 24時間 ・ 2 勤務時間帯（日勤帯）のみ 3 そのほか（下欄に具体的に記入）
f. コーディネーターの役割（該当するもの全てにレ点）	<input type="checkbox"/>	医療者のサポート <input type="checkbox"/> トラブルの際に窓口となって対応 <input type="checkbox"/> 院内の連携調整
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	院外の関係機関との連携調整 <input type="checkbox"/> 組織の課題の解決策の提示 <input type="checkbox"/> 組織の課題の解決策の実行
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> その他（右欄に具体的に記入）	
<input type="checkbox"/>	多言語対応	
(多言語対応を行っている場合) 対応言語（該当するもの全てにレ点）	<input type="checkbox"/>	英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国・朝鮮語
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ポルトガル語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> ロシア語
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ベトナム語 <input type="checkbox"/> タガログ語 <input type="checkbox"/> インドネシア語
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> その他（下欄に具体的に記入）	

2-4. 医療通訳について伺います。ここでは、医療通訳者を医療機関に配置することについて伺います。

※ 医療コーディネーターが多言語対応を担当している場合、当該コーディネーターについては2-2に記載いただき、本問2-3については、医療コーディネーター以外の職員について記載ください。

医療通訳		1 配置している・2 配置していない
a. 医療通訳の人数		人
b. 専任・兼任の別		1 専任、兼任とも配置・2 専任のみ・3 兼任のみ
(1 または3 の場合) 兼職 (該当すべてにレ点)	<input type="checkbox"/> 医師	<input type="checkbox"/> 看護職
	<input type="checkbox"/> その他医療関係有資格者	<input type="checkbox"/> 事務職員
	<input type="checkbox"/> その他	
専任・兼任それぞれの職員の人数	専任 <input type="text"/> 名	兼任 <input type="text"/> 名
c. 常勤・非常勤の別		1 常勤、非常勤とも配置・2 常勤のみ・3 非常勤のみ
常勤・非常勤それぞれの職員の人数	常勤 <input type="text"/> 名	非常勤 <input type="text"/> 名
d. 週の中で医療通訳がカバーしている範囲 (平日、休日)		1 平日、休日関わらずカバー・2 平日のみ 3 そのほか (下欄に具体的に記入)
e. 医療通訳がカバーしている時間帯		1 24時間・2 勤務時間帯 (日勤帯) のみ 3 そのほか (下欄に具体的に記入)
f. 医療通訳が対応している言語 (該当するもの全てにレ点)		
<input type="checkbox"/> 英語	<input type="checkbox"/> 中国語	<input type="checkbox"/> 韓国・朝鮮語
<input type="checkbox"/> ポルトガル語	<input type="checkbox"/> スペイン語	<input type="checkbox"/> ロシア語
<input type="checkbox"/> ベトナム語	<input type="checkbox"/> タガログ語	<input type="checkbox"/> インドネシア語
<input type="checkbox"/> その他 (下欄に具体的に記入)		

2-5. 医療通訳者以外の多言語対応体制について伺います。
電話通訳(遠隔通訳)について以下の質問にお答えください。

1 電話通訳(遠隔通訳)		<input type="checkbox"/>	1 利用している	・	<input type="checkbox"/>	2 利用していない
a. 利用しているサービス名(事業者名)						
b. 電話通訳(遠隔通訳)がカバーしている範囲(平日、休日)		<input type="checkbox"/>	1 平日、休日問わずカバー	・	<input type="checkbox"/>	2 平日のみ
		<input type="checkbox"/>	3 そのほか(下欄に具体的に記入)			
c. 電話通訳(遠隔通訳)がカバーしている時間帯		<input type="checkbox"/>	1 24時間	・	<input type="checkbox"/>	2 日勤帯のみ
		<input type="checkbox"/>	3 そのほか(下欄に具体的に記入)			
d. 電話通訳(遠隔通訳)が対応している言語(該当するもの全てにレ点)						
<input type="checkbox"/>	英語	<input type="checkbox"/>	中国語	<input type="checkbox"/>	韓国・朝鮮語	
<input type="checkbox"/>	ポルトガル語	<input type="checkbox"/>	スペイン語	<input type="checkbox"/>	ロシア語	
<input type="checkbox"/>	ベトナム語	<input type="checkbox"/>	タガログ語	<input type="checkbox"/>	インドネシア語	
<input type="checkbox"/>	その他(下欄に具体的に記入)					
2. その他、貴院において多言語に対応するために行っている他の取組がありましたら、下欄に具体的にご記入ください。						

2-6. 医療通訳者以外の多言語対応体制について伺います。
ビデオ通訳（遠隔通訳）について以下の質問にお答えください。

1	ビデオ通訳（遠隔通訳）	<input type="checkbox"/>	1 利用している ・ 2 利用していない
a.	利用しているサービス名（事業者名）	<input type="text"/>	
b.	ビデオ通訳（遠隔通訳）がカバーしている範囲（平日、休日）	<input type="checkbox"/>	1 平日、休日問わずカバー ・ 2 平日のみ 3 そのほか（下欄に具体的に記入）
		<input type="text"/>	
c.	ビデオ通訳（遠隔通訳）がカバーしている時間帯	<input type="checkbox"/>	1 24時間 ・ 2 日勤帯のみ 3 そのほか（下欄に具体的に記入）
		<input type="text"/>	
d.	ビデオ通訳（遠隔通訳）が対応している言語（該当するもの全てにレ点）		
<input type="checkbox"/>	英語	<input type="checkbox"/>	中国語
<input type="checkbox"/>	ポルトガル語	<input type="checkbox"/>	スペイン語
<input type="checkbox"/>	ベトナム語	<input type="checkbox"/>	タガログ語
<input type="checkbox"/>	韓国・朝鮮語	<input type="checkbox"/>	ロシア語
<input type="checkbox"/>	インドネシア語	<input type="checkbox"/>	その他（下欄に具体的に記入）
<input type="text"/>			
2. その他、貴院において多言語に対応するために行っている他の取組がありましたら、下欄に具体的にご記入ください。			
<input type="text"/>			

2-7. 院内案内図、院内表示について以下の質問にお答えください。

院内案内図、院内表示の状況	<input type="checkbox"/>	1 多言語化している	・	2 多言語化していない	
a. 院内案内図、院内表示が対応している言語（該当するもの全てにレ点）					
<input type="checkbox"/>	英語	<input type="checkbox"/>	中国語	<input type="checkbox"/>	韓国・朝鮮語
<input type="checkbox"/>	ポルトガル語	<input type="checkbox"/>	スペイン語	<input type="checkbox"/>	ロシア語
<input type="checkbox"/>	ベトナム語	<input type="checkbox"/>	タガログ語	<input type="checkbox"/>	インドネシア語
<input type="checkbox"/>	その他（下欄に具体的に記入）				

2-8. 外国人患者の受入に資するタブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況について伺います。

外国人患者の受入に資するタブレット端末、スマートフォン端末、またはその他翻訳機器	<input type="checkbox"/>	1 医療機関として導入している	・	2 導入していない、又は医療従事者が個人で使用している	
a. (導入している場合) 外国人への対応に用いているアプリ					
b. (導入している場合) 端末を利用できる職員部門（該当するもの全てにレ点）	<input type="checkbox"/>	外国人患者対応の専門部署	<input type="checkbox"/>	受付	
	<input type="checkbox"/>	診療部門			
	<input type="checkbox"/>	その他（右欄に具体的に記入）			
c. 端末に備わっている機能（該当するもの全てにレ点）					
<input type="checkbox"/>	マニュアル、説明書等、資料の表示	<input type="checkbox"/>	決済機能		
<input type="checkbox"/>	翻訳機能	<input type="checkbox"/>	その他（右欄に具体的に記入）		
↳ 翻訳機能を備えている場合、対応言語を選択ください。（該当するもの全てにレ点）					
<input type="checkbox"/>	英語	<input type="checkbox"/>	中国語	<input type="checkbox"/>	韓国・朝鮮語
<input type="checkbox"/>	ポルトガル語	<input type="checkbox"/>	スペイン語	<input type="checkbox"/>	ロシア語
<input type="checkbox"/>	ベトナム語	<input type="checkbox"/>	タガログ語	<input type="checkbox"/>	インドネシア語
<input type="checkbox"/>	その他（下欄に具体的に記入）				

3. 医療費等について

訪日外国人に対する医療費の請求方法について、以下の1～4から該当するものにレ点を記入し、記載に従って右欄で補足ください。
特に訪日外国人について区別していない場合は、「1」を選択ください。

1	<input type="checkbox"/>	日本の診療報酬点数表を基準とし、1点10円で請求している。	
2	<input type="checkbox"/>	日本の診療報酬点数表を基準とし、1点10円以外で計算して請求している。	
		診療報酬点数「1点」＝	<input type="text"/> 円に相当
3	<input type="checkbox"/>	日本の診療報酬点数表を全く用いずに請求している。(下欄に具体的な計算方法等を記入ください)	
		<input type="text"/>	
4	<input type="checkbox"/>	1または2の他、追加的な費用を請求している。(該当する項目を以下の(1)～(4)から全て選択しレ点を記入)	
	(1)	<input type="checkbox"/>	通訳料(具体的な請求方法を以下に記入ください)
		1回の通訳での請求額＝	<input type="text"/> 円
		10分あたりの請求額＝	<input type="text"/> 円
		その他(右欄に具体的に記入ください)	<input type="text"/>
	(2)	<input type="checkbox"/>	医師の診療時間に応じた料金計算(下欄に具体的に記入ください)
		<input type="text"/>	
	(3)	<input type="checkbox"/>	診断書作成料等の事務手数料(下欄に具体的に記入ください)
		<input type="text"/>	
	(4)	<input type="checkbox"/>	その他(下欄に具体的に記載ください)
		<input type="text"/>	

4. キャッシュレス決済について

キャッシュレス決済の導入状況について以下の設問にお答えください。

1. カード（クレジットカード、デビットカード）を利用した決済		<input type="checkbox"/>	1 導入している	・	2 導入していない
（導入している場合）対応ブランド（該当するもの全てにレ点）					
<input type="checkbox"/>	Visa(ビザ)	<input type="checkbox"/>	Mastercard (マスター)	<input type="checkbox"/>	Union Pay (銀聯カード)
<input type="checkbox"/>	American Express (アメリカン・エクスプレス)	<input type="checkbox"/>	JCB (ジェーシービー)	<input type="checkbox"/>	Diners (ダイナース)
<input type="checkbox"/>	その他（下欄に具体的に記入）				
2. 非接触カードを利用した決済		<input type="checkbox"/>	1 導入している	・	2 導入していない
（導入している場合）対応している電子マネー（該当するもの全てにレ点）					
<input type="checkbox"/>	交通系ICカード(Suica, PASMO, Kitaca, ICOCA, SUGOCA等)	<input type="checkbox"/>	nanaco	<input type="checkbox"/>	WAON
<input type="checkbox"/>	楽天Edy	<input type="checkbox"/>	QUICPay	<input type="checkbox"/>	その他（下欄に具体的に記入）
3. QRコードを利用した決済		<input type="checkbox"/>	1 導入している	・	2 導入していない
（導入している場合）対応しているサービス（該当するもの全てにレ点）					
<input type="checkbox"/>	Alipay (アリペイ)	<input type="checkbox"/>	WeChat Pay (ウィーチャット・ペイ)	<input type="checkbox"/>	PayPay (ペイペイ)
<input type="checkbox"/>	LINE Pay (ラインペイ)	<input type="checkbox"/>	楽天ペイ	<input type="checkbox"/>	その他（下欄に具体的に記入）
4. そのほかの決済サービスを利用している場合右欄にチェックし、下欄に具体的に記入してください。					<input type="checkbox"/>

5. 未収金等への対策

5-1

未収金等に対する対策として、貴院で訪日外国人患者に対する診療に際し実施している取組について、以下の中から該当するものを全て選択し、設問にお答えください。

※ ただし、必ずしも未収金等の対策として行っているものでなくても、訪日外国人に対して行っている取組であれば、選択していただいて差支えありません。例えば、身分証の確認等は医療安全にも寄与するものと考えられます。

<input type="checkbox"/>	特に未収金対策を行っていない		
<input type="checkbox"/>	パスポート等、身分証の確認	<input type="checkbox"/>	パスポート等、身分確認証のコピーの保存
<input type="checkbox"/>	価格についての事前説明		
<input type="checkbox"/>	診療内容の事前の説明		
<input type="checkbox"/>	その他（右欄に具体的に記入）		
<input type="checkbox"/>	同意書の取得		
<input type="checkbox"/>	（同意書を取得している場合）同意の内容（該当するもの全てにレ点）		
<input type="checkbox"/>	診療に協力する	<input type="checkbox"/>	請求された金額を支払う
<input type="checkbox"/>	その他（下欄に具体的に記入）		
<input type="checkbox"/>			

5-2

貴院での在留外国人に対する本人確認について、以下の設問にお答えください。

外国人患者に対する本人確認の有無	<input type="checkbox"/>	1 本人確認をしている ・ 2 本人確認をしていない		
(1 の場合) 確認の際に提示を求めているもの (該当するもの全てにレ点)	<input type="checkbox"/>	パスポート	<input type="checkbox"/>	在留カード
	<input type="checkbox"/>	その他（右欄に具体的に記入）		

6. その他

本調査結果について、都道府県において課題解決を検討するための参考として頂くよう、厚生労働省が取りまとめた上で、**都道府県、厚生労働省科学研究事業に共有することを同意されない場合にレ点。**

7. ご担当者様の情報

差し支えなければ、ご担当者様の情報（必要時、本調査に関することや外国人患者受入れに関すること等をお伺いする際のご連絡先）をご記入ください。複数の方が担当された場合は、代表者様の情報をご記入ください。

フリガナ		電話番号	
お名前		ファクシミリ	
ご所属・役職			
メールアドレス			

**医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査
調査票B 外国人患者の受入に関する調査票(病院向け)**

- 本調査は、外国人患者受入れ体制の状況等について実態を把握し、今後の体制整備のための基礎資料を得る目的で行うものです。
- 本調査の調査票は、全国の病院を対象とした調査票A及びBから構成されています。
- この調査票は、貴院における外国人患者受入れの実績等についてお尋ねするもの(調査票B)です。
- 本調査票においては、**特に別の記載がある場合を除き令和元年10月1日～10月31日に受診した外国人についてお答えください。**

1. 基本情報

1-1. 貴院の基本情報を太枠内にご記入下さい。

フリガナ					電話(代表)	
医療機関名					ファクシミリ	
所在地	〒		-			
医療機関コード						

2. 外国人患者の受入実績について

令和元年10月1日～10月31日の期間に受け入れた外国人患者について以下の質問にお答えください。

なお、在留外国人、訪日外国人、医療を目的に訪日した外国人については、以下の定義に基づきご回答ください。

- ・在留外国人：
在留資格を持ち（在留カード所持者）、日本に中長期居住している外国人患者。
なお、在留資格を持っている外国人の多くは保険証を所持しています。日本語での意思疎通が難しい在留外国人は、「日本語での意思疎通が難しい、日本に居住している外国籍の患者」を選択下さい。
- ・訪日外国人（医療渡航を除く）：
観光等の目的で日本に短期間訪日している外国人。ただし、下記の「医療を目的に訪日した外国人」を除く。
- ・医療を目的に訪日した外国人：訪日外国人のうち、日本に入国する前に、医療機関と調整した上で来日した外国人。

※保険証を所持していても、在留外国人であるかどうかについては必ずしも容易に確認できないことから、**把握できる限り**で記載ください。

※「未収金を生じた患者」については、診療の対価を請求したにも関わらず、請求日より**1か月を経ても診療費の全額を支払っていない患者を指す**こととします。

		外来				入院				
A 在留外国人患者	1 受入れの有無	1 あり・2 なし・3 把握できなかった				1 あり・2 なし・3 把握できなかった				
	(3の場合) 把握できなかった理由									
	(1または2の場合) 把握している在留外国人患者	1 在留資格を持ち中長期日本に居住している外国人患者 2 日本語での意思疎通が難しい、在留資格をもつ外国籍の患者								
	2 (1で受入れ「あり」の場合) 期間内の延べ患者数	(延べ患者数)			名	(延べ患者数)			名	
		概数を把握している場合（番号を記入）				概数を把握している場合（番号を記入）				
			1. 5名以内	3. 11～20名			1. 5名以内	3. 11～20名		
		2. 6～10名	4. 21名以上			2. 6～10名	4. 21名以上			
	3 受け入れた外国人の国籍について以下に該当する外国人の人数をお答えください。また、以下にあげた国以外の国籍の外国人を受け入れた場合、その国籍と人数を「その他」の欄に記載ください。国籍が把握できなかった場合は、「その他」の欄に「不明〇名」と記載ください。	中国		名	ベトナム		名	ロシア		名
		アメリカ合衆国		名	インドネシア		名	韓国		名
		カナダ		名	モンゴル		名	オーストラリア		名
	フィリピン		名							
	その他									
4 受け入れた患者のうち、未収金を生じた患者	(延べ患者数)			名	(延べ患者数)			名		
	未収金の合計金額（円）			円	未収金の合計金額（円）			円		
5 公的医療保険利用の有無	あり			名	あり			名		
	なし			名	なし			名		
6 「あり」のうち保険種別	国民健康保険		名	健康保険（※1）（被保険者）		名	健康保険（※2）（被扶養者）		名	
	その他		名							
6 民間医療保険利用の有無	あり			なし						

(※1) 企業等に勤務している方で、協会けんぽや健康保険組合の保険証を所持している方。

(※2) 企業等に勤務している方に扶養されている方で、協会けんぽや健康保険組合の保険証を所持している方。

		外来				入院			
B 訪日外国人 (医療渡航を除く)	1 受入れの有無	1 あり・2 なし・3 把握できなかった				1 あり・2 なし・3 把握できなかった			
	(3の場合) 把握できなかった理由								
	(1で受入れ「あり」の場合) 期間内の延べ患者数	(延べ患者数)		名	(延べ患者数)		名		
		概数を把握している場合(番号を記入)				概数を把握している場合(番号を記入)			
		1. 5名以内	3. 11~20名		1. 5名以内	3. 11~20名			
		2. 6~10名	4. 21名以上		2. 6~10名	4. 21名以上			
	3 受け入れた外国人の国籍について以下に該当する外国人の人数をお答えください。また、以下にあげた国以外の国籍の外国人を受け入れた場合、その国籍と人数を「その他」の欄に記載ください。国籍が把握できなかった場合は、「その他」の欄に「不明〇名」と記載ください。								
	中国	名	ベトナム	名	ロシア	名			
	アメリカ合衆国	名	インドネシア	名	韓国	名			
	カナダ	名	モンゴル	名	オーストラリア	名			
フィリピン	名								
その他									
4 受け入れた患者のうち、 未収金の合計金額(円)	(延べ患者数)		名	(延べ患者数)		名			
			円			円			
5 公的医療保険利用の有無	あり		名	あり		名			
	なし		名	なし		名			
「あり」のうち 保険種別	国民健康保険	名	健康保険(※1) (被保険者)	名	健康保険(※2) (被扶養者)	名	その他	名	
6 民間医療保険利用の有無	あり		なし						

(※1) 企業等に勤務している方で、協会けんぽや健康保険組合の保険証を所持している方。

(※2) 企業等に勤務している方に扶養されている方で、協会けんぽや健康保険組合の保険証を所持している方。

		外来、入院（健診のみのものを除く）				健診のみのもの（外来、入院を問わない）			
C 医療を目的に訪日した外国人	1 受入れの有無	1 あり・2 なし・3 把握できなかった				1 あり・2 なし・3 把握できなかった			
	(3の場合) 把握できなかった理由								
	2 (1で受入れ「あり」の場合) 期間内の延べ患者数	(延べ患者数) <input type="text"/> 名				(延べ患者数) <input type="text"/> 名			
		概数を把握している場合（番号を記入）				概数を把握している場合（番号を記入）			
		<input type="text"/>	1. 5名以内	<input type="text"/>	3. 11～20名	<input type="text"/>	1. 5名以内	<input type="text"/>	3. 11～20名
			2. 6～10名	<input type="text"/>	4. 21名以上		2. 6～10名	<input type="text"/>	4. 21名以上
	3 受け入れた外国人の国籍について以下に該当する外国人の人数をお答えください。また、以下にあげた国以外の国籍の外国人を受け入れた場合、その国籍と人数を「その他」の欄に記載ください。国籍が把握できなかった場合は、「その他」の欄に「不明〇名」と記載ください。	中国	<input type="text"/> 名	ベトナム	<input type="text"/> 名	ロシア	<input type="text"/> 名		
		アメリカ合衆国	<input type="text"/> 名	インドネシア	<input type="text"/> 名	韓国	<input type="text"/> 名		
		カナダ	<input type="text"/> 名	モンゴル	<input type="text"/> 名	オーストラリア	<input type="text"/> 名		
		フィリピン	<input type="text"/> 名						
	その他	<input type="text"/>							
4 受け入れた外国人の診断のICD分類について以下に該当する外国人の人数をお答えください。また、以下にあげた診断以外の診断を受け入れた外国人を受け入れた場合、その診断と人数を「その他」の欄にICD-10に基づき記載ください。	悪性新生物 (C00-C97)	<input type="text"/> 名	循環器系疾患 (I00-199)	<input type="text"/> 名	腎尿路生殖系疾患 (N00-99)	<input type="text"/> 名			
	呼吸器系疾患 (J00-J99)	<input type="text"/> 名	妊娠、分娩及び産褥 (O00-O99)	<input type="text"/> 名	損傷、中毒及びその他の外因の影響 (S00-T98)	<input type="text"/> 名			
	筋骨格系及び結合組織疾患 (M00-M94)	<input type="text"/> 名	消化器系疾患 (K00-K94)	<input type="text"/> 名	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (D50-D89)	<input type="text"/> 名			
	眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患 (H00-H95)	<input type="text"/> 名							
	その他	<input type="text"/>							
5 受け入れた患者のうち、未収金を生じた患者	(延べ患者数)	<input type="text"/>	名	(延べ患者数)	<input type="text"/>	名			
L 未収金の合計金額 (円)		<input type="text"/>	円		<input type="text"/>	円			
6 公的医療保険利用の有無	あり	<input type="text"/>	名	あり	<input type="text"/>	名			
	なし	<input type="text"/>	名	なし	<input type="text"/>	名			
L 「あり」のうち保険種別	国民健康保険	<input type="text"/> 名	健康保険 (※1) (被保険者)	<input type="text"/> 名	健康保険 (※2) (被扶養者)	<input type="text"/> 名			
	その他	<input type="text"/> 名							
7 民間医療保険利用の有無	あり	<input type="text"/>	なし	<input type="text"/>					

(※1) 企業等に勤務している方で、協会けんぽや健康保険組合の保険証を所持している方。

(※2) 企業等に勤務している方に扶養されている方で、協会けんぽや健康保険組合の保険証を所持している方。

5. 未収金を生じた患者の詳細について

令和元年10月1日～10月31日の期間に受け入れた外国人患者のうち、未収金を生じた患者のそれぞれについて、以下の表にご記入ください。

	国籍	患者分類 (以下から選択) ①：在留外国人 ②：訪日外国人(医療渡航を除く) ③：医療を目的に訪日した外国人	入院/ 外来	(入院の場合) 入院日数 (日)	診断名	請求金額 (総額、円)	未収となった 金額 (円)	医療機関が 加入する 保険による 未収金の補填 (有、無)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								

6. その他

本調査結果について、都道府県において課題解決を検討するための参考として頂くよう、厚生労働省が取りまとめた上で、**都道府県、厚生労働省科学研究事業に共有することを同意されない場合にレ点。**

7. ご担当者様の情報

差し支えなければ、ご担当者様の情報（必要時、本調査に関することや外国人患者受入れに関すること等をお伺い
する際のご連絡先）をご記入ください。複数の方が担当された場合は、代表者様の情報をご記入ください。

フリガナ		電話番号	
お名前		ファクシミリ	
ご所属・役職			
メールアドレス			

**医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査
調査票A 医療機関における受入体制に関する調査票（診療所・歯科診療所向け）**

- 本調査は、外国人患者受入れ体制の状況等について実態を把握し、今後の体制整備のための基礎資料を得る目的で行うものです。
- 本調査の調査票は、京都府及び沖縄県の診療所・歯科診療所を対象とした調査票A及びBから構成されています。
- この調査票は、貴院における外国人患者受入れ体制の状況等についてお尋ねするもの（調査票A）です。
- 本調査票においては、**特に別の記載がある場合を除き令和元年11月1日時点の状況をお答えください。**

1. 基本情報

1-1. 貴院の基本情報を太枠内にご記入ください。

フリガナ							電話(代表)			
医療機関名							ファクシミリ			
所在地	〒		-							
許可病床数		床		医療機関コード						
総患者数	平成30年度(2018年4月1日~2019年3月31日)の患者数を外来・入院別に「延べ数」でご記入下さい。(日本人・外国人を問わず)						外来		名	
							入院		名	

1-2. 医療機関の種別について、以下から貴院に該当するものにレ点をご記入ください。

<input type="checkbox"/>	診療所
<input type="checkbox"/>	歯科診療所

1-3. 貴院が標榜している診療科目を以下の中から全て選びし点をご記入ください。

内科	外科	産婦人科
呼吸器内科	呼吸器外科	産科
循環器内科	心臓血管外科	婦人科
消化器内科（胃腸内科）	乳腺外科	リハビリテーション科
腎臓内科	気管食道外科	放射線科
神経内科	消化器外科（胃腸外科）	麻酔科
糖尿病内科（代謝内科）	泌尿器科	病理診断科
血液内科	肛門外科	臨床検査科
皮膚科	脳神経外科	救急科
アレルギー科	整形外科	歯科
リウマチ科	形成外科	矯正歯科
感染症内科	美容外科	小児歯科
小児科	眼科	歯科口腔外科
精神科	耳鼻いんこう科	
心療内科	小児外科	

2. 外国人患者に対応する体制について

2-1. 外国人患者の受入のための医療機関向けマニュアル（平成30年度厚生労働省政策科学推進研究事業「外国人患者の受入環境整備に関する研究」研究班）について伺います。

1 外国人患者の受入のための医療機関向けマニュアルについて		1 知っている ・ 2 知らない
a. マニュアルの内容について		1 内容を確認した ・ 2 内容を確認していない
2 マニュアルに記載されている「外国人患者の受入れに関する体制整備方針」について		1 内容を確認した ・ 2 内容を確認していない
a. 自院における外国人患者の受診状況		1 把握している ・ 2 把握していない
b. 受入体制の現状および課題の抽出		1 実施している ・ 2 実施していない
c. 自院における「外国人患者受け入れ体制整備方針」について		1 整備している ・ 2 整備していない

2-2. 外国人を受け入れる体制の整備状況について伺います。担当部署、マニュアルについて以下の質問にお答えください。

1 外国人患者対応の専門部署	<input type="checkbox"/>	1 部署あり ・ 2 部署なし ・ 3 部署はないものの専門職員あり
a. 所属職員（上で3を選択した場合は担当職員）の人数（※）	<input type="checkbox"/>	人
2 外国人対応マニュアルの整備状況	<input type="checkbox"/>	1 整備されている ・ 2 整備されていない
(1の場合) 利用できる職員の範囲	<input type="checkbox"/>	1 全ての職員が利用できる ・ 2 一部の職員が利用できる
(2の場合) 利用できる職員部門（該当するもの全てにレ点）	<input type="checkbox"/>	外国人患者対応の専門部署 <input type="checkbox"/> 受付
	<input type="checkbox"/>	その他（右欄に具体的に記入）

※ 所属職員については、2-2における外国人向け医療コーディネーターの役割を果たしている場合でも、専門部署に所属している場合はこちらに記載ください。

2-3. 外国人向け医療コーディネーターについて以下の質問にお答えください。

※ 「外国人向け医療コーディネーター」とは「外国人患者を受け入れるための院内や院外関係者との調整を中心となってコーディネートする役割を担う職員」をさします。

※ ここでは、多言語対応のみの役割を担う職員は「外国人向け医療コーディネーター」には該当いたしません。「2-3. 医療通訳」の項目に記載ください。

外国人向け医療コーディネーター	<input type="checkbox"/>	1 配置している ・ 2 配置していない
a. コーディネーターの人数	<input type="checkbox"/>	人
b. 専任・兼任の別	<input type="checkbox"/>	1 専任、兼任とも配置 ・ 2 専任のみ ・ 3 兼任のみ
(1または3の場合) 兼職（該当すべてにレ点）	<input type="checkbox"/>	医師 <input type="checkbox"/> 看護職 <input type="checkbox"/> その他医療関係有資格者 <input type="checkbox"/> 事務職員 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
専任・兼任それぞれの職員の人数	専任 <input type="checkbox"/> 名	兼任 <input type="checkbox"/> 名
c. 常勤・非常勤の別	<input type="checkbox"/>	1 常勤、非常勤とも配置 ・ 2 常勤のみ ・ 3 非常勤のみ
常勤・非常勤それぞれの職員の人数	常勤 <input type="checkbox"/> 名	非常勤 <input type="checkbox"/> 名
d. 週の中でコーディネーターがカバーしている範囲（平日、休日）	<input type="checkbox"/>	1 平日、休日関わらずカバー ・ 2 平日のみ 3 そのほか（下欄に具体的に記入）
e. コーディネーターがカバーしている時間帯	<input type="checkbox"/>	1 24時間 ・ 2 勤務時間帯（日勤帯）のみ 3 そのほか（下欄に具体的に記入）
f. コーディネーターの役割（該当するもの全てにレ点）	<input type="checkbox"/>	医療者のサポート <input type="checkbox"/> トラブルの際に窓口となって対応 <input type="checkbox"/> 院内の連携調整
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	院外の関係機関との連携調整 <input type="checkbox"/> 組織の課題の解決策の提示 <input type="checkbox"/> 組織の課題の解決策の実行
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> その他（右欄に具体的に記入）	
<input type="checkbox"/>	多言語対応	
(多言語対応を行っている場合) 対応言語（該当するもの全てにレ点）	<input type="checkbox"/>	英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国・朝鮮語
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ポルトガル語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> ロシア語
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ベトナム語 <input type="checkbox"/> タガログ語 <input type="checkbox"/> インドネシア語
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> その他（下欄に具体的に記入）	

2-4. 医療通訳について伺います。ここでは、医療通訳者を医療機関に配置することについて伺います。

※ 医療コーディネーターが多言語対応を担当している場合、当該コーディネーターについては2-2に記載いただき、本問2-3については、医療コーディネーター以外の職員について記載ください。

医療通訳		1 配置している・2 配置していない
a. 医療通訳の人数		人
b. 専任・兼任の別		1 専任、兼任とも配置・2 専任のみ・3 兼任のみ
(1 または3 の場合) 兼職 (該当すべてにレ点)	<input type="checkbox"/> 医師	<input type="checkbox"/> 看護職
	<input type="checkbox"/> その他医療関係有資格者	<input type="checkbox"/> 事務職員
	<input type="checkbox"/> その他	
専任・兼任それぞれの職員の人数	専任 <input type="text"/> 名	兼任 <input type="text"/> 名
c. 常勤・非常勤の別		1 常勤、非常勤とも配置・2 常勤のみ・3 非常勤のみ
常勤・非常勤それぞれの職員の人数	常勤 <input type="text"/> 名	非常勤 <input type="text"/> 名
d. 週の中で医療通訳がカバーしている範囲 (平日、休日)		1 平日、休日関わらずカバー・2 平日のみ 3 そのほか (下欄に具体的に記入)
e. 医療通訳がカバーしている時間帯		1 24時間・2 勤務時間帯 (日勤帯) のみ 3 そのほか (下欄に具体的に記入)
f. 医療通訳が対応している言語 (該当するもの全てにレ点)		
<input type="checkbox"/> 英語	<input type="checkbox"/> 中国語	<input type="checkbox"/> 韓国・朝鮮語
<input type="checkbox"/> ポルトガル語	<input type="checkbox"/> スペイン語	<input type="checkbox"/> ロシア語
<input type="checkbox"/> ベトナム語	<input type="checkbox"/> タガログ語	<input type="checkbox"/> インドネシア語
<input type="checkbox"/> その他 (下欄に具体的に記入)		

2-5. 医療通訳者以外の多言語対応体制について伺います。
電話通訳(遠隔通訳)について以下の質問にお答えください。

1 電話通訳(遠隔通訳)	<input type="checkbox"/>	1 利用している ・ 2 利用していない
a. 利用しているサービス名(事業者名)	<input type="text"/>	
b. 電話通訳(遠隔通訳)がカバーしている範囲(平日、休日)	<input type="checkbox"/>	1 平日、休日問わずカバー ・ 2 平日のみ 3 そのほか(下欄に具体的に記入)
	<input type="text"/>	
c. 電話通訳(遠隔通訳)がカバーしている時間帯	<input type="checkbox"/>	1 24時間 ・ 2 日勤帯のみ 3 そのほか(下欄に具体的に記入)
	<input type="text"/>	
d. 電話通訳(遠隔通訳)が対応している言語(該当するもの全てにレ点)		
<input type="checkbox"/> 英語	<input type="checkbox"/> 中国語	<input type="checkbox"/> 韓国・朝鮮語
<input type="checkbox"/> ポルトガル語	<input type="checkbox"/> スペイン語	<input type="checkbox"/> ロシア語
<input type="checkbox"/> ベトナム語	<input type="checkbox"/> タガログ語	<input type="checkbox"/> インドネシア語
<input type="checkbox"/> その他(下欄に具体的に記入)		
<input type="text"/>		
2. その他、貴院において多言語に対応するために行っている他の取組がありましたら、下欄に具体的にご記入ください。		
<input type="text"/>		

2-6. 医療通訳者以外の多言語対応体制について伺います。
ビデオ通訳（遠隔通訳）について以下の質問にお答えください。

1	ビデオ通訳（遠隔通訳）	<input type="checkbox"/>	1 利用している ・ 2 利用していない
a.	利用しているサービス名（事業者名）	<input type="text"/>	
b.	ビデオ通訳（遠隔通訳）がカバーしている範囲（平日、休日）	<input type="checkbox"/>	1 平日、休日問わずカバー ・ 2 平日のみ 3 そのほか（下欄に具体的に記入）
		<input type="text"/>	
c.	ビデオ通訳（遠隔通訳）がカバーしている時間帯	<input type="checkbox"/>	1 24時間 ・ 2 日勤帯のみ 3 そのほか（下欄に具体的に記入）
		<input type="text"/>	
d.	ビデオ通訳（遠隔通訳）が対応している言語（該当するもの全てにレ点）		
<input type="checkbox"/>	英語	<input type="checkbox"/>	中国語
<input type="checkbox"/>	ポルトガル語	<input type="checkbox"/>	スペイン語
<input type="checkbox"/>	ベトナム語	<input type="checkbox"/>	タガログ語
<input type="checkbox"/>	韓国・朝鮮語	<input type="checkbox"/>	ロシア語
<input type="checkbox"/>	インドネシア語	<input type="checkbox"/>	その他（下欄に具体的に記入）
	<input type="text"/>		
2. その他、貴院において多言語に対応するために行っている他の取組がありましたら、下欄に具体的にご記入ください。			
<input type="text"/>			

2-7. 院内案内図、院内表示について以下の質問にお答えください。

院内案内図、院内表示の状況	<input type="checkbox"/>	1 多言語化している	・	2 多言語化していない	
a. 院内案内図、院内表示が対応している言語（該当するもの全てにレ点）					
<input type="checkbox"/>	英語	<input type="checkbox"/>	中国語	<input type="checkbox"/>	韓国・朝鮮語
<input type="checkbox"/>	ポルトガル語	<input type="checkbox"/>	スペイン語	<input type="checkbox"/>	ロシア語
<input type="checkbox"/>	ベトナム語	<input type="checkbox"/>	タガログ語	<input type="checkbox"/>	インドネシア語
<input type="checkbox"/>	その他（下欄に具体的に記入）				

2-8. 外国人患者の受入に資するタブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況について伺います。

外国人患者の受入に資するタブレット端末、スマートフォン端末、またはその他翻訳機器	<input type="checkbox"/>	1 医療機関として導入している	・	2 導入していない、又は医療従事者が個人で使用している	
a. (導入している場合) 外国人への対応に用いているアプリ					
b. (導入している場合) 端末を利用できる職員部門（該当するもの全てにレ点）	<input type="checkbox"/>	外国人患者対応の専門部署	<input type="checkbox"/>	受付	
	<input type="checkbox"/>	診療部門			
	<input type="checkbox"/>	その他（右欄に具体的に記入）			
c. 端末に備わっている機能（該当するもの全てにレ点）					
<input type="checkbox"/>	マニュアル、説明書等、資料の表示	<input type="checkbox"/>	決済機能		
<input type="checkbox"/>	翻訳機能	<input type="checkbox"/>	その他（右欄に具体的に記入）		
↳ 翻訳機能を備えている場合、対応言語を選択ください。（該当するもの全てにレ点）					
<input type="checkbox"/>	英語	<input type="checkbox"/>	中国語	<input type="checkbox"/>	韓国・朝鮮語
<input type="checkbox"/>	ポルトガル語	<input type="checkbox"/>	スペイン語	<input type="checkbox"/>	ロシア語
<input type="checkbox"/>	ベトナム語	<input type="checkbox"/>	タガログ語	<input type="checkbox"/>	インドネシア語
<input type="checkbox"/>	その他（下欄に具体的に記入）				

3. 医療費等について

訪日外国人に対する医療費の請求方法について、以下の1～4から該当するものにレ点を記入し、記載に従って右欄で補足ください。
特に訪日外国人について区別していない場合は、「1」を選択ください。

1	<input type="checkbox"/>	日本の診療報酬点数表を基準とし、1点10円で請求している。	
2	<input type="checkbox"/>	日本の診療報酬点数表を基準とし、1点10円以外で計算して請求している。	
		診療報酬点数「1点」＝	<input type="text"/> 円に相当
3	<input type="checkbox"/>	日本の診療報酬点数表を全く用いずに請求している。(下欄に具体的な計算方法等を記入ください)	
		<input type="text"/>	
4	<input type="checkbox"/>	1または2の他、追加的な費用を請求している。(該当する項目を以下の(1)～(4)から全て選択しレ点を記入)	
	(1)	<input type="checkbox"/>	通訳料(具体的な請求方法を以下に記入ください)
		1回の通訳での請求額＝	<input type="text"/> 円
		10分あたりの請求額＝	<input type="text"/> 円
		その他(右欄に具体的に記入ください)	<input type="text"/>
	(2)	<input type="checkbox"/>	医師の診療時間に応じた料金計算(下欄に具体的に記入ください)
		<input type="text"/>	
	(3)	<input type="checkbox"/>	診断書作成料等の事務手数料(下欄に具体的に記入ください)
		<input type="text"/>	
	(4)	<input type="checkbox"/>	その他(下欄に具体的に記載ください)
		<input type="text"/>	

4. キャッシュレス決済について

キャッシュレス決済の導入状況について以下の設問にお答えください。

1. カード（クレジットカード、デビットカード）を利用した決済		<input type="checkbox"/>	1 導入している	・	2 導入していない
(導入している場合) 対応ブランド（該当するもの全てにレ点）					
<input type="checkbox"/>	Visa(ビザ)	<input type="checkbox"/>	Mastercard (マスター)	<input type="checkbox"/>	Union Pay (銀聯カード)
<input type="checkbox"/>	American Express (アメリカン・エクスプレス)	<input type="checkbox"/>	JCB (ジェーシービー)	<input type="checkbox"/>	Diners (ダイナース)
<input type="checkbox"/>	その他（下欄に具体的に記入）				
2. 非接触カードを利用した決済		<input type="checkbox"/>	1 導入している	・	2 導入していない
(導入している場合) 対応している電子マネー（該当するもの全てにレ点）					
<input type="checkbox"/>	交通系ICカード(Suica, PASMO, Kitaca, ICOCA, SUGOCA等)	<input type="checkbox"/>	nanaco	<input type="checkbox"/>	WAON
<input type="checkbox"/>	楽天Edy	<input type="checkbox"/>	QUICPay	<input type="checkbox"/>	その他（下欄に具体的に記入）
3. QRコードを利用した決済		<input type="checkbox"/>	1 導入している	・	2 導入していない
(導入している場合) 対応しているサービス（該当するもの全てにレ点）					
<input type="checkbox"/>	Alipay (アリペイ)	<input type="checkbox"/>	WeChat Pay (ウィーチャット・ペイ)	<input type="checkbox"/>	PayPay (ペイペイ)
<input type="checkbox"/>	LINE Pay (ラインペイ)	<input type="checkbox"/>	楽天ペイ	<input type="checkbox"/>	その他（下欄に具体的に記入）
4. そのほかの決済サービスを利用している場合右欄にチェックし、下欄に具体的に記入してください。					<input type="checkbox"/>

5. 未収金等への対策

5-1

未収金等に対する対策として、貴院で訪日外国人患者に対する診療に際し実施している取組について、以下の中から該当するものを全て選択し、設問にお答えください。

※ ただし、必ずしも未収金等の対策として行っているものでなくても、訪日外国人に対して行っている取組であれば、選択していただいて差支えありません。例えば、身分証の確認等は医療安全にも寄与するものと考えられます。

<input type="checkbox"/>	特に未収金対策を行っていない		
<input type="checkbox"/>	パスポート等、身分証の確認	<input type="checkbox"/>	パスポート等、身分確認証のコピーの保存
<input type="checkbox"/>	価格についての事前説明		
<input type="checkbox"/>	診療内容の事前の説明		
<input type="checkbox"/>	その他（右欄に具体的に記入）		
<input type="checkbox"/>	同意書の取得		
<input type="checkbox"/>	(同意書を取得している場合) 同意の内容（該当するもの全てにレ点）		
<input type="checkbox"/>	診療に協力する	<input type="checkbox"/>	請求された金額を支払う
<input type="checkbox"/>	その他（下欄に具体的に記入）		
<input type="checkbox"/>			

5-2

貴院での在留外国人に対する本人確認について、以下の設問にお答えください。

外国人患者に対する本人確認の有無	<input type="checkbox"/>	1 本人確認をしている ・ 2 本人確認をしていない		
(1 の場合) 確認の際に提示を求めているもの (該当するもの全てにレ点)	<input type="checkbox"/>	パスポート	<input type="checkbox"/>	在留カード
	<input type="checkbox"/>	その他（右欄に具体的に記入）		

6. その他

本調査結果について、都道府県において課題解決を検討するための参考として頂くよう、厚生労働省が取りまとめた上で、**都道府県、厚生労働省科学研究事業に共有することを同意されない場合にレ点。**

7. ご担当者様の情報

差し支えなければ、ご担当者様の情報（必要時、本調査に関することや外国人患者受入れに関すること等をお伺いする際のご連絡先）をご記入ください。複数の方が担当された場合は、代表者様の情報をご記入ください。

フリガナ		電話番号	
お名前		ファクシミリ	
ご所属・役職			
メールアドレス			

**医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査
調査票B 外国人患者の受入に関する調査票(診療所・歯科診療所向け)**

- 本調査は、外国人患者受入れ体制の状況等について実態を把握し、今後の体制整備のための基礎資料を得る目的で行うものです。
- 本調査の調査票は、京都府及び沖縄県の診療所・歯科診療所を対象とした調査票A及びBから構成されています。
- この調査票は、貴院における外国人患者受入れの実績等についてお尋ねするもの(調査票B)です。
- 本調査票においては、**特に別の記載がある場合を除き令和元年11月1日～11月30日に受診した外国人についてお答えください。**

1. 基本情報

1-1. 貴院の基本情報を太枠内にご記入下さい。

フリガナ						電話(代表)	
医療機関名						ファクシミリ	
所在地	〒		-				
医療機関コード							

2. 外国人患者の受入実績について

令和元年11月1日～11月30日の期間に受け入れた外国人患者について以下の質問にお答えください。
 なお、在留外国人、訪日外国人、医療を目的に訪日した外国人については、以下の定義に基づきご回答ください。

- ・在留外国人：
 在留資格を持ち（在留カード所持者）、日本に中長期居住している外国人患者。
 なお、在留資格を持っている外国人の多くは保険証を所持しています。日本語での意思疎通が難しい在留外国人は、「日本語での意思疎通が難しい、日本に居住している外国籍の患者」を選択下さい。
- ・訪日外国人（医療渡航を除く）：
 観光等の目的で日本に短期間訪日している外国人。ただし、下記の「医療を目的に訪日した外国人」を除く。
- ・医療を目的に訪日した外国人：訪日外国人のうち、日本に入国する前に、医療機関と調整した上で来日した外国人。

※保険証を所持しているも、在留外国人であるかどうかについては必ずしも容易に確認できないことから、**把握できる限り**で記載ください。

※「未収金を生じた患者」については、診療の対価を請求したにも関わらず、請求日より1か月を経ても診療費の全額を支払っていない患者を指すこととします。

		外来				入院			
A 在留外国人患者	1 受入れの有無	1 あり・2 なし・3 把握できなかった				1 あり・2 なし・3 把握できなかった			
	(3の場合) 把握できなかった理由								
	(1または2の場合) 把握している在留外国人患者	1 在留資格を持ち中長期日本に居住している外国人患者 2 日本語での意思疎通が難しい、在留資格をもつ外国籍の患者							
	(1で受入れ「あり」の場合) 期間内の延べ患者数	(延べ患者数) <input type="text"/> 名		(延べ患者数) <input type="text"/> 名		(延べ患者数) <input type="text"/> 名		(延べ患者数) <input type="text"/> 名	
2	概数を把握している場合（番号を記入）	1. 5名以内		3. 11～20名		1. 5名以内		3. 11～20名	
		2. 6～10名		4. 21名以上		2. 6～10名		4. 21名以上	
3	受け入れた外国人の国籍について以下に該当する外国人の人数をお答えください。また、以下にあげた国以外の国籍の外国人を受け入れた場合、その国籍と人数を「その他」の欄に記載ください。国籍が把握できなかった場合は、「その他」の欄に「不明〇名」と記載ください。								
	中国	<input type="text"/> 名	ベトナム	<input type="text"/> 名	ロシア	<input type="text"/> 名			
	アメリカ合衆国	<input type="text"/> 名	インドネシア	<input type="text"/> 名	韓国	<input type="text"/> 名			
	カナダ	<input type="text"/> 名	モンゴル	<input type="text"/> 名	オーストラリア	<input type="text"/> 名			
	フィリピン	<input type="text"/> 名							
	その他	<input type="text"/>							
4	受け入れた患者のうち、未収金を生じた患者	(延べ患者数) <input type="text"/> 名		(延べ患者数) <input type="text"/> 名		(延べ患者数) <input type="text"/> 名		(延べ患者数) <input type="text"/> 名	
	未収金の合計金額（円）	<input type="text"/> 円		<input type="text"/> 円		<input type="text"/> 円		<input type="text"/> 円	
5	公的医療保険利用の有無	あり <input type="text"/> 名		あり <input type="text"/> 名		あり <input type="text"/> 名		あり <input type="text"/> 名	
		なし <input type="text"/> 名		なし <input type="text"/> 名		なし <input type="text"/> 名		なし <input type="text"/> 名	
	「あり」のうち保険種別	国民健康保険 <input type="text"/> 名	健康保険（※1）（被保険者） <input type="text"/> 名	健康保険（※2）（被扶養者） <input type="text"/> 名	その他 <input type="text"/> 名				
6	民間医療保険利用の有無	あり <input type="text"/> 名		なし <input type="text"/> 名					

(※1) 企業等に勤務している方で、協会けんぽや健康保険組合の保険証を所持している方。

(※2) 企業等に勤務している方に扶養されている方で、協会けんぽや健康保険組合の保険証を所持している方。

		外来				入院				
B 訪日外国人 (医療渡航を除く)	1 受入れの有無	1 あり・2 なし・3 把握できなかった				1 あり・2 なし・3 把握できなかった				
	(3の場合) 把握できなかった理由									
	(1で受入れ「あり」の場合) 期間内の延べ患者数	(延べ患者数)			名	(延べ患者数)			名	
		概数を把握している場合(番号を記入)				概数を把握している場合(番号を記入)				
			1. 5名以内	3. 11~20名			1. 5名以内	3. 11~20名		
			2. 6~10名	4. 21名以上			2. 6~10名	4. 21名以上		
	3 受け入れた外国人の国籍について以下に該当する外国人の人数をお答えください。また、以下にあげた国以外の国籍の外国人を受け入れた場合、その国籍と人数を「その他」の欄に記載ください。国籍が把握できなかった場合は、「その他」の欄に「不明〇名」と記載ください。	中国		名	ベトナム		名	ロシア		名
		アメリカ合衆国		名	インドネシア		名	韓国		名
		カナダ		名	モンゴル		名	オーストラリア		名
		フィリピン		名						
	その他									
4 受け入れた患者のうち、 未収金の合計金額(円)		(延べ患者数)			名	(延べ患者数)			名	
					円				円	
5 公的医療保険利用の有無		あり			名	あり			名	
		なし			名	なし			名	
「あり」のうち 保険種別	国民健康保険		名	健康保険(※1) (被保険者)		名	健康保険(※2) (被扶養者)		名	
							その他		名	
6 民間医療保険利用の有無		あり		なし						

(※1) 企業等に勤務している方で、協会けんぽや健康保険組合の保険証を所持している方。

(※2) 企業等に勤務している方に扶養されている方で、協会けんぽや健康保険組合の保険証を所持している方。

		外来、入院（健診のみのものを除く）				健診のみのもの（外来、入院を問わない）			
C 医療を目的に訪日した外国人	1 受入れの有無	1 あり・2 なし・3 把握できなかった				1 あり・2 なし・3 把握できなかった			
	(3の場合) 把握できなかった理由								
	2 (1で受入れ「あり」の場合) 期間内の延べ患者数	(延べ患者数) <input type="text"/> 名				(延べ患者数) <input type="text"/> 名			
		概数を把握している場合（番号を記入）				概数を把握している場合（番号を記入）			
		<input type="text"/>	1. 5名以内	<input type="text"/>	3. 11～20名	<input type="text"/>	1. 5名以内	<input type="text"/>	3. 11～20名
			2. 6～10名	<input type="text"/>	4. 21名以上		2. 6～10名	<input type="text"/>	4. 21名以上
	3 受け入れた外国人の国籍について以下に該当する外国人の人数をお答えください。また、以下にあげた国以外の国籍の外国人を受け入れた場合、その国籍と人数を「その他」の欄に記載ください。国籍が把握できなかった場合は、「その他」の欄に「不明〇名」と記載ください。	中国	<input type="text"/> 名	ベトナム	<input type="text"/> 名	ロシア	<input type="text"/> 名		
		アメリカ合衆国	<input type="text"/> 名	インドネシア	<input type="text"/> 名	韓国	<input type="text"/> 名		
		カナダ	<input type="text"/> 名	モンゴル	<input type="text"/> 名	オーストラリア	<input type="text"/> 名		
		フィリピン	<input type="text"/> 名						
	その他	<input type="text"/>							
4 受け入れた外国人の診断のICD分類について以下に該当する外国人の人数をお答えください。また、以下にあげた診断以外の診断を受け入れた外国人を受け入れた場合、その診断と人数を「その他」の欄にICD-10に基づき記載ください。	悪性新生物 (C00-C97)	<input type="text"/> 名	循環器系疾患 (I00-I99)	<input type="text"/> 名	腎尿路生殖系疾患 (N00-99)	<input type="text"/> 名			
	呼吸器系疾患 (J00-J99)	<input type="text"/> 名	妊娠、分娩及び産褥 (O00-O99)	<input type="text"/> 名	損傷、中毒及びその他の外因の影響 (S00-T98)	<input type="text"/> 名			
	筋骨格系及び結合組織疾患 (M00-M94)	<input type="text"/> 名	消化器系疾患 (K00-K94)	<input type="text"/> 名	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (D50-D89)	<input type="text"/> 名			
	眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患 (H00-H95)	<input type="text"/> 名							
	その他	<input type="text"/>							
5 受け入れた患者のうち、未収金を生じた患者	(延べ患者数)	<input type="text"/>	名	(延べ患者数)	<input type="text"/>	名			
L 未収金の合計金額 (円)		<input type="text"/>	円		<input type="text"/>	円			
6 公的医療保険利用の有無	あり	<input type="text"/>	名	あり	<input type="text"/>	名			
	なし	<input type="text"/>	名	なし	<input type="text"/>	名			
L 「あり」のうち保険種別	国民健康保険	<input type="text"/> 名	健康保険 (※1) (被保険者)	<input type="text"/> 名	健康保険 (※2) (被扶養者)	<input type="text"/> 名			
	その他	<input type="text"/> 名							
7 民間医療保険利用の有無	あり	<input type="text"/>	なし	<input type="text"/>					

(※1) 企業等に勤務している方で、協会けんぽや健康保険組合の保険証を所持している方。

(※2) 企業等に勤務している方に扶養されている方で、協会けんぽや健康保険組合の保険証を所持している方。

5. 未収金を生じた患者の詳細について

令和元年11月1日～11月30日の期間に受け入れた外国人患者のうち、未収金を生じた患者のそれぞれについて、以下の表にご記入ください。

	国籍	患者分類 (以下から選択) ①：在留外国人 ②：訪日外国人(医療渡航を除く) ③：医療を目的に訪日した外国人	入院/ 外来	(入院の場合) 入院日数 (日)	診断名	請求金額 (総額、円)	未収となった 金額 (円)	医療機関が 加入する 保険による 未収金の補填 (有、無)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								

6. その他

本調査結果について、都道府県において課題解決を検討するための参考として頂くよう、厚生労働省が取りまとめた上で、**都道府県、厚生労働省科学研究事業に共有することを同意されない場合にレ点。**

7. ご担当者様の情報

差し支えなければ、ご担当者様の情報（必要時、本調査に関することや外国人患者受入れに関すること等をお伺い
する際のご連絡先）をご記入ください。複数の方が担当された場合は、代表者様の情報をご記入ください。

フリガナ		電話番号	
お名前		ファクシミリ	
ご所属・役職			
メールアドレス			